

## LT4670

### SYNC GENERATOR

LT4670-SER01	GNSS
LT4670-SER02	SDI
LT4670-SER03	PTP
LT4670-SER04	25G-IP/12G-SDI TSG
LT4670-SER11	POWER UNIT
LT4670-SER21	4K 3G-Quad Link

### 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書と付属の「製品を安全にご使用いただくために」をよくお読みのうえ、  
製品を安全にお使いください。

# 目次

製品を安全にご使用いただくために.....	I
1 はじめに.....	1
1.1 ユーザー登録のお願い.....	1
1.2 保証範囲.....	1
1.3 商標について.....	1
1.4 使用上の注意.....	2
1.4.1 電源電圧について.....	2
1.4.2 入力端子の最大許容電圧について.....	2
1.4.3 衝撃について.....	2
1.4.4 静電気破壊について.....	2
1.4.5 予熱について.....	2
2 製品構成.....	3
2.1 本体.....	3
2.2 ハードウェアオプション.....	3
2.3 ソフトウェアオプション.....	4
3 仕様.....	5
3.1 概要.....	5
3.2 特長.....	5
3.2.1 LT4670.....	5
3.2.2 LT4670-SER01 (GNSS).....	7
3.2.3 LT4670-SER02 (SDI).....	7
3.2.4 LT4670-SER03 (PTP).....	8
3.2.5 LT4670-SER04 (25G-IP).....	9
3.2.6 LT4670-SER04 (12G-SDI).....	9
3.2.7 LT4670-SER11 (POWER UNIT).....	10
3.2.8 LT4670-SER21 (4K 3G-Quad Link).....	10
3.3 規格.....	12
3.3.1 LT4670.....	12
3.3.2 LT4670-SER01 (GNSS).....	19
3.3.3 LT4670-SER02/SER04/SER21 (SDI).....	20
3.3.4 LT4670-SER03 (PTP).....	27
3.3.5 LT4670-SER04 (25G-IP).....	28
3.3.6 LT4670-SER11 (POWER UNIT).....	30
3.3.7 SFP トランシーバー (別売品).....	30
4 パネル面の説明.....	31
4.1 前面パネル.....	31
4.2 背面パネル.....	34

5	準備	38
5.1	設置	38
5.1.1	ラックへの取り付け	38
5.1.2	ラックを使用しない設置	39
5.2	電源の投入	39
5.2.1	電源のオンオフ	39
5.2.2	AC コードクランプの取り付け	40
5.2.3	電源ユニットの追加 (SER11)	41
6	基本の動作	43
6.1	操作の基本	43
6.1.1	USB メモリーの接続	43
6.1.2	キーロックの設定	43
6.1.3	メニュー操作	44
6.2	信号の入力 (ゲンロック動作)	47
6.2.1	インターナルモード	47
6.2.2	ゲンロックモード	48
6.2.3	CW モード	50
6.2.4	GNSS モード (SER01)	52
6.2.5	PTP モード (SER03)	54
6.3	信号の出力	57
6.3.1	アナログブラック信号の出力	57
6.3.2	オーディオ信号の出力	57
6.3.3	CW/1PPS 信号の出力	57
6.3.4	SDI 信号の出力 (SER02)	57
6.3.5	SDI 信号の出力 (SER04)	58
6.3.6	PTP 信号の出力 (SER03)	58
6.3.7	IP 信号の出力 (SER04)	60
6.4	LTC 信号の入出力とリモート制御	61
6.5	アラーム表示	63
6.6	L-SYNC	64
7	REFERENCE CONFIG メニュー	66
7.1	基準信号の選択	66
7.2	ゲンロックフォーマットの選択	67
7.3	ゲンロックタイミングの設定	68
7.4	衛星の選択 (SER01)	68
7.5	リカバリー動作の設定	69
7.5.1	リカバリーモードの選択	69
7.5.2	再ロックスピードの選択 (オート)	69
7.5.3	再ロックスピードの選択 (マニュアル)	70
7.5.4	起動時の設定	70
7.6	再ロックの設定	70
7.7	時刻源の選択	71
7.8	ノイズ耐性の設定	72
7.9	日時の取り込み	73

8	BLACK CONFIG メニュー .....	74
8.1	ブラックフォーマットの選択 .....	74
8.2	タイミングの設定 .....	75
8.2.1	タイミングの調整 (フレーム) .....	75
8.2.2	タイミングの調整 (ライン) .....	75
8.2.3	タイミングの調整 (ドット) .....	76
8.3	タイムコードの設定 .....	76
8.3.1	タイムコード挿入のオンオフ .....	76
8.3.2	ドロップフレームの設定 .....	77
8.3.3	タイムコード重畳ラインの設定 .....	77
8.4	ブラック出力の設定 .....	78
8.4.1	ブラック出力のオンオフ .....	78
8.4.2	BMCA 連動のオンオフ (SER03) .....	78
8.5	ブラック出力間の共通設定 .....	79
9	AUDIO CONFIG メニュー .....	80
9.1	AES/EBU 出力の設定 .....	80
9.1.1	周波数の選択 .....	80
9.1.2	レベルの設定 .....	80
9.1.3	クリックの設定 .....	81
9.1.4	チャンネル間の共通設定 .....	81
9.1.5	分解能の選択 .....	81
9.1.6	プリエンファシスモードの選択 .....	82
9.1.7	タイムコード挿入のオンオフ .....	82
9.1.8	タイミングの調整 .....	82
9.1.9	リップシンク連動のオンオフ (SER02/SER04) .....	83
9.2	サイレンス出力の設定 .....	83
9.2.1	AES/EBU 出力との共通設定 .....	83
9.2.2	分解能の選択 .....	84
9.2.3	タイミングの調整 .....	84
9.3	ワードクロック出力の設定 .....	85
9.3.1	タイミングの調整 .....	85
10	LTC CONFIG メニュー .....	86
10.1	LTC 出力のオンオフ .....	86
10.2	LTC フォーマットの選択 .....	86
10.3	タイミングの調整 (フレーム) .....	87
10.4	タイミングの調整 (ビット) .....	87
10.5	オフセットの調整 .....	87
10.6	ドロップフレームの設定 .....	88
10.7	LTC 出力間の共通設定 .....	88
11	CW/1PPS CONFIG メニュー .....	89
11.1	出力信号の切り換え .....	89

12	SDI CONFIG メニュー (SER02/SER04)	90
12.1	周波数グループの選択	91
12.2	SDI フォーマットの設定	92
12.2.1	システムの選択	92
12.2.2	カラーシステムの選択	93
12.2.3	フレーム周波数の選択	93
12.3	タイミングの設定	94
12.3.1	タイミング基準の選択	94
12.3.2	タイミングの調整 (ライン)	94
12.3.3	タイミングの調整 (ドット)	95
12.4	固定パターンの設定	95
12.5	ユーザーパターンの設定	98
12.5.1	ユーザーパターンの表示手順	98
12.5.2	ユーザーパターンの選択と転送	102
12.5.3	ユーザーパターンの消去	103
12.5.4	USB から本体へのユーザーパターンコピー	104
12.5.5	本体から USB へのユーザーパターンコピー	106
12.6	YCbCr/GBR のオンオフ	108
12.7	セーフティエリアマーカのオンオフ	108
12.8	スクロールの設定	109
12.8.1	スクロールのオンオフ	109
12.8.2	スクロール速度の設定 (縦方向)	109
12.8.3	スクロール速度の設定 (横方向)	110
12.9	パターンチェンジの設定	110
12.9.1	パターンチェンジのオンオフ	110
12.9.2	切り換え時間の設定	111
12.10	ID キャラクターの設定	111
12.10.1	ID キャラクターのオンオフ	112
12.10.2	ID キャラクターの呼び出し	112
12.10.3	ID キャラクターの作成	112
12.10.4	ID キャラクター位置の設定 (縦方向)	113
12.10.5	ID キャラクター位置の設定 (横方向)	113
12.10.6	ID キャラクターサイズの選択	114
12.10.7	ID キャラクターレベルの選択	114
12.10.8	ID キャラクター点滅のオンオフ	114
12.10.9	ID キャラクター点灯時間の設定	115
12.10.10	ID キャラクター消灯時間の設定	115
12.10.11	ID キャラクタースクロールのオンオフ	115
12.10.12	ID キャラクタースクロール速度の設定	116
12.10.13	ID キャラクター背景の透過	116
12.10.14	ID キャラクターの保存	117
12.10.15	USB から本体への ID キャラクターコピー	118
12.10.16	本体から USB への ID キャラクターコピー	119
12.10.17	ID キャラクターの消去	119
12.11	ロゴの設定	120
12.11.1	ロゴの表示手順	120
12.11.2	ロゴのオンオフ	121

12.11.3	ロゴの選択.....	122
12.11.4	ロゴ位置の設定 (縦方向).....	122
12.11.5	ロゴ位置の設定 (横方向).....	122
12.11.6	ロゴ透過のオンオフ.....	123
12.11.7	ロゴ透過レベルの設定.....	123
12.11.8	USB から本体へのロゴコピー.....	124
12.11.9	本体から USB へのロゴコピー.....	125
12.11.10	ロゴの消去.....	126
12.12	ムービングボックスの設定.....	127
12.12.1	ムービングボックスのオンオフ.....	127
12.12.2	ムービングボックス色の選択.....	128
12.12.3	ムービングボックス速度の選択 (縦方向).....	128
12.12.4	ムービングボックス速度の選択 (横方向).....	128
12.12.5	ムービングボックス高さの選択.....	129
12.12.6	ムービングボックス幅の選択.....	129
12.13	サークルの設定.....	130
12.13.1	サークルのオンオフ.....	130
12.13.2	サークルレベルの選択.....	131
12.13.3	サークルサイズの選択.....	131
12.13.4	サークル点滅のオンオフ.....	131
12.13.5	サークル点灯時間の設定.....	132
12.13.6	サークル消灯時間の設定.....	132
12.14	タイムコードの設定.....	133
12.14.1	タイムコードのオンオフ.....	133
12.14.2	タイムコード位置の設定 (縦方向).....	134
12.14.3	タイムコード位置の設定 (横方向).....	134
12.14.4	タイムコードサイズの選択.....	134
12.14.5	タイムコードレベルの選択.....	135
12.14.6	タイムコード背景の透過.....	135
12.15	リップシンクのオンオフ.....	136
12.16	エンベデッドオーディオの設定.....	138
12.16.1	オーディオのオンオフ.....	139
12.16.2	分解能の選択.....	139
12.16.3	プリエンファシスモードの選択.....	139
12.16.4	周波数の選択.....	140
12.16.5	レベルの設定.....	140
12.16.6	クリックの設定.....	140
12.16.7	チャンネル間の共通設定.....	141
12.16.8	グループ間の共通設定.....	141
12.17	アンシラリデータの設定.....	142
12.17.1	LTC のオンオフ.....	142
12.17.2	VITC のオンオフ.....	142
12.17.3	ドロップフレームの設定.....	143
12.18	SDI 出力の設定.....	143
12.18.1	SDI 出力のオンオフ.....	143
12.18.2	BMCA 連動のオンオフ (SER03).....	144
12.19	SDI 出力間の共通設定.....	144

13	PTP CONFIG メニュー (SER03)	145
13.1	PTP リーダーと PTP フォロワー	145
13.2	PTP リーダーの設定	145
13.2.1	モードの選択	145
13.2.2	BMCA の設定	146
13.2.3	優先順位 1 の復旧	146
13.2.4	プロファイルの選択	146
13.2.5	プロファイルのデフォルト設定	147
13.2.6	ドメインの設定	147
13.2.7	コミュニケーションモードの選択	147
13.2.8	アナウンスメッセージ送信間隔の選択	148
13.2.9	シンクメッセージ送信間隔の選択	148
13.2.10	アナウンスタイムアウトの設定	149
13.2.11	優先順位 1 の設定	149
13.2.12	優先順位 2 の設定	149
13.2.13	ステップの選択	150
13.2.14	デフォルトフレームの選択	150
13.2.15	ドロップフレームフラグの設定	150
13.2.16	カラーフレーム ID の設定	151
13.2.17	伝播時間測定方法の選択	151
13.3	PTP フォロワーの設定	152
13.3.1	モードの選択	152
13.3.2	プロファイルの選択	152
13.3.3	プロファイルのデフォルト設定	152
13.3.4	ドメインの設定	153
13.3.5	コミュニケーションモードの設定	153
13.3.6	希望するアナウンスメッセージ送信間隔の選択	154
13.3.7	アナウンスメッセージ受信間隔の選択	154
13.3.8	希望するシンクメッセージ送信間隔の選択	155
13.3.9	シンクメッセージ受信間隔の選択	155
13.3.10	ディレイメッセージ送信間隔の選択	156
13.3.11	希望するディレイメッセージ送信間隔の選択	156
13.3.12	ディレイメッセージ受信間隔の選択	157
13.3.13	アナウンスタイムアウトの設定	157
13.3.14	伝播時間測定方法の選択	158
13.3.15	IP アドレスの設定	158
13.3.16	アシンメトリックディレイの設定	158
14	IP CONFIG メニュー (SER04)	159
14.1	規格の選択	159
14.2	IP 出力のオンオフ	159
14.3	ビデオ、オーディオ、ANC のオンオフ	160
14.4	ペイロードタイプの設定	160
14.5	VLAN の設定	161
14.5.1	VLAN のオンオフ	161
14.5.2	VLAN タグの設定	161

14.6	DSCP の設定.....	162
14.6.1	DSCP のオンオフ .....	162
14.6.2	DSCP タグの設定 .....	162
14.7	宛先 IP アドレスの設定 .....	163
14.8	宛先ポート番号の設定.....	164
14.9	オーディオ規格の選択.....	164
14.10	オーディオパケットタイムの選択 .....	165
14.11	NMOS の設定.....	165
14.11.1	NMOS のオンオフ .....	165
14.11.2	Node API バージョンの選択 .....	166
14.11.3	IS-04 ポート番号の設定 .....	166
14.11.4	DNS-SD 通信方式の選択.....	166
14.11.5	DNS-SD IP アドレスの設定.....	167
14.11.6	DNS-SD ポート番号の設定.....	167
15	SYSTEM CONFIG メニュー .....	168
15.1	バックライトの設定.....	168
15.2	プリセットの設定.....	168
15.2.1	プリセットの呼び出し .....	169
15.2.2	プリセットの保存 .....	169
15.2.3	コメントの追加.....	170
15.2.4	起動時の設定.....	170
15.2.5	USB から本体へのプリセットコピー .....	171
15.2.6	本体から USB へのプリセットコピー .....	172
15.2.7	プリセットの消去.....	173
15.3	ネットワークの設定.....	174
15.3.1	ネットワークの設定 .....	174
15.3.2	IP アドレスの設定 .....	174
15.3.3	サブネットマスクの設定 .....	175
15.3.4	デフォルトゲートウェイの設定.....	175
15.3.5	SNMP の設定.....	175
15.3.6	SNMP エンジン ID の表示 .....	176
15.3.7	SNMP トラップ送信先の設定 .....	176
15.3.8	SNMP トラップ送信先の IP アドレス設定.....	176
15.3.9	本体から USB への MIB ファイルコピー .....	177
15.3.10	SNMP コミュニティ名の設定 .....	177
15.3.11	SNMP の再起動.....	178
15.3.12	HTTP の設定 .....	178
15.3.13	Web ブラウザーの設定 .....	178
15.3.14	Web 認証の設定.....	179
15.3.15	Web パスワードの設定 .....	179
15.3.16	NTP の設定 .....	180
15.3.17	NTP サーバーの設定 .....	180
15.3.18	NTP のネットワーク設定.....	180
15.3.19	NTP 階層の設定 .....	181
15.4	時刻の設定 .....	181
15.4.1	日時の設定.....	181

15.4.2	タイムゾーンの選択 .....	182
15.4.3	ジャムシンクのオンオフ .....	182
15.4.4	ジャムシンク時刻の設定 .....	182
15.4.5	夏時間のオンオフ (SER01) .....	183
15.4.6	夏時間設定フォーマットの選択 (SER01) .....	183
15.4.7	夏時間開始日時の設定 (SER01) .....	184
15.4.8	夏時間オフセットの設定 (SER01) .....	184
15.4.9	夏時間終了日時の設定 (SER01) .....	185
15.4.10	うるう秒の設定 (SER01) .....	185
15.4.11	L-SYNC の設定 .....	186
15.5	GNSS の設定 (SER01) .....	187
15.5.1	給電の設定 .....	187
15.5.2	ケーブル遅延の設定 .....	187
15.6	PTP の設定 (SER03) .....	188
15.6.1	IP アドレスの設定 .....	188
15.6.2	サブネットマスクの設定 .....	188
15.6.3	ゲートウェイの設定 .....	189
15.6.4	SFP の設定 .....	189
15.6.5	リセット動作の設定 .....	189
15.6.6	ポートミラーリングの設定 .....	190
15.7	IP の設定 (SER04) .....	190
15.7.1	IP アドレスの設定 .....	190
15.7.2	サブネットマスクの設定 .....	191
15.7.3	ゲートウェイの設定 .....	191
15.7.4	SFP の設定 .....	191
15.7.5	RS-FEC のオンオフ .....	192
15.7.6	IGMP バージョンの選択 .....	192
15.8	アラームの設定 .....	192
15.8.1	極性の選択 .....	193
15.8.2	アラーム出力のオンオフ .....	193
15.9	ログの設定 .....	194
15.9.1	ログの表示 .....	194
15.9.2	本体から USB へのログコピー .....	195
15.9.3	ログの消去 .....	195
15.10	初期化 .....	196
15.10.1	設定の初期化 .....	196
15.10.2	工場出荷時設定 .....	196
15.10.3	フォーマット初期値の選択 .....	197
15.11	ソフトウェアオプションの確認と追加 .....	198
15.11.1	ソフトウェアオプションの確認 .....	198
15.11.2	ソフトウェアオプションの追加 .....	198
15.12	USB の設定 .....	199
15.13	ファンのオンオフ .....	199
15.14	システム設定のコピー .....	200
15.14.1	USB から本体へのシステムコピー .....	200
15.14.2	本体から USB へのシステムコピー .....	201

16	STATUS メニュー .....	202
16.1	ALARM メニュー.....	202
16.2	INFORMATION メニュー .....	203
16.3	CONFIG メニュー .....	205
16.3.1	REFERENCE メニュー .....	205
16.3.2	BLACK メニュー .....	206
16.3.3	GNSS メニュー (SER01) .....	206
16.3.4	SDI メニュー (SER02).....	207
16.3.5	PTP メニュー (SER03).....	207
16.3.6	IP/SDI メニュー (SER04).....	208
16.3.7	SYSTEM メニュー .....	210
16.4	LOG メニュー.....	211
16.4.1	ログの表示.....	211
16.4.2	ログの消去.....	211
17	SNMP.....	212
17.1	SNMP バージョン.....	212
17.2	SMI 定義.....	212
17.3	使用方法 .....	212
17.4	拡張 MIB.....	214
17.4.1	l44notificationTBL グループ.....	215
17.4.2	l44systemTBL グループ .....	216
17.4.3	l44statusTBL グループ.....	218
17.4.4	l44referenceTBL グループ .....	222
17.4.5	l44blackTBL グループ.....	224
17.4.6	l44audioTBL グループ .....	237
17.4.7	l44ltcTBL グループ .....	238
17.4.8	l44cw1ppsTBL グループ .....	240
17.4.9	l44trapTBL グループ .....	241
17.4.10	lt4670ser02 グループ.....	241
17.4.11	lt4670ser03 グループ.....	293
17.4.12	lt4670ser04 グループ.....	301
17.5	拡張トラップ .....	316
18	Web ブラウザー .....	317
18.1	動作環境 .....	317
18.2	使用方法 .....	317
18.3	操作方法 .....	319
18.4	画面の説明 .....	321
18.4.1	STATUS 画面 .....	321
18.4.2	REFERENCE 画面.....	326
18.4.3	BLACK 画面 .....	327
18.4.4	AUDIO 画面 .....	328
18.4.5	LTC・CW/1PPS 画面 .....	329
18.4.6	SDI 画面 (SER02/SER04) .....	330
18.4.7	PTP 画面 (SER03).....	335

18.4.8	IP 画面 (SER04) .....	338
18.4.9	SYSTEM 画面 .....	341
19	保守 .....	345
19.1	校正および修理 .....	345
19.2	部品の交換 .....	345
19.2.1	電源ユニットの交換 .....	346
19.2.2	前面ファンユニットの交換 .....	349
19.2.3	背面ファンユニットの交換 .....	352
20	資料 .....	354
20.1	設定項目一覧 .....	354
20.1.1	REFERENCE CONFIG メニュー .....	354
20.1.2	BLACK CONFIG メニュー .....	354
20.1.3	AUDIO CONFIG メニュー .....	355
20.1.4	LTC CONFIG メニュー .....	355
20.1.5	CW/1PPS CONFIG メニュー .....	356
20.1.6	SDI CONFIG メニュー (SER02/SER04) .....	356
20.1.7	PTP CONFIG メニュー (SER03) .....	358
20.1.8	IP CONFIG メニュー (SER04) .....	359
20.1.9	SYSTEM CONFIG メニュー .....	361
20.2	リリースノート .....	364

# 製品を安全にご使用いただくために

## ご使用になる前に

本製品は、電氣的知識を有する方が、本取扱説明書の内容をご理解いただいた上で使用する計測器です。  
一般家庭、消費者向けに設計、製造された製品ではありません。

電氣的知識のない方が使用する場合には、人身事故および製品に損害を生じるおそれがありますので、必ず電氣的知識を有する方の監督の下でご使用ください。

## 取扱説明書をご覧になる際の注意

本取扱説明書で説明されている内容は、一部に専門用語も使用されていますので、もし、ご理解できない場合は、ご遠慮なく本社またはお近くの営業所までお問い合わせください。

## 絵表示および文字表示について

本取扱説明書および製品には、製品を安全に使用する上での、必要な警告および注意事項を示す下記の絵表示と文字表示が使用されています。

<p>&lt;絵表示&gt;</p> 	<p>本取扱説明書および製品にこの絵表示が表記されている箇所は、その部分で誤った使い方をすると、使用者の身体および製品に重大な危険を生じる可能性があるか、または製品および他の接続機器が意図しない動作となり、運用に支障をきたす可能性があることを表します。</p> <p>この絵表示の部分を使用する際には、必ず本取扱説明書の記載事項を参照してください。</p>
<p>&lt;文字表示&gt;</p>  警告	<p>この表示を無視して誤った使い方をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、その危険を避けるための警告事項が記載されていることを表します。</p>
<p>&lt;文字表示&gt;</p>  注意	<p>この表示を無視して誤った使い方をすると、使用者が軽度の傷害を負うかまたは製品に損害を生じるおそれがあり、その危険を避けるための注意事項が記載されていることを表します。</p>

# 製品を安全にご使用いただくために

下記に示す使用上の警告および注意事項は、使用者の身体、生命に対する危険、火災、感電に対する危険および製品の損傷、劣化などを避けるためのものです。必ず下記の事項を守ってご使用ください。



## 製品のケースおよびパネルに関する警告事項

- 製品のケースおよびパネルは、いかなる目的があっても使用者は絶対に外さないでください。
- 内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、水をこぼしたりしないでください。
- 濡れた手で操作しないでください。
- パネルの操作が困難となるような機器の配置をしないでください。

## 設置環境に関する警告事項

- 製品は 0 - 40℃の温度範囲内、85%RH 以下(ただし、結露のないこと)の湿度範囲内でご使用ください。
- 製品の通風孔をふさいだ状態や、周辺の温度が高い状態で使用しないでください。
- 結露のおそれのある場合には、電源を入れずに 30 分程度放置してください。
- 可燃性、爆発性のガスまたは蒸気が発生あるいは貯蔵されている場所では製品を動作させないでください。

## 使用中の異常に関する警告事項

- 使用中に製品から発煙、発火、異臭などの異常が生じたときは、ただちに使用を中止して、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

## 電源に関する警告事項

- 製品に表示された定格電源電圧以外では使用しないでください。
- 電源周波数は、必ず 50/60Hz でご使用ください。
- ご使用になる国の安全規格に適合した電源コードをご使用ください。
- 電源コードが損傷した場合は使用を中止してください。
- 電源コードのプラグを操作することが困難となるような機器の配置をしないでください。
- 電源コードを抜くときは、コードを引っばらずに、必ずプラグを持って抜いてください。
- アース付き電源コードを使用してアースに接地してご使用ください。

## SFP トランシーバーに関する警告事項

- 安全上、当社指定の SFP トランシーバーを使用してください。
- SFP トランシーバーはクラス 1 のレーザー製品です。レーザー光が目や皮膚に直接当たらないようにしてください。
- 取扱説明書に指定されている以外の制御や調整、または手順を実行しないでください。危険な放射線被ばくを引き起こす可能性があります。

# 製品を安全にご使用いただくために



## 入力、出力端子に関する注意事項

- 入力端子には、取扱説明書に記載された仕様を超えた信号を供給しないでください。
- 出力端子を短絡したり、外部から電力を供給したりしないでください。

## 長期間使用しない場合の注意事項

- 長時間使用しない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

## イーサネット端子に関する注意事項

- 事業者用設備に接続する場合は、ご使用になる国で認定されたハブを介して接続してください。

## 機器の設置に関する注意事項

- 安全に据え付けられた台や棚に水平配置してください。
- 本器の上に直接重い計測器などを配置しないでください。
- ラックへ取り付けて使用する場合は、必ず本体部分を支える機構部品をご用意ください。前面パネルだけで取り付けると、筐体の変形や落下の危険があります。
- この製品は非居住地域のみでの使用を目的としています。居住地域で使用すると電磁干渉を引き起こす可能性があります。
- 本製品は強電界、強磁界、強振動の影響を受けると、正常に動作しなくなる可能性があります。

## 日常のお手入れに関する注意事項

- 清掃のときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 製品のケース、パネル、つまみの汚れを清掃する場合は、シンナーやベンジンなどの溶剤は避けてください。塗装がはがれたり、樹脂面が侵されたりすることがあります。
- ケース、パネル、つまみ等を拭くときは、中性洗剤を含ませた柔らかい布で軽く拭き取ってください。また、清掃のときは、製品の中に水、洗剤、その他の異物が入らないようご注意ください。製品の中に液体、金属などが入ると、感電および火災の原因となります。

# 製品を安全にご使用いただくために

## コンプライアンス情報

---

UL



本製品は、UL 規格に適合しています。

UL ファイル No. E525355

---

FCC



本製品は、FCC 規格の Part 15 に適合しています。

---

CE



本製品は、CE 規格に適合しています。

EMC Directive: 2014/30/EU EN 61326-1:2013

LOW VOLTAGE Directive: 2014/35/EU EN 61010-1:2010+A1:2019

RoHS Directive: 2011/65/EU (EU)2015/863 EN IEC 63000:2018

---

UKCA



本製品は、UKCA 規格に適合しています。

---

WEEE



本製品は、WEEE 指令の対象品です。

本製品を廃棄するときは、各国、各地域の法規制に従って処理してください。

また、本製品から取り外した電池は、EU 電池指令に従って処理してください。

(WEEE 指令：廃電気電子機器指令, Waste Electrical and Electronic Equipment)

---

KC



本製品は、KC 規格に適合しています。

R-R-1k3-032

---

# 製品を安全にご使用いただくために

## コンプライアンス情報

Chinese RoHS

Following information is for Chinese RoHS only

### 所含有毒有害物質情報

部件号码: LT4670



此标志适用于在中国销售的电子信息产品, 依据2016年1月6日公布的《电器电子产品有害物质限制使用管理办法》以及SJ/T11364-2014《电器电子产品有害物质限制使用标识要求》, 表示该产品在使用完结后可再利用。数字表示的是环境保护使用期限, 只要遵守与本产品有关的安全和使用上的注意事项, 从制造日算起在数字所表示的年限内, 产品不会产生环境污染和对人体、财产的影响。产品适当使用后报废的方法请遵从电子信息产品的回收、再利用相关法令。详细请咨询各级政府主管部门。

产品中有毒有害物質或元素的名称及含量

部件名称 Parts	有毒有害物質或元素 Hazardous Substances in each Part					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
实装基板	×	○	○	○	○	○
主体部	×	○	○	○	○	○
液晶显示模组	○	○	○	○	○	○
开关电源	×	○	○	○	○	○
风扇	×	○	○	○	○	○
外筐	×	○	○	○	○	○
线材料一套	×	○	○	○	○	○
附件	×	○	○	○	○	○
包装材	○	○	○	○	○	○
电池	○	○	○	○	○	○
选件						
LT4670-SER01	×	○	○	○	○	○
LT4670-SER02	×	○	○	○	○	○
LT4670-SER03	×	○	○	○	○	○
LT4670-SER04	×	○	○	○	○	○
LT4670-SER11	×	○	○	○	○	○
备注)	○: 表示该有毒有害物質在该部件所有均质材料中的含量均在GB/T26572规定的限量要求以下。 ×: 表示该有毒有害物質或元素至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T26572标准规定的限量要求。					

Ver.3

\* 製造者の同意なしに技術的または操作上の変更が加えられた場合、これらの宣言は無効となります。

# 1 はじめに

このたびは、リーダー電子株式会社の製品をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。製品を安全にご使用いただくため、ご使用前に本取扱説明書を最後までお読みいただき、製品の正しい使い方をご理解の上、ご使用ください。

本取扱説明書をご覧になっても使い方がよくわからない場合は、取扱説明書の裏表紙に記載されている本社またはお近くの営業所までお問い合わせください。

## 1.1 ユーザー登録のお願い

最新の製品情報をご確認いただくため、ユーザー登録をお願いしています。  
当社 Web サイトのユーザー登録ページで登録してください。

<https://www.leader.co.jp/member/registry/>

## 1.2 保証範囲

この製品は、リーダー電子株式会社の厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。正常な使用状態で発生する故障について、お買い上げの日から 1 年間無償で修理をいたします。お買い上げ明細書(納品書、領収書など)は、保証書の代わりになりますので、大切に保管してください。

保証期間内でも、次の場合には有償で修理させていただきます。

1. 火災、天災、異常電圧などによる故障、損傷。
2. 不当な修理、調整、改造された場合。
3. 取り扱いが不適当なために生じる故障、損傷。
4. 故障が本製品以外の原因による場合。
5. お買い上げ明細書類のご提示がない場合。

この保証は日本国内で使用される場合に限り有効です。

This Warranty is valid only in Japan.

## 1.3 商標について

記載されている会社名および各商品名は、各社の商標または登録商標です。

## 1.4 使用上の注意

### 1.4.1 電源電圧について



警告

電源プラグを電源に接続する前に、その電圧を確認してください。

本器の電源電圧は背面に表示してあります。

使用電圧範囲内で、電源周波数は必ず 50/60Hz の範囲でご使用ください。

背面の記号「～」は、交流 (AC) を表しています。

### 1.4.2 入力端子の最大許容電圧について



注意

入力端子に加える信号電圧には、次のような制限があります。

制限を超える電圧を加えると、故障や損傷する場合がありますので、この値以上の電圧を加えないでください。

表 1-1 | 入力端子の最大許容電圧

入力端子		最大許容電圧
GENLOCK/CW IN	GENLOCK	±5V (DC+ピーク AC)
	CW	1V rms (50Ω 終端時)
LTC/REMOTE	LTC	4Vp-p
	REMOTE	5V
L-SYNC		3.3V
GNSS IN (SER01)		3.3Vp-p

### 1.4.3 衝撃について

本器は精密な部品を使用していますので、落下などの強い衝撃が加えられた場合、故障の原因となることがあります。

### 1.4.4 静電気破壊について

電子部品は、静電気放電によって故障、損傷するおそれがあります。同軸ケーブルの芯線には、静電気が帯電している可能性があります。両端とも接続されていない同軸ケーブルを本器の入出力端子に接続する際は、一度、同軸ケーブルの芯線と外部導体をショートさせてください。

### 1.4.5 予熱について

より正確な動作を確保するため、使用の 30 分くらい前に電源を入れ、内部温度を安定させてください。

## 2 製品構成

### 2.1 本体

LT4670 本体の構成は以下のとおりです。

表 2-1 | 本体

型番	機種名	機能	端子	端子数
LT4670	SYNC GENERATOR	ゲンロック/CW 入力	BNC	2
		アナログブラック出力	BNC	6
		CW/1PPS 出力	BNC	1
		ワードクロック出力	DIN 1.0/2.3	1
		サイレンス出力	DIN 1.0/2.3	1
		AES/EBU 出力	DIN 1.0/2.3	1
		イーサネット	RJ-45	1
		LTC/リモート	D-Sub 26pin	1
		機器間同期 (L-SYNC)	D-Sub 15pin	1
		電源	電源	1

### 2.2 ハードウェアオプション

LT4670 には、以下のハードウェアオプションを追加できます。

ハードウェアオプションの追加は、弊社または弊社より委託されたサービスマンが行います。弊社またはお近くの営業所までお問い合わせください。

表 2-2 | ハードウェアオプション

型番	機種名	機能	追加される端子	端子数
LT4670-SER01	GNSS	GPS / GLONASS / GALILEO / BDS / QZSS 同期	BNC	1
LT4670-SER02 (*1)	SDI	3G-SDI / HD-SDI / SD-SDI 出力	BNC	2
LT4670-SER03	PTP	PTP	SFP/SFP+	2
LT4670-SER04 (*1)	25G-IP/12G-SDI TSG	25G-IP 出力	SFP+/SFP28	2
		12G-SDI / 3G-SDI / HD-SDI / SD-SDI 出力	Micro-BNC	4
LT4670-SER11	POWER UNIT	二重化電源	電源	1

\*1 LT4670-SER02 と LT4670-SER04 を同時に実装することはできません。

## 2.3 ソフトウェアオプション

LT4670 には、以下のソフトウェアオプションを追加できます。

ソフトウェアオプションを追加するときは、本体の MAC アドレスとシリアル番号を本社またはお近くの営業所までお知らせください。ライセンスキーを発行します。

ライセンスキーが発行されたら「SYSTEM CONFIG > LICENSE INFO. > LICENSE KEY INPUT」から追加してください。ライセンスキーは本体 1 台につき 1 つとなり、複数の本体に同じライセンスキーを入力することはできません。

表 2-3 | ソフトウェアオプション

型番	機種名	機能
LT4670-SER21	4K 3G-Quad Link	4K 3G-Quad Link 出力 (LT4670-SER02×2 が必要)

### MAC アドレス

MAC アドレスは「STATUS > CONFIG > SYSTEM > MAC ADDRESS」で確認できます。

```
[ M A C   A D D R E S S ]
0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0
```

### シリアル番号

シリアル番号は背面パネル、または「STATUS > CONFIG > SYSTEM > MAIN」で確認できます。上段の 7 桁の数字がシリアル番号を表しています。

```
[ M A I N : 0 0 / 0 0 0 0 0 0 0 ]
C 5 : 0 0 0 0 0 0 0 0   C 1 0 : 0 0 0 0 0 0 0 0
```

## 3 仕様

### 3.1 概要

LT4670 は、アナログビデオ同期信号やオーディオワードクロックを出力する 1U フルラックサイズの同期信号発生器です。ゲンロック機能により、入力信号に同期した運転が可能です。

ゲンロック機能は、入力したアナログビデオ同期信号に異常が発生した際に位相を保持するステイインシンク機能を搭載しています。また、電源オプションを追加することによって二重化した冗長運転を行うことができ、電源ユニットとファンは LT4670 本体の電源を停止せずに交換可能なため、信頼性の高いシステム構築が可能です。

独立 6 系統のアナログ同期信号出力、デジタルオーディオ出力、ワードクロック出力、LTC 入出力を標準で装備しています。また、GNSS 同期や PTP 同期、12G-SDI、3G-SDI(4K Quad)、HD-SDI、SD-SDI、25G-IP による任意パターン出力などのオプションを用意しており、様々なシステムに応じた最適な同期系の管理ができるように設計されています。

### 3.2 特長

#### 3.2.1 LT4670

##### ゲンロック機能

---

アナログビデオ同期信号である NTSC/PAL ブラックバースト信号、および HDTV 3 値同期信号を入力して、各出力信号を同期させることができます。

フィールドリファレンスパルス付き NTSC/PAL ブラックバースト信号、および 10 フィールド ID 付きの NTSC ブラックバースト信号にも対応しています。

また、標準で 10MHz CW ロックにも対応しています。

##### ステイインシンクとスローロック機能

---

ゲンロック入力に異常が発生した場合に備え、ステイインシンク機能を搭載しています。さらに、ステイインシンクから再度ゲンロックをさせる際に発生するショックを軽減するスローロック機能を搭載しており、きわめて安定な同期システムが実現できます。

##### アナログビデオ同期信号出力

---

アナログビデオ同期信号を 6 系統出力できます。それぞれの出力は独立して位相を可変できます。

フィールドリファレンスパルス付き NTSC/PAL ブラックバースト信号、および 10 フィールド ID 付きの NTSC ブラックバースト信号にも対応しています。

##### ワードクロック信号出力

---

ビデオ信号に同期した 48kHz のワードクロック信号を 1 系統出力できます。

##### AES/EBU 信号出力

---

ビデオ信号に同期したサンプリング周波数 48kHz の AES/EBU 信号を 1 系統出力できます。(AES/EBU 端子)

さらに、DARS に対応した AES/EBU 信号出力も 1 系統備えています。(SILENCE 端子)

### CW/1PPS 出力

---

CW/1PPS 出力は、10MHz CW または 1PPS を選択して出力できます。

### タイムコード入出力

---

タイムコードジェネレータは、内部時刻情報によるフリーランのほか、NTP サーバー、LTC、VITC、GNSS(SER01)、PTP(SER03)の時刻情報をもとに、LTC3 系統への出力、アナログビデオ同期信号出力の VITC への多重、SDI(SER02/SER04)出力の ATC(LTC/VITC)への多重ができます。

### LTC 入出力

---

LTC は、入力 1 系統に対して独立した 3 系統が出力できます。出力はフレームレート、基準時刻に対するオフセット時間をそれぞれ設定できます。

### リモート端子

---

プリセットの呼び出しや、2 系統のアラーム出力ができます。

### 機器間同期制御 (L-SYNC)

---

冗長系のシステムにて、同一のアナログビデオ同期信号で同期したメインとバックアップの装置間を L-SYNC で接続することによって、時刻を同期できます。

### リアルタイムクロック

---

リアルタイムクロックはバッテリーでバックアップしています。電源をオンオフしても日時を再設定する必要がありません。

### イーサネット

---

SNMP によるコントロールを行い、異常を検知したときに TRAP を発行します。また、HTTP による本器のコントロールができます。

NTP クライアントとして NTP サーバーに接続し、内部時計の時刻合わせや、NTP サーバーとしても使用できます。

### プリセットメモリー機能

---

プリセットを内部に最大 10 種類保存できます。運用に便利な登録済みのプリセットを呼び出し、いつも同じ設定で起動することもできます。

### 外部メモリー対応

---

パネルから USB メモリーを使用して、ログの保存やプリセットデータの書き込み、保存ができます。

### ログ記録機能

---

内部メモリーまたは外部メモリーに運用状態をロギングできます。

### ラストメモリー機能

---

電源を入れたときは前回電源を切ったときのパネル設定で起動します。

## 3.2.2 LT4670-SER01 (GNSS)

**GNSS 同期**

---

GNSS アンテナを接続することで、GPS、GLONASS、GALILEO、BDS、QZSS から得られる周波数と時刻にロックして各信号を生成し、出力できます。

GNSS 信号が無信号となったときに、出力信号の位相と周波数を保持するステイインシンク機能を備えています。

## 3.2.3 LT4670-SER02 (SDI)

**トリプルレート SDI 対応**

---

SDI 信号出力は、3G-SDI(レベル A、レベル B)、HD-SDI、および SD-SDI に対応しています。SDI 信号出力端子は独立 2 系統の出力を備えており、パターンや位相をそれぞれ設定できます。

また、SER02 を 2 つ搭載でき、最大で独立した 4 系統の SDI 信号を出力できます。さらに、4K オプション(SER21)を追加することによって、4K 3G-Quad Link に対応します。

**ユーザーパターン出力**

---

カラーバーなどの内蔵パターンに加えて、SD、HD(2K)のユーザーパターンを出力できます。

**ID キャラクターの重畳**

---

画面上任意の位置に ID キャラクターを重畳できます。さらにフリーズ状態の確認用として、横スクロールおよび点滅表示ができます。

**ロゴマークの重畳**

---

画面上任意の位置に、640(dot)×480(line)の VGA サイズで、24 ビットフルカラービットマップデータをロゴマークとして重畳できます。

**セーフティエリアマーカー**

---

画面上に 90%、80%のセーフティエリアマーカーを重畳できるほか、3G-SDI、HD-SDI では 4:3 アスペクトマーカーを重畳できます。

**パターンスクロール**

---

パターンを 8 方向にスクロールさせる機能を備えています。移動速度も可変できます。

**ムービングボックス**

---

画面上で移動する BOX を重畳できます。色、サイズおよび移動速度を可変できます。

**サークル**

---

画面上に 90%、80%、70%のサークルを重畳できます。輝度の切り換えおよび点滅表示ができます。

**タイムコード**

---

画面上任意の位置にタイムコードを重畳できます。文字サイズおよび輝度を変更できます。

### エンベデッドオーディオの重畳

---

16ch(4ch×4グループ)のエンベデッドオーディオを重畳できます。周波数やレベルなどは、チャンネルごとに設定できます。

### リップシンクパターン

---

映像と音声同期したリップシンクパターンを出力できます。弊社 LV5600 等、リップシンク測定機能を実装した波形モニターをご使用頂くことによって、SDI 信号伝送上の映像と音声のズレを測定できます。

## 3.2.4 LT4670-SER03 (PTP)

### PTP リーダー機能

---

IEEE1588-2008 で規定されている Precision Time Protocol に対応し、PTP グランドマスターとして動作します。プロファイルは SMPTE2059、AES67、General に対応しています。PTP の時刻源は内蔵時計や NTP サーバー、GNSS、VITC、LTC から取得します。

### PTP フォロワー機能

---

システム上に上位 PTP グランドマスターが存在する場合は、PTP フォロワーとして動作しながら、更の下位デバイスに対して PTP リーダーとして動作できます。

### 独立した 2 系統の PTP ポート

---

2 系統の PTP エンジンを搭載しているため、それぞれ独立したグランドマスターとして PTP のシステム構築ができます。

2 系統をフォロワーとして使用することも可能です。(リーダーの選択はユーザーによる任意選択または自動選択が可能)

また、1 系統をフォロワーとして使用し、もう 1 系統をリーダーとして使用することも可能です。

### 10GbE 対応

---

別売の 10GbE SFP+モジュールを使用できます。

### ローカル PTP 機能

---

アナログビデオ同期信号または HDTV 3 値同期信号にゲンロックした状態で、GNSS や NTP サーバー等の外部時刻源から時刻情報を取得し、ゲンロックした同期信号の位相情報に合うように時刻調整を行い、PTP の時刻を再配信できます。

### 3.2.5 LT4670-SER04 (25G-IP)

ここでは LT4670-SER04 (25G-IP/12G-SDI TSG) のうち、IP 機能について説明します。

#### IP 信号発生

---

IP のテストパターン信号を発生できます。

IP の伝送規格は SMPTE ST 2110-20/30/31/40 に対応し、映像信号は 2K、4K のテストパターンを発生できます。また、ST-2022-6 にも対応しています。

IP 信号は、帯域内であれば 1 ポートにつき 4 ストリームまでの出力が可能です。

(IP のテストパターンは、SDI 出力で設定したパターンを出力します)

#### ネットワーク同期

---

SMPTE ST 2059 の PTP (Precision Time Protocol) に同期して映像、音声のテスト信号を発生できません。

#### パケットエラー (将来対応)

---

テスト信号は、パケットロスやパケットエラーを発生できません。

#### パケットジッター (将来対応)

---

テスト信号は、パケットジッターを付加できません。

### 3.2.6 LT4670-SER04 (12G-SDI)

ここでは LT4670-SER04 (25G-IP/12G-SDI TSG) のうち、SDI 機能について説明します。

#### 12G-SDI 対応

---

SDI 信号出力は、12G-SDI、3G-SDI(レベル A、レベル B)、HD-SDI、および SD-SDI に対応しています。SDI 信号出力端子は独立 4 系統の出力を備えており、パターンや位相をそれぞれ設定できます。

#### 4K 内蔵パターン出力

---

内蔵パターンに加えて、以下のパターンが出力できます。

- ・ UHD Color Bar ARIB STD-B66-2
- ・ HLG CB ITU-R BT.2111 HLG narrow range
- ・ S-LOG3(Live HDR) Ver1.11 narrow range scale

#### ユーザーパターン出力

---

カラーバーなどの内蔵パターンに加えて、SD、HD(2K)、4K のユーザーパターンを出力できます。

#### ID キャラクターの重畳

---

画面上任意の位置に ID キャラクターを重畳できます。さらにフリーズ状態の確認用として、横スクロールおよび点滅表示ができます。

### ロゴマークの重畳

---

画面上任意の位置に、640(dot)×480(line)のVGAサイズで、24ビットフルカラービットマップデータをロゴマークとして重畳できます。

### セーフティエリアマーカー

---

画面上に90%、80%のセーフティエリアマーカーを重畳できるほか、12G-SDI、3G-SDI、HD-SDIでは4:3アスペクトマーカーを重畳できます。

### パターンスクロール

---

パターンを8方向にスクロールさせる機能を備えています。移動速度も可変できます。

### ムービングボックス

---

画面上で移動するBOXを重畳できます。色、サイズおよび移動速度を可変できます。

### サークル

---

画面上に90%、80%、70%のサークルを重畳できます。輝度の切り換えおよび点滅表示ができます。

### タイムコード

---

画面上任意の位置にタイムコードを重畳できます。文字サイズおよび輝度を変更できます。

### エンベデッドオーディオの重畳

---

16ch(4ch×4グループ)のエンベデッドオーディオを重畳できます。周波数やレベルなどは、チャンネルごとに設定できます。

### リップシンクパターン

---

映像と音声同期したリップシンクパターンを出力できます。弊社LV5600等、リップシンク測定機能を実装した波形モニターをご使用頂くことによって、SDI信号伝送上の映像と音声のズレを測定できます。

## 3.2.7 LT4670-SER11 (POWER UNIT)

### 電源の二重化

---

電源を二重化できます。

電源ユニット異常時は、本体パネル面にアラーム表示するほか、SNMPでもアラーム出力できます。

## 3.2.8 LT4670-SER21 (4K 3G-Quad Link)

### 4K 3G-Quad Link 対応

---

LT4670-SER02(SDI)オプションを2つ装備し、本オプションが有効なときに4K 3G-Quad Linkを出力できます。

### 4K 内蔵パターン出力

---

LT4670-SER02 の内蔵パターンに加えて、以下のパターンが出力できます。

- ・ UHD Color Bar ARIB STD-B66-2
- ・ HLG CB ITU-R BT.2111 HLG narrow range
- ・ S-LOG3(Live HDR) Ver1.11 narrow range scale

### ユーザーパターン出力

---

カラーバーなどの内蔵パターンに加えて、4K のユーザーパターンを出力できます。

### ID キャラクターの重畳

---

画面上任意の位置に ID キャラクターを重畳できます。さらにフリーズ状態の確認用として、横スクロールおよび点滅表示ができます。

### ロゴマークの重畳

---

画面上任意の位置に、640(dot)×480(line)の VGA サイズで、24 ビットフルカラービットマップデータをロゴマークとして重畳できます。

### セーフティエリアマーカー

---

画面上に 90%、80%のセーフティエリアマーカーを重畳できるほか、4:3 アスペクトマーカーを重畳できます。

### パターンスクロール

---

パターンを 8 方向にスクロールさせる機能を備えています。移動速度も可変できます。

### ムービングボックス

---

画面上で移動する BOX を重畳できます。色、サイズおよび移動速度を可変できます。

### サークル

---

画面上に 90%、80%、70%のサークルを重畳できます。輝度の切り換えおよび点滅表示ができます。

### タイムコード

---

画面上任意の位置にタイムコードを重畳できます。文字サイズおよび輝度を変更できます。

### エンベデッドオーディオの重畳

---

16ch(4ch×4 グループ)のエンベデッドオーディオを重畳できます。周波数やレベルなどは、チャンネルごとに設定できます。

### リップシンクパターン

---

映像と音声同期したリップシンクパターンを出力できます。弊社 LV5600 等、リップシンク測定機能を実装した波形モニターをご使用頂くことによって、SDI 信号伝送上の映像と音声のズレを測定できます。

## 3.3 規格

## 3.3.1 LT4670

## 一般仕様

型番	LT4670
機種名	SYNC GENERATOR
用途	アナログビデオ同期信号やオーディオワードクロックを出力する、1U フルラックサイズの同期信号発生器
環境条件	
動作温度範囲	0 - 40℃
動作湿度範囲	85%RH 以下 (ただし、結露しないこと)
性能保証温度範囲	10 - 35℃
使用環境	屋内
使用高度	2,000m まで
過電圧カテゴリ	II
汚染度	2
電源	
電圧	AC 100 - 240V
電圧変動	±10%
消費電力	150W max. (フルオプション搭載時)
寸法	482(W)×44(H)×400(D)mm (突起部分含まない)
質量	4.2 kg (オプション含まない) 5.4 kg (SER01、SER02×2、SER03、SER11 追加時) 5.4 kg (SER01、SER03、SER04、SER11 追加時)
付属品	電源コード AC コードクランプ 製品を安全にご使用いただくために
別売品	SFP トランシーバー (LC2141 / LC2142 / LC2148 / LC2149 / LC2151 / LC2152) GNSS アンテナ ファンユニット (LP2184) LTC ケーブル (LC2185)(LT4448 接続用) L-SYNC ケーブル (LC2186)

## 電源ユニット

本体への組み込み数	
標準	1
最大	2 (LT4670-SER11 組み込み時)
電源二重化	LT4670-SER11 組み込み時対応
交換方法	LT4670-SER11 組み込み時、本体の電源を切らずに交換が可能
アラーム	電源異常は LED と LCD で表示し、SNMP の Trap にて通知

## ファンユニット

---

ファン数	2 (前面 1、背面 1)
交換方法	パネルからファンを停止し、本体の電源を切らずに交換が可能
アラーム	ファン異常は LED と LCD で表示し、SNMP の Trap にて通知

## 対応規格

---

アナログビデオ同期信号	
NTSC ブラックバースト信号	SMPTE ST 170、SMPTE ST 318、SMPTE RP 154
PAL ブラックバースト信号	ITU-R BT 1700、EBU N14
HD 3 値同期信号	SMPTE ST 240、SMPTE ST 274、SMPTE ST 296
AES/EBU 信号	ANSI S4.40、AES3-2009、AES11-2009、SMPTE ST 276
LTC 信号	SMPTE 12M-1
位相管理	SMPTE ST 2059-1

## 入出力端子

---

ゲンロック入力端子	
コネクタ	BNC コネクタ 2 端子
入力信号	アナログコンポジット同期信号
HD 3 値同期信号	アナログコンポーネント同期信号
形式	ループスルー
入力インピーダンス	47k $\Omega$
最大入力電圧	$\pm 5V$ (DC+ピーク AC)
動作入力レベル範囲	$\pm 6dB$
外部ロックレンジ	$\pm 5ppm$
ジッター	1ns (ゲンロック時)
10MHz CW 入力端子	
コネクタ	BNC コネクタ 1 端子 (ゲンロック入力端子と併用)
入力インピーダンス	47k $\Omega$ (ループスルーへ 50 $\Omega$ 終端して使用)
入力信号レベル	0.5 - 1V rms (50 $\Omega$ 終端時)
入力信号周波数	10MHz
引込周波数範囲	$\pm 5ppm$
10MHz CW / 1PPS 出力端子	
コネクタ	BNC コネクタ 1 端子 (10MHz CW と 1PPS で併用)
出力振幅信号レベル	
10MHz CW	方形波で 2Vp-p $\pm 20\%$ (1V rms) 50 $\Omega$ 終端時
1PPS	4.8 $\pm 0.5V$ (無終端時、ハイレベル) 2.4 $\pm 0.25V$ (50 $\Omega$ 終端時、ハイレベル)
出カインピーダンス	50 $\Omega$ 不平衡
出力信号周波数	10MHz / 1PPS

### 3 仕様

LTC 入出力端子	
コネクター	D-sub 26pin (メス)
LTC	
入力数	1
入力インピーダンス	1k $\Omega$ (平衡)
	500 $\Omega$ (不平衡)
入力信号レベル	0.5 - 4Vp-p
出力数	3
出力インピーダンス	24 $\Omega$ 平衡
出力信号レベル	2Vp-p $\pm$ 10%
アナログビデオ同期信号出力端子	
コネクター	BNC コネクター6 端子 6 系統
出力信号	NTSC ブラックバースト信号、 PAL ブラックバースト信号、 HD 3 値同期信号
出力インピーダンス	75 $\Omega$
同期レベル	
NTSC	40 $\pm$ 1IRE
PAL	-300 $\pm$ 6mV
HD	$\pm$ 300 $\pm$ 6mV
ブランキング	0 $\pm$ 15mV
AES/EBU デジタルオーディオ出力端子	
コネクター	DIN 1.0 / 2.3 コネクター1 端子
出力振幅	1Vp-p $\pm$ 0.1V
出力インピーダンス	75 $\Omega$ 不平衡
AES/EBU サイレンス出力端子	
コネクター	DIN 1.0 / 2.3 コネクター1 端子
出力振幅	1Vp-p $\pm$ 0.1V
出力インピーダンス	75 $\Omega$ 不平衡
ワードクロック出力端子	
コネクター	DIN 1.0 / 2.3 コネクター1 端子
出力周波数	48kHz
出力振幅	5.0 $\pm$ 0.4V (無終端時、ハイレベル) 2.5 $\pm$ 0.2V (75 $\Omega$ 終端時、ハイレベル)

## 制御端子

---

### イーサネット端子

規格	IEEE 802.3
プロトコル	
SNMP v2c/v3	コマンド操作、ステータス取得、トラップの送信
HTTP	ブラウザによる監視、操作
NTP	内部時計の時刻合わせ、時刻配信
コネクタ	RJ-45
種類	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T (自動切り換え)

### USB 端子

規格	USB2.0
対応メディア	USB メモリーデバイス
対応フォーマット	FAT32
機能	プリセット、ロゴ、ID キャラクター、ユーザーパターンの読み込みとプリセットとログの保存、MIB ファイルの取得、ファームウェアのアップデート
コネクタ	USB Type A

### リモート端子

端子形状	D-sub 26pin (メス)
嵌合固定ねじ	インチねじ (No.4-40UNC)
端子数	1
制御信号	
プリセット呼び出し	LV-TTL レベル (LOW アクティブ)
アラーム出力	HC-CMOS レベル
入力電圧範囲 (プリセット呼び出し)	DC 0 - 5V 入力はすべて +3.3V にプルアップ (+5V での制御可能)
出力電圧範囲 (アラーム出力)	DC 0 - 5V
機能	プリセット呼び出し アラーム出力 (各種エラー発生時、ファン異常時、電源異常時)

### 機器間同期端子 (L-SYNC)

端子形状	D-sub 15pin (メス)
端子数	1
制御信号	LV-CMOS メイン側出力 6 系統 バックアップ側入力 6 系統
入力電圧範囲	DC 0 - 3.3V
機能	冗長時に 2 台間の時刻を同期

\* 基準信号のフォーマットが 23.98Hz のときは非対応です。

## 液晶表示器

---

文字数	24 文字×2 行
バックライト	オン / オフ

## ゲンロック機能

---

信号フォーマット	NTSC BB、NTSC BB+REF、NTSC BB+ID、NTSC BB+REF+ID、PAL BB、PAL BB+REF、525/59.94I、525/59.94P、625/50I、625/50P、1125/60P、1125/59.94P、1125/50P、1125/60I、1125/59.94I、1125/50I、1125/30P、1125/29.97P、1125/25P、1125/24P、1125/23.98P、1125/24PsF、1125/23.98PsF、750/60P、750/59.94P、750/50P、750/30P、750/29.97P、750/25P、750/24P、750/23.98P
タイミング可変 可変範囲 FINE	±100 (0.5ns 単位)
リファレンスソース 内部基準信号 外部基準信号	INTERNAL GENLOCK FMT-AUTO / GENLOCK FMT-MANUAL / 10MHz CW / GNSS (SER01) / PTP (SER03)
リカバリーモード AUTO	外部基準信号復活時、オートセッティングに従った再同期動作
MANUNAL	外部同期信号復活時、STAY IN SYNC 状態を保持
オートセッティング IMMEDIATE	外部同期信号復活時、リセット動作
FAST	外部同期信号復活時、すみやかに再同期動作
SLOW	外部同期信号復活時、ゆるやかに再同期動作
マニュアルセッティング IMMEDIATE	外部同期信号復活し、リファレンスリアジャスト操作後、リセット動作
FAST	外部同期信号復活し、リファレンスリアジャスト操作後、すみやかに再同期動作
SLOW	外部同期信号復活し、リファレンスリアジャスト操作後、ゆるやかに再同期動作
リファレンスリアジャスト	即時に再同期動作
ステイインシンク機能	外部基準信号に異常が発生したときに、異常となる直前の周波数(ビデオ位相)を保持 10MHz CW 入力時は 10MHz CW が途切れたときに直前の周波数を保持

### アナログビデオ同期信号出力

信号フォーマット	6 系統個別に設定可能 NTSC BB、NTSC BB+REF、NTSC BB+ID、 NTSC BB+REF+ID、NTSC BB+SETUP、 NTSC BB+S+REF、NTSC BB+S+ID、 NTSC BB+S+R+ID、PAL BB、PAL BB+REF、 525/59.94I、525/59.94P、625/50I、625/50P、 1125/60P、1125/59.94P、1125/50P、 1125/60I、1125/59.94I、1125/50I、 1125/30P、1125/29.97P、1125/25P、1125/24P、 1125/23.98P、1125/24PsF、1125/23.98PsF、 750/60P、750/59.94P、750/50P、 750/30P、750/29.97P、750/25P、750/24P、 750/23.98P
タイミング可変	6 系統個別に設定可能
可変範囲	
NTSC ブラックバースト信号	±5 フレーム
PAL ブラックバースト信号	±2 フレーム
HD 3 値同期信号	1 フレーム (フレーム全範囲)
可変単位	
NTSC/PAL ブラックバースト信号	0.0185 $\mu$ s 単位 (54MHz クロック単位)
HD 3 値同期信号	0.0135 $\mu$ s 単位 (74.25/1.001MHz クロック単位または 74.25MHz クロック単位)

### AES/EBU デジタルオーディオ出力

タイミング可変	
可変範囲	±1AES/EBU フレーム (±511)
可変単位	512fs (24.576MHz) 単位
サンプリング周波数	48kHz サンプル (ビデオ信号に同期)
分解能	20 ビット / 24 ビット
プリエンファシス	OFF / 50/15 /CCITT (CS ビットのみ切り換え)
周波数	SILENCE / 400Hz / 800Hz / 1kHz
レベル	-60 - 0dBFS (1dBFS 単位)
オーディオクリック	OFF / 1 / 2 / 4sec
リップシンク	SDI-1 と同期
サンプリングクロック精度	グレード 2 (±10ppm)

\* 周波数、レベル、オーディオクリックはチャンネルごとに設定できます。

### AES/EBU サイレンス出力

---

タイミング可変	
可変範囲	±1AES/EBU フレーム (±511)
可変単位	512fs (24.576MHz) 単位
サンプリング周波数	48kHz サンプル (ビデオ信号に同期)
分解能	20 ビット / 24 ビット
プリエンファシス	OFF
周波数	SILENCE
レベル	MUTE
サンプリングクロック精度	グレード 2 (±10ppm)

\* DARS に対応しています。

\* EQUAL TO AES/EBU がオンのとき、AES/EBU デジタルオーディオ信号と同じ信号を出力します。

### ワードクロック出力

---

タイミング可変	
可変範囲	±1AES/EBU フレーム (±511)
可変単位	512fs (24.576MHz) 単位

### タイムコード機能

---

基準時間	Internal / NTP / LTC / VITC / GNSS (SER01) / PTP (SER03)
フレームレート	30 / 29.97 / 25 / 24 / 23.98 Hz
ドロップフレームモード	オン / オフ
JAM SYNC	
適用設定	適用時刻をタイマー設定
ATC 設定	
LTC 挿入設定	オン / オフ
VITC 挿入設定	オン / オフ
ブラック設定	
VITC 挿入設定	オン / オフ
重畳ライン	
NTSC	10 - 20 (*1)
PAL	6 - 22 (*2)
AES/EBU 設定	
挿入設定	オン / オフ
LTC 設定	
出力設定	オン / オフ
うるう秒	
適用設定	適用日時をタイマー設定 (PTP (SER03) はタイマー設定に対応しない)
夏時間	
適用設定	適用日時をタイマー設定

\*1 ブラックフォーマットに REF が含まれるとき、10 ラインへの重畳はできません。

ブラックフォーマットに ID が含まれるとき、15 ラインへの重畳はできません。

\*2 ブラックフォーマットが PAL BB+REF のとき、7 ラインへの重畳はできません。

### プリセット機能

---

プリセット	パネル設定を保存
プリセット数	10
リコール方法	パネル、リモート端子、SNMP、ブラウザ
コピー方法	本器から USB メモリーにコピー、または USB メモリーから本器にコピー

\* ログデータや機器固有情報(IP アドレス、時刻等)は保存できません。

### ログ機能

---

保存項目	ゲンロックの状態変化、機器の操作、アラーム情報、アテンション情報
記録数	最大 1,000 件
コピー方法	本器から USB メモリーにコピー
表示	パネル、ブラウザ

## 3.3.2 LT4670-SER01 (GNSS)

### 入出力端子

---

GNSS 入力端子	
コネクタ	BNC コネクタ-1 端子
入カインピーダンス	50Ω
アンテナ、プリアンプ電力供給	
電圧	5V / 3.3V / OFF
電流	最大 50mA (過電流保護回路を内蔵)

### GNSS ロック

---

GNSS 受信部	
受信周波数	
GPS	1575.42MHz (L1)
GLONASS	1602 MHz + k×562.5kHz (L1OF) (k = -7, ..., 5, 6)
GALILEO	1575.42MHz (E1-B/C)
BDS	1561.098MHz (B1)
GPS+QZSS	1575.42MHz (L1)
ステータス	GNSS No Fix、ADJUST FREQ TO GNSS、ADJUST PHASE TO GNSS、TRACKING、LOCK、STAY、RECOVERY
ステイインシンク機能	GPS 信号、GLONASS 信号、GALILEO 信号、BDS 信号、GPS+QZSS 信号が途切れた際、直前の周波数と位相を保持

## 3.3.3 LT4670-SER02/SER04/SER21 (SDI)

ここでは、以下のオプションについて説明します。

- ・ LT4670-SER02 (SDI)
- ・ LT4670-SER04 (25G-IP/12G-SDI TSG) のうち、SDI 機能
- ・ LT4670-SER21 (4K 3G-Quad Link)

本体に追加されているオプションによって、対応する SDI フォーマットは以下のように異なります。それぞれ該当する項目を参照してください。

表 3-1 | SDI フォーマット

オプション	2K			4K	
	SD-SDI	HD-SDI	3G-SDI	3G-Quad Link	12G-SDI
SER02	●	●	●	-	-
SER02×2 + SER21	●	●	●	●	-
SER04	●	●	●	●	●

## 対応規格

SDI エンベデッドオーディオ

12G、3G、HD

SMPTE ST 299

SD

SMPTE ST 272

SDI ペイロード ID

SMPTE ST 352

## SDI フォーマットと規格

表 3-2 | HD、SD ビデオ信号フォーマットと規格

カラーシステム	量子化精度	イメージ	フレーム(フィールド)周波数/スキャンング	対応規格
YCbCr 4:2:2	10bit	1280×720	60/59.94/50/30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 292-1 SMPTE ST 296
			1920×1080	60/59.94/50/I
		30/29.97/25/24/23.98/P		SMPTE ST 274
		30/29.97/25/24/23.98/PsF		SMPTE ST 292-1 SMPTE RP 211
		720×487	59.94/I	SMPTE ST 259
		720×576	50/I	

3 仕様

表 3-3 | 3G-A ビデオ信号フォーマットと規格

カラーシステム	量子化精度	イメージ	フレーム(フィールド)周波数/スキャニング	対応規格
YCbCr 4:2:2	10bit	1920×1080	60/59.94/50/P	SMPTE ST 274
			60/59.94/50/I	SMPTE ST 425-1
	12bit	1920×1080	30/29.97/25/24/23.98/P	
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	
RGB 4:4:4	10bit	1280×720	60/59.94/50/30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 296
			60/59.94/50/I	SMPTE ST 425-1
		1920×1080	60/59.94/50/I	SMPTE ST 274
			30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-1
	12bit	1920×1080	30/29.97/25/24/23.98/PsF	
			60/59.94/50/I	
		1920×1080	60/59.94/50/I	
			30/29.97/25/24/23.98/P	

表 3-4 | 3G-B ビデオ信号フォーマットと規格

カラーシステム	量子化精度	イメージ	フレーム(フィールド)周波数/スキャニング	対応規格
YCbCr 4:2:2	10bit	1920×1080	60/59.94/50/P	SMPTE ST 274
			60/59.94/50/I	SMPTE ST 372
	12bit	1920×1080	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-1
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	
RGB 4:4:4	10bit	1920×1080	60/59.94/50/I	
			30/29.97/25/24/23.98/P	
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	
	12bit	1920×1080	60/59.94/50/I	
			30/29.97/25/24/23.98/P	
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	

表 3-5 | 3G-Quad Link ビデオ信号フォーマットと規格

分割伝送方式	カラーシステム	量子化精度	イメージ	フレーム周波数/スキャニング	対応規格
2 サンプル インターリーブ	YCbCr 4:2:2	10bit	3840×2160	60/59.94/50/P	SMPTE ST 425-5
			4096×2160	60/59.94/50/48/47.95/P	SMPTE ST 2036-1
		12bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-5
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 2036-1
	RGB 4:4:4	10bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-5
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 2036-1
		12bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 425-5
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 2036-1

表 3-6 | 12G ビデオ信号フォーマットと規格

分割伝送方式	カラーシステム	量子化精度	イメージ	フレーム周波数/スキヤニング	対応規格
2 サンプル インターリーブ	YCbCr 4:2:2	10bit	3840×2160	60/59.94/50/P	SMPTE ST 2082-10 SMPTE ST 2036-1
			4096×2160	60/59.94/50/48/47.95/P	SMPTE ST 2082-10 SMPTE ST 2048-1
		12bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 2082-10 SMPTE ST 2036-1
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 2082-10 SMPTE ST 2048-1
	RGB 4:4:4	10bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 2082-10 SMPTE ST 2036-1
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 2082-10 SMPTE ST 2048-1
		12bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 2082-10 SMPTE ST 2036-1
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 2082-10 SMPTE ST 2048-1

### 入出力端子

#### SDI 出力端子

SER02

BNC コネクター2 端子

SER04

Micro-BNC コネクター4 端子

出カインピーダンス

75Ω

出力振幅

800mVp-p±10%

出カリターンロス

5MHz - 1.485GHz

15dB 以上

1.485GHz - 2.97GHz

10dB 以上

2.97GHz - 6GHz

7dB 以上

6GHz - 12GHz

4dB 以上

オーバーシュート

10%未満

立ち上がり、立ち下り時間

12G

45ps 以下 (20 - 80%間)

3G

135ps 以下 (20 - 80%間)

HD

270ps 以下 (20 - 80%間)

SD

0.4ns 以上、1.5ns 以下 (20 - 80%間)

DC オフセット

0±0.5V

\* SER04 は、以下の Micro-BNC-BNC 変換ケーブルを使用したときの値を示しています。

品名 : ビデオ変換ケーブル  
 型番 : DM2.5HWSC002EA-BJ  
 ケーブル長 : 200 mm  
 メーカー : カナレ電気

## SDI ビデオ出力

SDI 信号	
ビットレート	
12G	11.880Gbps、11.880/1.001Gbps
3G	2.970Gbps、2.970/1.001Gbps
HD	1.485Gbps、1.485/1.001Gbps
SD	270Mbps
タイミング可変	
可変範囲	フレーム全範囲
可変単位	
V	ライン単位
H	クロック単位 (148.5MHz、148.5/1.001MHz、74.25MHz、74.25/1.001MHz、27MHz)
タイミング基準の選択	
SERIAL	SD、HD のみ、3G と 12G は SERIAL のみ
LEGACY	信号規格で定義されたタイミングで出力 従来の当社信号発生器と同じタイミングで出力
テストパターン	
12G、3G、HD	100%カラーバー、75%カラーバー、マルチフォーマットカラーバー (ARIB STD-B28、パターン 2 の部分を 100%白/75%白/+I から選択可)、チェックフィールド、フラットフィールド白 100%、白 50%、黒 0%、赤 100%、緑 100%、青 100%
SD	
525/59.94I	100%カラーバー、75%カラーバー、SMPTE カラーバー、チェックフィールド、フラットフィールド白 100%、白 50%、黒 0%、赤 100%、緑 100%、青 100%
625/50I	EBU カラーバー、BBC カラーバー、チェックフィールド、フラットフィールド白 100%、白 50%、黒 0%、赤 100%、緑 100%、青 100%
4K 追加パターン	
UHDColourBar	ARIB STD-B66-2 UHDTV MULTIFORMAT COLOR BAR
HLGCB	ARIB STD-B72 Color Bar Test Pattern for HLG HDR-TV System 勧告 ITU-R BT.2111 HLG
Slog3_LiveHDR_narrow_V11	S-Log3 (Live HDR) Ver.1.11 narrow range scale
ユーザーパターン表示	
ファイル形式	SD、HD、4K 各 INT 1 - 4 から 1 つを選択 24 ビットフルカラービットマップ形式 (.bmp)、 24/48 ビット TIFF 形式 (.tif) 非圧縮のみ
自動切り換え機能	
切り換え時間	選択可能なカラーバーパターンを自動で切り換え 1 - 255sec

### 3 仕様

#### パターンスクロール

方向	8 方向 (上下左右とその組み合わせ)
スピード範囲と単位	
インターレース	フィールド単位
V	±256 ライン (1 ライン単位)
H	±256 ドット (2 ドット単位)
プログレッシブ	フレーム単位
V	±256 ライン (1 または 2 ライン単位)
H	±256 ドット (2 または 4 ドット単位)

\* チェックフィールドパターン選択時は無効です。

#### セーフティエリアマーカー

12G、3G、HD	アクションセーフティエリア (90%) タイトルセーフティエリア (80%) 4:3 アスペクト (個別にオンオフ可)
SD	アクションセーフティエリア (90%) タイトルセーフティエリア (80%) (個別にオンオフ可)

\* チェックフィールドパターン選択時は無効です。

#### ID キャラクター

文字数	最大 20 文字
サイズ	32×32 / 64×64 / 128×128 / 256×256 dot
輝度	100% / 75% (背景は黒のみ)
表示位置	画面上任意の位置
表示位置可変範囲	
V	0 - 100% (1%単位)
H	0 - 100% (1%単位)
点滅表示 (*1)	オン / オフ
オン時間	1 - 9sec (1sec 単位)
オフ時間	1 - 9sec (1sec 単位)
スクロール機能 (*1)	
機能	ID キャラクターの背景を含めてスクロール
方向	2 方向 (左右)
スピード範囲と単位	
インターレース	フィールド単位
H	±256 ドット (2 ドット単位)
プログレッシブ	フレーム単位
H	±256 ドット (2 または 4 ドット単位)

\* チェックフィールドパターン選択時は無効です。

\*1 点滅表示とスクロール機能は同時に設定できます。

### 3 仕様

#### ロゴマーク

ロゴマークデータ	24ビットフルカラーデータ
最大サイズ	640(dot)×480(line) (VGA サイズ)
本体に保存可能なロゴマーク数	最大 4 種類
表示位置	画面上任意の位置
表示位置可変範囲	
V	0 - 100% (1%単位)
H	0 - 100% (1%単位)
ファイル形式	24ビットフルカラービットマップ形式 (.bmp)
ロゴマークデータ転送	USB メモリーからにデータを本体に転送

\* チェックフィールドパターン選択時は無効です。

#### コンポーネントオンオフ

機能	各コンポーネント独立で Y/G、Cb/B、Cr/R の成分ごとにオンオフ可
----	---------------------------------------

\* チェックフィールドパターン選択時は無効です。

#### ムービングボックス

ボックスカラー	白 / 黄色 / シアン / 緑 / 青 / 赤 / マゼンタ / 黒
スピード設定 V/H	LOW / MIDDLE / HIGH
サイズ設定 V/H	SIZE 1 - 5

\* チェックフィールドパターン選択時は無効です。

#### サークル

表示位置	解像度の 90% / 80% / 70%
輝度	100% / 75%
点滅表示	オン / オフ
オン時間	1 - 9sec (1sec 単位)
オフ時間	1 - 9sec (1sec 単位)

\* チェックフィールドパターン選択時は無効です。

#### タイムコード

サイズ	32×32 / 64×64 / 128×128 / 256×256 dot
輝度	100% / 75% (背景は黒のみ)
表示位置	画面上任意の位置
表示位置可変範囲	
V	0 - 100% (1%単位)
H	0 - 100% (1%単位)

\* チェックフィールドパターン選択時は無効です。

#### 映像の重畳

表示優先順位	テストパターン < サークル < ムービングボックス < セーフティエリアマーカー < ロゴマーク < ID キャラクター < タイムコード (表示順序の変更は不可)
同時表示	テストパターン、サークル、ムービングボックス、セーフティエリアマーカー、ロゴマーク、ID キャラクター、タイムコードの同時表示が可能



## 3.3.4 LT4670-SER03 (PTP)

**対応規格**

インターネットプロトコルバージョン	IPv4
PTP 規格	IEEE 1588 - 2008
対応プロファイル	SMPTE ST 2059 / AES67 / General

**入出力端子**

## SFP / SPF+端子

端子数	2
端子形状	SFP ゲージ
対応規格	MSA 準拠
対応モジュールと種類	
SFP トランシーバーRJ-45	1000Base-T
SFP+ トランシーバー光	10GBase-SR and 10GBase-SW

\* SFP / SFP+モジュールは別売品となります。

**リーダー機能**

制御可能リーダー数	2
通信モード	Multicast / Unicast / MIXED SMPTE / MIXED SMPTE without negotiation
ドメイン番号	0 - 127 (SMPTE ST 2059) 0 - 255 (AES67 / General)
アナウンスメッセージレート (*1)	0.125s 8Hz / 0.25s 4Hz / 0.5s 2Hz / 1s 1Hz / 2s 0.5Hz / 4s 0.25Hz / 8s 0.125Hz / 16s 0.0625Hz
シンクメッセージレート (*1)	0.0078s 128Hz / 0.015s 64Hz / 0.0312s 32Hz / 0.0625s 16Hz / 0.125s 8Hz / 0.25s 4Hz / 0.5s 2Hz / 1s 1Hz / 2s 0.5Hz / 4s 0.25Hz / 8s 0.125Hz / 16s 0.0625Hz
プライオリティ 1	0 - 255
プライオリティ 2	0 - 255
接続可能フォロワー数	1000 (シンクメッセージが 8Hz の場合の理論値)

\*1 メッセージレートはプロファイルによって設定範囲が異なります。

**フォロワー機能**

制御可能フォロワー数	2
通信モード	Multicast / Unicast / MIXED SMPTE / MIXED SMPTE without negotiation
ドメイン番号	0 - 127 (SMPTE ST 2059) 0 - 255 (AES67 / General)
ディレイメッセージレート	0.0078s 128Hz / 0.015s 64Hz / 0.0312s 32Hz / 0.0625s 16Hz / 0.125s 8Hz / 0.25s 4Hz / 0.5s 2Hz / 1s 1Hz / 2s 0.5Hz / 4s 0.25Hz / 8s 0.125Hz / 16s 0.0625Hz
アナウンスタイムアウトカウント	2 - 10

## 3.3.5 LT4670-SER04 (25G-IP)

ここではLT4670-SER04 (25G-IP/12G-SDI TSG) のうち、IP 機能について説明します。

#### 対応 IP 規格

IP フォーマット	SMPTE ST 2022-6 SMPTE ST 2110-20/21/30/31/40
同期方式	PTP (SMPTE ST 2059)

#### IP 対応フォーマット

表 3-7 | HD ビデオ信号フォーマットと規格 (\*1)

カラーシステム	量子化精度	イメージ	フレーム(フィールド)周波数/スキャニング	対応規格
YCbCr 4:2:2	10bit	1280×720	60/59.94/50/30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 292-1 SMPTE ST 296
		1920×1080	60/59.94/50/I	SMPTE ST 292-1
	30/29.97/25/24/23.98/P		SMPTE ST 274	
	30/29.97/25/24/23.98/PsF	SMPTE ST 292-1 SMPTE RP 211		

表 3-8 | 3G-A ビデオ信号フォーマットと規格 (\*1)

カラーシステム	量子化精度	イメージ	フレーム(フィールド)周波数/スキャニング	対応規格
YCbCr 4:2:2	10bit	1920×1080	60/59.94/50/P	SMPTE ST 274
	12bit	1920×1080	60/59.94/50/I	SMPTE ST 425-1
			30/29.97/25/24/23.98/P	
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	
RGB 4:4:4	10bit	1280×720	60/59.94/50/30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 296 SMPTE ST 425-1
			1920×1080	
		1920×1080	30/29.97/25/24/23.98/P	
			30/29.97/25/24/23.98/PsF	
	12bit	1920×1080	60/59.94/50/I	SMPTE ST 425-1
			1920×1080	
		1920×1080		
			1920×1080	

表 3-9 | 12G ビデオ信号フォーマットと規格 (\*1)

分割伝送方式	カラーシステム	量子化精度	イメージ	フレーム周波数/スキャニング	対応規格
2 サンプル インターリーブ	YCbCr 4:2:2	10bit	3840×2160	60/59.94/50/P	SMPTE ST 2082-10 SMPTE ST 2036-1
			4096×2160	60/59.94/50/48/47.95/P	SMPTE ST 2082-10 SMPTE ST 2048-1
		12bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 2082-10 SMPTE ST 2036-1
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 2082-10 SMPTE ST 2048-1
	RGB 4:4:4	10bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 2082-10 SMPTE ST 2036-1
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 2082-10 SMPTE ST 2048-1
		12bit	3840×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 2082-10 SMPTE ST 2036-1
			4096×2160	30/29.97/25/24/23.98/P	SMPTE ST 2082-10 SMPTE ST 2048-1

テストパターン

100%カラーバー、75%カラーバー、マルチフォーマットカラーバー (ARIB STD-B28、パターン 2 の部分を 100%白/75%白/+I から選択可)、ARIB STD-B66-2、HLGCB、S-LOG3、チェックフィールド、フラットフィールド白

ユーザーパターン

100%、白 50%、黒 0%、赤 100%、緑 100%、青 100%

音声信号

INT 1 - 4 から 1 つを選択

SMPTE ST 2110-30/31

SILENCE / 400Hz / 800Hz / 1kHz

\*1 ここに記載されていないフォーマットに設定することもできますが、出力は不定となります。

### 対応プロトコル

対応プロトコル

IPv4 (Internet Protocol version 4)

IGMPv2/v3 (Internet Group Management Protocol)

NMOS (IS-04/05)

### IP 出力端子

出力端子

SFP+ / SFP28

端子数

2 (\*1)

対応規格

10GBASE-SR / 10GBASE-LR / 25GBASE-SR /  
25GBASE-LR

ファイバー種別

マルチモード / シングルモード

\*1 2 つの出力端子は規格を合わせる必要があります。

### IP パケットエミュレート (将来対応)

機能	SMPTE ST 2110-20 のテスト信号にジッター、チェックサムエラーを付加
エラー	FCS ERROR / IP CS / UDP CS
ジッター	1 / 10 / 20 / 30 / 40 / 50 / 60 / 70 / 80 / 90 / 100 packet

- \* エラーおよびジッターはポート 1 からの出力に対して反映されます。
- \* 4K 出力時のジッターは、最大 20 packet になります。
- \* ジッターを持たせる時間は、出力信号のフォーマットによって変わります。
- \* ジッターを持たせる時間には、±10%の誤差があります。
- \* RTP のタイムスタンプは、パケット送出間隔の倍の遅延が発生します。

### 3.3.6 LT4670-SER11 (POWER UNIT)

電源二重化	対応
交換方法	本体の電源を切らずに交換が可能
アラーム	電源異常は LED と LCD で表示し、SNMP の Trap にて通知

### 3.3.7 SFP トランシーバー (別売品)

#### LC2148

品名	SFP+ MULTI-MODE
分類	クラス 1
出力レベル	-1dBm max.
波長	850nm
メーカー	GIGALIGHT TECHNOLOGY

#### LC2149

品名	SFP+ SINGLE-MODE
分類	クラス 1
出力レベル	+0.5dBm max.
波長	1310nm
メーカー	GIGALIGHT TECHNOLOGY

#### LC2151

品名	SFP28 MULTI-MODE
分類	クラス 1
出力レベル	+2.4dBm max.
波長	850nm
メーカー	GIGALIGHT TECHNOLOGY

#### LC2152

品名	SFP28 SINGLE-MODE
分類	クラス 1
出力レベル	+2.0dBm max.
波長	1310nm
メーカー	GIGALIGHT TECHNOLOGY

## 4 パネル面の説明

### 4.1 前面パネル

前面パネルの全体図と拡大図を以下に示します。

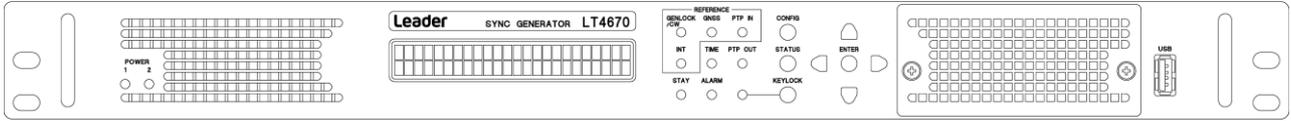


図 4-1 | 前面パネル (全体図)

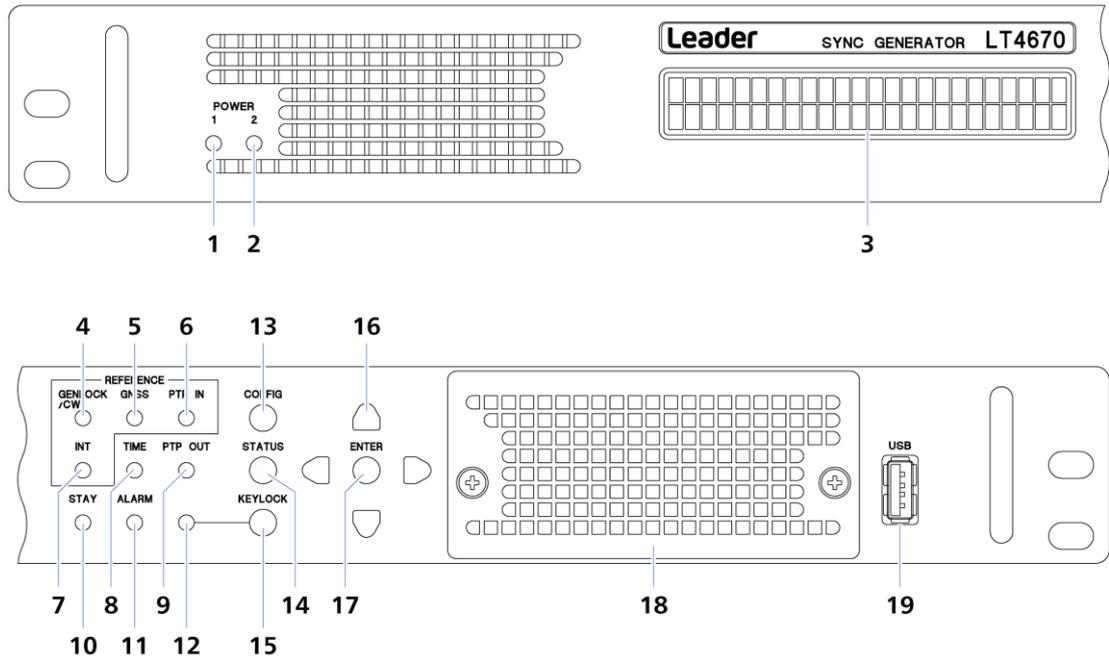


図 4-2 | 前面パネル (拡大図)

#### 1 POWER 1

POWER1 に電源が入っているときに、緑色で点灯します。

以下のときは、赤色で点灯します。

- ・ POWER1 のファンに異常が発生したとき
- ・ 電源が二重化されていて、POWER1 に異常が発生したとき
- ・ 電源が二重化されていて、POWER1 に電源が入っていないとき

【参照】 「5.2 電源の投入」

#### 2 POWER 2 (SER11)

POWER2 に電源が入っているときに、緑色で点灯します。

以下のときは、赤色で点灯します。

- ・ POWER2 のファンに異常が発生したとき
- ・ 電源が二重化されていて、POWER2 に異常が発生したとき
- ・ 電源が二重化されていて、POWER2 に電源が入っていないとき

【参照】 「5.2 電源の投入」

### 3 液晶パネル

各種情報を表示します。

### 4 GENLOCK/CW

基準信号が GENLOCK または CW でロックしているときに緑色で点灯します。

ロックするまでは橙色で点滅、ステイインシンク中は橙色で点灯します。

【参照】 「6.2.2 ゲンロックモード」「6.2.3 CW モード」

### 5 GNSS (SER01)

基準信号が GNSS でロックしているときに緑色で点灯します。

ロックするまでは橙色で点滅、ステイインシンク中は橙色で点灯します。

【参照】 「6.2.4 GNSS モード (SER01)」

### 6 PTP IN (SER03)

基準信号が PTP でロックしているときに緑色で点灯します。

ロックするまでは橙色で点滅、ステイインシンク中は橙色で点灯します。

【参照】 「6.2.5 PTP モード (SER03)」

### 7 INT

基準信号が INTERNAL のときに緑色で点灯します。

【参照】 「6.2.1 インターナルモード」

### 8 TIME

選択した TIME SOURCE から正常に時刻を取得できたときに緑色で点灯します。

時刻を取得していないときや、TIME SOURCE を変更したときは橙色で点灯します。

TIME SOURCE が LTC、LTC ST309、VITC、VITC ST309、NTP のときは、TIME SOURCE から定期的に取得した時刻と内部時刻が 1 秒以上ずれているときに、橙色で点滅します。

### 9 PTP OUT

PTP 出力が正常に動作しているときに緑色で点灯します。

【参照】 「6.3.6 PTP 信号の出力 (SER03)」

### 10 STAY

ステイインシンク中に橙色で点灯します。

【参照】 「6.2 信号の入力 (ゲンロック動作)」

### 11 ALARM

アラーム発生中に赤色で点灯します。

【参照】 「6.5 アラーム表示」

## 12 KEYLOCK

キーロック中に緑色で点灯します。

【参照】 「6.1.2 キーロックの設定」

## 13 CONFIG

CONFIG メニューを表示します。

トップメニューを切り換えたり、上の階層に戻ったりします。また、設定のキャンセルも行います。

【参照】 「6.1.3 メニュー操作」

## 14 STATUS

STATUS メニューを表示します。

トップメニューを切り換えたり、上の階層に戻ったりします。

【参照】 「6.1.3 メニュー操作」「16 STATUSメニュー」

## 15 KEYLOCK

長押しでキーロックをオンオフします。

【参照】 「6.1.2 キーロックの設定」

## 16 矢印キー

カーソルの移動や数値の設定に使用します。

【参照】 「6.1.3 メニュー操作」

## 17 ENTER

設定を確定したり、下の階層に入ったりします。

【参照】 「6.1.3 メニュー操作」

## 18 ファン (LP2184)

本体冷却用のファンです。定期的な交換が必要です。

【参照】 「19.2.2 前面ファンユニットの交換」

## 19 USB

USB 端子です。各種データの書き出しと読み込みをします。

【参照】 「6.1.1 USBメモリーの接続」

## 4.2 背面パネル

背面パネルの全体図と拡大図を以下に示します。

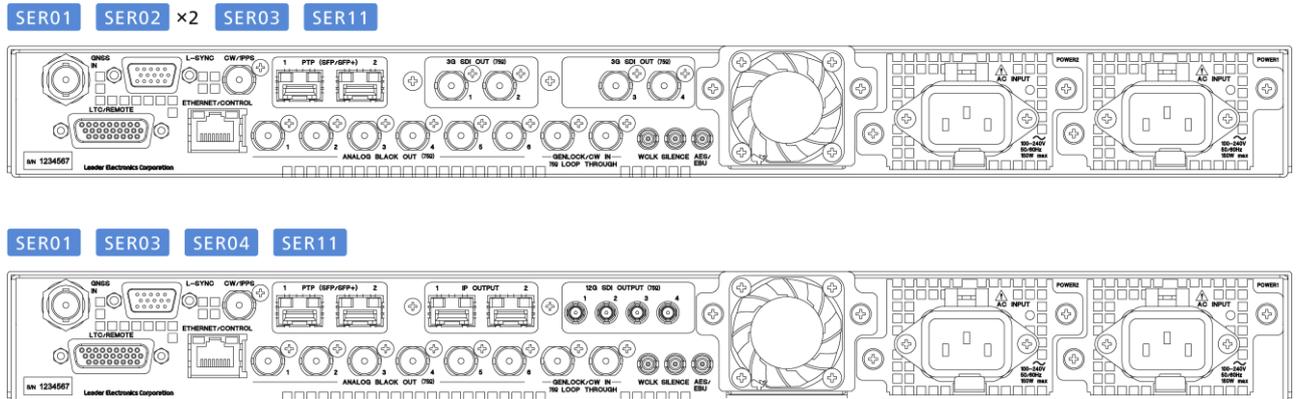


図 4-3 | 背面パネル (全体図)

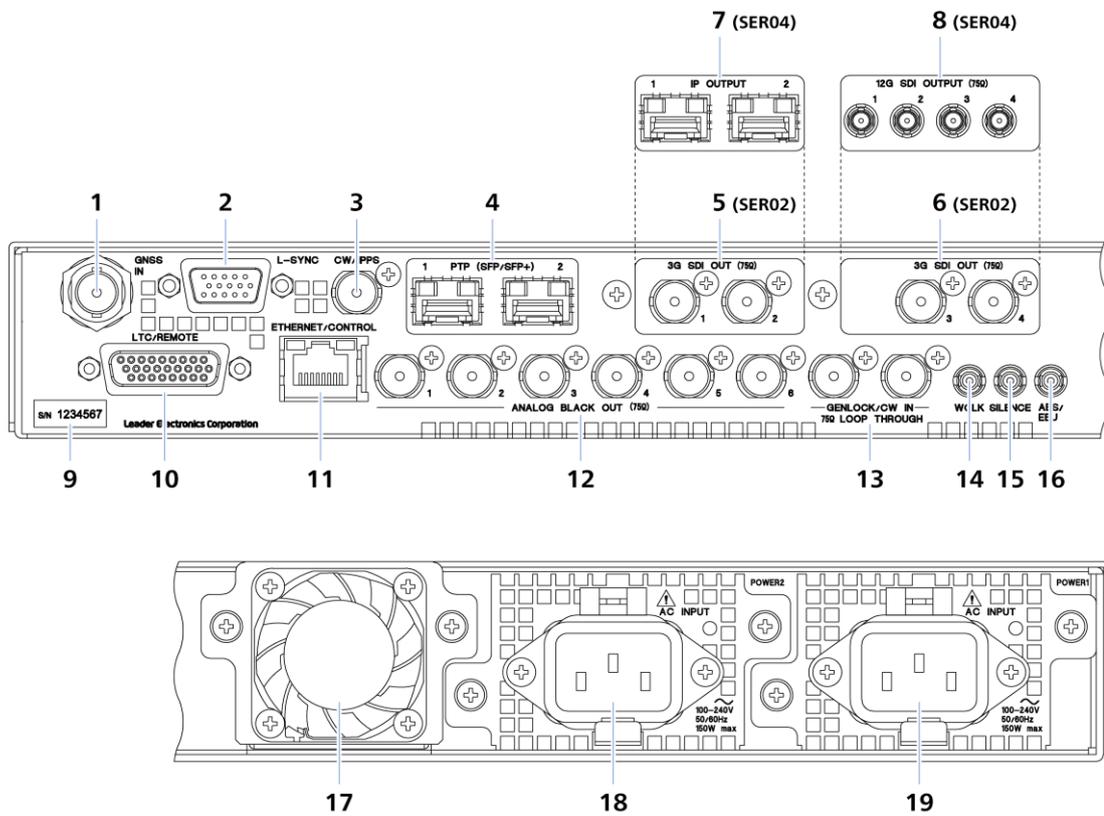


図 4-4 | 背面パネル (拡大図)

### 1 GNSS IN (SER01)

オプションのGNSS入力端子です。GPS、GLONASS、GALILEO、BDS、QZSSに対応しています。  
別売品にGNSSアンテナを用意しています。

【参照】 「6.2.4 GNSSモード (SER01)」 「15.5 GNSSの設定 (SER01)」

### 2 L-SYNC

2台のLT4670の時刻を同期するための制御端子です。  
別売品にL-SYNCケーブル(LC2186)を用意しています。

【参照】 「6.6 L-SYNC」

### 3 CW/1PPS

10MHz CW または 1PPS 出力端子です。

【参照】 「6.3.3 CW/1PPS信号の出力」 「11 CW/1PPS CONFIGメニュー」

### 4 SFP/SFP+ 1, 2 (SER03)

オプションのSFP/SFP+端子です。

以下に示す、別売品のSFPモジュールを挿入して使用します。

- ・ SFP RJ-45 (LC2141/LC2142)
- ・ SFP+ MULTI-MODE (LC2148)
- ・ SFP+ SINGLE-MODE (LC2149)

【参照】 「6.2.5 PTPモード (SER03)」 「13 PTP CONFIGメニュー (SER03)」 「15.6 PTPの設定 (SER03)」

### 5 3G SDI OUT 1, 2 (SER02)

### 6 3G SDI OUT 3, 4 (SER02)

オプションのSDI出力端子です。SD、HD、3G信号を出力します。

SER21を追加することで、4K 3G-Quad信号も出力できます。(SER02×2が必要)

【参照】 「6.3.4 SDI信号の出力 (SER02)」 「12 SDI CONFIGメニュー (SER02/SER04)」

### 7 IP OUTPUT (SER04)

オプションのSFP+/SFP28端子です。ST 2022-6、ST 2110に対応した信号を出力します。

以下に示す、別売品のSFPモジュールを挿入して使用します。

- ・ SFP+ MULTI-MODE (LC2148)
- ・ SFP+ SINGLE-MODE (LC2149)
- ・ SFP28 MULTI-MODE (LC2151)
- ・ SFP28 SINGLE-MODE (LC2152)

【参照】 「6.3.7 IP信号の出力 (SER04)」 「14 IP CONFIGメニュー (SER04)」 「15.7 IPの設定 (SER04)」

### 8 12G SDI OUTPUT (SER04)

オプションのSDI出力端子です。SD、HD、3G、12G信号を出力します。

【参照】 「6.3.5 SDI信号の出力 (SER04)」 「12 SDI CONFIGメニュー (SER02/SER04)」

## 9 シリアルシール

製造番号が印字されています。

## 10 LTC/REMOTE

タイムコードとリモートの入出力端子です。

LT4448 との接続用として、別売品に LTC ケーブル(LC2185)を用意しています。

【参照】 「6.4 LTC 信号の入出力とリモート制御」「10 LTC CONFIG メニュー」

## 11 ETHERNET/CONTROL

イーサネット端子です。

SNMP、HTTP、NTP に対応しています。

【参照】 「17 SNMP」「18 Web ブラウザー」

## 12 ANALOG BLACK OUT 1-6

アナログブラック出力端子です。

HD 3 値同期信号または NTSC/PAL ブラックバースト信号を出力します。

【参照】 「6.3.1 アナログブラック信号の出力」「8 BLACK CONFIG メニュー」

## 13 GENLOCK/CW IN

アナログ同期信号または 10MHz CW 入力端子です。ループスルーです。

アナログ同期信号は、HD 3 値同期信号または NTSC/PAL ブラックバースト信号を入力します。

【参照】 「6.2.2 ゲンロックモード」「6.2.3 CW モード」「7 REFERENCE CONFIG メニュー」

## 14 WCLK

48kHz ワードクロック出力端子です。

【参照】 「6.3.2 オーディオ信号の出力」「9.3 ワードクロック出力の設定」

## 15 SILENCE

DARS に対応した AES/EBU 出力端子です。

【参照】 「6.3.2 オーディオ信号の出力」「9.2 サイレンス出力の設定」

## 16 AES/EBU

AES/EBU 出力端子です。

【参照】 「6.3.2 オーディオ信号の出力」「9.1 AES/EBU 出力の設定」

## 17 ファン (LP2184)

本体冷却用のファンです。定期的な交換が必要です。

【参照】 「19.2.3 背面ファンユニットの交換」

### 18 POWER2 (SER11)

オプションの電源入力端子です。追加することで、二重化電源に対応します。  
定期的な交換が必要です。

前面パネルの POWER2 LED と連動して、LED が緑色または赤色で点灯します。

【参照】 「5.2 電源の投入」「19.2.1 電源ユニットの交換」

### 19 POWER1

電源入力端子です。定期的な交換が必要です。

前面パネルの POWER1 LED と連動して、LED が緑色または赤色で点灯します。

【参照】 「5.2 電源の投入」「19.2.1 電源ユニットの交換」

## 5 準備

### 5.1 設置

本器はラックに取り付けるか、台や棚などの上に置いて使用できます。

#### 5.1.1 ラックへの取り付け

本器をラックへ取り付けて使用する場合は、必ず本体部分を支える機構部品をご用意ください。前面パネルだけで取り付けると、筐体の変形や落下の危険があります。なお、本器は EIA 規格の 19 インチラックに対応しています。

以下に、推奨するスライドレールを示します。取り付けには、左右に 1 本ずつ必要です。

表 5-1 | 推奨スライドレール

型番	メーカー
KC-251-16	タキゲン
C203-16	日本アキュライド
C-203-16	摂津金属

#### スライドレールの取り付け

M4×10 のバインド小ネジを使用して、本体にスライドレールを取り付けます。

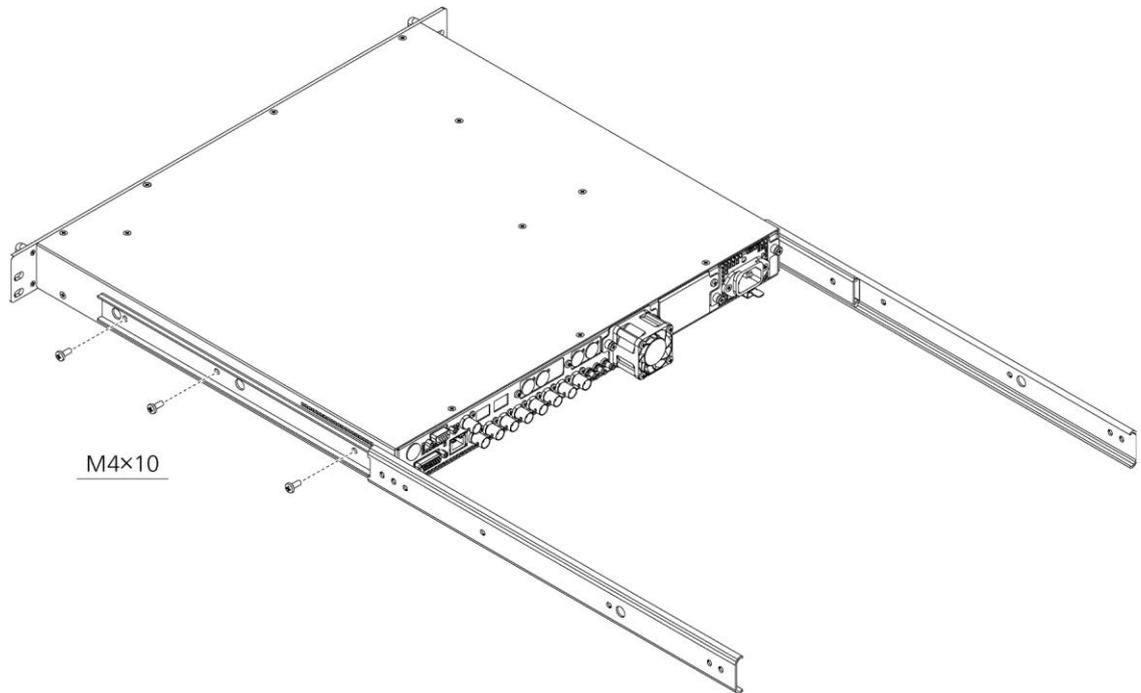


図 5-1 | スライドレールの取り付け

## ラックへの取り付け

本体をラックに差し込んでから、前面パネルをラックに固定します。  
ネジは M5、10-32UNF、12-24UNC のいずれかを使用してください。

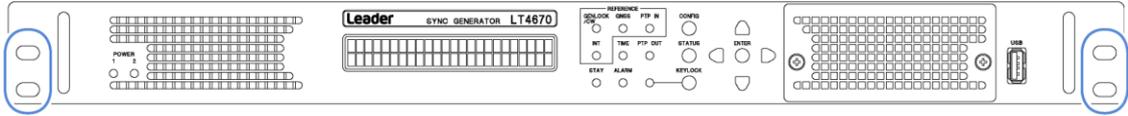


図 5-2 | ラックへの取り付け

### 5.1.2 ラックを使用しない設置

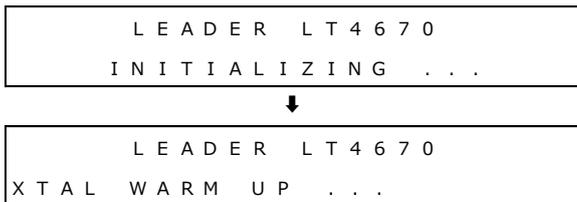
ラックを使用しないで設置する場合は、安全に据え付けられた台や棚の上に、水平に配置してください。  
落下等には十分に注意して使用してください。

## 5.2 電源の投入

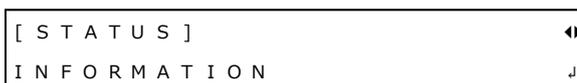
### 5.2.1 電源のオンオフ

本器に電源スイッチはありません。電源を入れるには、背面パネルの POWER1 に付属の電源コードを接続してください。

電源を入れると、以下の画面が表示されます。この間はキー操作ができません。



以下の画面が表示されたら起動完了です。



電源を入れると、前面パネルの POWER 1、および背面パネルの LED が緑色で点灯します。  
電源ユニットのファンに異常が発生すると、これらの LED は赤色に変わります。このときは異常が発生した電源を確認し、本社またはお近くの営業所までお問い合わせください。

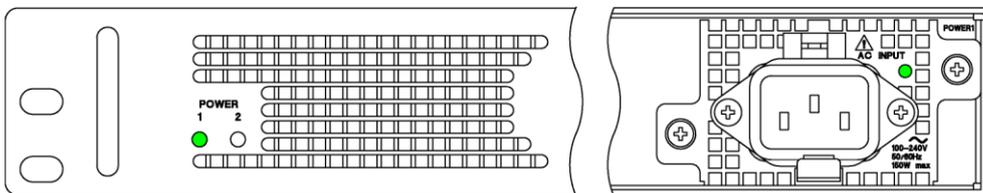


図 5-3 | POWER LED

電源を入れた直後の設定は、前回電源を切ったときの設定となります。

ただし、SYSTEM CONFIG メニューの POWER ON RECALL が OFF 以外のときは、指定したプリセットの設定で起動します。

【参照】「15.2.4 起動時の設定」

### 5.2.2 ACコードクランプの取り付け

電源コードが引っぱられて電源入力端子から抜けることを防ぐために、抜け防止用の AC コードクランプが付属されています。以下の手順で取り付けてください。

#### 1 ACコードクランプを LT4670 に取り付けます。

「カチッ」と音がするまで差し込みます。

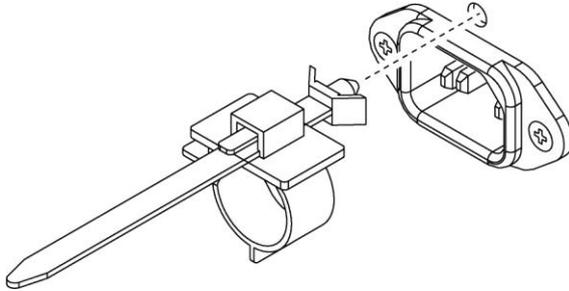


図 5-4 | ACコードクランプの取り付け 1

#### 2 電源ケーブルを接続します。

ACコードクランプの輪の中に電源ケーブルが入るようにします。

#### 3 ACコードクランプの輪の部分の位置を調整します。

以下の位置になるように、輪の部分を前後に動かします。

輪の部分を手前に引き出すには、レバーを上げてから動かしてください。

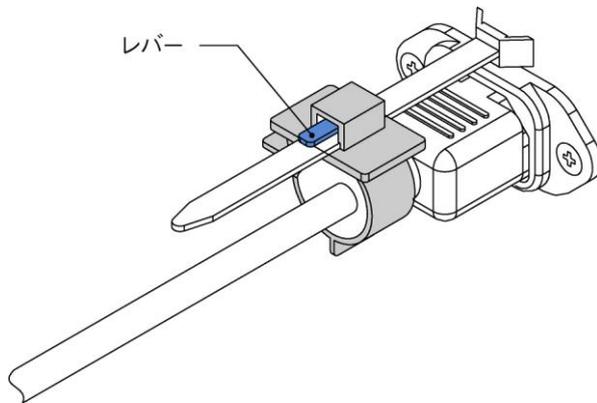


図 5-5 | ACコードクランプの取り付け 2

#### 4 ACコードクランプの輪の部分の大きさを調整します。

ツマミを回して、ツマミが止まる位置まで輪の部分締めます。  
輪の部分ゆるめるには、レバーを上げてから動かしてください。

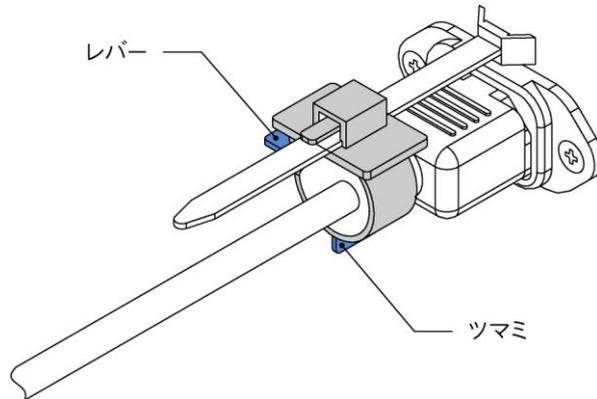


図 5-6 | ACコードクランプの取り付け 3

#### 5 電源コードを引っぱり、抜けないことを確認します。

##### 5.2.3 電源ユニットの追加 (SER11)

背面パネルの POWER2 にオプションの電源ユニット(SER11)を追加することで、二重化電源に対応できます。どちらか一方の電源が故障しても、もう片方の電源で継続して運転できるため、信頼性の高いシステムを構築できます。

電源ユニットは、電源を入れたまま追加できます。ここでは例として、POWER1 の電源を入れたまま POWER2 に電源ユニットを追加する手順を示します。

なお、電源ユニットの追加は、弊社または弊社より委託されたサービスマンが行います。本社またはお近くの営業所までお問い合わせください。

#### 1 POWER2 に新しい電源ユニットを差し込みます。

「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

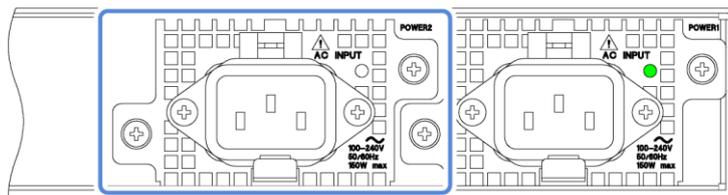


図 5-7 | 電源ユニットの追加 1

#### 2 ネジ 2 本を締めます。

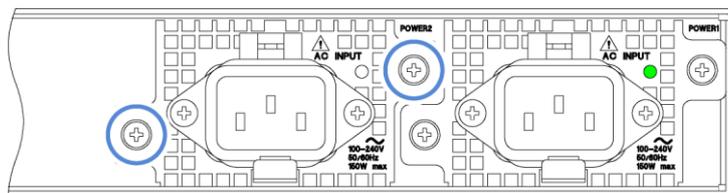


図 5-8 | 電源ユニットの追加 2

### 3 POWER2 に電源ケーブルを接続します。



警告

電源ユニットを装着してから電源ケーブルを接続してください。  
誤った手順で装着すると、感電のおそれがあります。

### 4 電源ユニットの LED が緑色で点灯することを確認します。

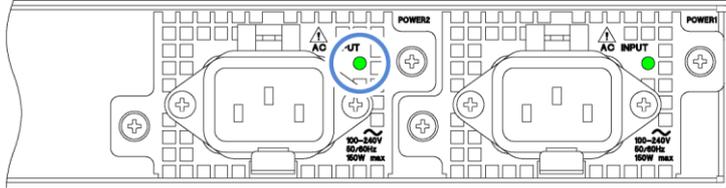


図 5-9 | 電源ユニットの追加 3

POWER1 と POWER2 に電源が入っていると、前面パネルの POWER が緑色で点灯します。通常はこの状態で製品を使用してください。

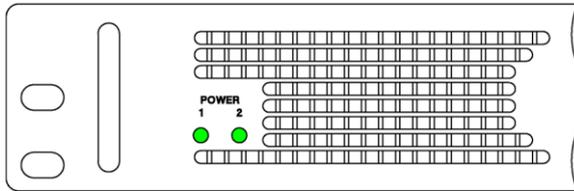


図 5-10 | POWER LED (正常運転時)

以下のときは前面パネルの POWER が赤色に変わり、アラームが表示されます。

- ・電源ユニットのファンに異常が発生したとき
- ・電源ユニットに異常が発生したとき
- ・どちらかの電源が入っていないとき

このときは異常が発生した電源を確認し、本社またはお近くの営業所までお問い合わせください。

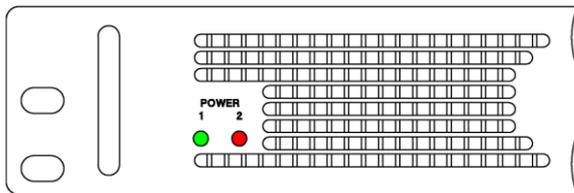


図 5-11 | POWER LED (異常発生時)

## 6 基本の動作

### 6.1 操作の基本

#### 6.1.1 USB メモリーの接続

各種データの書き出しや読み込みには、USB メモリーを使用します。

電源を入れたまま抜き差しできます。

SYSTEM CONFIG メニューの USB DEVICE が ENABLE の状態で使用してください。

```
1 . U S B   D E V I C E
   ■ E N A B L E   □ D I S A B L E
```

#### USB メモリーの接続

USB メモリーを接続すると、以下のメッセージが表示されます。

USB メモリーにアクセス中は、電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

なお、USB メモリーを正しく接続しても認識されない場合は、SYSTEM CONFIG メニューの USB DEVICE を一旦 DISABLE にしてから、再度 ENABLE に設定してください。

```
* U S B   S T O R A G E   D E V I C E *
*           I N S E R T           *
```

#### USB メモリーの取り外し

USB メモリーを取り外すと、以下のメッセージが表示されます。

```
* U S B   S T O R A G E   D E V I C E *
*           E J E C T           *
```

#### 6.1.2 キーロックの設定

誤ってキーが押されたときに設定が変更されないように、キーロックを設定できます。

#### キーロックの設定

以下のメッセージが表示されるまで KEYLOCK キーを長押ししてください。

キーロックが設定されて、LED が緑色で点灯します。

キーロック設定中はキーを押すと以下のメッセージが表示され、すべてのキー操作ができません。

```
*           K E Y   L O C K           *
P U S H   < K E Y L O C K >   3 S E C
```

#### キーロックの解除

以下のメッセージが表示されるまで KEYLOCK キーを長押ししてください。

キーロックが解除されて、LED が消灯します。

```
*           K E Y   L O C K           *
*   U N L O C K   S U C C E S S   *
```

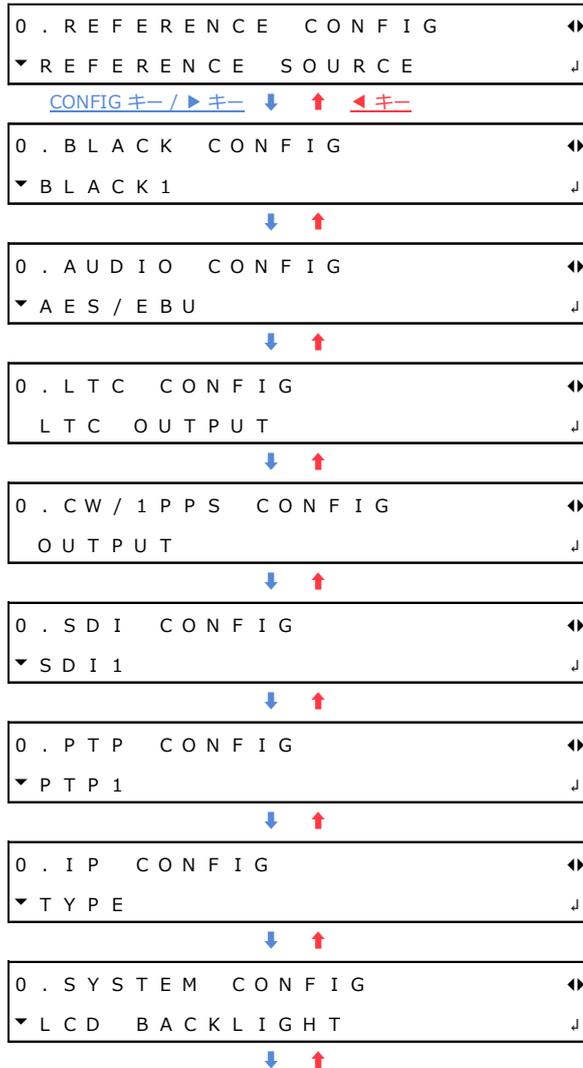
## 6.1.3 メニュー操作

メニューには大きく分けて CONFIG メニューと STATUS メニューの 2 種類があります。

## CONFIG メニュー

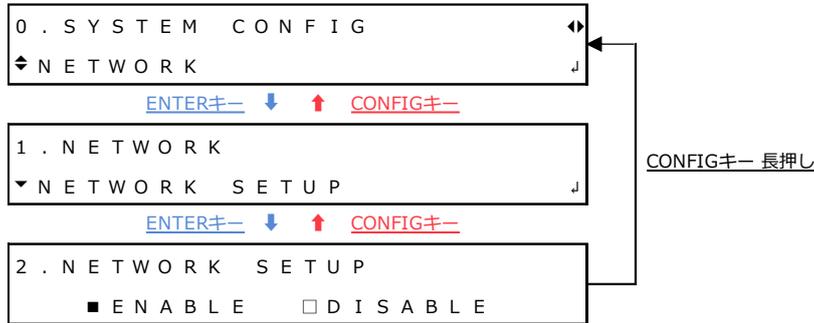
本器の設定を行うメニューで、CONFIG キーを押すと表示されます。

メニュー階層が 0 のときに CONFIG キーまたは▶キーを押すと、以下の順でメニューが切り換わりま  
す。◀キーを押すと、逆順で切り換わります。(オプションメニュー含む)



CONFIG メニューには、一部を除いて左上に番号が表示されます。これはメニューの階層を表し、番号が大きくなるほど階層が深くなります。

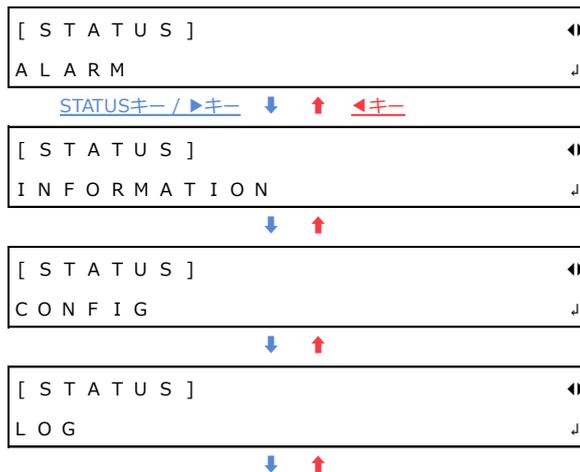
下の階層に入るには ENTER キー、上の階層に戻るには CONFIG キーを押します。また、メニュー階層が 0 以外のときに CONFIG キーを長押しすると、メニュー階層 0 に戻ります。



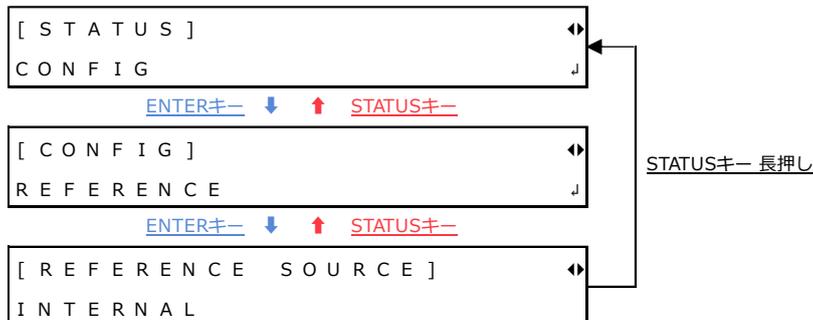
### STATUS メニュー

本器の状態を表示するメニューで、STATUS キーを押すと表示されます。

トップ階層のときに STATUS キーまたは ▶ キーを押すと、以下の順でメニューが切り換わります。◀ キーを押すと、逆順で切り換わります。



STATUS メニューに階層表記はありませんが、CONFIG メニュー同様、下の階層に入るには ENTER キー、上の階層に戻るには STATUS キーを押します。また、トップ階層以外のときに STATUS キーを長押しすると、トップ階層に戻ります。



### 数値の設定

数値の設定は、◀▶キーで桁を選択してから、▲▼キーで変更します。▲▼キーを押し続けると、数値の早送りができます。

一部を除いて数値の変更は即座に適用されますが、ENTER キーを押すまでは確定しません。

```
1 . GENLOCK TIMING FINE
FINE : 0
```

### 項目の選択

項目の選択は、◀▶キーで行います。

```
1 . LCD BACKLIGHT
■ ON   □ AUTO OFF □ OFF
```

項目が多い場合は、以下のような画面で選択します。現在設定されている項目には\*マークを表示します。

```
1 . REFERENCE SOURCE
◀ * GENLOCK FMT - AUTO
```

カーソル( )が表示される場合は、◀▶キーでカーソルを移動してから、▲キーでオン、▼キーでオフに設定します。

```
3 . SDI1 COMPONENT
■ Y / G   ■ C b / B   ■ C r / R
```

複数のメニューから1つの項目を選択する場合は、▲▼キーでメニューを選択してから、◀▶キーで項目を選択します。

```
4 . SDI1 COLOR BAR
▼ ▶ * 100 %

4 . SDI1 MONITOR
◆ ▶ FLAT FIELD 100 %

4 . SDI1 SDI
▲ CHECK FIELD
```

### 設定の確定とキャンセル

設定を確定するには、ENTER キーを押します。

設定を変更した後、ENTER キーを押さずに CONFIG キーを押すと、元の値に戻ります。

## 6.2 信号の入力 (ゲンロック動作)

基準信号を使用して同期を取ることをゲンロックと言い、ここでは5つのモード

インターナルモード:	基準信号に内部信号を使用するモード (出荷時設定)
ゲンロックモード:	基準信号に外部のアナログ同期信号を使用するモード
CW モード:	基準信号に外部の 10MHz CW 信号を使用するモード
GNSS モード (SER01):	基準信号に外部の GNSS 信号を使用するモード
PTP モード (SER03):	基準信号に外部の PTP 信号を使用するモード

の動作を、以下の流れに沿って説明します。

1. 設定
2. 基準信号を入力
3. ロック
4. 基準信号に異常発生
5. 基準信号が復帰
6. 再ロック

基準信号が復帰したときの動作は、REFERENCE CONFIG メニューの RECOVERY MODE によって異なります。RECOVERY MODE が AUTO のときは自動で再ロックしますが、MANUAL のときは再ロックしません。ここでは、自動で再ロックする AUTO のときの動作を説明します。

```
2 . RECOVERY MODE
  ■ AUTO   □ MANUAL
```

なお、ゲンロック動作の途中で「STATUS > INFORMATION > REF SRC」に「INT PLL」と表示される場合は、本体内部の水晶が故障しています。このときは本社またはお近くの営業所までお問い合わせください。

```
[ REF SRC ] GL - FMT - ( A )
INT PLL
```

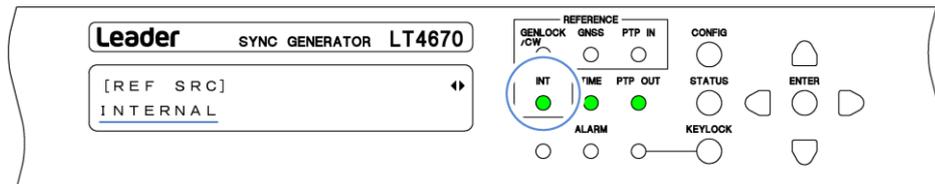
### 6.2.1 インターナルモード

#### 1. 設定

REFERENCE CONFIG メニューの REFERENCE SOURCE を INTERNAL にします。

```
1 . REFERENCE SOURCE
▶ * INTERNAL
```

「STATUS > INFORMATION > REF SRC」には「INTERNAL」と表示され、前面パネルの INT が緑色で点灯します。この状態で使用してください。



## 6.2.2 ゲンロックモード

## 1. 設定

REFERENCE CONFIG メニューの REFERENCE SOURCE を GENLOCK FMT-AUTO または GENLOCK FMT-MANUAL にします。

```
1 . REFERENCE SOURCE
◀ * GENLOCK FMT - AUTO
```

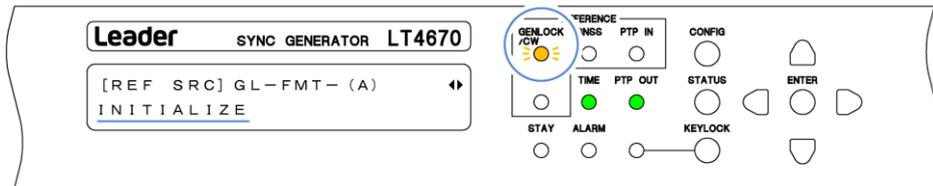
GENLOCK FMT-MANUAL にした場合は、基準信号のフォーマットを手動で設定します。

REFERENCE CONFIG メニューの GENLOCK FORMAT で基準信号のフォーマットを選択してください。

GENLOCK FMT-AUTO にした場合は、基準信号のフォーマットを本器が自動で識別するため、この設定は不要です。

```
1 . GENLOCK NTSC
▼ ▶ * NTSC BB
```

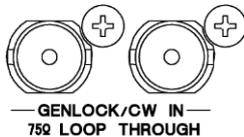
REFERENCE SOURCE を GENLOCK にすると、前面パネルの GENLOCK/CW が橙色で点滅し、「STATUS > INFORMATION > REF SRC」には「INITIALIZE」と表示されます。以後、この画面を使用して説明します。



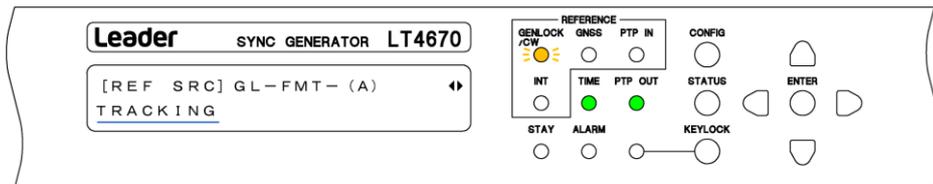
## 2. 基準信号を入力

背面パネルの GENLOCK/CW IN に HD 3 値同期信号または NTSC/PAL ブラックバースト信号を入力します。以下のいずれかの方法で入力してください。

- ・一方に入力し、他方を 75Ω 終端
- ・一方に入力、他方を他の機器に接続し、他の機器の末端で 75Ω 終端

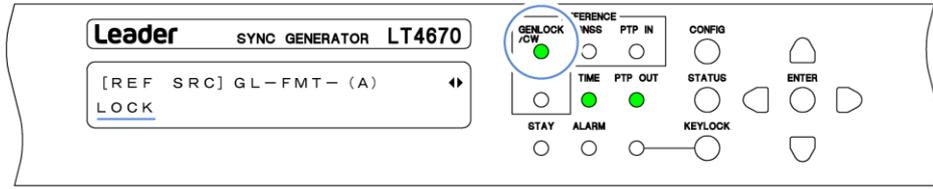


信号を入力すると、メッセージが「TRACKING」に変わり、基準信号を引き込みます。このままお待ちください。



### 3. ロック

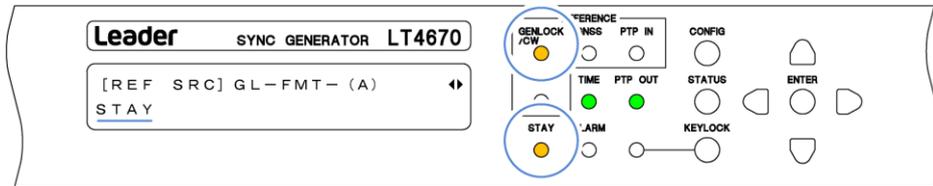
基準信号にロックすると、前面パネルの GENLOCK/CW が緑色で点灯し、メッセージが「LOCK」に変わります。この状態で使用してください。



### 4. 基準信号に異常発生

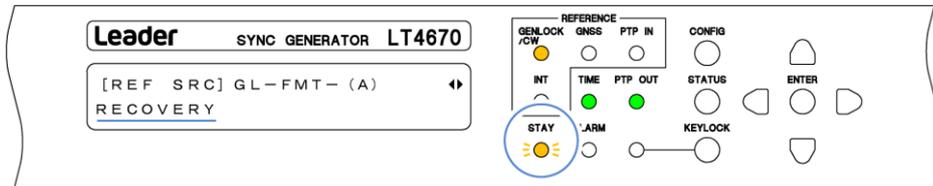
基準信号に異常が発生すると、異常となる直前の周波数を保持します。(ステイインシンク機能)

ステイインシンク中は前面パネルの GENLOCK/CW と STAY が橙色で点灯し、メッセージが「STAY」に変わります。このときは基準信号を確認してください。



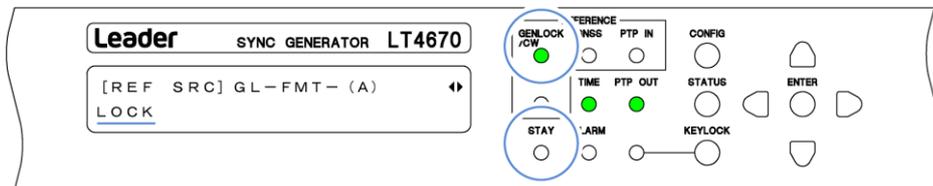
### 5. 基準信号が復帰

基準信号が復帰すると、前面パネルの STAY が橙色で点滅し、メッセージが「RECOVERY」に変わります。このままお待ちください。



### 6. 再ロック

基準信号に再ロックすると、前面パネルの GENLOCK/CW が緑色で点灯し、STAY は消灯します。また、メッセージは「LOCK」に変わります。この状態で使用してください。



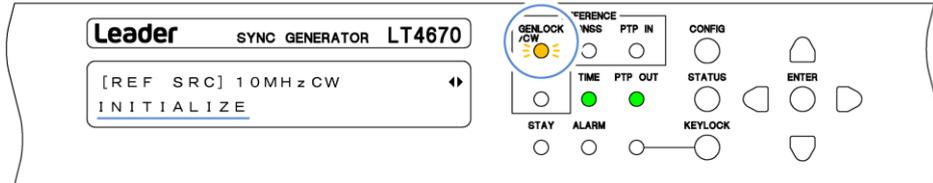
## 6.2.3 CW モード

## 1. 設定

REFERENCE CONFIG メニューの REFERENCE SOURCE を 10MHz CW にします。

```
1 . REFERENCE SOURCE
◀ * 1 0 M H z   C W
```

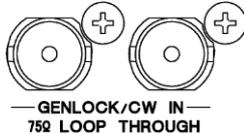
REFERENCE SOURCE を 10MHz CW にすると、前面パネルの GENLOCK/CW が橙色で点滅し、「STATUS > INFORMATION > REF SRC」には「INITIALIZE」と表示されます。以後、この画面を使用して説明します。



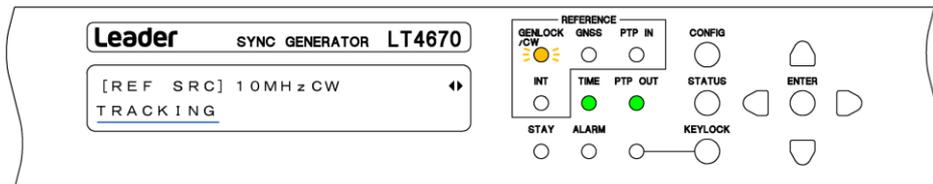
## 2. 基準信号を入力

背面パネルの GENLOCK/CW IN に 10MHz CW 信号を入力します。以下のいずれかの方法で入力してください。

- 一方に入力し、他方を 75Ω 終端
- 一方に入力、他方を他の機器に接続し、他の機器の末端で 75Ω 終端

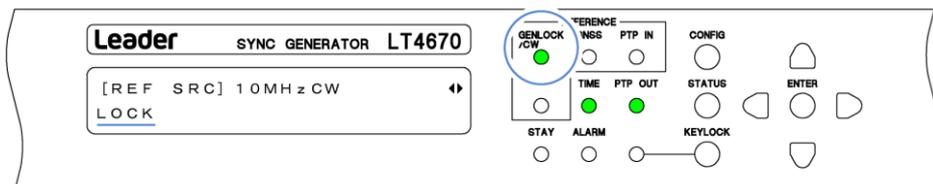


信号を入力すると、メッセージが「TRACKING」に変わり、基準信号を引き込みます。このままお待ちください。



## 3. ロック

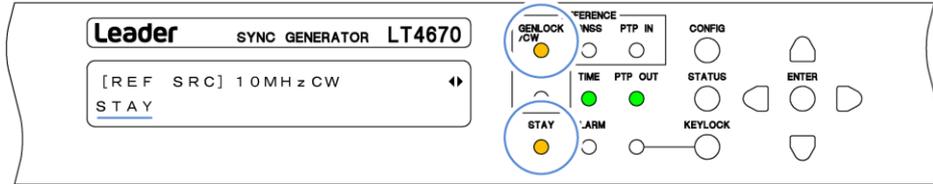
基準信号にロックすると、前面パネルの GENLOCK/CW が緑色で点灯し、メッセージが「LOCK」に変わります。この状態で使用してください。



#### 4. 基準信号に異常発生

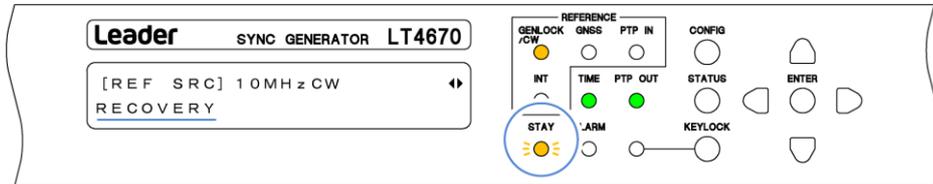
基準信号に異常が発生すると、異常となる直前の周波数を保持します。(ステイインシンク機能)

ステイインシンク中は前面パネルの GENLOCK/CW と STAY が橙色で点灯し、メッセージが「STAY」に変わります。このときは基準信号を確認してください。



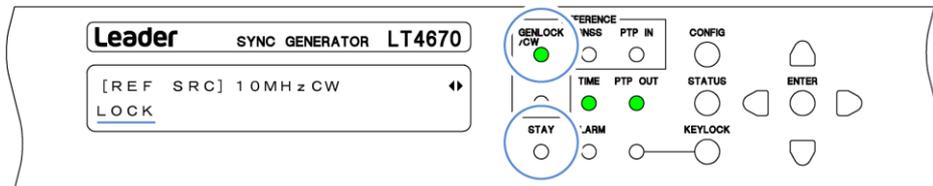
#### 5. 基準信号が復帰

基準信号が復帰すると、前面パネルの STAY が橙色で点滅し、メッセージが「RECOVERY」に変わります。このままお待ちください。



#### 6. 再ロック

基準信号に再ロックすると、前面パネルの GENLOCK/CW が緑色で点灯し、STAY は消灯します。また、メッセージは「LOCK」に変わります。この状態で使用してください。



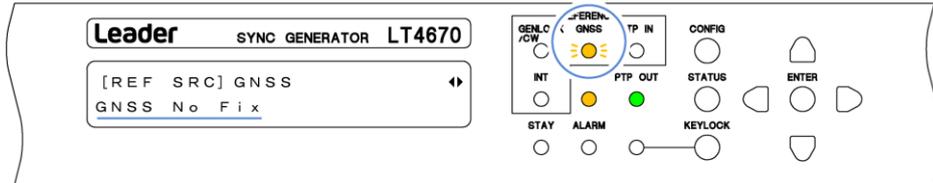
## 6.2.4 GNSS モード (SER01)

## 1. 設定

REFERENCE CONFIG メニューの REFERENCE SOURCE を GNSS にします。

```
1 . REFERENCE SOURCE
◀ * GNSS
```

REFERENCE SOURCE を GNSS にすると、前面パネルの GNSS が橙色で点滅し、「STATUS > INFORMATION > REF SRC」には「GNSS No Fix」と表示されます。以後、この画面を使用して説明します。

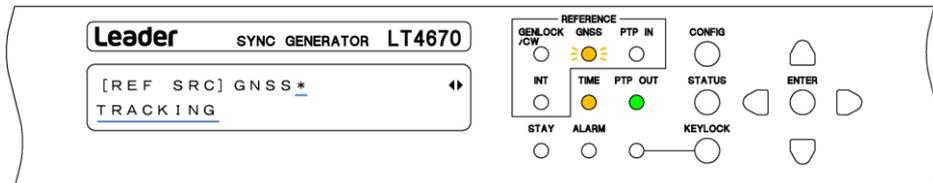


## 2. 基準信号を入力

背面パネルの GNSS IN に GNSS 信号を入力します。

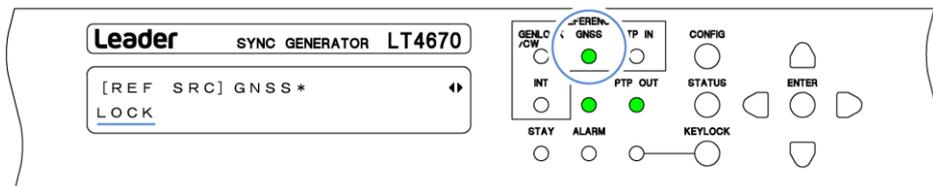


信号を入力すると、「GNSS」の後に「\*」が付きます。また、メッセージが「ADJUST FREQ TO GNSS」>「ADJUST PHASE TO GNSS」>「TRACKING」の順に変わり、基準信号を引き込みます。このままお待ちください。



## 3. ロック

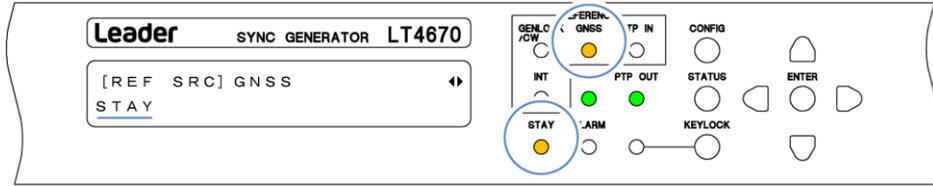
基準信号にロックすると、前面パネルの GNSS が緑色で点灯し、メッセージが「LOCK」に変わります。この状態で使用してください。



#### 4. 基準信号に異常発生

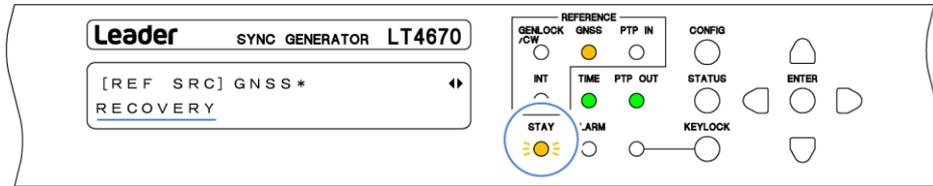
基準信号に異常が発生すると、異常となる直前の周波数を保持します。(ステイインシンク機能)

ステイインシンク中は前面パネルの GNSS と STAY が橙色で点灯し、メッセージが「STAY」に変わります。このときは基準信号を確認してください。



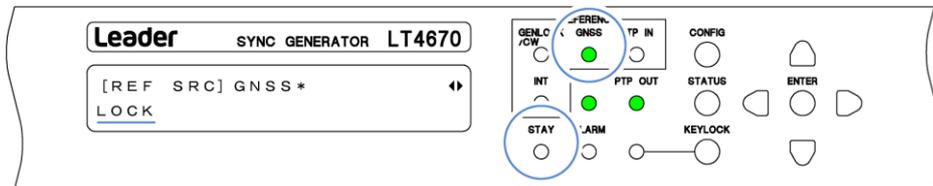
#### 5. 基準信号が復帰

基準信号が復帰すると、前面パネルの STAY が橙色で点滅し、メッセージが「RECOVERY」に変わります。このままお待ちください。



#### 6. 再ロック

基準信号に再ロックすると、前面パネルの GNSS が緑色で点灯し、STAY は消灯します。また、メッセージは「LOCK」に変わります。この状態で使用してください。



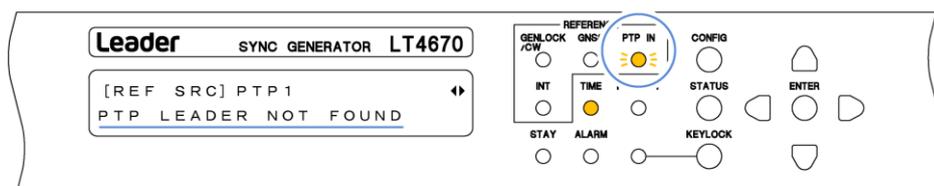
## 6.2.5 PTP モード (SER03)

## 1. 設定

REFERENCE CONFIG メニューの REFERENCE SOURCE を PTP1、PTP2、PTP1/2 のいずれかにします。ここでは例として、PTP1 にします。

```
1 . REFERENCE SOURCE
◀ * P T P 1
```

REFERENCE SOURCE を PTP にすると、前面パネルの PTP IN が橙色で点滅し、「STATUS > INFORMATION > REF SRC」には「PTP FOLLOWER AGING」 > 「PTP LEADER NOT FOUND」と表示されます。以後、この画面を使用して説明します。

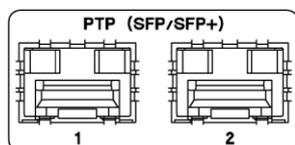


## 2. 基準信号を入力

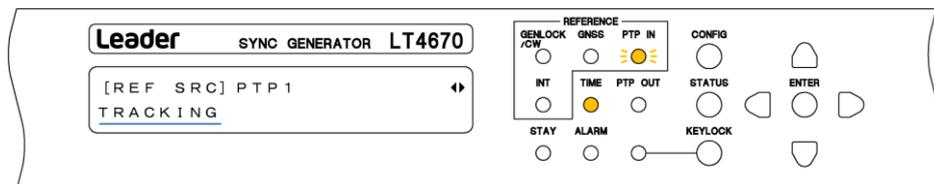
背面パネルの PTP に PTP 信号を入力します。

以下に示す、別売品の SFP または SFP+モジュールを取り付けて使用してください。SFP/SFP+モジュールは、電源を入れたまま抜き差しできます。

- SFP RJ-45 (LC2141/LC2142)
- SFP+ MULTI-MODE (LC2148)
- SFP+ SINGLE-MODE (LC2149)



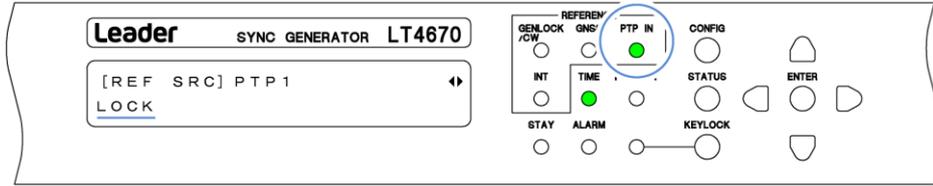
信号を入力すると、メッセージが「PTP ADJUST FREQ」 > 「PTP ADJUST PHASE」 > 「TRACKING」の順に変わり、基準信号を引き込みます。このままお待ちください。



### 3. ロック

基準信号にロックすると、前面パネルの PTP IN が緑色で点灯し、メッセージが「LOCK」に変わります。この状態で使用してください。

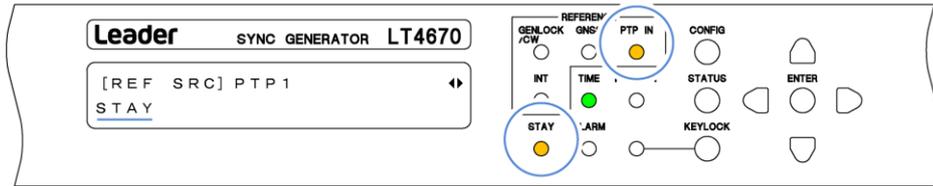
なお、REFERENCE SOURCE が PTP1/2 のとき、基準信号となる信号は本器が自動で選択します。基準信号には「LOCK」、もう一方には「PASSIVE」が表示されます。



### 4. 基準信号に異常発生

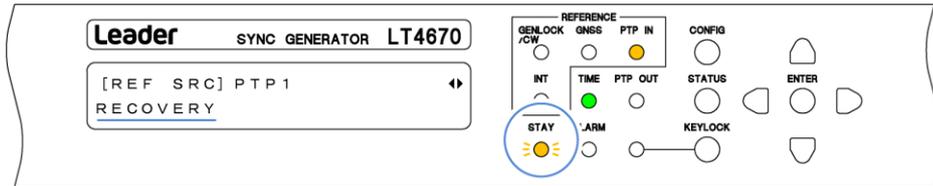
基準信号に異常が発生すると、異常となる直前の周波数を保持します。(ステイインシンク機能)

ステイインシンク中は前面パネルの PTP IN と STAY が橙色で点灯し、メッセージが「STAY」に変わります。このときは基準信号を確認してください。



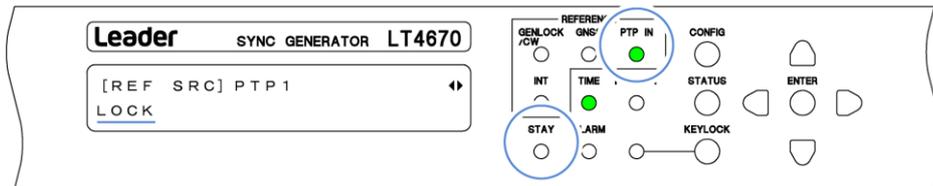
### 5. 基準信号が復帰

基準信号が復帰すると、前面パネルの STAY が橙色で点滅し、メッセージが「PTP ADJUST FREQ」>「PTP ADJUST PHASE」>「RECOVERY」の順に変わります。このままお待ちください。



### 6. 再ロック

基準信号に再ロックすると、前面パネルの PTP IN が緑色で点灯し、STAY は消灯します。また、メッセージは「LOCK」に変わります。この状態で使用してください。



REFERENCE SOURCE が PTP1/2 のとき、前面パネル PTP IN の LED は、PTP1 の状態と PTP2 の状態を組み合わせ、以下のように表示します。

表 6-1 | PTP IN LED

		PTP1		
		・LOCK ・PASSIVE	・STAY ・PTP ADJUST FREQ (復帰時) ・PTP ADJUST PHASE (復帰時) ・RECOVERY	・PTP FOLLOWER AGING ・PTP LEADER NOT FOUND ・PTP ADJUST FREQ (ロック時) ・PTP ADJUST PHASE (ロック時) ・TRACKING
PTP2	・LOCK ・PASSIVE	緑点灯 ●	橙点灯 ●	橙点滅 ⦿
	・STAY ・PTP ADJUST FREQ (復帰時) ・PTP ADJUST PHASE (復帰時) ・RECOVERY	橙点灯 ●	橙点灯 ●	橙点滅 ⦿
	・PTP FOLLOWER AGING ・PTP LEADER NOT FOUND ・PTP ADJUST FREQ (ロック時) ・PTP ADJUST PHASE (ロック時) ・TRACKING	橙点滅 ⦿	橙点滅 ⦿	橙点滅 ⦿

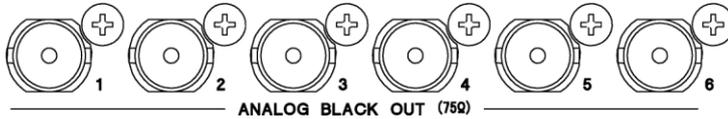
## 6.3 信号の出力

### 6.3.1 アナログブラック信号の出力

背面パネルの ANALOG BLACK OUT 1 - 6 からは、基準信号に同期した 6 系統のアナログブラック信号を出力します。

アナログブラック信号の設定は、BLACK CONFIG メニューで行います。

【参照】「8 BLACK CONFIG メニュー」



### 6.3.2 オーディオ信号の出力

背面パネルの AES/EBU からは基準信号に同期した 1 系統の AES/EBU 信号、SILENCE からは基準信号に同期した 1 系統のサイレンス(DARS)信号、WCLK からは基準信号に同期した 1 系統のワードクロック信号をそれぞれ出力します。DIN ケーブルを使用してください。

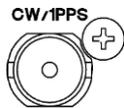
オーディオ信号の設定は、AUDIO CONFIG メニューで行います。

【参照】「9 AUDIO CONFIG メニュー」



### 6.3.3 CW/1PPS 信号の出力

背面パネルの CW/1PPS からは、基準信号に同期した 1 系統の 10MHz CW 信号または 1PPS 信号を出力します。



出力信号の種類は、CW/1PPS CONFIG メニューの CW/1PPS OUTPUT で選択します。

【参照】「11 CW/1PPS CONFIG メニュー」



### 6.3.4 SDI 信号の出力 (SER02)

背面パネルの 3G SDI OUT 1 - 4 からは、基準信号に同期した 4 系統の SDI 信号を出力します。

SDI 信号の設定は、SDI CONFIG メニューで行います。

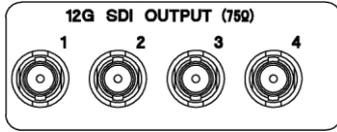
【参照】「12 SDI CONFIG メニュー (SER02/SER04)」



## 6.3.5 SDI 信号の出力 (SER04)

背面パネルの 12G SDI OUT 1 - 4 からは、基準信号に同期した 4 系統の SDI 信号を出力します。  
SDI 信号の設定は、SDI CONFIG メニューで行います。

【参照】「12 SDI CONFIG メニュー (SER02/SER04)」



Micro-BNC-BNC 変換ケーブルを使用する場合は、以下のものを用意するか、本社またはお近くの営業所までお問い合わせください。

品名：	ビデオ変換ケーブル
型番：	DM2.5HWSC002EA-BJ
ケーブル長：	200 mm
メーカー：	カナレ電気

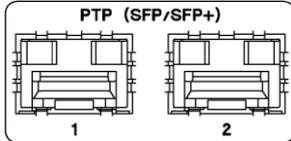
## 6.3.6 PTP 信号の出力 (SER03)



警告

SFP トランシーバーはクラス 1 のレーザー製品です。  
レーザー光が目には直接当たらないようにしてください。

背面パネルの PTP 1、2 からは、基準信号に同期した 2 系統の PTP 信号を出力します。



以下に示す、別売品の SFP または SFP+ モジュールを取り付けて使用してください。SFP/SFP+ モジュールは、電源を入れたまま抜き差しできます。

- ・ SFP RJ-45 (LC2141/LC2142)
- ・ SFP+ MULTI-MODE (LC2148)
- ・ SFP+ SINGLE-MODE (LC2149)

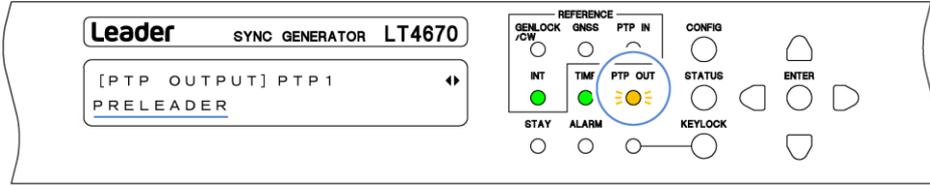
PTP 信号を出力するには、PTP リーダーの設定にする必要があります。PTP CONFIG メニューの PTP1 MODE または PTP2 MODE を ENABLE LEADER にしてください。

【参照】「13.1 PTP リーダーと PTP フォロワー」

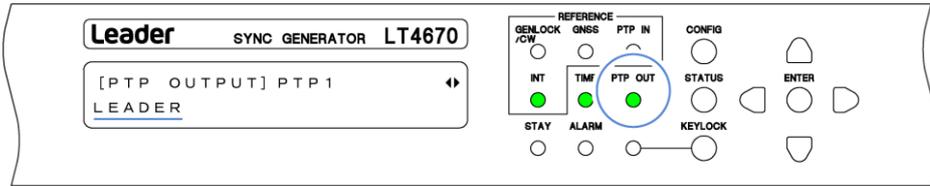


6 基本の動作

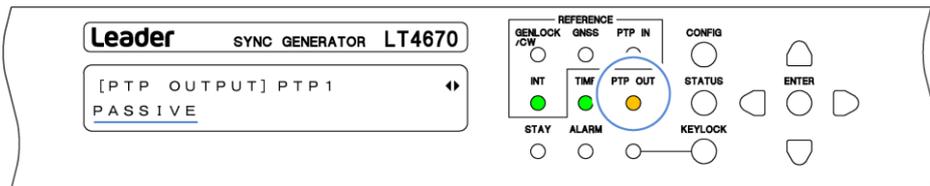
PTP MODE を ENABLE LEADER にすると、前面パネルの PTP OUT が橙色で点滅し、「STATUS > INFORMATION > PTP OUTPUT」のメッセージが「TIME MEASURING」>「TIME SETTING」>「LISTENING」>「PRELEADER」の順に切り換わって表示されます。  
この間、PTP 信号は正しく出力されません。このままお待ちください。



PTP 出力が正常になると、前面パネルの PTP OUT が緑色で点灯し、メッセージが「LEADER」に変わります。この状態で使用してください。



なお、BMCA 機能によって本器がパッシブ状態になると、前面パネルの PTP OUT が橙色で点灯し、メッセージが「PASSIVE」に変わります。



PTP1 と PTP2 がともにリーダーのとき、前面パネル PTP OUT の LED は、PTP1 の状態と PTP2 の状態を組み合わせて、以下のように表示します。

表 6-2 | PTP OUT LED

		PTP1		
		・LEADER	・PASSIVE	・TIME MEASURING ・TIME SETTING ・LISTENING ・PRELEADER
PTP2	・LEADER	緑点灯 ●	橙点灯 ●	橙点滅 ⦿
	・PASSIVE	橙点灯 ●	橙点灯 ●	橙点滅 ⦿
	・TIME MEASURING ・TIME SETTING ・LISTENING ・PRELEADER	橙点滅 ⦿	橙点滅 ⦿	橙点滅 ⦿

## 6.3.7 IP 信号の出力 (SER04)



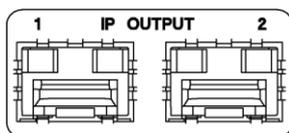
警告

SFP トランシーバーはクラス 1 のレーザー製品です。  
レーザー光が目や皮膚に直接当たらないようにしてください。

背面パネルの IP OUTPUT 1、2 からは、基準信号に同期した IP 信号を出力します。

IP 信号の設定は、IP CONFIG メニューおよび IP OPTION メニューで行います。

【参照】「14 IP CONFIG メニュー (SER04)」 「15.7 IP の設定 (SER04)」



IP 信号は、SDI CONFIG メニューで設定したパターンを以下のとおり出力します。帯域内であれば、1 ポートについて 4 ストリームまで出力できます。

【参照】「12 SDI CONFIG メニュー (SER02/SER04)」

- ・ IP OUTPUT 1/2 ストリーム 1: SDI 1 で設定したパターンを出力
- ・ IP OUTPUT 1/2 ストリーム 2: SDI 2 で設定したパターンを出力
- ・ IP OUTPUT 1/2 ストリーム 3: SDI 3 で設定したパターンを出力
- ・ IP OUTPUT 1/2 ストリーム 4: SDI 4 で設定したパターンを出力

以下に示す、別売品の SFP+ または SFP28 モジュールを取り付けて使用してください。SFP+/SFP28 モジュールは、電源を入れたまま抜き差しできます。

- ・ SFP+ MULTI-MODE (LC2148)
- ・ SFP+ SINGLE-MODE (LC2149)
- ・ SFP28 MULTI-MODE (LC2151)
- ・ SFP28 SINGLE-MODE (LC2152)

## 6.4 LTC 信号の入出力とリモート制御

背面パネルの LTC/REMOTE は、LTC 信号の入力 (1 系統)、LTC 信号の出力 (3 系統)、リモート制御 (アラーム出力、プリセット呼び出し)を行います。

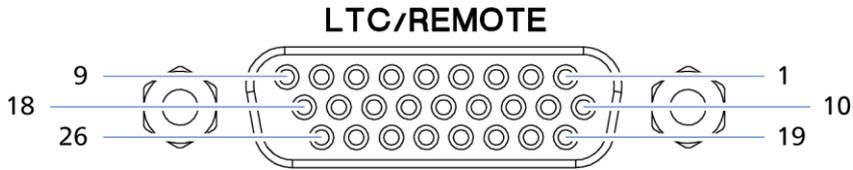


図 6-1 | LTC/REMOTE

表 6-3 | ピン配列

ピン番号	I/O	ピン名称
1	I	LTC+
2	-	GND
3	O	LTC1+
4	O	LTC2+
5	O	LTC3+
6	-	GND
7	O	ALARM1
8	O	ALARM2
9	-	RESERVED
10	I	LTC-
11	-	GND
12	O	LTC1-
13	O	LTC2-
14	O	LTC3-
15	-	GND
16	-	RESERVED
17	-	RESERVED
18	-	OPEN
19	-	SHIELD GND
20	I	PRESET1
21	I	PRESET2
22	I	PRESET3
23	I	PRESET4
24	-	GND
25	-	RESERVED
26	-	SHIELD GND

### LTC 信号の入力 (1 系統)

LTC に入力したタイムコードは、ブラック出力、AES/EBU 出力、SDI 出力(SER02/SER04)に挿入したり、LTC1 - 3 から出力したりすることができます。

### LTC 信号の出力 (3 系統)

LTC1 - 3 からは、基準時間に同期したタイムコードを出力します。タイムコードの種類は、REFERENCE CONFIG メニューの TIME SOURCE で選択できます。

### アラーム出力

SYSTEM CONFIG メニューの ALARM OPTION で ENABLE に設定したアラームのいずれかが発生したときに、ALARM1 または ALARM2 から 5V CMOS レベルで出力します。(極性は反転できます)

【参照】「15.8.2 アラーム出力のオンオフ」

表 6-4 | アラーム出力

アラーム	発生条件
UNIT POWER1	POWER1 に異常が発生したとき 電源が二重化されていて、POWER1 に電源が入っていないとき (SER11)
UNIT POWER2	POWER2 に異常が発生したとき (SER11) 電源が二重化されていて、POWER2 に電源が入っていないとき (SER11)
FAN POWER1	POWER1 のファンに異常が発生したとき
FAN POWER2	POWER2 のファンに異常が発生したとき (SER11)
FAN FRONT	前面ファンユニットに異常が発生したとき
FAN REAR	背面ファンユニットに異常が発生したとき
INT PLL	本体内部の水晶が故障したとき
TIME LAG	REFERENCE CONFIG メニューの TIME SOURCE が LTC、LTC ST309、VITC、VITC ST309、NTP で、TIME SOURCE から取得した時刻と内部時刻が 1 秒以上ずれているとき
REFERENCE NO SIGNAL	設定した基準信号が入力されていないとき
REFERENCE STAY	基準信号に異常が発生して、ステイインシンク動作中のとき
GNSS ANTENNA	SYSTEM CONFIG メニューの ANTENNA POWER が 3.3V または 5V で、ショートしたとき (SER01)

## プリセット呼び出し

PRESET1~4 を使用して、プリセット 0~9 を呼び出すことができます。  
以下の表にしたがって L を入力してください。

表 6-5 | プリセット呼び出し

プリセット番号	23p	22p	21p	20p
	PRESET4	PRESET3	PRESET2	PRESET1
0	H	H	H	L
1	H	H	L	H
2	H	H	L	L
3	H	L	H	H
4	H	L	H	L
5	H	L	L	H
6	H	L	L	L
7	L	H	H	H
8	L	H	H	L
9	L	H	L	H

## 6.5 アラーム表示

アラームが発生すると、前面パネルの ALARM が赤色で点灯します。

アラームの内容を確認するには、STATUS メニューの ALARM を選択してください。

複数のアラームが発生している場合は、◀▶キーでアラームの内容を切り換えることができます。

表示されるアラームの種類は「16.1 ALARM メニュー」を参照してください。

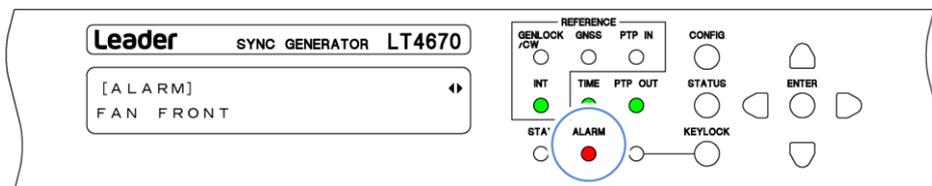


図 6-2 | アラーム表示

## 6.6 L-SYNC

L-SYNC とは、冗長系のシステムにて、同一のアナログ同期信号で同期したプライマリーとバックアップ間の時刻を同期できる機能のことを言います。

ここでは例として、以下のようなシステムを考えたときの使用方法を示します。

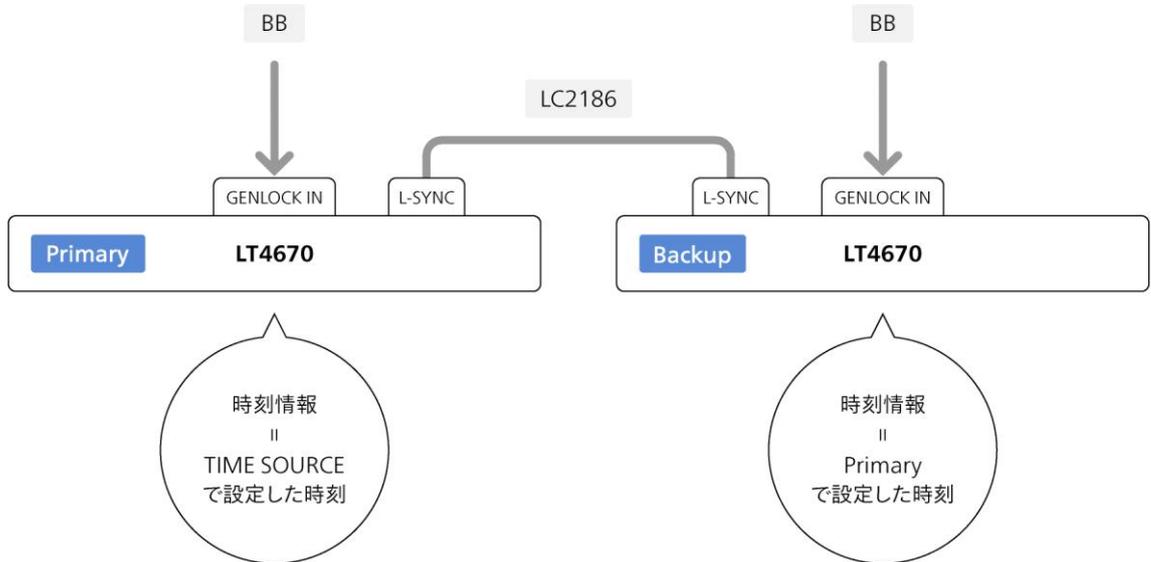
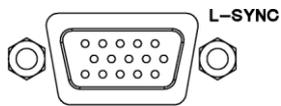


図 6-3 | L-SYNC

### 1. LT4670 の L-SYNC 間を L-SYNC ケーブルで接続します。

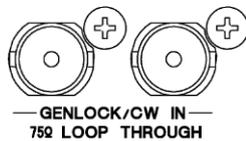
L-SYNC ケーブルは LC2186(別売品)を使用してください。



### 2. LT4670(プライマリー)と LT4670(バックアップ)の GENLOCK/CW IN にアナログ同期信号を入力します。

アナログ同期信号は、プライマリーとバックアップで同一のものを入力してください。入力していない方の端子は 75Ω 終端します。

なお、アナログ同期信号のフォーマットが 23.98Hz のときは、L-SYNC 非対応です。

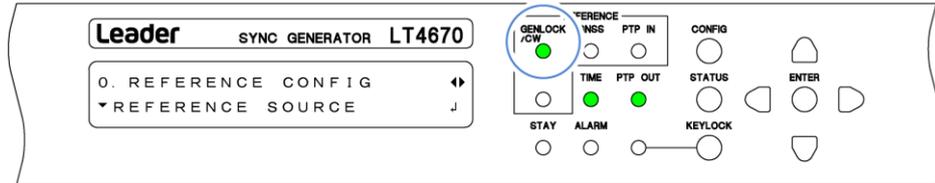


### 3. LT4670(プライマリー)と LT4670(バックアップ)の REFERENCE SOURCE を設定します。

REFERENCE SOURCE は「REFERENCE CONFIG > REFERENCE SOURCE」で設定できます。「GENLOCK FMT-AUTO」または「GENLOCK FMT-MANUAL」にしてください。

```
1 . REFERENCE SOURCE
◀ * GENLOCK FMT - AUTO
```

正しく動作すると、前面パネルの GENLOCK/CW が緑色で点灯します。



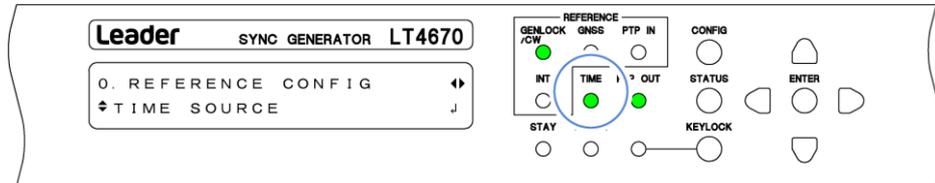
### 4. LT4670(プライマリー)の TIME SOURCE を設定します。

TIME SOURCE は「REFERENCE CONFIG > TIME SOURCE」で設定できます。いずれかを選択してください。

なお、LT4670(バックアップ)の TIME SOURCE 設定は、手順 5 で L-SYNC SETUP を BACKUP にすることで、INTERNAL に固定されます。

```
1 . TIME SOURCE
▶ * INTERNAL
```

正しく動作すると、前面パネルの TIME が緑色で点灯します。



### 5. LT4670(プライマリー)と LT4670(バックアップ)の L-SYNC SETUP を設定します。

L-SYNC SETUP は「SYSTEM CONFIG > TIME MANAGEMENT > L-SYNC SETUP」で設定できます。

LT4670(プライマリー)は「PRIMARY」にします。

```
2 . L - SYNC SETUP
▶ * PRIMARY
```

LT4670(バックアップ)は「BACKUP」にします。

```
2 . L - SYNC SETUP
▶ * BACKUP
```

以後、LT4670(バックアップ)の時刻は、LT4670(プライマリー)が設定した時刻と同じものになります。LT4670(プライマリー)の時刻が変わると、それに応じて LT4670(バックアップ)の時刻も変わります。

## 7 REFERENCE CONFIG メニュー

REFERENCE CONFIG メニューでは、基準信号やゲンロック動作に関する設定をします。  
REFERENCE CONFIG メニューを表示するには、以下のメニューが表示されるまで、CONFIG キーを数回押します。

```
0 . REFERENCE CONFIG
▼ GENLOCK SOURCE
```

### 7.1 基準信号の選択

以下の操作で、基準信号を選択できます。

```
1 . REFERENCE SOURCE
▶ * INTERNAL
```

操作

---

REFERENCE CONFIG > REFERENCE SOURCE

---

パラメーター

---

INTERNAL:	内部の基準信号を使用します。
GENLOCK FMT-AUTO:	背面パネルの GENLOCK/CW IN に入力された、外部の基準信号を使用します。フォーマットは自動で識別します。
GENLOCK FMT-MANUAL:	背面パネルの GENLOCK/CW IN に入力された、外部の基準信号を使用します。フォーマットは手動で設定します。
10MHz CW:	背面パネルの GENLOCK/CW IN に入力された、外部の基準信号を使用します。
GNSS (SER01):	背面パネルの GNSS IN に入力された、外部の基準信号を使用します。
PTP1 (SER03):	背面パネルの PTP に入力された、外部の基準信号を使用します。PTP1 は PTP フォロワーとして動作します。
PTP2 (SER03):	背面パネルの PTP に入力された、外部の基準信号を使用します。PTP2 は PTP フォロワーとして動作します。
PTP1/2 (SER03):	背面パネルの PTP に入力された、外部の基準信号を使用します。PTP1、PTP2 とともに PTP フォロワーとして動作し、基準信号となる信号は本器が自動で選択します。選択結果は「STATUS > INFORMATION > REF SRC」で確認でき、基準信号には「LOCK」、もう一方には「PASSIVE」が表示されます。

---

初期値

---

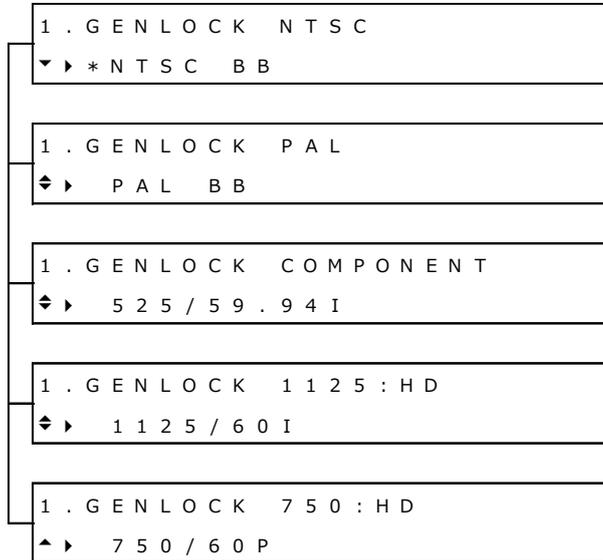
INTERNAL

---

## 7.2 ゲンロックフォーマットの選択

REFERENCE SOURCE が GENLOCK FMT-MANUAL のとき、以下の操作でゲンロックフォーマットを選択できます。項目の選択には、▲▼◀▶キーを使用します。

ゲンロックフォーマットは、有効ライン数ではなく、総ライン数で表記しています。また、REF はフィールドリファレンスパルス、ID はフィールド ID を表しています。



### 操作

---

REFERENCE CONFIG > GENLOCK FORMAT

---

### パラメーター

---

NTSC:	NTSC BB / NTSC BB+REF / NTSC BB+ID / NTSC BB+REF+ID
PAL:	PAL BB / PAL BB+REF
COMPONENT:	525/59.94I / 525/59.94P / 625/50I / 625/50P
1125:HD:	1125/60I / 1125/59.94I / 1125/50I / 1125/30P / 1125/29.97P / 1125/25P / 1125/24P / 1125/23.98P / 1125/24PsF / 1125/23.98PsF / 1125/60P / 1125/59.94P / 1125/50P
750:HD:	750/60P / 750/59.94P / 750/50P / 750/30P / 750/29.97P / 750/25P / 750/24P / 750/23.98P

---

### 初期値

---

NTSC BB (SYSTEM CONFIG メニューの FORMAT SETTING が NTSC のとき)

PAL BB (SYSTEM CONFIG メニューの FORMAT SETTING が PAL のとき)

---

### 7.3 ゲンロックタイミングの設定

REFERENCE SOURCE が GENLOCK のとき、基準信号に対する出力信号(ANALOG BLACK OUT、3G SDI OUT、AES/EBU、SILENCE、WCLK、LTC)のタイミングを一斉に調整できます。(個別に調整することもできます)

1 ステップは約 0.5ns で、1 ドットの周期をカバーします。

```
1 . G E N L O C K   T I M I N G   F I N E
F I N E :           0
```

操作

---

REFERENCE CONFIG > GENLOCK TIMING FINE

---

パラメーター

---

±100

---

初期値

---

0

---

### 7.4 衛星の選択 (SER01)

REFERENCE SOURCE が GNSS のとき、以下の操作で衛星を選択できます。  
通常は ALL のままで使用してください。

```
1 . G N S S   S A T E L L I T E
▶ * A L L
```

操作

---

REFERENCE CONFIG > GNSS SATELLITE

---

パラメーター

---

ALL / GPS / GLONASS / GALILEO / BDS / GPS+QZSS

---

初期値

---

ALL

---

## 7.5 リカバリー動作の設定

REFERENCE CONFIG メニューの RECOVERY/TRACKING では、ゲンロック動作中に基準信号がなくなったときのリカバリー動作について設定できます。

このメニューは、REFERENCE SOURCE が INTERNAL 以外のときに表示されます。

```
0 . REFERENCE CONFIG      ◀▶
◀▶ RECOVERY / TRACKING    ↓
```

### 7.5.1 リカバリーモードの選択

以下の操作で、ゲンロック動作中に基準信号がなくなった後、基準信号が復帰したときの動作について選択できます。

```
2 . RECOVERY MODE
  ■ AUTO   □ MANUAL
```

操作

---

REFERENCE CONFIG > RECOVERY/TRACKING > MODE

---

パラメーター

AUTO:	再ロックします。
MANUAL:	ステイインシンク動作を保持します。REFERENCE READJUST で再ロックします。

---

初期値

---

AUTO

---

### 7.5.2 再ロックスピードの選択 (オート)

RECOVERY MODE が AUTO のとき、以下の操作で再ロックスピードを選択できます。

本器を起動してから IMMEDIATE MODE TIME で設定した時間が経過するまでは、ここで選択した内容にかかわらず IMMEDIATE で動作します。(REFERENCE SOURCE が GNSS のときを除く)

```
2 . AUTO SETTING
◀▶ * FAST
```

操作

---

REFERENCE CONFIG > RECOVERY/TRACKING > AUTO SETTING

---

パラメーター

IMMEDIATE:	即座に再ロックします。REFERENCE SOURCE が GNSS のときは選択できません。
FAST:	すみやかに再ロックします。
SLOW:	ゆるやかに再ロックします。

---

初期値

---

FAST

---

## 7.5.3 再ロックスピードの選択 (マニュアル)

RECOVERY MODE が MANUAL のとき、以下の操作で再ロックスピードを選択できます。  
本器を起動してから IMMEDIATE MODE TIME で設定した時間が経過するまでは、ここで選択した内容にかかわらず IMMEDIATE で動作します。

```
2 . M A N U A L   S E T T I N G
◆ * I M M E D I A T E
```

操作

REFERENCE CONFIG > RECOVERY/TRACKING > MANUAL SETTING

パラメーター

IMMEDIATE:	即座に再ロックします。
FAST:	すみやかに再ロックします。
SLOW:	ゆるやかに再ロックします。

初期値

IMMEDIATE

## 7.5.4 起動時の設定

本器を起動してから設定した時間が経過するまでは、AUTO SETTING や MANUAL SETTING で選択した内容にかかわらず、IMMEDIATE で動作します。

以下の操作で、IMMEDIATE で動作する時間を設定します。

```
2 . I M M E D I A T E   M O D E   T I M E
B O O T - U P :   O F F
```

操作

REFERENCE CONFIG > RECOVERY/TRACKING > IMMEDIATE MODE TIME

パラメーター

OFF / 5 - 30 [min]

初期値

OFF

## 7.6 再ロックの設定

REFERENCE SOURCE が INTERNAL 以外するとき、以下の操作で OK にすると、基準信号に再ロックします。

```
1 . R E F E R E N C E   R E A D J U S T
   □ O K               ■ C A N C E L
```

操作

REFERENCE CONFIG > REFERENCE READJUST

## 7.7 時刻源の選択

以下の操作で、本器で使用する時刻源を選択できます。

ここで選択した日時は、ログやタイムコード、USB メモリーへの保存などに使用します。

```
1 . TIME SOURCE
▶ * INTERNAL
```

操作

REFERENCE CONFIG > TIME SOURCE

パラメーター

INTERNAL / LTC / LTC ST309 / VITC / VITC ST309 / NTP /  
GNSS (SER01) / PTP1 (SER03) / PTP2 (SER03) / PTP1/2 (SER03)

初期値

INTERNAL

選択できる TIME SOURCE は、REFERENCE SOURCE によって以下のように異なります。

表 7-1 | TIME SOURCE

REFERENCE SOURCE	TIME SOURCE	説明
INTERNAL	INTERNAL	内部時刻を使用します。
	LTC (*1)	起動時や REFERENCE SOURCE、TIME SOURCE 変更時に一度、TIME SOURCE から時分秒を取り込み、内部時刻に設定します。年月日は内部の年月日を使用します。
	LTC ST309 (*1)	起動時や REFERENCE SOURCE、TIME SOURCE 変更時に一度、TIME SOURCE から年月日および時分秒を取り込み、内部時刻に設定します。
	NTP (*2)	
	GNSS (SER01)	
	PTP1 (SER03)	
	PTP2 (SER03)	
GENLOCK FMT-AUTO GENLOCK FMT-MANUAL (*3)	INTERNAL	内部時刻を使用します。内部時刻は REFERENCE SOURCE に同期してカウントアップします。
	LTC (*1)	起動時や REFERENCE SOURCE、TIME SOURCE 変更時に一度、TIME SOURCE から時分秒を取り込み、内部時刻に設定します。年月日は内部の年月日を使用します。内部時刻は REFERENCE SOURCE に同期してカウントアップします。(*4)
	VITC (*1)	
	LTC ST309 (*1)	起動時や REFERENCE SOURCE、TIME SOURCE 変更時に一度、TIME SOURCE から年月日および時分秒を取り込み、内部時刻に設定します。内部時刻は REFERENCE SOURCE に同期してカウントアップします。(*4)
	VITC ST309 (*1)	
	NTP (*2)	
	GNSS (SER01)	
	PTP1 (SER03)	
PTP2 (SER03)		

REFERENCE SOURCE	TIME SOURCE	時刻情報
10MHz CW	INTERNAL	内部時刻を使用します。内部時刻は REFERENCE SOURCE に同期してカウントアップします。
	LTC (*1)	起動時や REFERENCE SOURCE、TIME SOURCE 変更時に一度、TIME SOURCE から時分秒を取り込み、内部時刻に設定します。年月日は内部の年月日を使用します。内部時刻は REFERENCE SOURCE に同期してカウントアップします。(*4)
	LTC ST309 (*1)	起動時や REFERENCE SOURCE、TIME SOURCE 変更時に一度、TIME SOURCE から年月日および時分秒を取り込み、内部時刻に設定します。内部時刻は REFERENCE SOURCE に同期してカウントアップします。(*4)
	NTP (*2)	
	GNSS (SER01)	
	PTP1 (SER03)	
	PTP2 (SER03)	
GNSS (SER01)	GNSS	衛星から取得した時刻を使用します。
PTP1 (SER03)	PTP1	PTP フォロワーで受信した時刻を使用します。
PTP2 (SER03)	PTP2	PTP フォロワーで受信した時刻を使用します。
PTP1/2 (SER03)	PTP1/2	PTP フォロワーで受信した時刻を使用します。 時刻源となる信号は本器が自動で選択し、選択結果は「STATUS > INFORMATION > REF SRC」で確認できます。時刻源には「LOCK」、もう一方には「PASSIVE」が表示されます。

- \*1 入力と出力のフレームカウントは一致しません。
- \*2 SYSTEM CONFIG メニューの NETWORK SETUP と NTP SETUP がともに ENABLE のときに選択できます。
- \*3 SYSTEM CONFIG メニューの L-SYNC SETUP が BACKUP のときは、TIME SOURCE が INTERNAL に固定されます。
- \*4 REFERENCE SOURCE と TIME SOURCE が異なる場合、内部時刻は TIME SOURCE の時刻からずれていきます。

## 7.8 ノイズ耐性の設定

REFERENCE SOURCE が GENLOCK のとき、以下の操作でノイズ耐性の設定ができます。  
通常は GENERAL にして使用してください。

```

1 . SYNC DETECT
  ■ GENERAL   □ SPECIFIC

```

### 操作

REFERENCE CONFIG > SYNC DETECT

### パラメーター

GENERAL: 従来のノイズ耐性で動作します。  
SPECIFIC: 従来と比較して、ノイズ耐性を向上しています。  
この設定は、ゲンロックフォーマットが NTSC BB のときのみ有効です。(NTSC BB 以外の NTSC、PAL、COMPONENT、HD のときは無効です)

### 初期値

GENERAL

## 7.9 日時の取り込み

REFERENCE SOURCE がロックしていて、TIME SOURCE から正常に時刻を取得できているとき、以下の操作で OK にすると TIME SOURCE で選択した時刻を取り込みます。

1 . T I M E R E A D J U S T
<input type="checkbox"/> O K <input checked="" type="checkbox"/> C A N C E L

操作

---

REFERENCE CONFIG > TIME READJUST

---

## 8 BLACK CONFIG メニュー

BLACK CONFIG メニューでは、ブラック出力に関する設定をします。

REFERENCE CONFIG メニューを表示するには、以下のメニューが表示されるまで、CONFIG キーを数回押します。

```
0 . B L A C K   C O N F I G
▼ B L A C K 1
```

BLACK CONFIG メニューでは、ブラック 1~6 について個別に設定できます。ここではブラック 1 の設定について説明しますが、ブラック 2~6 についても同様に設定できます。

### 8.1 ブラックフォーマットの選択

以下の操作で、ブラックフォーマットを選択できます。項目の選択には、▲▼◀▶キーを使用します。

ブラックフォーマットは、有効ライン数ではなく、総ライン数で表記しています。また、REF および R はフィールドリファレンスパルス、ID はフィールド ID、S はセットアップを表しています。

```
2 . B L A C K 1   N T S C
▼ ▶ * N T S C   B B

2 . B L A C K 1   P A L
◆ ▶   P A L   B B

2 . B L A C K 1   C O M P O N E N T
◆ ▶   5 2 5 / 5 9 . 9 4 I

2 . B L A C K 1   1 1 2 5 : H D
◆ ▶   1 1 2 5 / 6 0 I

2 . B L A C K 1   7 5 0 : H D
▲ ▶   7 5 0 / 6 0 P
```

#### 操作

---

BLACK CONFIG > BLACK1 > FORMAT

---

#### パラメーター

---

NTSC:	NTSC BB / NTSC BB+REF / NTSC BB+ID / NTSC BB+REF+ID / NTSC BB+SETUP / NTSC BB+S+REF / NTSC BB+S+ID / NTSC BB+S+R+ID
PAL:	PAL BB / PAL BB+REF
COMPONENT:	525/59.94I / 525/59.94P / 625/50I / 625/50P
1125:HD:	1125/60I / 1125/59.94I / 1125/50I / 1125/30P / 1125/29.97P / 1125/25P / 1125/24P / 1125/23.98P / 1125/24PsF / 1125/23.98PsF / 1125/60P / 1125/59.94P / 1125/50P
750:HD:	750/60P / 750/59.94P / 750/50P / 750/30P / 750/29.97P / 750/25P / 750/24P / 750/23.98P

---

初期値

---

NTSC BB (SYSTEM CONFIG メニューの FORMAT SETTING が NTSC のとき)

PAL BB (SYSTEM CONFIG メニューの FORMAT SETTING が PAL のとき)

---

## 8.2 タイミングの設定

BLACK1 メニューの TIMING では、基準信号に対するブラック出力のタイミングを調整できます。

```
1 . B L A C K 1
◆ T I M I N G      ↓
```

### 8.2.1 タイミングの調整 (フレーム)

ブラックフォーマットが NTSC または PAL のとき、以下の操作で基準信号に対するブラック出力のタイミングをフレーム単位で調整できます。

```
3 . B L A C K 1   T I M I N G   F
      0   F R A M E
```

操作

---

BLACK CONFIG > BLACK1 > TIMING > FRAME

---

パラメーター

---

±5 [FRAME] (FORMAT が NTSC のとき)

±2 [FRAME] (FORMAT が PAL のとき)

---

初期値

---

0 [FRAME]

---

### 8.2.2 タイミングの調整 (ライン)

以下の操作で、基準信号に対するブラック出力のタイミングをライン単位で調整できます。可変範囲はブラックフォーマットによって異なります。

```
3 . B L A C K 1   T I M I N G   V
      0   L I N E
```

操作

---

BLACK CONFIG > BLACK1 > TIMING > VERTICAL

---

パラメーター

---

±1124 [LINE]

---

初期値

---

0 [LINE]

---

## 8.2.3 タイミングの調整 (ドット)

以下の操作で、基準信号に対するブラック出力のタイミングをドット単位で調整できます。画面右下には、ドットを時間に換算した値を表示します。

可変範囲はブラックフォーマットによって異なります。

```
3 . B L A C K 1   T I M I N G   H
      0   D O T       0 . 0 0 0 0 μ s
```

操作

---

BLACK CONFIG > BLACK1 > TIMING > HORIZONTAL

---

パラメーター

---

±4124 [DOT]

---

初期値

---

0 [DOT]

---

## 8.3 タイムコードの設定

BLACK1 メニューの VITC SETTING では、ブラック出力に挿入するタイムコードについて設定できます。

このメニューは、ブラックフォーマットが NTSC または PAL のときに表示されます。

```
1 . B L A C K 1
◆ V I T C   S E T T I N G     ↓
```

## 8.3.1 タイムコード挿入のオンオフ

以下の操作で、タイムコードの挿入をオンオフできます。

タイムコードは、REFERENCE CONFIG メニューの TIME SOURCE で選択したものを使用します。

```
3 . B L A C K 1   V I T C
       O N        O F F
```

操作

---

BLACK CONFIG > BLACK1 > VITC SETTING > VITC

---

パラメーター

---

ON / OFF

---

初期値

---

OFF

---

## 8.3.2 ドロップフレームの設定

以下の操作で、ドロップフレームの設定を選択できます。

この設定は、ブラック出力のフレーム周波数が 59.94 または 29.97 のときに有効です。

3 . B L A C K 1   D R O P   F R A M E
<input checked="" type="checkbox"/> O N <input type="checkbox"/> O F F

操作

---

BLACK CONFIG > BLACK1 > VITC SETTING > DROP FRAME

---

パラメーター

ON:	ドロップフレームで動作します。
OFF:	ノンドロップフレームで動作します。

---

初期値

ON

---

## 8.3.3 タイムコード重畳ラインの設定

以下の操作で、タイムコードを重畳するラインを設定できます。

設定はフィールド 1 のラインで行います。フィールド 2 のラインは括弧の中に表示されます。

なお、以下のとおり、選択できないラインがあります。

- ・ブラックフォーマットが NTSC で、REF が含まれるとき：      10 ライン不可
- ・ブラックフォーマットが NTSC で、ID が含まれるとき：      15 ライン不可
- ・ブラックフォーマットが PAL BB+REF のとき：                7 ライン不可

3 . B L A C K 1   L I N E   N U M B E R
1 4 ( 2 7 7 )   L I N E

操作

---

BLACK CONFIG > BLACK1 > VITC SETTING > LINE NUMBER

---

パラメーター

10 - 20 [LINE] (FORMAT が NTSC のとき)
6 - 22 [LINE] (FORMAT が PAL のとき)

---

初期値

14 (FORMAT が NTSC のとき)
19 (FORMAT が PAL のとき)

---

## 8.4 ブラック出力の設定

BLACK1 メニューの OUTPUT SETTING では、ブラック出力について設定できます。

```
1 . B L A C K 1
^ O U T P U T   S E T T I N G     ↓
```

### 8.4.1 ブラック出力のオンオフ

以下の操作で、ブラック出力をオンオフできます。

```
3 . B L A C K 1   O U T P U T
   ■ E N A B L E   □ D I S A B L E
```

操作

---

BLACK CONFIG > BLACK1 > OUTPUT SETTING > OUTPUT

---

パラメーター

---

ENABLE / DISABLE

---

初期値

---

ENABLE

---

### 8.4.2 BMCA 連動のオンオフ (SER03)

以下の操作で ENABLE にすると、選択した PTP の BMCA に連動してブラック出力を停止します。ブラック出力を停止すると、このメニューと OUTPUT メニューは共に DISABLE に変わります。

再度ブラック出力を有効にするには、OUTPUT メニューを ENABLE にしてください。

```
3 . B L A C K 1   L I N K E D   T O   P T P 1
   □ E N A B L E   ■ D I S A B L E
```

操作

---

BLACK CONFIG > BLACK1 > OUTPUT SETTING >  
LINKED TO PTP1 BMCA / LINKED TO PTP2 BMCA

---

パラメーター

---

ENABLE / DISABLE

---

初期値

---

DISABLE

---

## 8.5 ブラック出力間の共通設定

以下の操作で ON にすると、ブラック 2 の設定をブラック 1 と同じ設定にすることができます。このとき、ブラック 2 の設定はできません。

ブラック 3～6 についても同様に、ブラック 1 と同じ設定にすることができます。

```
2 . B L A C K 2   E Q U A L   T O   B L A C K 1
    O N            O F F
```

操作

---

BLACK CONFIG > BLACK2 > EQUAL TO BLACK1

---

パラメーター

---

ON / OFF

---

初期値

---

OFF

---

## 9 AUDIO CONFIG メニュー

AUDIO CONFIG メニューでは、AES/EBU 出力、サイレンス出力、ワードクロック出力に関する設定をします。

AUDIO CONFIG メニューを表示するには、以下のメニューが表示されるまで、CONFIG キーを数回押します。

```
0 . A U D I O   C O N F I G   ◀▶
▼ A E S / E B U                ↓
```

### 9.1 AES/EBU 出力の設定

AUDIO CONFIG メニューの AES/EBU では、AES/EBU 出力について設定できます。

```
0 . A U D I O   C O N F I G   ◀▶
▼ A E S / E B U                ↓
```

#### 9.1.1 周波数の選択

以下の操作で、選択したチャンネルの周波数を選択できます。

```
4 . A E S / E B U   C H 1   F R E Q
◀ * 1 k H z
```

操作

---

AUDIO CONFIG > AES/EBU > SETTING > CH1 / CH2 > FREQ

---

パラメーター

---

SILENCE / 400Hz / 800Hz / 1kHz

---

初期値

---

1kHz

---

#### 9.1.2 レベルの設定

以下の操作で、選択したチャンネルのレベルを設定できます。

```
4 . A E S / E B U   C H 1   L E V E L
                               - 2 0   [ d B F S ]
```

操作

---

AUDIO CONFIG > AES/EBU > SETTING > CH1 / CH2 > LEVEL

---

パラメーター

---

-60 - 0 [dBFS]

---

初期値

---

-20 [dBFS]

---

## 9.1.3 クリックの設定

以下の操作で、選択したチャンネルに指定した間隔でクリックを挿入します。  
LIPSYNC(SYNC TO SDI1)が ON で、SDI パターンがリップシンクの場合は無効です。

```
4 . AES / EBU  CH 1  C L I C K
▶ * O F F
```

操作

AUDIO CONFIG > AES/EBU > SETTING > CH1 / CH2 > CLICK

パラメーター

OFF / 1sec / 2sec / 4sec

初期値

OFF

## 9.1.4 チャンネル間の共通設定

以下の操作で ON にすると、CH2 の設定(周波数、レベル、クリック)を CH1 と同じ設定にすることができます。このとき、CH2 の設定はできません。

```
4 . CH 2  E Q U A L  T O  C H 1
    O N        O F F
```

操作

AUDIO CONFIG > AES/EBU > SETTING > CH2 > EQUAL TO CH1

パラメーター

ON / OFF

初期値

OFF

## 9.1.5 分解能の選択

以下の操作で、分解能を選択できます。

```
3 . AES / EBU  R E S O L U T I O N
    2 0 B I T    2 4 B I T
```

操作

AUDIO CONFIG > AES/EBU > SETTING > RESOLUTION

パラメーター

20BIT / 24BIT

初期値

20BIT

## 9.1.6 プリエンファシスモードの選択

以下の操作で、プリエンファシスモードを選択できます。

```
3 . A E S / E B U   E M P H A S I S
    5 0 / 1 5    C C I T T    O F F
```

操作

AUDIO CONFIG > AES/EBU > SETTING > EMPHASIS

パラメーター

50/15 / CCITT / OFF

初期値

OFF

## 9.1.7 タイムコード挿入のオンオフ

以下の操作で、タイムコードの挿入をオンオフできます。

タイムコードは、REFERENCE CONFIG メニューの TIME SOURCE で選択したものを使用します。

```
3 . A E S / E B U   T I M E C O D E
    O N            O F F
```

操作

AUDIO CONFIG > AES/EBU > SETTING > TIMECODE

パラメーター

ON / OFF

初期値

OFF

## 9.1.8 タイミングの調整

以下の操作で、基準信号に対する AES/EBU 出力のタイミングを、±1AES/EBU フレームの範囲で調整できます。

```
2 . A E S / E B U   T I M I N G
                               0 [ F S ]
```

操作

AUDIO CONFIG > AES/EBU > TIMING

パラメーター

±511 [FS]

初期値

0 [FS]

## 9.1.9 リップシンク連動のオンオフ (SER02/SER04)

以下の操作で ON にすると、SDI CONFIG メニューの SDI1 LIP SYNC が ON のときに、リップシンクパターンに連動した音声を出力できます。

【参照】 「12.15 リップシンクのオンオフ」

2 . L I P S Y N C ( S Y N C T O S D I 1 )
<input type="checkbox"/> O N <input checked="" type="checkbox"/> O F F

操作

AUDIO CONFIG > AES/EBU > LIPSYNC(SYNC TO SDI1)

パラメーター

ON / OFF

初期値

OFF

## 9.2 サイレンス出力の設定

AUDIO CONFIG メニューの SILENCE では、サイレンス出力について設定できます。

0 . A U D I O C O N F I G	↔
◆ S I L E N C E	↓

## 9.2.1 AES/EBU 出力との共通設定

以下の操作で ON にすると、サイレンス出力の設定(分解能、タイミング)を AES/EBU 出力と同じ設定にすることができます。このとき、サイレンス出力の設定はできません。

2 . E Q U A L T O A E S / E B U
<input type="checkbox"/> O N <input checked="" type="checkbox"/> O F F

操作

AUDIO CONFIG > SILENCE > EQUAL TO AES/EBU

パラメーター

ON / OFF

初期値

OFF



### 9.3 ワードクロック出力の設定

AUDIO CONFIG メニューの WCLK では、ワードクロック出力について設定できます。

```
0 . A U D I O   C O N F I G      ◀▶
^ W C L K                          ↓
```

#### 9.3.1 タイミングの調整

以下の操作で、基準信号に対するワードクロック出力のタイミングを、±1AES/EBU フレームの範囲で調整できます。

```
2 . W C L K   T I M I N G
                                0 [ F S ]
```

操作

---

AUDIO CONFIG > WCLK > TIMING

---

パラメーター

---

±511 [FS]

---

初期値

---

0 [FS]

---

## 10 LTC CONFIG メニュー

LTC CONFIG メニューでは、LTC 出力に関する設定をします。

LTC CONFIG メニューを表示するには、以下のメニューが表示されるまで、CONFIG キーを数回押しします。

```
0 . L T C   C O N F I G   ◀▶
   L T C   O U T P U T   ↓
```

LTC CONFIG メニューでは、LTC1~3 について個別に設定できます。ここでは LTC1 の設定について説明しますが、LTC2、3 についても同様に設定できます。

### 10.1 LTC 出力のオンオフ

以下の操作で、LTC 出力をオンオフできます。

```
3 . L T C 1
   □ O N       ■ O F F
```

操作

---

LTC CONFIG > LTC OUTPUT > LTC1 > ON/OFF

---

パラメーター

---

ON / OFF

---

初期値

---

OFF

---

### 10.2 LTC フォーマットの選択

以下の操作で、LTC フォーマットを選択できます。

```
3 . L T C 1   F O R M A T
▶ * 2 9 . 9 7   f p s
```

操作

---

LTC CONFIG > LTC OUTPUT > LTC1 > FORMAT

---

パラメーター

---

30 / 29.97 / 25 / 24 / 23.98 fps

---

初期値

---

29.97 fps (SYSTEM CONFIG メニューの FORMAT SETTING が NTSC のとき)

---

25 fps (SYSTEM CONFIG メニューの FORMAT SETTING が PAL のとき)

---

### 10.3 タイミングの調整 (フレーム)

以下の操作で、基準信号に対する LTC 出力のタイミングをフレーム単位で調整できます。

```
4 . L T C 1   T I M I N G   F R A M E
      0   F R A M E
```

操作

LTC CONFIG > LTC OUTPUT > LTC1 > TIMING > FRAME

パラメーター

±29 [FRAME] (LTC フォーマットが 30 fps または 29.97 fps のとき)

±24 [FRAME] (LTC フォーマットが 25 fps のとき)

±23 [FRAME] (LTC フォーマットが 24 fps または 23.98 fps のとき)

初期値

0 [FRAME]

### 10.4 タイミングの調整 (ビット)

以下の操作で、基準信号に対する LTC 出力のタイミングをビット単位で調整できます。画面右下には、ビットを時間に換算した値を表示します。

```
4 . L T C 1   T I M I N G   B I T
      0   B I T       0 . 0 0 0 m s
```

操作

LTC CONFIG > LTC OUTPUT > LTC1 > TIMING > BIT

パラメーター

±39 [BIT]

初期値

0 [BIT]

### 10.5 オフセットの調整

以下の操作で、基準信号に対する LTC 出力のオフセットを調整できます。

```
3 . L T C 1   O F F S E T
+ 0 0 : 0 0 : 0 0   [ H H : M M : S S ]
```

操作

LTC CONFIG > LTC OUTPUT > LTC1 > OFFSET

パラメーター

±23:59:59

初期値

+00:00:00

## 10.6 ドロップフレームの設定

以下の操作で、ドロップフレームの設定を選択できます。

この設定は、LTC 出力のフレーム周波数が 29.97 のときに有効です。

3 . L T C 1   D R O P   F R A M E
<input checked="" type="checkbox"/> O N <input type="checkbox"/> O F F

操作

---

LTC CONFIG > LTC OUTPUT > LTC1 > DROP FRAME

---

パラメーター

ON:	ドロップフレームで動作します。
OFF:	ノンドロップフレームで動作します。

---

初期値

ON

---

## 10.7 LTC 出力間の共通設定

以下の操作で ON にすると、LTC2 の設定を LTC1 と同じ設定にすることができます。このとき、LTC2 の設定はできません。

LTC3 についても同様に、LTC1 と同じ設定にすることができます。

3 . L T C 2   E Q U A L   T O   L T C 1
<input type="checkbox"/> O N <input checked="" type="checkbox"/> O F F

操作

---

LTC CONFIG > LTC OUTPUT > LTC2 > EQUAL TO LTC1

---

パラメーター

ON / OFF

---

初期値

OFF

---

# 11 CW/1PPS CONFIG メニュー

CW/1PPS CONFIG メニューでは、10MHz CW 出力、および 1PPS 出力に関する設定をします。  
CW/1PPS CONFIG メニューを表示するには、以下のメニューが表示されるまで、CONFIG キーを数回押しします。

```
1 . CW / 1 P P S   O U T P U T
      ■ C W           □ 1 P P S
```

## 11.1 出力信号の切り換え

以下の操作で、背面パネルの CW/1PPS 端子から出力する信号を選択できます。

```
1 . CW / 1 P P S   O U T P U T
      ■ C W           □ 1 P P S
```

操作

---

CW/1PPS CONFIG > OUTPUT

---

パラメーター

---

CW / 1PPS

---

初期値

---

CW

---

## 12 SDI CONFIG メニュー (SER02/SER04)

SDI CONFIG メニューでは、SDI 出力に関する設定をします。

SDI CONFIG メニューを表示するには、以下のメニューが表示されるまで、CONFIG キーを数回押しします。

```
0 . S D I   C O N F I G   ◀▶
▼ S D I 1   ]
```

SDI CONFIG メニューでは、SDI1~4 について個別に設定できます。ここでは SDI1 の設定について説明しますが、SDI2~4 についても同様に設定できます。

本体に追加されているオプションに対応する SDI フォーマットを以下に示します。

表 12-1 | SDI フォーマット

オプション	2K				4K	
	SD	HD	3G-A	3G-B	3G-Quad Link	12G
SER02	●	●	●	●	-	-
SER02×2 + SER21	●	●	●	●	●	-
SER04 (SDI)	●	●	●	●	●	●
SER04 (IP)	ST2110	-	●	●	-	●
	ST2022-6	-	●	●	-	-

### SER02 が 1 つ追加されているとき

SDI1、2 の設定ができます。SDI3、4 の設定はできません。

### SER02 が 2 つ追加されているとき

SDI1~4 の設定ができます。

SER21 を追加することで 4K 3G-Quad Link に対応します。

4K 3G-Quad Link 設定時は出力が 1 系統となるため、SDI2~4 の設定はできません。

### SER04 が追加されているとき

SDI1~4 の設定ができます。

4K 3G-Quad Link 設定時は出力が 1 系統となるため、SDI2~4 の設定はできません。

IP 出力は、SDI CONFIG メニューで設定したパターンを以下のとおり出力します。帯域内であれば、1 ポートについて 4 ストリームまで出力できます。SDI フォーマットを非対応のもの (上表の「-」) に設定した場合、IP 出力は不定となります。

- ・ IP OUTPUT 1/2 ストリーム 1: SDI 1 で設定したパターンを出力
- ・ IP OUTPUT 1/2 ストリーム 2: SDI 2 で設定したパターンを出力
- ・ IP OUTPUT 1/2 ストリーム 3: SDI 3 で設定したパターンを出力
- ・ IP OUTPUT 1/2 ストリーム 4: SDI 4 で設定したパターンを出力

## 12.1 周波数グループの選択

以下の操作で、SDI 出力のフレーム周波数で選択できる周波数グループを選択できます。  
ここで設定した内容は、SDI1~4 で共通です。

```

1 . S D I   F R E Q U E N C Y   G R O U P
    ■ 5 9 . 9 4 H z      □ 6 0 / 5 0 H z
  
```

### 操作

---

SDI CONFIG > SDI FREQUENCY GROUP

---

### パラメーター

---

59.94Hz:	フレーム周波数を 59.94、29.97、23.98 から選択します。
60/50Hz:	フレーム周波数を 60、50、30、25、24 から選択します。

---

### 初期値

---

59.94Hz (SYSTEM CONFIG メニューの FORMAT SETTING が NTSC のとき)

60/50Hz (SYSTEM CONFIG メニューの FORMAT SETTING が PAL のとき)

---

- \* SDI FREQUENCY GROUP が 59.94Hz のとき、「720x 487 SD (59.94I)」は選択できません。60/50Hz のときに選択できます。
- \* SDI フォーマットが 4K(SER04/SER21)のときはここで設定した内容に関わらず、すべての周波数が選択できます。

## 12.2 SDI フォーマットの設定

SDI1 メニューの FORMAT では、SDI 出力のフォーマットについて設定できます。「SYSTEM」、「STRUCTURE」、「RATE」で選択できる組み合わせは、「3.3.3 LT4670-SER02/SER04/SER21 (SDI)」を参照してください。

```
1 . S D I 1
◆ F O R M A T
```

### 12.2.1 システムの選択

以下の操作で、SDI 出力のシステムを選択できます。項目の選択には、▲▼◀▶キーを使用します。この設定を変更すると、STRUCTURE と RATE の設定も変わります。

```
3 . S D I 1   S Y S T E M   1 2 G
▼▶ 3 8 4 0 x 2 1 6 0   1 2 G

3 . S D I 1   S Y S T E M   4 K ( Q L ) 2 S I
▼▶ 3 8 4 0 x 2 1 6 0   3 G - A

3 . S D I 1   S Y S T E M   3 G
◆▶ 1 2 8 0 x   7 2 0   3 G - A

3 . S D I 1   S Y S T E M   H D
◆◀ * 1 9 2 0 x 1 0 8 0   H D

3 . S D I 1   S Y S T E M   S D
▲▶   7 2 0 x   4 8 7   S D
```

#### 操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > FORMAT > SYSTEM

---

#### パラメーター

---

12G	3840x2160 12G / 4096x2160 12G (SER04) SER02 および IP 出力の ST2022-6 には対応していません。
4K(QL)2SI:	3840x2160 3G-A / 4096x2160 3G-A / 3840x2160 3G-B-DL / 4096x2160 3G-B-DL (SER21) SDI2~4 では選択できません。 IP 出力には対応していません。
3G:	1280x 720 3G-A / 1920x1080 3G-A / 1920x1080 3G-B-DL 3G-B は、IP 出力には対応していません。
HD:	1280x 720 HD / 1920x1080 HD
SD:	720x 487 SD / 720x 576 SD SDI FREQUENCY GROUP が 59.94Hz のときは選択できません。 IP 出力には対応していません。

---

#### 初期値

---

1920x1080 HD

---

## 12.2.2 カラーシステムの選択

以下の操作で、SDI 出力のカラーシステムと量子化精度を選択できます。  
この設定を変更すると、RATE の設定も変わります。

```
3 . S D I 1   S T R U C T U R E
▶ * 4 2 2 ( Y C b C r ) 1 0 - b i t
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > FORMAT > STRUCTURE

---

パラメーター

---

422(YCbCr)10-bit / 422(YCbCr)12-bit / 444(RGB)10-bit / 444(RGB)12-bit

---

初期値

---

422(YCbCr)10-bit

---

## 12.2.3 フレーム周波数の選択

以下の操作で、SDI 出力のフレーム(フィールド)周波数を選択できます。  
選択できる周波数は、SDI FREQUENCY GROUP によって異なります。

```
3 . S D I 1   R A T E
◆ * 5 9 . 9 4 I
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > FORMAT > RATE

---

パラメーター

---

59.94P / 29.97P / 23.98P / 29.97PsF / 23.98PsF / 59.94I

(SDI FREQUENCY GROUP が 59.94Hz のとき)

60P / 50P / 30P / 25P / 24P / 30PsF / 25PsF / 24PsF / 60I / 50I

(SDI FREQUENCY GROUP が 60/50Hz のとき)

48P / 47.95P

---

初期値

---

59.94I (SYSTEM CONFIG メニューの FORMAT SETTING が NTSC のとき)

50I (SYSTEM CONFIG メニューの FORMAT SETTING が PAL のとき)

---

\* SDI FREQUENCY GROUP が 59.94Hz のとき、「720x 487 SD (59.94I)」は選択できません。60/50Hz のときに選択できます。

\* SDI フォーマットが 4K(SER04/SER21)のときは SDI FREQUENCY GROUP に関わらず、すべての周波数が選択できます。

## 12.3 タイミングの設定

SDI1 メニューの TIMING では、基準信号に対する SDI 出力のタイミングを調整できます。

```
1 . S D I 1
◆ T I M I N G
```

### 12.3.1 タイミング基準の選択

SDI フォーマットが SD、HD、12G のとき、以下の操作で SDI 出力とブラック出力の、基準となる出力タイミングを選択できます。

SDI フォーマットが 3G のときは SERIAL 固定となります。

```
3 . S D I 1 0 H T I M I N G
  ■ S E R I A L   □ L E G A C Y
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > TIMING > 0H TIMING

---

パラメーター

---

SERIAL:	信号規格で定義されたタイミングで出力します。
LEGACY:	従来の当社製信号発生器と同じタイミングで出力します。

---

初期値

---

SERIAL

---

### 12.3.2 タイミングの調整 (ライン)

以下の操作で、基準信号に対する SDI 出力のタイミングをライン単位で調整できます。

可変範囲は SDI フォーマットによって異なります。

SDI フォーマットが 4K 3G-Quad Link(SER04/SER21)のときは無効となります。

```
3 . S D I 1 T I M I N G V
  0 L I N E
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > TIMING > VERTICAL

---

パラメーター

---

±1124 [LINE]

---

初期値

---

0 [LINE]

---

### 12.3.3 タイミングの調整 (ドット)

以下の操作で、基準信号に対する SDI 出力のタイミングをドット単位で調整できます。画面右下には、ドットを時間に換算した値を表示します。

可変範囲は SDI フォーマットによって異なります。

SDI フォーマットが 4K 3G-Quad Link(SER04/SER21)のときは無効となります。

```
3 . S D I 1   T I M I N G   H
      0   D O T       0 . 0 0 0 0 μ s
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > TIMING > HORIZONTAL

---

パラメーター

---

±4124 [DOT]

---

初期値

---

0 [DOT]

---

### 12.4 固定パターンの設定

SDI 出力のパターンには、本体に内蔵されている固定パターンと、ユーザーが用意した画像を表示するユーザーパターンがありますが、ここでは固定パターンについて説明します。

以下の操作で固定パターンを選択できます。項目の選択には、▲▼◀▶キーを使用します。

```
4 . S D I 1   C O L O R   B A R
  ▼ ▶ * 1 0 0 %

4 . S D I 1   M O N I T O R
  ◆ ▶ F L A T   F I E L D   1 0 0 %

4 . S D I 1   S D I
  ▲   C H E C K   F I E L D
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > PATTERN > PATTERN SELECT > FIX PATTERN

---

パラメーター

---

COLOR BAR:	100% / 75% / MULTI 100% / MULTI 75% / MULTI (+I) / ARIB STD-B66-2 / HLGCB / S-LOG3 / SMPTE / EBU / BBC
MONITOR:	FLAT FIELD 100% / FLAT FIELD 50% / FLAT FIELD 0% / RED FIELD 100% / GREEN FIELD 100% / BLUE FIELD 100%
SDI:	CHECK FIELD

---

初期値

---

100%

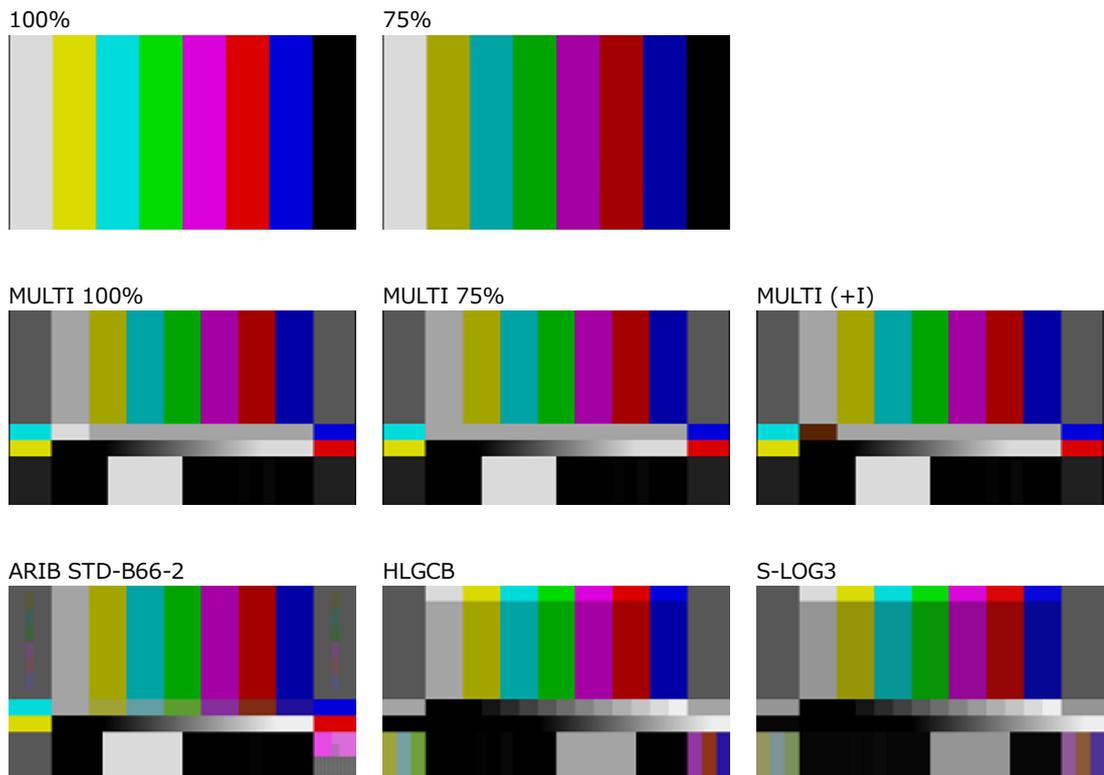
---

選択できるパターンは、SDI フォーマットによって以下のように異なります。

(○: 選択できる、×: 選択できない)

表 12-2 | FIX PATTERN

パターン		SDI フォーマット			
		12G 4K(QL)2SI	3G HD	SD	
				720x487	720x576
COLOR BAR	100%	○	○	○	○
	75%	○	○	○	×
	MULTI 100%	○	○	×	×
	MULTI 75%	○	○	×	×
	MULTI (+I)	○	○	×	×
	ARIB STD-B66-2	○	×	×	×
	HLGCB	○	×	×	×
	S-LOG3	○	×	×	×
	SMPTE	×	×	○	×
	EBU	×	×	×	○
	BBC	×	×	×	○
MONITOR	-	○	○	○	○
SDI	-	○	○	○	○



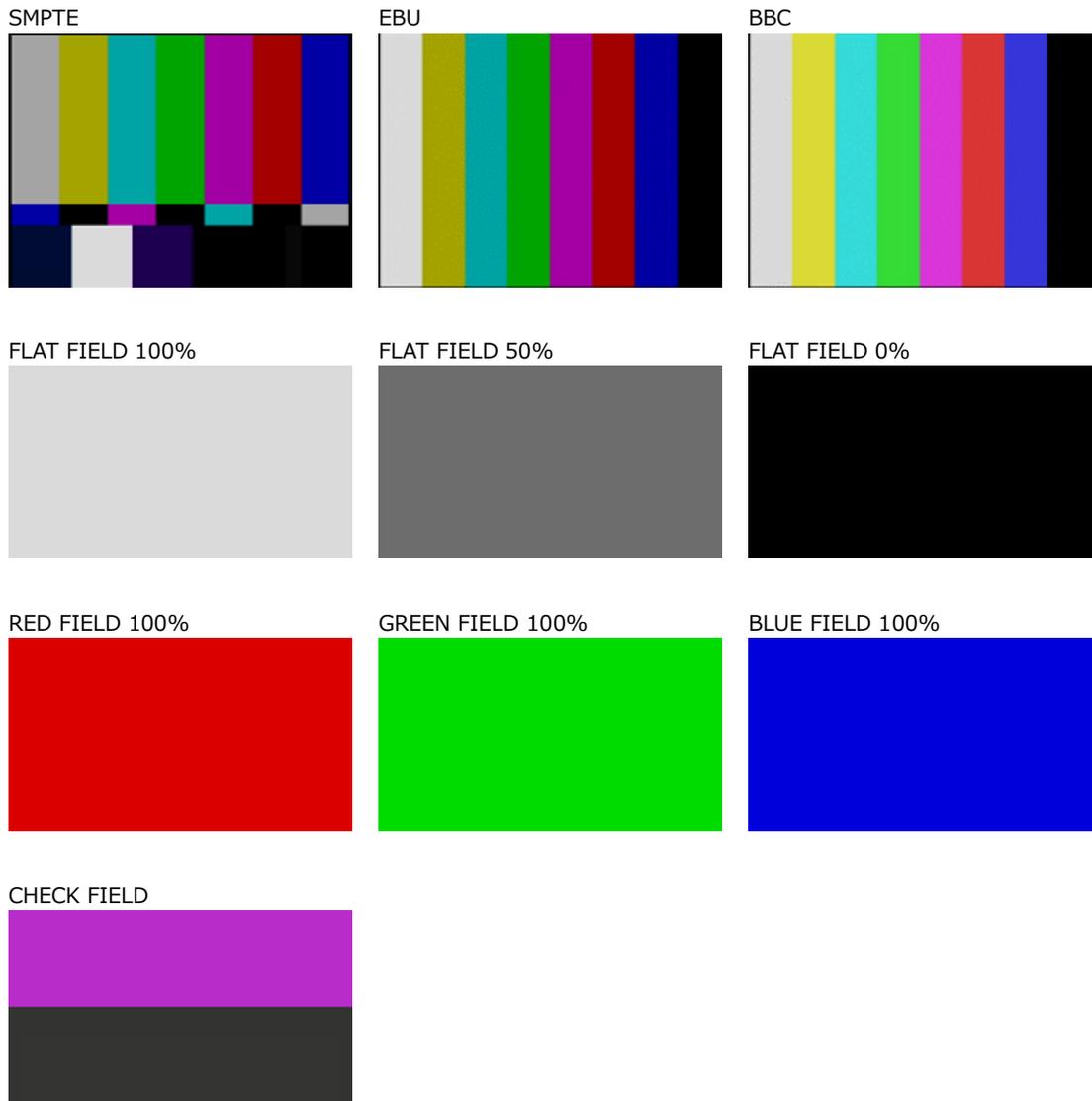


図 12-1 | パターンの選択

## 12.5 ユーザーパターンの設定

SDI 出力のパターンには、本体に内蔵されている固定パターンと、ユーザーが用意した画像を表示するユーザーパターンがありますが、ここではユーザーパターンについて説明します。

### 12.5.1 ユーザーパターンの表示手順

ユーザーパターンの準備から表示までの概略を以下に示します。

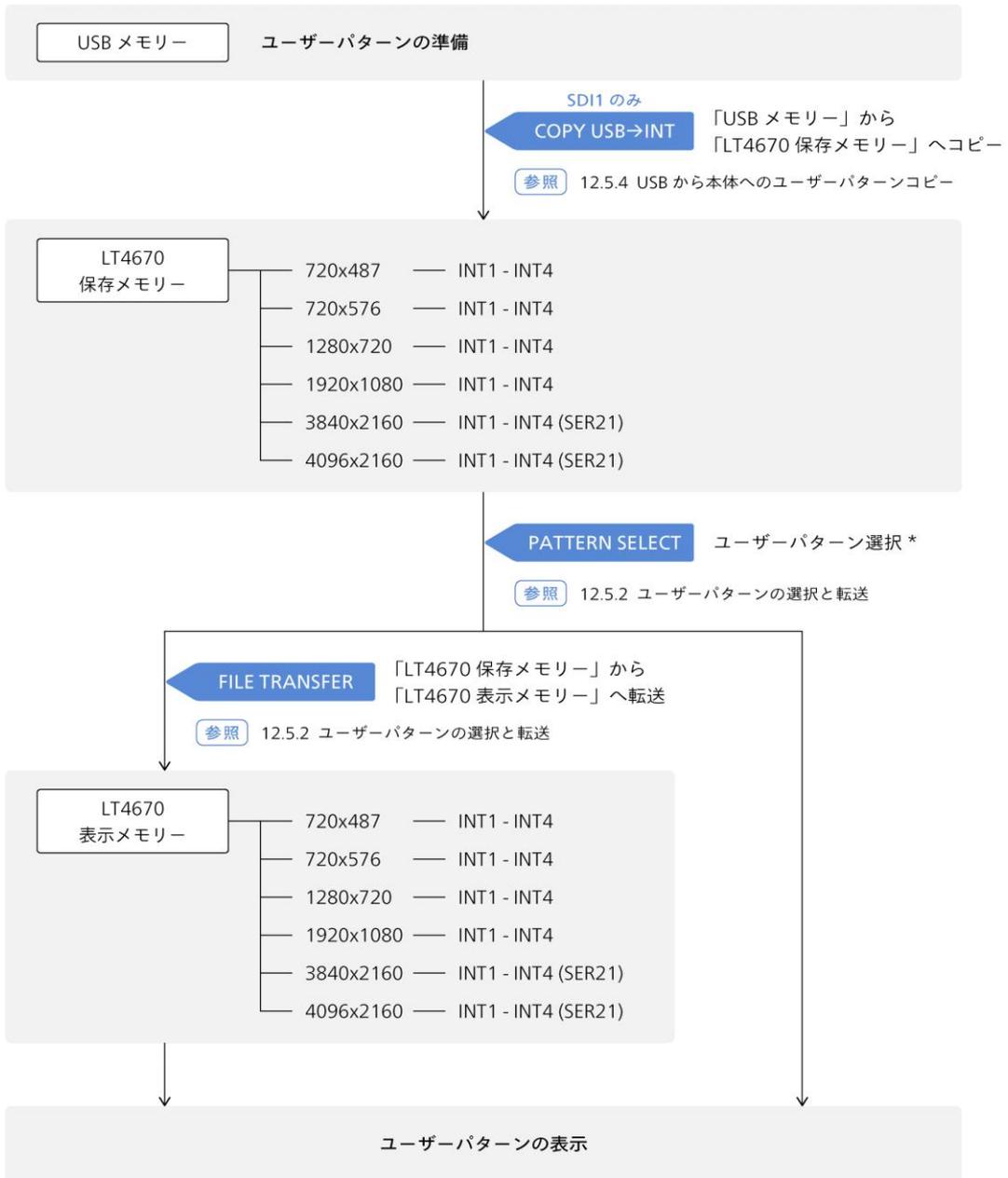


図 12-2 | ユーザーパターンの表示手順

\* 選択したユーザーパターンが転送済みの場合は、ユーザーパターンを選択した時点で表示できます。未転送の場合は、LT4670 表示メモリーへの転送後に表示できます。一度転送すると、電源を切るまで有効です。

ユーザーパターンの準備から表示までの詳細な手順は以下のとおりです。

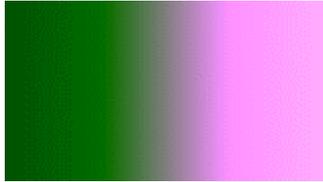
### 1. ユーザーパターンを用意します。

以下の条件に従って、ビットマップ形式または TIFF 形式の画像を用意します。

画像サイズは、出力する SDI フォーマットに応じて、いずれかを選択してください。

ここでは例として、ファイル名「leader.bmp」、画像サイズ「1920x1080」のユーザーパターンを用意します。

ファイル名: 半角英数字またはアンダーバー、64 文字まで  
 ファイル形式: 24 ビット ビットマップ形式 (.bmp)  
                   24/48 ビット TIFF 形式 (.tif)  
 画像サイズ: 720x487 (SD)  
                   720x576 (SD)  
                   1280x720 (HD、3G)  
                   1920x1080 (HD、3G)  
                   3840x2160 (4K)  
                   4096x2160 (4K)



- \* 拡張子「.tiff」には対応していません。
- \* 圧縮された TIFF には対応していません。

### 2. ユーザーパターンを USB メモリーに保存します。

USB メモリーのフォルダー構成を以下のようにし、1920\_1080 フォルダーの下にユーザーパターンを保存します。

- USB メモリー
  - └ ■ LT4670\_USER
    - └ ■ USER\_PATTERN
      - └ ■ 1920\_1080
        - └ ■ leader.bmp

### 3. USB メモリーを本体に接続します。

#### 4. COPY USB→INT メニューで、USB メモリーから LT4670 保存メモリーへユーザーパターンをコピーします。

ユーザーパターンは本体に画像サイズごとに 4 点 (INT1~INT4) までコピーできます。コピーしたユーザーパターンは SDI1~4 で共通です。

ここでは例として、USB メモリーの「leader.bmp」を本体の「INT1」にコピーします。

このメニューは、USB メモリーが接続されていて画像サイズのフォルダーがあるときに、SDI1 でのみ表示されます。

「SDI CONFIG > SDI1 > PATTERN > COPY USB→INT」で、画像サイズを選択します。

```
3 . S D I 1   C O P Y   U S B → I N T
◆▶ 1 9 2 0 x 1 0 8 0                               ↓
```

USB メモリーのコピー元を選択します。

```
4 . C O P Y   U S B → I N T
▶ l e a d e r . b m p                               1 / 1
```

コピー先を INT1 - INT4 から選択します。本体にすでにユーザーパターンが保存されているときは、上書きします。

```
5 . C O P Y   U S B → I N T
▶   I N T 1           N O   D A T A
```

カラリメトリを選択します。

```
6 . C O L O R I M E T R Y
 6 0 1    7 0 9    2 0 2 0
```

レンジを選択します。

```
7 . R A N G E
       N A R R O W    F U L L
```

HDR 規格を選択します。HDR 規格を選択すると、LT4670 保存メモリーにユーザーパターンがコピーされます。

```
8 . H D R
 S D R    H L G    P Q    U n s p c
```

【参照】 「12.5.4 USB から本体へのユーザーパターンコピー」

**5. PATTERN SELECT メニューで、ユーザーパターンを選択します。**

「SDI CONFIG > SDI1 > PATTERN > PATTERN SELECT > USER PATTERN」で INT1 を選択します。

ここでは、現在の画像サイズに応じたユーザーパターンが表示されます。ユーザーパターンが表示されない場合は、「SDI CONFIG > SDI1 > FORMAT > SYSTEM」で 1920x1080 を選択してください。

選択したユーザーパターンが転送済みであればこの時点でユーザーパターンが表示されますが、電源を入れてから初めて表示するには、以降に説明する転送が必要です。

```
4 . USER PAT 1 7 0 9 NR SDR
▶ * INT 1 leader . bmp
```

【参照】 「12.5.2 ユーザーパターンの選択と転送」

**6. FILE TRANSFER メニューで、LT4670 保存メモリーから LT4670 表示メモリーへユーザーパターンを転送します。**

手順 5 で \* マークが付いている状態で ENTER キーを押すと、「FILE TRANSFER」が表示されます。OK を選択してください。

```
5 . FILE TRANSFER
  ■ OK          □ CANCEL
```

OK を選択すると、ユーザーパターンを LT4670 表示メモリーに転送します。このままお待ちください。

```
FILE TRANSFER
PLEASE WAIT .
```

POWER ON LOAD を設定します。いずれかを選択すると、ユーザーパターンが表示されます。

YES を選択すると、電源を再投入したときにユーザーパターンを LT4670 表示メモリーに転送します。電源をオンオフするごとにユーザーパターンの転送は不要となりますが、電源投入時に時間がかかることがあります。

NO を選択すると、電源を再投入したときにユーザーパターンを LT4670 表示メモリーに転送しません。電源投入時に時間がかかることはありませんが、電源をオンオフするごとにユーザーパターンの転送が必要です。

```
6 . POWER ON LOAD
  □ YES        ■ NO
```

【参照】 「12.5.2 ユーザーパターンの選択と転送」

## 12.5.2 ユーザーパターンの選択と転送

ユーザーパターンを表示するには、LT4670 保存メモリーに保存してあるユーザーパターンを、LT4670 表示メモリーに転送する必要があります。

以下の操作で、ユーザーパターンの選択と転送ができます。

INT1～INT4 には、あらかじめ COPY USB→INT メニューで、ユーザーパターンをコピーしておく必要があります。

## 操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > PATTERN > PATTERN SELECT > USER PATTERN

---

## パラメーター

---

INT1 - INT4

---

## 初期値

---

INT1

---

ユーザーパターンは、以下の手順で選択、および転送します。

## 1. ユーザーパターンを選択します。

INT1 - INT4 から選択します。ここでは、現在の画像サイズに応じたユーザーパターンが表示されます。また、メニュー右上にはカラリメトリ、レンジ、HDR 規格がそれぞれ表示されます。

```
4 . USER PAT 1 709 NR SDR
▶ * INT1 leader . bmp
```

選択したユーザーパターンが転送済みであれば、この時点でユーザーパターンが表示されます。一度転送したユーザーパターンは電源を切るまで有効ですが、電源を再投入したときは再転送の必要があります。ただし、転送時に「POWER ON LOAD」を YES にした場合は、電源を再投入しても再転送の必要はありません。

選択したユーザーパターンが未転送であれば、この時点では何も表示されません。手順 2 に進みます。

## 2. ENTER キーを押します。

手順 1 で \* マークが付いている状態で ENTER キーを押すと、「FILE TRANSFER」が表示されます。

```
5 . FILE TRANSFER
  ■ OK          □ CANCEL
```

## 3. OK を選択します。

OK を選択すると、ユーザーパターンを LT4670 表示メモリーに転送します。このままお待ちください。

```
FILE TRANSFER
PLEASE WAIT .
```

**4. POWER ON LOAD を設定します。**

いずれかを選択すると、ユーザーパターンが表示されます。

YES を選択すると、電源を再投入したときにユーザーパターンを LT4670 表示メモリーに転送します。電源をオンオフするごとにユーザーパターンの転送は不要となりますが、電源投入時に時間がかかることがあります。

NO を選択すると、電源を再投入したときにユーザーパターンを LT4670 表示メモリーに転送しません。電源投入時に時間がかかることはありませんが、電源をオンオフするごとにユーザーパターンの転送が必要です。

```

6 . P O W E R   O N   L O A D
       Y E S            N O
  
```

**12.5.3 ユーザーパターンの消去**

以下の操作で、本体に保存されているユーザーパターンを消去できます。  
このメニューは SDI1 でのみ表示されます。

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > PATTERN > DELETE

---

ユーザーパターンは、以下の手順で消去します。

**1. 消去するユーザーパターンの画像サイズを選択します。**

720x487、720x576、1280x720、1920x1080、3840x2160、4096x2160 から選択します。

```

3 . D E L E T E   P A T T E R N
♦ 1 9 2 0 x 1 0 8 0
  
```

**2. 消去するユーザーパターンを選択します。**

INT1 - INT4 から選択します。

```

4 . D E L E T E   P A T T E R N
▶ I N T 1       l e a d e r . b m p
  
```

**3. OK を選択します。**

現在表示されているユーザーパターンを消去した場合、OK を選択してもユーザーパターンは表示され続けます。出力パターンを切り換えることで、再度表示することはできなくなります。

```

5 . D E L E T E   P A T T E R N
       O K            C A N C E L
  
```

## 12.5.4 USB から本体へのユーザーパターンコピー

以下の操作で、USB メモリーから LT4670 保存メモリーへ、ユーザーパターンを画像サイズごとに 4 点までコピーできます。コピーしたユーザーパターンは SDI1~4 で共通です。(USB メモリーにはあらかじめ、COPY INT→USB メニューでユーザーパターンをコピーしておくか、用意したユーザーパターンを置いておきます)

このメニューは、USB メモリーが接続されていて画像サイズのフォルダーがあるときに、SDI1 でのみ表示されます。

## 操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > PATTERN > COPY USB→INT

---

ユーザーパターンは、以下の手順でコピーします。

## 1. コピーするユーザーパターンの画像サイズを選択します。

720x487、720x576、1280x720、1920x1080、3840x2160、4096x2160 から選択します。

```
3 . S D I 1   C O P Y   U S B → I N T
◆ 1 9 2 0 x 1 0 8 0                               ↓
```

## 2. USB メモリーのコピー元を選択します。

ここでは、USB メモリーの画像サイズフォルダー内の bmp ファイルまたは tif ファイルを表示します。

```
4 . C O P Y   U S B → I N T
▶ l e a d e r . b m p                               1 / 1
```

## 3. 本体のコピー先を選択します。

INT1 - INT4 から選択します。本体にすでにユーザーパターンが保存されているときは、上書きします。

```
5 . C O P Y   U S B → I N T
▶   I N T 1           N O   D A T A
```

## 4. カラリメトリを選択します。

```
6 . C O L O R I M E T R Y
□ 6 0 1     ■ 7 0 9     □ 2 0 2 0
```

## 5. レンジを選択します。

```
7 . R A N G E
      ■ N A R R O W     □ F U L L
```

**6. HDR 規格を選択します。**

Unspc は未定義を表しています。

HDR 規格を選択すると、LT4670 保存メモリーにユーザーパターンがコピーされます。

8 . H D R
<input checked="" type="checkbox"/> S D R <input type="checkbox"/> H L G <input type="checkbox"/> P Q <input type="checkbox"/> U n s p c

**● USB メモリーの構成**

ユーザーパターンは、USB メモリーの画像サイズフォルダーの下にあるものをコピーします。

ユーザーパターンを用意する場合は、画像サイズを以下のようにしてください。

**■ USB メモリー****└ ■ LT4670\_USER****└ └ ■ USER\_PATTERN****└ └ └ ■ 720\_487**

| └ └ └ ■ \*\*\*\*.tif ..... 720×487 の tif ファイル

| └ └ └ └ ■ \*\*\*\*.bmp ..... 720×487 の bmp ファイル

**└ └ └ ■ 720\_576**

| └ └ └ ■ \*\*\*\*.tif ..... 720×576 の tif ファイル

| └ └ └ └ ■ \*\*\*\*.bmp ..... 720×576 の bmp ファイル

**└ └ └ ■ 1280\_720**

| └ └ └ ■ \*\*\*\*.tif ..... 1280×720 の tif ファイル

| └ └ └ └ ■ \*\*\*\*.bmp ..... 1280×720 の bmp ファイル

**└ └ └ ■ 1920\_1080**

| └ └ └ ■ \*\*\*\*.tif ..... 1920×1080 の tif ファイル

| └ └ └ └ ■ \*\*\*\*.bmp ..... 1920×1080 の bmp ファイル

**└ └ └ ■ 3840\_2160**

| └ └ └ ■ \*\*\*\*.tif ..... 3840×2160 の tif ファイル (SER21)

| └ └ └ └ ■ \*\*\*\*.bmp ..... 3840×2160 の bmp ファイル (SER21)

**└ └ └ ■ 4096\_2160**

| └ └ └ ■ \*\*\*\*.tif ..... 4096×2160 の tif ファイル (SER21)

| └ └ └ └ ■ \*\*\*\*.bmp ..... 4096×2160 の bmp ファイル (SER21)

## 12.5.5 本体から USB へのユーザーパターンコピー

以下の操作で、LT4670 保存メモリーから USB メモリーへ、ユーザーパターンをコピーできます。(本体にはあらかじめ、COPY USB→INT メニューでユーザーパターンをコピーしておきます)

このメニューは、USB メモリーが接続されているときに、SDI1 でのみ表示されます。

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > PATTERN > COPY INT→USB

---

ユーザーパターンは、以下の手順でコピーします。

**1. コピーするユーザーパターンの画像サイズを選択します。**

720x487、720x576、1280x720、1920x1080、3840x2160、4096x2160 から選択します。

```

3 . S D I 1   C O P Y   I N T → U S B
♦ 1 9 2 0 x 1 0 8 0                                     ↓

```

**2. 本体のコピー元を選択します。**

INT1 - INT4 から選択します。

```

4 . C O P Y   I N T → U S B
▶ I N T 1     l e a d e r . b m p

```

**3. OK を選択します。**

USB メモリーに同じファイル名のユーザーパターンが保存されている場合は、上書きします。

```

5 . C O P Y   I N T → U S B
      ■ O K           □ C A N C E L

```

- **USB メモリーの構成**

ユーザーパターンは、USB メモリーの画像サイズフォルダーの下にコピーします。

- USB メモリー

- └ ■ LT4670\_USER

- └ ■ USER\_PATTERN

- └ ■ 720\_487

- | └ ■ \*\*\*\*.tif ..... 720×487 の tif ファイル

- | └ ■ \*\*\*\*.bmp ..... 720×487 の bmp ファイル

- └ ■ 720\_576

- | └ ■ \*\*\*\*.tif ..... 720×576 の tif ファイル

- | └ ■ \*\*\*\*.bmp ..... 720×576 の bmp ファイル

- └ ■ 1280\_720

- | └ ■ \*\*\*\*.tif ..... 1280×720 の tif ファイル

- | └ ■ \*\*\*\*.bmp ..... 1280×720 の bmp ファイル

- └ ■ 1920\_1080

- | └ ■ \*\*\*\*.tif ..... 1920×1080 の tif ファイル

- | └ ■ \*\*\*\*.bmp ..... 1920×1080 の bmp ファイル

- └ ■ 3840\_2160

- | └ ■ \*\*\*\*.tif ..... 3840×2160 の tif ファイル (SER21)

- | └ ■ \*\*\*\*.bmp ..... 3840×2160 の bmp ファイル (SER21)

- └ ■ 4096\_2160

- | └ ■ \*\*\*\*.tif ..... 4096×2160 の tif ファイル (SER21)

- | └ ■ \*\*\*\*.bmp ..... 4096×2160 の bmp ファイル (SER21)

## 12.6 YCbCr/GBR のオンオフ

以下の操作で、YCbCr または GBR の成分ごとに信号をオンオフできます。  
パターンがチェックフィールドのときは無効です。

3 . S D I 1   C O M P O N E N T
<input checked="" type="checkbox"/> Y / G <input checked="" type="checkbox"/> C b / B <input checked="" type="checkbox"/> C r / R

操作

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > COMPONENT

パラメーター

ON / OFF

初期値

ON

## 12.7 セーフティエリアマーカのオンオフ

以下の操作で、セーフティエリアマーカをそれぞれオンオフできます。

90%マーカおよび80%マーカは、4:3 マーカがオフのときはピクチャーの外枠、オンのときは4:3 マーカを100%として表示します。

SDI フォーマットが SD のとき、4:3 マーカの設定はできません。また、パターンがチェックフィールドのときは無効です。

3 . S D I 1   S A F E T Y   A R E A
<input type="checkbox"/> 9 0 % <input type="checkbox"/> 8 0 % <input type="checkbox"/> 4 : 3

操作

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > SAFETY AREA

パラメーター

ON / OFF

初期値

OFF

90%、80% = ON



90%、80%、4:3 = ON

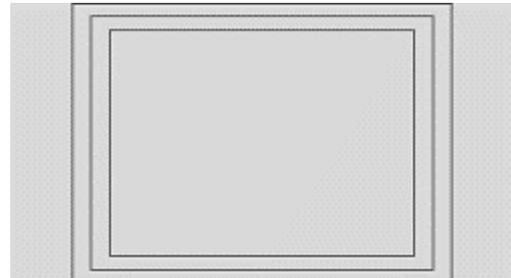


図 12-3 | セーフティエリアマーカのオンオフ

## 12.8 スクロールの設定

VIDEO メニューの SCROLL では、パターンスクロールについて設定できます。  
パターンがチェックフィールドのときは無効です。

```
2 . S D I 1   V I D E O
◆ S C R O L L
```

### 12.8.1 スクロールのオンオフ

以下の操作で、スクロールをオンオフできます。

```
4 . S D I 1   S C R O L L
   □ O N       ■ O F F
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > SCROLL > ON/OFF

---

パラメーター

---

ON / OFF

---

初期値

---

OFF

---

### 12.8.2 スクロール速度の設定 (縦方向)

以下の操作で、縦方向のスクロール速度と向きを設定できます。

単位は[ライン/フィールド(フレーム)]で、正の値にすると下から上、負の値にすると上から下にスクロールします。SDI フォーマットが 4K(SER04/SER21)のときは 2 ラインステップで設定します。

```
4 . S D I 1   S C R O L L   V - S P E E D
                               0 [ L I N E ]
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > SCROLL > V-SPEED

---

パラメーター

---

±256 [LINE]

---

初期値

---

0 [LINE]

---

## 12.8.3 スクロール速度の設定 (横方向)

以下の操作で、横方向のスクロール速度と向きを設定できます。

単位は[ドット/フィールド(フレーム)]で、正の値にすると左から右、負の値にすると右から左にスクロールします。通常は2ドットステップ、SDI フォーマットが4K(SER04/SER21)のときは4ドットステップで設定します。

```
4 . S D I 1   S C R O L L   H - S P E E D
                                0   [ D O T ]
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > SCROLL > H-SPEED

---

パラメーター

---

±256 [DOT]

---

初期値

---

0 [DOT]

---

## 12.9 パターンチェンジの設定

VIDEO メニューの PATTERN CHANGE では、パターンチェンジについて設定できます。

パターンがチェックフィールドのときは無効です。また、ユーザーパターンが選択されているとき、このメニューは表示されません。

```
2 . S D I 1   V I D E O
  ◆ P A T T E R N   C H A N G E   ↓
```

## 12.9.1 パターンチェンジのオンオフ

以下の操作で、パターンチェンジをオンオフできます。

ON にすると、現在のフォーマットで選択できるカラーバーパターンを自動で切り換えます。

```
4 . S D I 1   P A T T E R N   C H A N G E
  □ O N           ■ O F F
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > PATTERN CHANGE > ON/OFF

---

パラメーター

---

ON / OFF

---

初期値

---

OFF

---

## 12.9.2 切り換え時間の設定

以下の操作で、パターンを切り換える間隔を設定できます。

```
4 . S D I 1   P A T T E R N   C H G   S P E E D
                + 1   [ S E C ]
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > PATTERN CHANGE > SPEED

---

パラメーター

---

+1 - +255 [SEC]

---

初期値

---

+1 [SEC]

---

## 12.10 ID キャラクターの設定

VIDEO メニューの ID CHARACTER では、ID キャラクターについて設定できます。

ここでは、本体で作成した任意の文字列をパターン上に表示できます。

パターンがチェックフィールドのときは無効です。

```
2 . S D I 1   V I D E O
  ◆ I D   C H A R A C T E R                               ↓
```

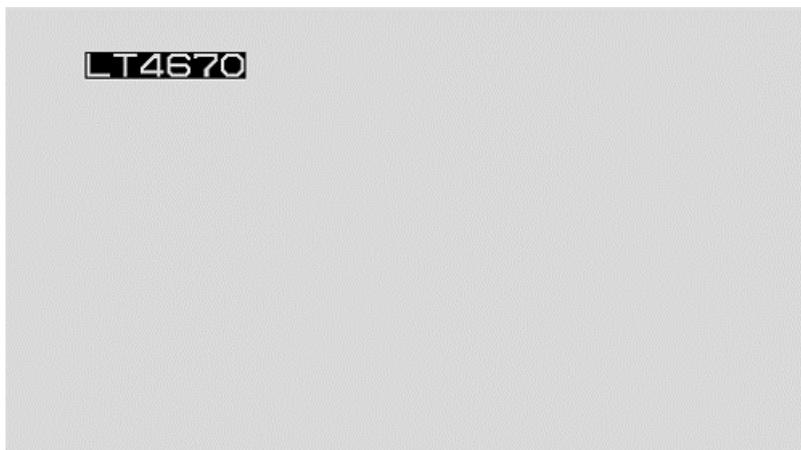


図 12-4 | ID キャラクターの設定

## 12.10.1 ID キャラクターのオンオフ

以下の操作で、ID キャラクターをオンオフできます。

```
4 . S D I 1   I D   C H A R A C T E R
      □ O N           ■ O F F
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > ID CHARACTER > ON/OFF

---

パラメーター

---

ON / OFF

---

初期値

---

OFF

---

## 12.10.2 ID キャラクターの呼び出し

以下の操作で、STORE メニューで本体に保存した ID キャラクターを呼び出して表示できます。

```
4 . S D I 1   I D   R E C A L L
▶ NO DATA                               I N T 1
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > ID CHARACTER > RECALL

---

パラメーター

---

INT1 - INT4

---

## 12.10.3 ID キャラクターの作成

以下の操作で、ID キャラクターを作成できます。20 文字まで入力できます。

ID キャラクターの背景は 20 文字分黒く表示されますが、ID キャラクターの最後に◀を入力すると、入力した文字の背景だけが黒く表示されます。(◀は表示されません)

ID キャラクターの途中に◀を入力すると、以降の文字は消えて編集できなくなります。

```
4 . S D I 1   I D   S E T
L T 4 6 7 0 ◀
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > ID CHARACTER > SET

---

パラメーター

---

◀ ! " # \$ % & ' ( ) \* + , - . / 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 : ; < = > ? @  
 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z [ ¥ ] ^ \_ → ←

---

初期値

---

LT4670◀

---



図 12-5 | ID キャラクターの作成

#### 12.10.4 ID キャラクター位置の設定 (縦方向)

以下の操作で、縦方向の ID キャラクター位置を設定できます。  
 値は ID キャラクター上端の位置を表し、パターンの上端を 0%としています。

```
4 . S D I 1   I D   V - P O S I
                0   [ % ]
```

操作

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > ID CHARACTER > V-POSI

パラメーター

0 - 100 [%]

初期値

0 [%]

#### 12.10.5 ID キャラクター位置の設定 (横方向)

以下の操作で、横方向の ID キャラクター位置を設定できます。  
 値は ID キャラクター左端の位置を表し、パターンの左端を 0%としています。

```
4 . S D I 1   I D   H - P O S I
                0   [ % ]
```

操作

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > ID CHARACTER > H-POSI

パラメーター

0 - 100 [%]

初期値

0 [%]

## 12.10.6 ID キャラクターサイズの選択

以下の操作で、ID キャラクターのサイズを選択できます。  
x1 のサイズは、32×32 ドット/文字です。

4 . S D I 1 I D S I Z E
<input checked="" type="checkbox"/> x 1 <input type="checkbox"/> x 2 <input type="checkbox"/> x 4 <input type="checkbox"/> x 8

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > ID CHARACTER > SIZE

---

パラメーター

---

x1 / x2 / x4 / x8

---

初期値

---

x1

---

## 12.10.7 ID キャラクターレベルの選択

以下の操作で、ID キャラクターの輝度レベルを選択できます。

4 . S D I 1 I D L E V E L
<input checked="" type="checkbox"/> 1 0 0 % <input type="checkbox"/> 7 5 %

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > ID CHARACTER > LEVEL

---

パラメーター

---

100% / 75%

---

初期値

---

100%

---

## 12.10.8 ID キャラクター点滅のオンオフ

以下の操作で、ID キャラクターの点滅をオンオフできます。

5 . S D I 1 I D B L I N K
<input type="checkbox"/> O N <input checked="" type="checkbox"/> O F F

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > ID CHARACTER > BLINK > ON/OFF

---

パラメーター

---

ON / OFF

---

初期値

---

OFF

---

## 12.10.9 ID キャラクター点灯時間の設定

以下の操作で、ID キャラクター点滅の点灯時間を設定できます。

```
5 . S D I 1   I D   B L I N K   O N   T I M E
                1   [ S E C ]
```

操作

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > ID CHARACTER > BLINK > ON TIME

パラメーター

1 - 9 [SEC]

初期値

1 [SEC]

## 12.10.10 ID キャラクター消灯時間の設定

以下の操作で、ID キャラクター点滅の消灯時間を設定できます。

```
5 . S D I 1   I D   B L I N K   O F F   T I M E
                1   [ S E C ]
```

操作

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > ID CHARACTER > BLINK > OFF TIME

パラメーター

1 - 9 [SEC]

初期値

1 [SEC]

## 12.10.11 ID キャラクタースクロールのオンオフ

以下の操作で、ID キャラクターのスクロールをオンオフできます。

ON にすると、ID キャラクターがパターン上を横方向にスクロールします。

```
5 . S D I 1   I D   S C R O L L
    □ O N           ■ O F F
```

操作

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > ID CHARACTER > SCROLL > ON/OFF

パラメーター

ON / OFF

初期値

OFF

## 12.10.12 ID キャラクタースクロール速度の設定

以下の操作で、ID キャラクターのスクロール速度と向きを設定できます。

単位は[ドット/フィールド(フレーム)]で、正の値にすると左から右、負の値にすると右から左にスクロールします。通常は2ドットステップ、SDI フォーマットが4K(SER04/SER21)のときは4ドットステップで設定します。

```
5 . S D I 1   I D   S C R O L L   S P E E D
                                0 [ D O T ]
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > ID CHARACTER > SCROLL > SPEED

---

パラメーター

---

±256 [DOT]

---

初期値

---

0 [DOT]

---

## 12.10.13 ID キャラクター背景の透過

以下の操作で、ID キャラクターの背景を透過するかどうか選択できます。

```
4 . S D I 1   I D   T R A N S P A R E N C Y
       O N            O F F
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > ID CHARACTER > TRANSPARENCY

---

パラメーター

---

ON / OFF

---

初期値

---

OFF

---

TRANSPARENCY = ON



TRANSPARENCY = OFF



図 12-6 | ID キャラクター背景の透過

## 12.10.14 ID キャラクターの保存

以下の操作で、SET メニューで作成した ID キャラクターを、4 点まで本体に保存できます。  
保存される内容は文字列のみで、位置やサイズなどは保存されません。

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > ID CHARACTER > STORE

---

ID キャラクターは、以下の手順で保存します。

**1. ファイル名を入力します。**

「STORE」を選択すると、ファイル名入力メニューが表示されます。これは ID キャラクターに付ける名前で、USB メモリーにコピーしたときのファイル名にもなります。

使用できる文字は以下のとおりで、8 文字まで入力できます。

◀ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z \_

文字を消去したいときは、◀を入力すると以降の文字が消えます。このとき、◀はファイル名には入りません。

```
4 . S D I 1   I D   S T O R E
L T 4 6 7 0 ◀
```

**2. 本体の保存先を選択します。**

INT1 - INT4 から選択します。すでに ID キャラクターが保存されているときは、上書きします。

```
5 . S D I 1   I D   S T O R E
▶ N O   D A T A                               I N T 1
```

**3. OK を選択します。**

```
6 . S D I 1   I D   S T O R E
      ■ O K           □ C A N C E L
```

## 12.10.15 USB から本体への ID キャラクターコピー

以下の操作で、USB メモリーから本体へ、ID キャラクターを 4 点までコピーできます。複数の本体を同じ設定で使用したいときに便利です。(USB メモリーにはあらかじめ、COPY INT→USB メニューで ID キャラクターをコピーしておきます)

このメニューは、USB メモリーが接続されているときに表示されます。

## 操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > ID CHARACTER > COPY USB→INT

---

ID キャラクターは、以下の手順でコピーします。

## 1. 本体のコピー先を選択します。

INT1 - INT4 から選択します。本体にすでに ID キャラクターが保存されているときは、上書きします。

```
4 . S D I 1   I D   C O P Y   U S B → I N T
▶ N O   D A T A                               I N T 1
```

## 2. USB メモリーのコピー元を選択します。

ここでは、USB メモリーの ID フォルダー内の id ファイルを表示します。

```
5 . S D I 1   I D   C O P Y   U S B → I N T
▶ L T 4 6 7 0 . i d                           1 / 1
```

## 3. OK を選択します。

```
6 . S D I 1   I D   C O P Y   U S B → I N T
  ■ O K                               □ C A N C E L
```

## ● USB メモリーの構成

ID キャラクターは、USB メモリーの ID フォルダーの下にあるものをコピーします。

- USB メモリー
  - └ ■ LT4670\_USER
    - └ ■ ID
      - └ ■ \*\*\*\*.id

## 12.10.16 本体から USB への ID キャラクターコピー

以下の操作で、本体から USB メモリーへ、ID キャラクターを専用形式(.id)でコピーできます。複数の本体を同じ設定で使用したいときに便利です。(本体にはあらかじめ、STORE メニューで ID キャラクターを保存しておきます)

このメニューは、USB メモリーが接続されているときに表示されます。

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > ID CHARACTER > COPY INT→USB

---

ID キャラクターは、以下の手順でコピーします。

**1. 本体のコピー元を選択します。**

ALL または INT1 - INT4 から選択します。

```
4 . S D I 1   I D   C O P Y   I N T → U S B
▶ A L L
```

**2. OK を選択します。**

```
5 . S D I 1   I D   C O P Y   I N T → U S B
  ■ O K           □ C A N C E L
```

● **USB メモリーの構成**

ID キャラクターは、USB メモリーの ID フォルダの下にコピーします。

ファイルの日時は、REFERENCE CONFIG メニューの TIME SOURCE で選択した日時となります。

```
■ USB メモリー
  └─ ■ LT4670_USER
      └─ ■ ID
          └─ ■ ****.id
```

## 12.10.17 ID キャラクターの消去

以下の操作で、本体に保存されている ID キャラクターを消去できます。

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > ID CHARACTER > DELETE

---

ID キャラクターは、以下の手順で消去します。

**1. 消去する ID キャラクターを選択します。**

ALL または INT1 - INT4 から選択します。

```
4 . S D I 1   I D   D E L E T E
▶ A L L
```

**2. OK を選択します。**

```
5 . S D I 1   I D   D E L E T E
  ■ O K           □ C A N C E L
```

## 12.11 ログの設定

VIDEO メニューの LOGO では、ロゴについて設定できます。  
 ここでは、あらかじめ用意したビットマップ形式の画像をパターン上に表示できます。  
 パターンがチェックフィールドのときは無効です。

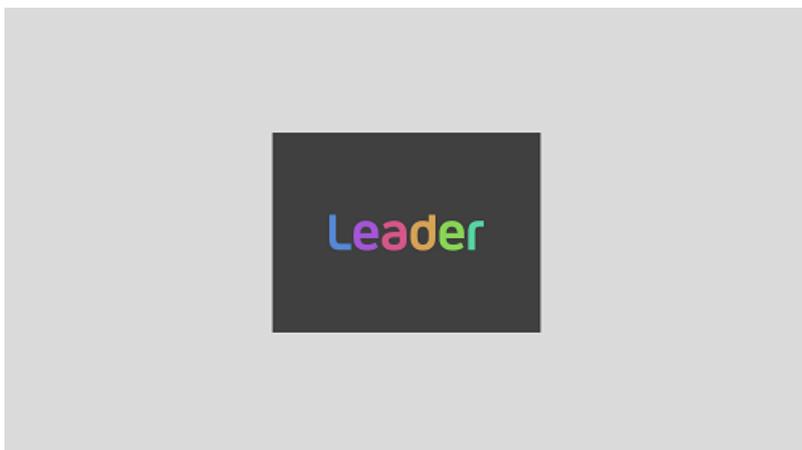


図 12-7 | ログの設定

### 12.11.1 ログの表示手順

ここでは、ロゴの準備からパターン上に表示するまでの手順を説明します。

#### 1. ログを用意します。

以下の条件に従って、ビットマップ形式の画像を用意します。  
 ここでは例として、ファイル名「leader.bmp」のロゴを用意します。

ファイル名: 半角英数字またはアンダーバー、64 文字まで  
 ファイル形式: 24 ビット ビットマップ形式 (.bmp)  
 画像サイズ: 640(幅)×480(高さ)まで



#### 2. ログを USB メモリーに保存します。

USB メモリーのフォルダー構成を以下のようにし、LOGO フォルダの下にロゴを保存します。

- USB メモリー
  - └ ■ LT4670\_USER
    - └ ■ LOGO
      - └ ■ leader.bmp

#### 3. USB メモリーを本体に接続します。

**4. COPY USB→INT メニューで、USB メモリーから本体へロゴをコピーします。**

ロゴは本体に 4 点 (INT1~INT4) までコピーできます。コピーしたロゴは SDI1~4 で共通です。  
 ここでは例として、USB メモリーの「leader.bmp」を本体の「INT1」にコピーします。  
 このメニューは、USB メモリーが接続されていて LOGO フォルダがあるときに、SDI1 でのみ表示されます。

「SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > LOGO > COPY USB→INT」で、コピー先を INT1 - INT4 から選択します。本体にすでにロゴが保存されているときは、上書きします。

```
4 . S D I 1   L O G O   C O P Y   U S B → I N T
▶ N O   D A T A                               I N T 1
```

USB メモリーのコピー元を選択します。

```
5 . S D I 1   L O G O   C O P Y   U S B → I N T
  l e a d e r . b m p                           1 / 1
```

OK を選択します。

```
6 . S D I 1   L O G O   C O P Y   U S B → I N T
  ■ O K                               □ C A N C E L
```

**5. SELECT メニューで、ロゴを選択します。**

INT1 - INT4 から選択します。

```
4 . S D I 1   L O G O   S E L E C T
▶ * l e a d e r . b m p                       I N T 1
```

**6. ON/OFF メニューで、ON を選択します。**

```
4 . S D I 1   L O G O
  ■ O N                               □ O F F
```

## 12.11.2 ログのオンオフ

以下の操作で、ロゴをオンオフできます。

```
4 . S D I 1   L O G O
  □ O N                               ■ O F F
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > LOGO > ON/OFF

---

パラメーター

---

ON / OFF

---

初期値

---

OFF

---

## 12.11.3 ログの選択

以下の操作で、表示するログを選択できます。

INT1～INT4 には、あらかじめ COPY USB→INT メニューで、ログをコピーしておく必要があります。

```
4 . S D I 1   L O G O   S E L E C T
▶ * l e a d e r . b m p                               I N T 1
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > LOGO > SELECT

---

パラメーター

---

INT1 - INT4

---

初期値

---

INT1

---

## 12.11.4 ログ位置の設定 (縦方向)

以下の操作で、縦方向のログ位置を設定できます。

値はログ上端の位置を表し、パターンの上端を 0%としています。

```
4 . S D I 1   L O G O   V - P O S I
                                0   [ % ]
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > LOGO > V-POSI

---

パラメーター

---

0 - 100 [%]

---

初期値

---

0 [%]

---

## 12.11.5 ログ位置の設定 (横方向)

以下の操作で、横方向のログ位置を設定できます

値はログ左端の位置を表し、パターンの左端を 0%としています。

```
4 . S D I 1   L O G O   H - P O S I
                                0   [ % ]
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > LOGO > H-POSI

---

パラメーター

---

0 - 100 [%]

---

初期値

---

0 [%]

---

## 12.11.6 ログ透過のオンオフ

以下の操作で、ロゴを透過するかどうか選択できます。  
透過する部分は LEVEL で指定できます。

```
5 . S D I 1   L O G O   T R A N S P A R E N C Y
       O N            O F F
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > LOGO > TRANSPARENCY > ON/OFF

---

パラメーター

---

ON / OFF

---

初期値

---

OFF

---

## 12.11.7 ログ透過レベルの設定

以下の操作で、透過する輝度レベルを選択できます。  
輝度レベルを 0～255 で表し、設定したレベル以下を透過して表示します。

```
5 . S D I 1   L O G O   T R A N S P A R E N C Y
                        1 6
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > LOGO > TRANSPARENCY > LEVEL

---

パラメーター

---

0 - 255

---

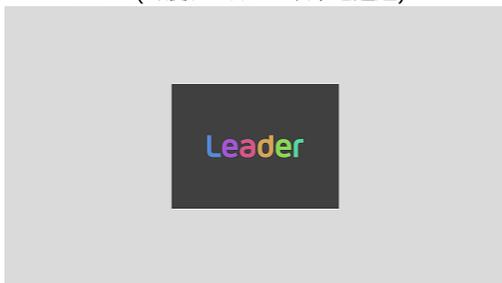
初期値

---

16

---

LEVEL = 16 (輝度レベル 16 以下を透過)



LEVEL = 128 (輝度レベル 128 以下を透過)



図 12-8 | ログ透過レベルの設定

## 12.11.8 USB から本体へのロゴコピー

以下の操作で、USB メモリーから本体へ、ロゴを 4 点までコピーできます。コピーしたロゴは SDI1~4 で共通です。(USB メモリーにはあらかじめ、COPY INT→USB メニューでロゴをコピーしておくか、用意したロゴを置いておきます)

このメニューは、USB メモリーが接続されていて LOGO フォルダがあるときに、SDI1 でのみ表示されます。

## 操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > LOGO > COPY USB→INT

---

ロゴは、以下の手順でコピーします。

## 1. 本体のコピー先を選択します。

INT1 - INT4 から選択します。本体にすでにロゴが保存されているときは、上書きします。

```
4 . S D I 1  L O G O   C O P Y   U S B → I N T
▶ N O   D A T A                               I N T 1
```

## 2. USB メモリーのコピー元を選択します。

ここでは、USB メモリーの LOGO フォルダ内の bmp ファイルを表示します。

```
5 . S D I 1  L O G O   C O P Y   U S B → I N T
  l e a d e r . b m p                               1 / 1
```

## 3. OK を選択します。

```
6 . S D I 1  L O G O   C O P Y   U S B → I N T
  ■ O K                               □ C A N C E L
```

## ● USB メモリーの構成

ロゴは、USB メモリーの LOGO フォルダの下にあるものをコピーします。

- USB メモリー
  - └ ■ LT4670\_USER
    - └ ■ LOGO
      - └ ■ \*\*\*\*.bmp

## 12.11.9 本体から USB へのロゴコピー

以下の操作で、本体から USB メモリーへ、ロゴを bmp 形式でコピーできます。(本体にはあらかじめ、COPY USB→INT メニューでロゴをコピーしておきます)

このメニューは、USB メモリーが接続されているときに、SDI1 でのみ表示されます。

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > LOGO > COPY INT→USB

---

ロゴは、以下の手順でコピーします。

**1. 本体のコピー元を選択します。**

ALL または INT1 - INT4 から選択します。

```
4 . S D I 1   L O G O   C O P Y   I N T → U S B
▶ A L L
```

**2. OK を選択します。**

USB メモリーに同じファイル名のロゴが保存されている場合は、上書きします。また、ALL を選択した場合、INT1 - INT4 に同じファイル名のロゴが保存されていると、番号(INT\*)の大きい1点のみ保存します。

```
5 . S D I 1   L O G O   C O P Y   I N T → U S B
  ■ O K           □ C A N C E L
```

● **USB メモリーの構成**

ロゴは、USB メモリーの LOGO フォルダの下にコピーします。

- USB メモリー
  - └ ■ LT4670\_USER
    - └ ■ LOGO
      - └ ■ \*\*\*\*.bmp

## 12.11.10 ログの消去

以下の操作で、本体に保存されているログを消去できます。  
このメニューは SDI1 でのみ表示されます。

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > LOGO > DELETE

---

ログは、以下の手順で消去します。

**1. 消去するログを選択します。**

ALL または INT1 - INT4 から選択します。

```
4 . S D I 1   L O G O   D E L E T E
▶ A L L
```

**2. OK を選択します。**

現在表示されているログを消去した場合、OK を選択してもログは表示され続けます。ログを切り換えることで、再度表示することはできなくなります。

```
5 . S D I 1   L O G O   D E L E T E
  ■ O K           □ C A N C E L
```

## 12.12 ムービングボックスの設定

VIDEO メニューの MOVING BOX では、ムービングボックスについて設定できます。パターンがチェックフィールドのときは無効です。

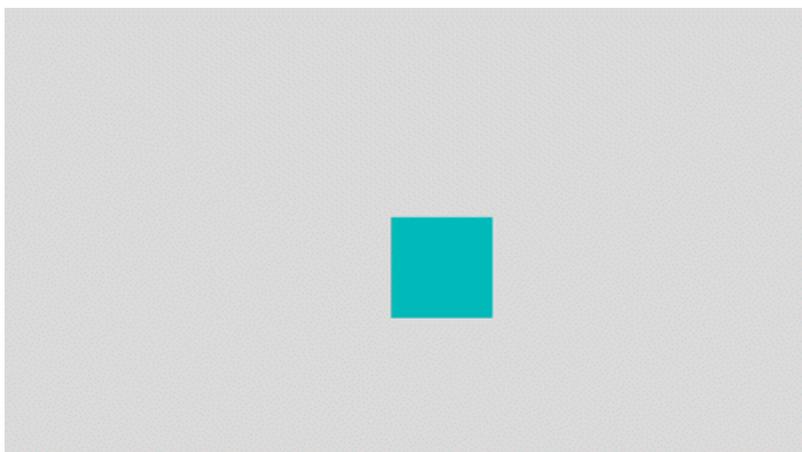


図 12-9 | ムービングボックスの設定

### 12.12.1 ムービングボックスのオンオフ

以下の操作で、ムービングボックスをオンオフできます。



#### 操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > MOVING BOX > ON/OFF

---

#### パラメーター

---

ON/OFF

---

#### 初期値

---

OFF

---

## 12.12.2 ムービングボックス色の選択

以下の操作で、ムービングボックスの色を選択できます。

```
4 . S D I 1   B O X   C O L O R
▶ *   W H I T E
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > MOVING BOX > BOX COLOR

---

パラメーター

---

WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / BLUE / RED / MAGENTA / BLACK

---

初期値

---

WHITE

---

## 12.12.3 ムービングボックス速度の選択 (縦方向)

以下の操作で、縦方向のムービングボックス速度を選択できます。

```
4 . S D I 1   B O X   V - S P E E D
◆ *   M I D D L E
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > MOVING BOX > V-SPEED

---

パラメーター

---

LOW / MIDDLE / HIGH

---

初期値

---

MIDDLE

---

## 12.12.4 ムービングボックス速度の選択 (横方向)

以下の操作で、横方向のムービングボックス速度を選択できます。

```
4 . S D I 1   B O X   H - S P E E D
◆ *   M I D D L E
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > MOVING BOX > H-SPEED

---

パラメーター

---

LOW / MIDDLE / HIGH

---

初期値

---

MIDDLE

---

## 12.12.5 ムービングボックス高さの選択

以下の操作で、ムービングボックスの高さを選択できます。  
数値が大きくなるほど、サイズが大きくなります。

```
4 . S D I 1   B O X   V - S I Z E
◆ *   S I Z E 2
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > MOVING BOX > V-SIZE

---

パラメーター

---

SIZE1 / SIZE2 / SIZE3 / SIZE4 / SIZE5

---

初期値

---

SIZE2

---

## 12.12.6 ムービングボックス幅の選択

以下の操作で、ムービングボックスの幅を選択できます。  
数値が大きくなるほど、サイズが大きくなります。

```
4 . S D I 1   B O X   H - S I Z E
◆ *   S I Z E 2
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > MOVING BOX > H-SIZE

---

パラメーター

---

SIZE1 / SIZE2 / SIZE3 / SIZE4 / SIZE5

---

初期値

---

SIZE2

---

## 12.13 サークルの設定

VIDEO メニューの CIRCLE では、サークルについて設定できます。  
パターンがチェックフィールドのときは無効です。

```
2 . S D I 1  V I D E O
  ◆ C I R C L E
```

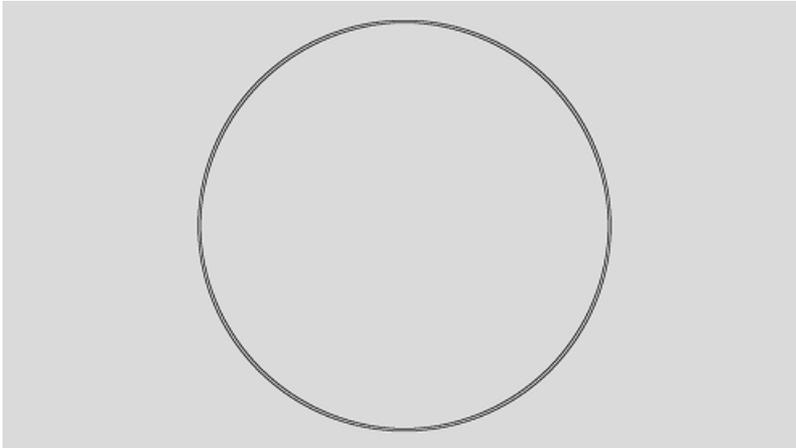


図 12-10 | サークルの設定

### 12.13.1 サークルのオンオフ

以下の操作で、サークルをオンオフできます。

```
4 . S D I 1  C I R C L E
   □ O N      ■ O F F
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > CIRCLE > ON/OFF

---

パラメーター

---

ON/OFF

---

初期値

---

OFF

---

## 12.13.2 サークルレベルの選択

以下の操作で、サークルの輝度レベルを選択できます。

4 . S D I 1 C I R C L E L E V E L
<input checked="" type="checkbox"/> 1 0 0 % <input type="checkbox"/> 7 5 %

操作

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > CIRCLE > LEVEL

パラメーター

100% / 75%

初期値

100%

## 12.13.3 サークルサイズを選択

以下の操作で、サークルのサイズを選択できます。  
ピクチャーの縦方向の大きさを 100%としています。

4 . S D I 1 C I R C L E S I Z E
<input checked="" type="checkbox"/> 9 0 % <input type="checkbox"/> 8 0 % <input type="checkbox"/> 7 0 %

操作

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > CIRCLE > SIZE

パラメーター

90% / 80% / 70%

初期値

90%

## 12.13.4 サークル点滅のオンオフ

以下の操作で、サークルの点滅をオンオフできます。

5 . S D I 1 I D B L I N K
<input type="checkbox"/> O N <input checked="" type="checkbox"/> O F F

操作

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > CIRCLE > BLINK > ON/OFF

パラメーター

ON / OFF

初期値

OFF

## 12.13.5 サークル点灯時間の設定

以下の操作で、サークル点滅の点灯時間を設定できます。

5 . S D I 1 I D B L I N K O N T I M E
1 [ S E C ]

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > CIRCLE > BLINK > ON TIME

---

パラメーター

---

1 - 9 [SEC]

---

初期値

---

1 [SEC]

---

## 12.13.6 サークル消灯時間の設定

以下の操作で、サークル点滅の消灯時間を設定できます。

5 . S D I 1 I D B L I N K O F F T I M E
1 [ S E C ]

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > CIRCLE > BLINK > OFF TIME

---

パラメーター

---

1 - 9 [SEC]

---

初期値

---

1 [SEC]

---

## 12.14 タイムコードの設定

VIDEO メニューの TIMECODE では、タイムコードについて設定できます。  
パターンがチェックフィールドのときは無効です。

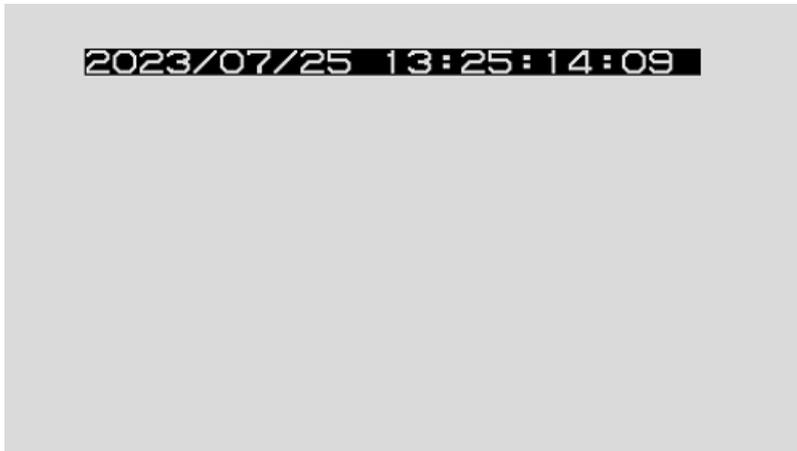


図 12-11 | タイムコードの設定

### 12.14.1 タイムコードのオンオフ

以下の操作で、タイムコードをオンオフできます。

ON にすると、REFERENCE CONFIG メニューの TIME SOURCE で選択した日時を表示します。



操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > TIMECODE > ON/OFF

---

パラメーター

---

ON/OFF

---

初期値

---

OFF

---

## 12.14.2 タイムコード位置の設定 (縦方向)

以下の操作で、縦方向のタイムコード位置を設定できます。

値はタイムコード上端の位置を表し、パターンの上端を 0%としています。

```
4 . S D I 1   T I M E C O D E   V - P O S I
                0   [ % ]
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > TIMECODE > V-POSI

---

パラメーター

---

0 - 100 [%]

---

初期値

---

0 [%]

---

## 12.14.3 タイムコード位置の設定 (横方向)

以下の操作で、横方向のタイムコード位置を設定できます

値はタイムコード左端の位置を表し、パターンの左端を 0%としています。

```
4 . S D I 1   T I M E C O D E   H - P O S I
                0   [ % ]
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > TIMECODE > H-POSI

---

パラメーター

---

0 - 100 [%]

---

初期値

---

0 [%]

---

## 12.14.4 タイムコードサイズの選択

以下の操作で、タイムコードのサイズを選択できます。

x1 のサイズは、32×32 ドット/文字です。

```
4 . S D I 1   T I M E C O D E   S I Z E
  ■ x 1   □ x 2   □ x 4   □ x 8
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > TIMECODE > SIZE

---

パラメーター

---

x1 / x2 / x4 / x8

---

初期値

---

x1

---

## 12.14.5 タイムコードレベルの選択

以下の操作で、タイムコードの輝度レベルを選択できます。

4 . S D I 1 T I M E C O D E L E V E L
<input checked="" type="checkbox"/> 1 0 0 % <input type="checkbox"/> 7 5 %

操作

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > TIMECODE > LEVEL

パラメーター

100% / 75%

初期値

100%

## 12.14.6 タイムコード背景の透過

以下の操作で、タイムコードの背景を透過するかどうか選択できます。

4 . S D I 1 T I M E C O D E T R A N S
<input type="checkbox"/> O N <input checked="" type="checkbox"/> O F F

操作

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > TIMECODE > TRANSPARENCY

パラメーター

ON / OFF

初期値

OFF

TRANSPARENCY = ON



TRANSPARENCY = OFF

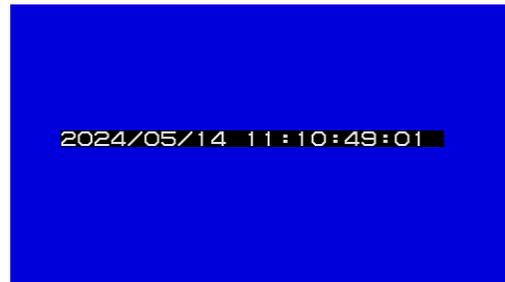


図 12-12 | タイムコード背景の透過

## 12.15 リップシンクのオンオフ

以下の操作で、リップシンクパターンをオンオフできます。

ON にするとリップシンクパターンを出力し、当社製リップシンク対応波形モニターと組み合わせることによって、伝送経路で生じる映像信号と音声信号のずれをチャンネルごとに測定できます。詳細は波形モニターの取扱説明書を参照してください。

3 . S D I 1 L I P S Y N C
<input type="checkbox"/> O N <input checked="" type="checkbox"/> O F F

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > VIDEO > LIPSYNC

---

パラメーター

---

ON/OFF

---

初期値

---

OFF

---

リップシンクパターンは、上から順に「パターン」「ラスター」「スケール」の3部分に分かれています。また、映像信号に合わせて、音声が入音/ミュートします。

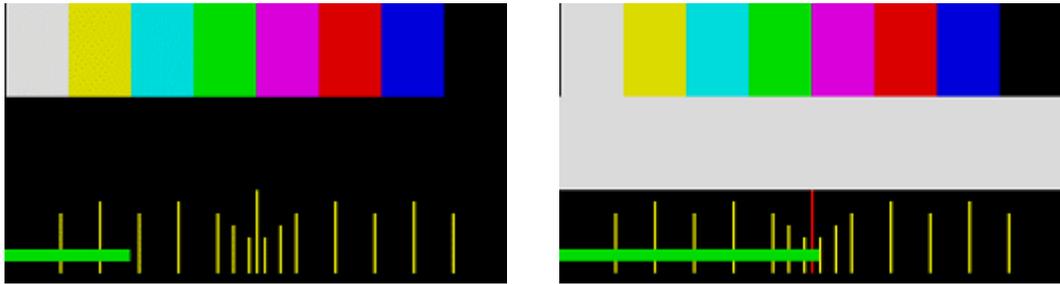


図 12-13 | リップシンクパターン

### パターン

SDI CONFIG メニューの「PATTERN」で選択したパターンを表示します。パターンがチェックフィールドのときは、100%カラーバーを表示します。

### ラスター

スケールのスライダーが 0 - +15[frame] のときに白ラスター、それ以外の場合に黒ラスターを表示します。

### スケール

緑色のスライダーが、左から右へスクロールします。(1080/59.94I で約 6 秒間)  
中央のスケールは、スライダーが 0 - +15[frame] のときに赤色に変わります。

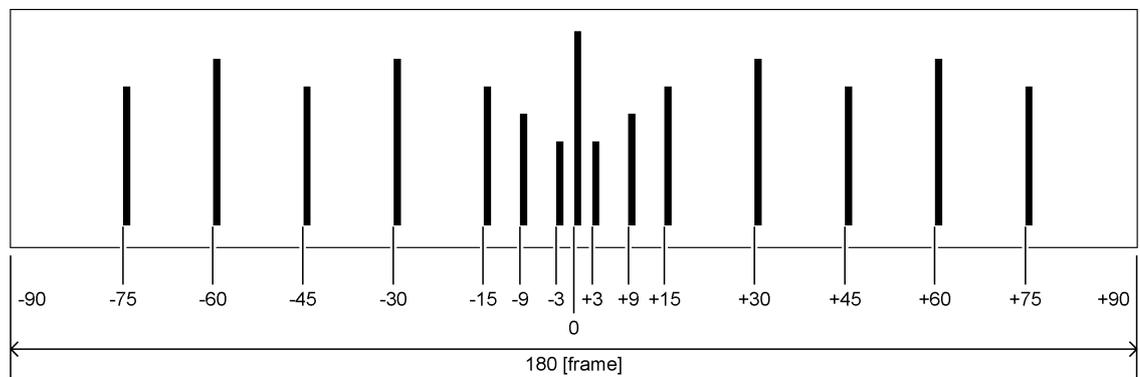


図 12-14 | スケール

### 音声

スケールのスライダーが 0 - +15[frame] のときに音声入音、それ以外の場合に音声ミュートとなります。クリック設定は無効となります。

## 12.16 エンベデッドオーディオの設定

SDI1 メニューの EMBEDDED AUDIO では、エンベデッドオーディオについて設定できます。



SDI 出力には、16ch のオーディオを重畳できます。

(パターンがチェックフィールドのときは重畳できません)

1 - 4ch をグループ 1、5 - 8ch をグループ 2、9 - 12ch をグループ 3、13 - 16ch をグループ 4 と呼び、周波数やレベルなどはチャンネルごと、分解能やプリエンファシスなどはグループごとに設定できます。

また、チャンネル間やグループ間の共通設定もできます。たとえば 2ch で 1ch との共通設定を ON にすると、1ch の設定をするだけで、ch2 の設定も自動で ch1 と同じ設定になります。

表 12-3 | チャンネルとグループ

チャンネル	グループ
1ch	グループ 1
2ch (=1ch も可)	
3ch (=1ch も可)	
4ch (=1ch も可)	
5ch	グループ 2 (=グループ 1 も可)
6ch (=5ch も可)	
7ch (=5ch も可)	
8ch (=5ch も可)	
9ch	グループ 3 (=グループ 1 も可)
10ch (=9ch も可)	
11ch (=9ch も可)	
12ch (=9ch も可)	
13ch	グループ 4 (=グループ 3 も可)
14ch (=13ch も可)	
15ch (=13ch も可)	
16ch (=13ch も可)	

## 12.16.1 オーディオのオンオフ

以下の操作で、グループごとにオーディオをオンオフできます。

```
3 . S D I 1   E M B   A U D I O   O N / O F F
    G 1    G 2    G 3    G 4
```

操作

SDI CONFIG > SDI1 > EMBEDDED AUDIO > ON/OFF

パラメーター

ON / OFF

初期値

ON

## 12.16.2 分解能の選択

以下の操作で、選択したグループの分解能を選択できます。

SDI フォーマットが 720x487 SD のときは、すべてのグループを 24BIT に設定できません。24BIT にできるのは、3 グループまでとなります。

```
4 . S D I 1   G 1   R E S O L U T I O N
    2 0 B I T    2 4 B I T
```

操作

SDI CONFIG > SDI1 > EMBEDDED AUDIO > G1 - 4 > RESOLUTION

パラメーター

20BIT / 24BIT

初期値

20BIT

## 12.16.3 プリエンファシスモードの選択

以下の操作で、選択したグループのプリエンファシスモードを選択できます。

```
4 . S D I 1   G 1   E M P H A S I S
    5 0 / 1 5    C C I T T    O F F
```

操作

SDI CONFIG > SDI1 > EMBEDDED AUDIO > G1 - 4 > EMPHASIS

パラメーター

50/15 / CCITT / OFF

初期値

OFF

## 12.16.4 周波数の選択

以下の操作で、選択したチャンネルの周波数を選択できます。

```
5 . S D I 1   G 1 / C H 1   F R E Q
◀ * 1 k H z
```

操作

SDI CONFIG > SDI1 > EMBEDDED AUDIO > G1 - 4 > CH1 - 16 > FREQ

パラメーター

SILENCE / 400Hz / 800Hz / 1kHz

初期値

1kHz

## 12.16.5 レベルの設定

以下の操作で、選択したチャンネルのレベルを設定できます。

```
5 . S D I 1   G 1 / C H 1   L E V E L
- 2 0 [ d B F S ]
```

操作

SDI CONFIG > SDI1 > EMBEDDED AUDIO > G1 - 4 > CH1 - 16 > LEVEL

パラメーター

-60 - 0 [dBFS]

初期値

-20 [dBFS]

## 12.16.6 クリックの設定

以下の操作で OFF 以外にすると、選択したチャンネルに選択した間隔でクリックを挿入します。  
LIPSYNC が ON のときは無効です。

```
5 . S D I 1   G 1 / C H 1   C L I C K
▶ * O F F
```

操作

SDI CONFIG > SDI1 > EMBEDDED AUDIO > G1 - 4 > CH1 - 16 > CLICK

パラメーター

OFF / 1sec / 2sec / 4sec

初期値

OFF

## 12.16.7 チャンネル間の共通設定

以下の操作で ON にすると、ch2 の設定(周波数、レベル、クリック)を ch1 と同じ設定にすることができます。このとき、ch2 の設定はできません。

そのほかのチャンネルについても同様に設定できます。

5 . S D I 1 G 1 / C H 2 E Q U A L C H 1
<input type="checkbox"/> O N <input checked="" type="checkbox"/> O F F

## 操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > EMBEDDED AUDIO

> G1 > CH2 - 4 > EQUAL TO CH1

> G2 > CH6 - 8 > EQUAL TO CH5

> G3 > CH10 - 12 > EQUAL TO CH9

> G4 > CH14 - 16 > EQUAL TO CH13

---

## パラメーター

---

ON / OFF

---

## 初期値

---

OFF

---

## 12.16.8 グループ間の共通設定

以下の操作で ON にすると、グループ 2 の設定をグループ 1 と同じ設定にすることができます。このとき、グループ 2 の設定はできません。

グループ 3、グループ 4 についても同様に設定できます。

4 . S D I 1 G 2 E Q U A L T O G 1
<input type="checkbox"/> O N <input checked="" type="checkbox"/> O F F

## 操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > EMBEDDED AUDIO

> G2 > EQUAL TO G1

> G3 > EQUAL TO G1

> G4 > EQUAL TO G3

---

## パラメーター

---

ON / OFF

---

## 初期値

---

OFF

---

## 12.17 アンシラリデータの設定

SDI1 メニューの ANC では、アンシラリデータについて設定できます。

```
1 . S D I 1
◆ ANC
```

### 12.17.1 LTC のオンオフ

以下の操作で、LTC の挿入をオンオフできます。

```
3 . S D I 1   A N C   A T C - L T C
   □ O N       ■ O F F
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > ANC > ATC-LTC

---

パラメーター

---

ON / OFF

---

初期値

---

OFF

---

### 12.17.2 VITC のオンオフ

以下の操作で、VITC の挿入をオンオフできます。

```
3 . S D I 1   A N C   A T C - V I T C
   □ O N       ■ O F F
```

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > ANC > ATC-VITC

---

パラメーター

---

ON / OFF

---

初期値

---

OFF

---

## 12.17.3 ドロップフレームの設定

以下の操作で、ドロップフレームの設定を選択できます。

この設定は、SDI 出力のフレーム周波数が 59.94 または 29.97 のときに有効です。

```

3 . S D I 1   D R O P   F R A M E
      ■ O N           □ O F F
  
```

## 操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > ANC > DROP FRAME

---

## パラメーター

---

ON:                                 ドロップフレームで動作します。  
OFF:                                ノンドロップフレームで動作します。

---

## 初期値

---

ON

---

## 12.18 SDI 出力の設定

SDI1 メニューの OUTPUT SETTING では、SDI 出力について設定できます。

```

1 . S D I 1
  ▲ O U T P U T   S E T T I N G   ↓
  
```

## 12.18.1 SDI 出力のオンオフ

以下の操作で、SDI 出力をオンオフできます。

```

3 . S D I 1   O U T P U T
      ■ E N A B L E   □ D I S A B L E
  
```

## 操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > OUTPUT SETTING > OUTPUT

---

## パラメーター

---

ENABLE / DISABLE

---

## 初期値

---

ENABLE

---

## 12.18.2 BMCA 連動のオンオフ (SER03)

以下の操作で ENABLE にすると、選択した PTP の BMCA に連動して SDI 出力を停止します。SDI 出力を停止すると、このメニューと OUTPUT メニューは共に DISABLE に変わります。

再度 SDI 出力を有効にするには、OUTPUT メニューを ENABLE にしてください。

3 . S D I 1   L I N K E D   T O   P T P 1
<input type="checkbox"/> E N A B L E <input checked="" type="checkbox"/> D I S A B L E

操作

---

SDI CONFIG > SDI1 > OUTPUT SETTING > LINKED TO PTP1 BMCA / LINKED TO PTP2 BMCA

---

パラメーター

---

ENABLE / DISABLE

---

初期値

---

DISABLE

---

## 12.19 SDI 出力間の共通設定

以下の操作で ON にすると、SDI2 の設定を SDI1 と同じ設定にすることができます。このとき、SDI2 の設定はできません。

SDI3、SDI4 についても同様に設定できます。

2 . S D I 2   E Q U A L   T O   S D I 1
<input type="checkbox"/> O N <input checked="" type="checkbox"/> O F F

操作

---

SDI CONFIG

> SDI2 > EQUAL TO SDI1

> SDI3 > EQUAL TO SDI1

> SDI4 > EQUAL TO SDI3

---

パラメーター

---

ON / OFF

---

初期値

---

OFF

---

## 13 PTP CONFIG メニュー (SER03)

PTP CONFIG メニューでは、PTP に関する設定をします。

PTP CONFIG メニューを表示するには、以下のメニューが表示されるまで、CONFIG キーを数回押しします。

```
0 . P T P   C O N F I G      ◀▶
▼ P T P 1                    ↓
```

PTP CONFIG メニューでは、PTP1、2 について個別に設定できます。ここでは PTP1 の設定について説明しますが、PTP2 についても同様に設定できます。

### 13.1 PTP リーダーと PTP フォロワー

PTP には、本器をリーダーとして使用する場合と、フォロワーとして使用する場合があります。これらの動作モードは PTP1 と PTP2 で個別に設定でき、REFERENCE CONFIG メニューの REFERENCE SOURCE と TIME SOURCE の設定によって以下のように決まります。

表 13-1 | PTP リーダーと PTP フォロワー

REFERENCE SOURCE	TIME SOURCE	PTP1	PTP2
PTP 以外	PTP 以外	リーダー	リーダー
INTERNAL、GENLOCK、10MHz CW、PTP1	PTP1	フォロワー	リーダー
INTERNAL、GENLOCK、10MHz CW、PTP2	PTP2	リーダー	フォロワー
PTP1/2	PTP1/2	フォロワー	フォロワー

### 13.2 PTP リーダーの設定

#### 13.2.1 モードの選択

以下の操作で、PTP リーダーを有効にするかどうか選択できます。

```
2 . P T P 1   M O D E
▶ * E N A B L E   L E A D E R
```

操作

---

PTP CONFIG > PTP1 > MODE

---

パラメーター

---

ENABLE LEADER / DISABLE LEADER

---

初期値

---

ENABLE LEADER (PTP1)

DISABLE LEADER (PTP2)

---

## 13.2.2 BMCA の設定

以下の操作で、BMCA を有効にするかどうか選択できます。

```
3 . P T P 1   B M C A   S E T U P
▶ * E N A B L E
```

操作

---

PTP CONFIG > PTP1 > BMCA > BMCA SETUP

---

パラメーター

---

ENABLE:	BMCA を有効にします。
ENABLE ONLY ONCE:	BMCA を 1 度だけ有効にします。
DISABLE:	BMCA を無効にします。

---

初期値

---

ENABLE

---

## 13.2.3 優先順位 1 の復旧

BMCA SETUP が ENABLE ONLY ONCE のときに BMCA が働くと、優先順位 1 が内部的に下がります。以下の操作で OK にすると、優先順位 1 の値を復旧できます。

```
3 . P T P 1   P R I 1   R E C O V E R Y
   □ O K           ■ C A N C E L
```

操作

---

PTP CONFIG > PTP1 > BMCA > PRIORITY1 RECOVERY

---

## 13.2.4 プロファイルの選択

以下の操作で、プロファイルを選択できます。

```
2 . P T P 1   P R O F I L E   T Y P E
▶ * S T 2 0 5 9
```

操作

---

PTP CONFIG > PTP1 > PROFILE TYPE

---

パラメーター

---

ST2059 / AES67 / GENERAL

---

初期値

---

ST2059

---

## 13.2.5 プロファイルのデフォルト設定

以下の操作で ENTER キーを押すと、選択しているプロファイルのデフォルト値に設定できます。

```
3 . P T P 1   P R O F I L E
E N T E R   T O   D E F A U L T
```

操作

---

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > PROFILE SET DEFAULT

---

## 13.2.6 ドメインの設定

以下の操作で、ドメイン番号を設定できます。

```
3 . P T P 1   D O M A I N
          1 2 7
```

操作

---

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > DOMAIN

---

パラメーター

0 - 127 (PROFILE TYPE が ST2059 のとき)

0 - 255 (PROFILE TYPE が AES67 または GENERAL のとき)

---

初期値

127 (PTP1 で PROFILE TYPE が ST2059 のとき)

126 (PTP2 で PROFILE TYPE が ST2059 のとき)

0 (PROFILE TYPE が AES67 または GENERAL のとき)

---

## 13.2.7 コミュニケーションモードの選択

以下の操作で、コミュニケーションモードを選択できます。

```
3 . P T P 1   C O M M U N I C A T I O N
◆ * M I X E D   S M P T E   w / o   N E
```

操作

---

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > COMMUNICATION MODE

---

パラメーター

MIXED SMPTE / MIXED SMPTE w/o NE / UNICAST / MULTICAST (PROFILE TYPE が ST2059 のとき)

UNICAST / MULTICAST (PROFILE TYPE が AES67 または GENERAL のとき)

---

初期値

MIXED SMPTE w/o NE (PROFILE TYPE が ST2059 のとき)

MULTICAST (PROFILE TYPE が AES67 または GENERAL のとき)

---

## 13.2.8 アナウンスメッセージ送信間隔の選択

以下の操作で、アナウンスメッセージの送信間隔を選択できます。

COMMUNICATION MODE が UNICAST のとき、このメニューは表示されません。

```
3 . P T P 1   A N N O U N C E   I N T
◆ *   0 . 2 5 s       4 H z
```

操作

---

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > ANNOUNCE INTERVAL

---

パラメーター

---

0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s (PROFILE TYPE が ST2059 のとき)

1s / 2s / 4s / 8s / 16s (PROFILE TYPE が AES67 のとき)

0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s / 4s / 8s / 16s (PROFILE TYPE が GENERAL のとき)

---

初期値

---

0.25s (PROFILE TYPE が ST2059 のとき)

2s (PROFILE TYPE が AES67 または GENERAL のとき)

---

## 13.2.9 シンクメッセージ送信間隔の選択

以下の操作で、シンクメッセージの送信間隔を選択できます。

COMMUNICATION MODE が UNICAST のとき、このメニューは表示されません。

```
3 . P T P 1   S Y N C   I N T E R V A L
◆ *   0 . 1 2 5 s       8 H z
```

操作

---

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > SYNC INTERVAL

---

パラメーター

---

0.0078s / 0.015s / 0.0312s / 0.0625s / 0.125s / 0.25s / 0.5s (PROFILE TYPE が ST2059 のとき)

0.0625s / 0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s (PROFILE TYPE が AES67 のとき)

0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s / 4s / 8s / 16s (PROFILE TYPE が GENERAL のとき)

---

初期値

---

0.125s (PROFILE TYPE が ST2059 または AES67 のとき)

1s (PROFILE TYPE が GENERAL のとき)

---

## 13.2.10 アナウンスタイムアウトの設定

以下の操作で、タイムアウトと判定するアナウンスメッセージ数を設定できます。

リーダーが提示する間隔で、メッセージが設定した回数分、連続して届かないとタイムアウトとなります。

```
3 . P T P 1   A N N O U N C E
    T I M E O U T   C O U N T :   3
```

操作

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > ANNOUNCE TIMEOUT

パラメーター

2 - 10

初期値

3

## 13.2.11 優先順位 1 の設定

以下の操作で、リーダーの優先順位 1 を設定します。

```
3 . P T P 1   P R I O R I T Y 1
    1 2 8
```

操作

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > PRIORITY1

パラメーター

0 - 255

初期値

128

## 13.2.12 優先順位 2 の設定

以下の操作で、リーダーの優先順位 2 を設定します。

```
3 . P T P 1   P R I O R I T Y 2
    1 2 8
```

操作

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > PRIORITY2

パラメーター

0 - 255

初期値

128

## 13.2.13 ステップの選択

以下の操作で、ステップを選択できます。

```
3 . P T P 1   S T E P
▶ * O N E   S T E P
```

操作

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > STEP

パラメーター

ONE STEP:                   タイムスタンプをシンクメッセージで送ります。  
TWO STEP:                   タイムスタンプをシンクメッセージとは別に、フォローアップメッセージで送ります。

初期値

ONE STEP

## 13.2.14 デフォルトフレームの選択

PROFILE TYPE が ST2059 のとき、以下の操作でデフォルトフレームを選択できます。

```
4 . P T P 1   S T 2 0 5 9
◆ * F R A M E : 2 9 . 9 7
```

操作

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > ST2059 > DEFAULT FRAME

パラメーター

23.98 / 24 / 25 / 29.97 / 30 / 47.95 / 48 / 50 / 59.94 / 60 / 71.92 / 72 / 100 / 119.9 / 120

初期値

29.97

## 13.2.15 ドロップフレームフラグの設定

PROFILE TYPE が ST2059 のとき、以下の操作でドロップフレームフラグを有効にするかどうか選択できます。

```
4 . P T P 1   S T 2 0 5 9
▶ * D R O P   F R A M E : E N A B L E
```

操作

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > ST2059 > DROP FRAME FLAG

パラメーター

ENABLE / DISABLE

初期値

ENABLE

## 13.2.16 カラーフレーム ID の設定

PROFILE TYPE が ST2059 のとき、以下の操作でカラーフレーム ID を有効にするかどうか選択できます。

```
4 . P T P 1   S T 2 0 5 9
▶ * C F I D : E N A B L E
```

操作

---

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > ST2059 > COLOR FRAME ID

---

パラメーター

---

ENABLE / DISABLE

---

初期値

---

ENABLE

---

## 13.2.17 伝播時間測定方法の選択

以下の操作で、伝播時間の測定方法を選択できます。

```
3 . P T P 1   D E L A Y   M E C H A N I S M
▶ * E N D   T O   E N D
```

操作

---

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > DELAY MECHANISM

---

パラメーター

---

END TO END / PEER TO PEER

---

初期値

---

END TO END

---

## 13.3 PTP フォロワーの設定

### 13.3.1 モードの選択

モードは PTP フォロワー固定となり、変更できません。

```
2 . P T P 1   M O D E
   * F O L L O W E R
```

操作

---

PTP CONFIG > PTP1 > MODE

---

パラメーター

---

FOLLOWER

---

### 13.3.2 プロファイルの選択

以下の操作で、プロファイルを選択できます。

```
2 . P T P 1   P R O F I L E   T Y P E
▶ * S T 2 0 5 9
```

操作

---

PTP CONFIG > PTP1 > PROFILE TYPE

---

パラメーター

---

ST2059 / AES67 / GENERAL

---

初期値

---

ST2059

---

### 13.3.3 プロファイルのデフォルト設定

以下の操作で ENTER キーを押すと、選択しているプロファイルのデフォルト値に設定できます。

```
3 . P T P 1   P R O F I L E
E N T E R   T O   D E F A U L T
```

操作

---

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > PROFILE SET DEFAULT

---

## 13.3.4 ドメインの設定

以下の操作で、ドメイン番号を設定できます。

```
3 . P T P 1   D O M A I N
      1 2 7
```

操作

---

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > DOMAIN

---

パラメーター

---

0 - 127 (PROFILE TYPE が ST2059 のとき)

0 - 255 (PROFILE TYPE が AES67 または GENERAL のとき)

---

初期値

---

127 (PTP1 で PROFILE TYPE が ST2059 のとき)

0 (PROFILE TYPE が AES67 または GENERAL のとき)

---

## 13.3.5 コミュニケーションモードの設定

以下の操作で、コミュニケーションモードを選択できます。

```
3 . P T P 1   C O M M U N I C A T I O N
  * M U L T I C A S T
```

操作

---

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > COMMUNICATION MODE

---

パラメーター

---

MIXED SMPTE / MIXED SMPTE w/o NE / UNICAST / MULTICAST (PROFILE TYPE が ST2059 のとき)

UNICAST / MULTICAST (PROFILE TYPE が AES67 または GENERAL のとき)

---

初期値

---

MULTICAST

---

## 13.3.6 希望するアナウンスメッセージ送信間隔の選択

COMMUNICATION MODE が UNICAST のとき、以下の操作で接続先のリーダーへ、アナウンスメッセージをどれくらいの間隔で送信してほしいかを選択できます。

ANNOUNCE REQD INT よりも速い間隔を選択してください。

```

3 . P T P 1   A N C   D E S I R   I N T
◀ *   0 . 2 5 s       4 H z

```

操作

---

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > ANNOUNCE DESIR INT

---

パラメーター

---

0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s (PROFILE TYPE が ST2059 のとき)

1s / 2s / 4s / 8s / 16s (PROFILE TYPE が AES67 のとき)

---

0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s / 4s / 8s / 16s (PROFILE TYPE が GENERAL のとき)

---

初期値

---

0.25s (PROFILE TYPE が ST2059 のとき)

---

2s (PROFILE TYPE が AES67 または GENERAL のとき)

---

## 13.3.7 アナウンスメッセージ受信間隔の選択

COMMUNICATION MODE が UNICAST のとき、以下の操作でフォロワー側がアナウンスメッセージを受けとれる最低間隔を設定できます。

```

3 . P T P 1   A N C   R E Q D   I N T
◀ *           2 s   0 . 5 H z

```

操作

---

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > ANNOUNCE REQD INT

---

パラメーター

---

0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s (PROFILE TYPE が ST2059 のとき)

1s / 2s / 4s / 8s / 16s (PROFILE TYPE が AES67 のとき)

---

0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s / 4s / 8s / 16s (PROFILE TYPE が GENERAL のとき)

---

初期値

---

2s (PROFILE TYPE が ST2059 のとき)

---

16s (PROFILE TYPE が AES67 または GENERAL のとき)

---

## 13.3.8 希望するシンクメッセージ送信間隔の選択

COMMUNICATION MODE が UNICAST のとき、以下の操作で接続先のリーダーへ、シンクメッセージをどれくらいの間隔で送信してほしいかを選択できます。

SYNC REQD INT よりも速い間隔を選択してください。

```

3 . P T P 1   S Y N   D E S I R   I N T
◀ *   0 . 1 2 5 s       8 H z

```

## 操作

---

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > SYNC DESIR INT

---

## パラメーター

0.0078s / 0.015s / 0.0312s / 0.0625s / 0.125s / 0.25s / 0.5s (PROFILE TYPE が ST2059 のとき)

0.0625s / 0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s (PROFILE TYPE が AES67 のとき)

0.0078s / 0.015s / 0.0312s / 0.0625s / 0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s / 4s / 8s (PROFILE TYPE が GENERAL のとき)

---

## 初期値

0.125s (PROFILE TYPE が ST2059 のとき)

1s (PROFILE TYPE が AES67 のとき)

2s (PROFILE TYPE が GENERAL のとき)

---

## 13.3.9 シンクメッセージ受信間隔の選択

COMMUNICATION MODE が UNICAST のとき、以下の操作でフォロワー側がシンクメッセージを受けとれる最低間隔を選択できます。

```

3 . P T P 1   S Y N   R E Q D   I N T
◀ *           0 . 5 s       2 H z

```

## 操作

---

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > SYNC REQD INT

---

## パラメーター

0.0078s / 0.015s / 0.0312s / 0.0625s / 0.125s / 0.25s / 0.5s (PROFILE TYPE が ST2059 のとき)

0.0625s / 0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s (PROFILE TYPE が AES67 のとき)

0.0078s / 0.015s / 0.0312s / 0.0625s / 0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s / 4s / 8s (PROFILE TYPE が GENERAL のとき)

---

## 初期値

0.5s (PROFILE TYPE が ST2059 のとき)

2s (PROFILE TYPE が AES67 のとき)

8s (PROFILE TYPE が GENERAL のとき)

---

## 13.3.10 ディレイメッセージ送信間隔の選択

COMMUNICATION MODE が MIXED SMPTE w/o NE または MULTICAST のとき、以下の操作でディレイメッセージの送信間隔を選択できます。

```
3 . P T P 1   D E L A Y   M S G   I N T
◆ *   0 . 1 2 5 s       8 H z
```

## 操作

---

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > DELAY MSG INTERVAL

---

## パラメーター

---

0.0078s / 0.015s / 0.0312s / 0.0625s / 0.125s / 0.25s / 0.5s (PROFILE TYPE が ST2059 のとき)  
 0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s / 4s / 8s / 16s (PROFILE TYPE が AES67 のとき)  
 0.0078s / 0.015s / 0.0312s / 0.0625s / 0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s / 4s / 8s / 16s (PROFILE TYPE が GENERAL のとき)

---

## 初期値

---

0.125s (PROFILE TYPE が ST2059 のとき)  
 1s (PROFILE TYPE が AES67 または GENERAL のとき)

---

## 13.3.11 希望するディレイメッセージ送信間隔の選択

COMMUNICATION MODE が MIXED SMPTE または UNICAST のとき、以下の操作で接続先のリーダーにどれくらいの間隔でディレイメッセージを送信してほしいかを選択できます。

```
3 . P T P 1   D L Y   D E S I R   I N T
◆ *   0 . 1 2 5 s       8 H z
```

## 操作

---

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > DLY MSG DESIRED INT

---

## パラメーター

---

0.0078s / 0.015s / 0.0312s / 0.0625s / 0.125s / 0.25s / 0.5s (PROFILE TYPE が ST2059 のとき)  
 0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s / 4s / 8s / 16s (PROFILE TYPE が AES67 のとき)  
 0.0078s / 0.015s / 0.0312s / 0.0625s / 0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s / 4s / 8s / 16s (PROFILE TYPE が GENERAL のとき)

---

## 初期値

---

0.125s (PROFILE TYPE が ST2059 または AES67 のとき)  
 2s (PROFILE TYPE が GENERAL のとき)

---

## 13.3.12 ディレイメッセージ受信間隔の選択

COMMUNICATION MODE が MIXED SMPTE または UNICAST のとき、以下の操作でフォロワー側がディレイメッセージを受けとれる最低間隔を選択できます。

```
3 . P T P 1   D L Y   R E Q D   I N T
← *           0 . 5 s       2 H z
```

操作

---

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > DLY MSG REQD INT

---

パラメーター

---

0.0078s / 0.015s / 0.0312s / 0.0625s / 0.125s / 0.25s / 0.5s (PROFILE TYPE が ST2059 のとき)  
 0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s / 4s / 8s / 16s (PROFILE TYPE が AES67 のとき)  
 0.0078s / 0.015s / 0.0312s / 0.0625s / 0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s / 4s / 8s / 16s (PROFILE TYPE が GENERAL のとき)

---

初期値

---

0.5s (PROFILE TYPE が ST2059 のとき)  
 2s (PROFILE TYPE が AES67 のとき)  
 8s (PROFILE TYPE が GENERAL のとき)

---

## 13.3.13 アナウンスタイムアウトの設定

以下の操作で、タイムアウトと判定するアナウンスメッセージ数を設定できます。

リーダーが提示する間隔で、メッセージが設定した回数分、連続して届かないとタイムアウトとなります。

```
3 . P T P 1   A N N O U N C E
      T I M E O U T   C O U N T :   3
```

操作

---

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > ANNOUNCE TIMEOUT

---

パラメーター

---

2 - 10

---

初期値

---

3

---

## 13.3.14 伝播時間測定方法の選択

以下の操作で、伝播時間測定方法を選択できます。

```
3 . P T P 1   D E L A Y   M E C H A N I S M
▶ * E N D   T O   E N D
```

操作

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > DELAY MECHANISM

パラメーター

END TO END / PEER TO PEER

初期値

END TO END

## 13.3.15 IP アドレスの設定

COMMUNICATION MODE が MIXED SMPTE w/o NE または UNICAST のとき、以下の操作で接続するリーダーの IP アドレスを設定できます。

```
4 . P T P 1   A M T   A D D R E S S 1
0 0 0 . 0 0 0 . 0 0 0 . 0 0 0
```

操作

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > AMT CONFIGURATION >  
PTP1 AMT ADDRESS1 - PTP AMT ADDRESS8

パラメーター

000.000.000.000 - 255.255.255.255

初期値

000.000.000.000

## 13.3.16 アシンメトリックディレイの設定

以下の操作で、位相の補正ができます。

```
3 . P T P 1   A S Y M   D E L A Y
0 . 0 0 0   u s e c
```

操作

PTP CONFIG > PTP1 > DETAIL SETTING > ASYMMETRIC DELAY

パラメーター

±20.000 usec

初期値

0.000 usec

## 14 IP CONFIG メニュー (SER04)

IP CONFIG メニューでは、IP 出力に関する設定をします。

IP CONFIG メニューを表示するには、以下のメニューが表示されるまで、CONFIG キーを数回押します。

```
0 . I P   C O N F I G   ◀▶
▼ T Y P E               ↓
```

なお IP 出力では、SDI CONFIG メニューで設定したパターンを出力します。出力パターンについては「12 SDI CONFIG メニュー (SER02/SER04)」を参照してください。

### 14.1 規格の選択

以下の操作で、IP 出力の規格を選択できます。

```
1 . I P   T Y P E
◀ * S T 2 1 1 0
```

操作

---

IP CONFIG > TYPE

---

パラメーター

ST2022-6: SMPTE ST 2022-6 に対応した信号を出力します。

ST2110: SMPTE ST 2110 に対応した信号を出力します。

---

初期値

---

ST2110

---

### 14.2 IP 出力のオンオフ

以下の操作で、IP 出力をオンオフできます。

```
2 . I P 1   O U T P U T
    ■ O N      □ O F F
```

操作

---

IP CONFIG > IP1 / IP2 > OUTPUT

---

パラメーター

---

ON / OFF

---

初期値

---

ON

---

### 14.3 ビデオ、オーディオ、ANC のオンオフ

以下の操作で、ビデオ、オーディオ、ANC をオンオフできます。  
TYPE が ST2022-6 のときは、ビデオのみオンオフできます。

5 . I P 1	S T R E A M 1	V I D
	<input checked="" type="checkbox"/> O N	<input type="checkbox"/> O F F

5 . I P 1	S T R E A M 1	A U D
	<input checked="" type="checkbox"/> O N	<input type="checkbox"/> O F F

5 . I P 1	S T R E A M 1	A N C
	<input checked="" type="checkbox"/> O N	<input type="checkbox"/> O F F

#### 操作

IP CONFIG > IP1 / IP2 > STREAM SETTING > STREAM1 / STREAM2 / STREAM3 / STREAM4 >  
VIDEO / AUDIO / ANC > ON / OFF

#### パラメーター

ON / OFF

#### 初期値

ON

### 14.4 ペイロードタイプの設定

TYPE が ST2110 のとき、以下の操作でビデオ、オーディオ、ANC のペイロードタイプを設定できます。

5 . I P 1	S T R E A M 1	V I D	P A Y L D
			9 6

5 . I P 1	S T R E A M 1	A U D	P A Y L D
			9 7

5 . I P 1	S T R E A M 1	A N C	P A Y L D
			1 0 0

#### 操作

IP CONFIG > IP1 / IP2 > STREAM SETTING > STREAM1 / STREAM2 / STREAM3 / STREAM4 >  
VIDEO / AUDIO / ANC > PAYLOAD TYPE

#### パラメーター

96 - 127

#### 初期値

96 (VIDEO)

97 (AUDIO)

100 (ANC)

## 14.5 VLAN の設定

### 14.5.1 VLAN のオンオフ

以下の操作で、ビデオ、オーディオ、ANCのVLAN (Virtual Local Area Network) をオンオフできます。

TYPEがST2022-6のときは、ビデオのVLANのみオンオフできます。

6 . I P 1	S T R E A M 1	V I D	V L A N
		<input type="checkbox"/> O N	<input checked="" type="checkbox"/> O F F

6 . I P 1	S T R E A M 1	A U D	V L A N
		<input type="checkbox"/> O N	<input checked="" type="checkbox"/> O F F

6 . I P 1	S T R E A M 1	A N C	V L A N
		<input type="checkbox"/> O N	<input checked="" type="checkbox"/> O F F

#### 操作

IP CONFIG > IP1 / IP2 > STREAM SETTING > STREAM1 / STREAM2 / STREAM3 / STREAM4 > VIDEO / AUDIO / ANC > VLAN > ON/OFF

#### パラメーター

ON / OFF

#### 初期値

OFF

### 14.5.2 VLAN タグの設定

以下の操作で、ビデオ、オーディオ、ANCのVLAN (Virtual Local Area Network) タグを設定できます。

TYPEがST2022-6のときは、ビデオのVLANタグのみ設定できます。

6 . I P 1	S T R E A M 1	V I D	V L A N
		1	

6 . I P 1	S T R E A M 1	A U D	V L A N
		1	

6 . I P 1	S T R E A M 1	A N C	V L A N
		1	

#### 操作

IP CONFIG > IP1 / IP2 > STREAM SETTING > STREAM1 / STREAM2 / STREAM3 / STREAM4 > VIDEO / AUDIO / ANC > VLAN > VLAN TAG

#### パラメーター

1 - 4094

#### 初期値

1

## 14.6 DSCP の設定

### 14.6.1 DSCP のオンオフ

以下の操作で、ビデオ、オーディオ、ANC の DSCP (Differentiated Services Code Point) をオンオフできます。

TYPE が ST2022-6 のときは、ビデオの DSCP のみオンオフできます。

6 . I P 1   S T R E A M 1   V I D   D S C P
<input type="checkbox"/> O N <input checked="" type="checkbox"/> O F F

6 . I P 1   S T R E A M 1   A U D   D S C P
<input type="checkbox"/> O N <input checked="" type="checkbox"/> O F F

6 . I P 1   S T R E A M 1   A N C   D S C P
<input type="checkbox"/> O N <input checked="" type="checkbox"/> O F F

#### 操作

IP CONFIG > IP1 / IP2 > STREAM SETTING > STREAM1 / STREAM2 / STREAM3 / STREAM4 > VIDEO / AUDIO / ANC > DSCP > ON/OFF

#### パラメーター

ON / OFF

#### 初期値

OFF

### 14.6.2 DSCP タグの設定

以下の操作で、ビデオ、オーディオ、ANC の DSCP (Differentiated Services Code Point) タグを設定できます。

TYPE が ST2022-6 のときは、ビデオの DSCP タグのみ設定できます。

6 . I P 1   S T R E A M 1   V I D   D S C P
0

6 . I P 1   S T R E A M 1   A U D   D S C P
0

6 . I P 1   S T R E A M 1   A N C   D S C P
0

#### 操作

IP CONFIG > IP1 / IP2 > STREAM SETTING > STREAM1 / STREAM2 / STREAM3 / STREAM4 > VIDEO / AUDIO / ANC > DSCP > DSCP TAG

#### パラメーター

0 - 63

#### 初期値

0

## 14.7 宛先 IP アドレスの設定

以下の操作で、ビデオ、オーディオ、ANC の宛先 IP アドレスを設定できます。  
TYPE が ST2022-6 のときは、ビデオの IP アドレスのみ設定できます。

```
5 . I P 1   S T R E A M 1   V I D   D S T I P
2 3 9 . 0 0 0 . 0 0 0 . 0 0 1
```

```
5 . I P 1   S T R E A M 1   A U D   D S T I P
2 3 9 . 0 0 0 . 0 0 2 . 0 0 1
```

```
5 . I P 1   S T R E A M 1   A N C   D S T I P
2 3 9 . 0 0 0 . 0 0 3 . 0 0 1
```

### 操作

---

IP CONFIG > IP1 / IP2 > STREAM SETTING > STREAM1 / STREAM2 / STREAM3 / STREAM4 >  
VIDEO / AUDIO / ANC > DESTINATION IP ADDRESS

---

### パラメーター

---

000.000.000.000 - 255.255.255.255

---

### 初期値

---

239.000.000.001 (IP1 / STREAM1 / VIDEO)	239.000.000.005 (IP2 / STREAM1 / VIDEO)
239.000.000.002 (IP1 / STREAM2 / VIDEO)	239.000.000.006 (IP2 / STREAM2 / VIDEO)
239.000.000.003 (IP1 / STREAM3 / VIDEO)	239.000.000.007 (IP2 / STREAM3 / VIDEO)
239.000.000.004 (IP1 / STREAM4 / VIDEO)	239.000.000.008 (IP2 / STREAM4 / VIDEO)
239.000.002.001 (IP1 / STREAM1 / AUDIO)	239.000.002.005 (IP2 / STREAM1 / AUDIO)
239.000.002.002 (IP1 / STREAM2 / AUDIO)	239.000.002.006 (IP2 / STREAM2 / AUDIO)
239.000.002.003 (IP1 / STREAM3 / AUDIO)	239.000.002.007 (IP2 / STREAM3 / AUDIO)
239.000.002.004 (IP1 / STREAM4 / AUDIO)	239.000.002.008 (IP2 / STREAM4 / AUDIO)
239.000.003.001 (IP1 / STREAM1 / ANC)	239.000.003.005 (IP2 / STREAM1 / ANC)
239.000.003.002 (IP1 / STREAM2 / ANC)	239.000.003.006 (IP2 / STREAM2 / ANC)
239.000.003.003 (IP1 / STREAM3 / ANC)	239.000.003.007 (IP2 / STREAM3 / ANC)
239.000.003.004 (IP1 / STREAM4 / ANC)	239.000.003.008 (IP2 / STREAM4 / ANC)

---

## 14.8 宛先ポート番号の設定

以下の操作で、ビデオ、オーディオ、ANC の宛先ポート番号を設定できます。  
TYPE が ST2022-6 のときは、ビデオのポート番号のみ設定できます。

```
5 . I P 1   S T R E A M 1   V I D   D S T P T
          5 0 0 4
```

```
5 . I P 1   S T R E A M 1   A U D   D S T P T
          5 0 0 4
```

```
5 . I P 1   S T R E A M 1   A N C   D S T P T
          5 0 0 4
```

### 操作

IP CONFIG > IP1 / IP2 > STREAM SETTING > STREAM1 / STREAM2 / STREAM3 / STREAM4 >  
VIDEO / AUDIO / ANC > DESTINATION PORT

### パラメーター

0 - 65535

### 初期値

5004

## 14.9 オーディオ規格の選択

TYPE が ST2110 のとき、以下の操作でオーディオ出力の規格を選択できます。

```
5 . I P 1   S T R E A M 1   A U D   M O D E
▶ * S T 2 1 1 0 - 3 0
```

### 操作

IP CONFIG > IP1 / IP2 > STREAM SETTING > STREAM1 / STREAM2 / STREAM3 / STREAM4 >  
AUDIO > MODE

### パラメーター

ST2110-30 / ST2110-31

### 初期値

ST2110-30

## 14.10 オーディオパケットタイムの選択

TYPE が ST2110 のとき、以下の操作でオーディオ出力のパケットタイムを選択できます。

```
5 . I P 1   S T R E A M 1   A U D   T I M E
▶ * 1 m s
```

操作

IP CONFIG > IP1 / IP2 > STREAM SETTING > STREAM1 / STREAM2 / STREAM3 / STREAM4 > AUDIO > PACKET TIME

パラメーター

1ms / 125us

初期値

1ms

## 14.11 NMOS の設定

NMOS (Networked Media Open Specifications) の設定のうち、ノードラベル、デバイスラベル、IS-04 のドメイン名は、LT4670 のメニューから設定できません。Web ブラウザーでのみ設定できます。詳細は「18.4.8 IP 画面 (SER04)」を参照してください。

### 14.11.1 NMOS のオンオフ

以下の操作で、NMOS での制御をオンオフできます。

```
3 . S E T U P   N M O S
   ■ O N           □ O F F
```

操作

IP CONFIG > NMOS > SETUP > NMOS

パラメーター

ON / OFF

初期値

ON

## 14.11.2 Node API バージョンの選択

以下の操作で、IS-04 の Node API のバージョンを選択できます。

```

3 . N O D E   A P I
      ■ V 1 2           □ V 1 3
  
```

操作

---

IP CONFIG > NMOS > IS04 > NODE API

---

パラメーター

---

V12: バージョン 1.2 に対応します。

V13: バージョン 1.3 に対応します。

---

初期値

---

V12

---

## 14.11.3 IS-04 ポート番号の設定

以下の操作で、IS-04 のポート番号を設定できます。

```

3 . P O R T   N U M B E R
      3 0 0 0
  
```

操作

---

IP CONFIG > NMOS > IS04 > PORT NUMBER

---

パラメーター

---

0 - 65535

---

初期値

---

3000

---

## 14.11.4 DNS-SD 通信方式の選択

以下の操作で、IS-04 の DNS-SD (Domain Name System - Service Discovery) の通信方式を選択できます。

```

3 . D N S - S D
      ▶ * M U L T I C A S T
  
```

操作

---

IP CONFIG > NMOS > IS04 > DNS-SD

---

パラメーター

---

MULTICAST / UNICAST / MANUAL

---

初期値

---

MULTICAST

---

## 14.11.5 DNS-SD IP アドレスの設定

DNS-SD が MANUAL のとき、以下の操作で IS-04 の DNS-SD の IP アドレスを設定できます。

3 . D N S - S D I P A D D R E S S 1 9 2 . 1 6 8 . 0 0 0 . 0 0 1
--

操作

---

IP CONFIG > NMOS > IS04 > DNS-SD IP ADDRESS

---

パラメーター

---

000.000.000.000 - 255.255.255.255

---

初期値

---

192.168.000.001

---

## 14.11.6 DNS-SD ポート番号の設定

DNS-SD が UNICAST または MANUAL のとき、以下の操作で IS-04 の DNS-SD のポート番号を設定できます。

3 . D N S - S D P O R T N U M B E R 8 0 8 0
--

操作

---

IP CONFIG > NMOS > IS04 > DNS-SD PORT NUMBER

---

パラメーター

---

0 - 65535

---

初期値

---

8080

---

## 15 SYSTEM CONFIG メニュー

SYSTEM CONFIG メニューでは、本体に関する設定をします。

SYSTEM CONFIG メニューを表示するには、以下のメニューが表示されるまで、CONFIG キーを数回押しします。

ここで設定した内容は、プリセットには保存されません。

```
0 . SYSTEM CONFIG      ◀▶
▼ LCD BACKLIGHT      ↓
```

### 15.1 バックライトの設定

以下の操作で、バックライトの設定を選択できます。

```
1 . LCD BACKLIGHT
■ ON   □ AUTO OFF □ OFF
```

操作

---

SYSTEM CONFIG > LCD BACKLIGHT

---

パラメーター

ON:	バックライトを常に点灯します。
AUTO OFF:	最後のキー操作から 30 秒後にバックライトを消灯し、再びキー操作すると点灯します。
OFF:	バックライトを常に消灯します。

---

初期値

---

ON

---

### 15.2 プリセットの設定

SYSTEM CONFIG メニューの PRESET では、プリセットについて設定できます。

プリセットとは本体の設定を登録したもので、本体の起動時に自動で呼び出すこともできます。

```
0 . SYSTEM CONFIG      ◀▶
◆ PRESET              ↓
```

なお、以下の項目はプリセットに保存されません。

- ・ SDI CONFIG > 本体に保存されているユーザーパターン (INT1 - INT4)
- ・ SDI CONFIG > 本体に保存されている ID キャラクター (INT1 - INT4)
- ・ SDI CONFIG > 本体に保存されているロゴ (INT1 - INT4)
- ・ SYSTEM CONFIG メニューの設定

## 15.2.1 プリセットの呼び出し

以下の操作で、STORE メニューで保存したプリセットを呼び出せます。

操作

---

SYSTEM CONFIG > PRESET > RECALL

---

プリセットは、以下の手順で呼び出します。

## 1. プリセット番号を選択します。

NUMBER 0 - NUMBER 9 から選択します。

COMMENT INPUT メニューでコメントを追加した場合は、コメントも表示されます。

コメントなし

```
2 . R E C A L L
▶ N U M B E R   0
```

コメントあり

```
2 . R E C A L L   N U M B E R   0
▶ N A M E [ R E F = B B , T I M E = G N S S ]
```

## 2. OK を選択します。

```
3 . R E C A L L   N U M B E R   0
   ■ O K           □ C A N C E L
```

## 15.2.2 プリセットの保存

以下の操作で、プリセットを 10 点まで保存できます。

操作

---

SYSTEM CONFIG > PRESET > STORE

---

プリセットは、以下の手順で保存します。

## 1. プリセット番号を選択します。

NUMBER 0 - NUMBER 9 から選択します。

```
2 . S T O R E
▶ N U M B E R   0
```

## 2. OK を選択します。

```
3 . S T O R E   N U M B E R   0
   ■ O K           □ C A N C E L
```

すでにプリセットが保存されている場合は、上書き確認メッセージが表示されます。

上書きする場合は OK、しない場合は CANCEL を選択してください。

```
3 . N U M B E R   0   O V E R   W R I T E   ?
   ■ O K           □ C A N C E L
```

## 15.2.3 コメントの追加

以下の操作で、STORE メニューで保存したプリセットにコメントを追加できます。  
ここで追加したコメントは、RECALL メニューでプリセットを呼び出すときや、本体から USB メモリーにコピーするときに表示されます。

## 操作

---

SYSTEM CONFIG > PRESET > POWER ON RECALL

---

## パラメーター

---

◀ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z  
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z ! # \$ % & ' ( ) + , - . ; = @ [ ] ^ \_ { }

---

## 初期値

---

◀

---

コメントは、以下の手順で入力します。

## 1. プリセット番号を選択します。

NUMBER 0 - NUMBER 9 から選択します。

```
2 . C O M M E N T   I N P U T
▶ N U M B E R   0
```

## 2. コメントを入力します。

17 文字まで入力できます。

文字を消去したいときは、◀を入力すると以降の文字が消えます。このとき、◀はコメントには入りません。また、◀のみを入力すると、コメントを消去できます。

```
3 . C O M M E N T   I N P U T   N U M B E R   0
R E F = B B , T I M E = G N S S ◀
```

## 15.2.4 起動時の設定

以下の操作で、本体を起動したときの設定を選択できます。

```
2 . P O W E R   O N   R E C A L L
▶ * O F F
```

## 操作

---

SYSTEM CONFIG > PRESET > POWER ON RECALL

---

## パラメーター

---

OFF: 前回電源を切ったときの設定で起動します。  
NUMBER 0 - NUMBER 9: 選択したプリセットの設定で起動します。

---

## 初期値

---

OFF

---

## 15.2.5 USB から本体へのプリセットコピー

以下の操作で、USB メモリーから本体へ、プリセットをコピーできます。複数の本体を同じ設定で使用したいときに便利です。(USB メモリーにはあらかじめ、COPY INT→USB メニューでプリセットをコピーしておきます)

本体にすでにプリセットが保存されているときは、上書きします。

このメニューは、USB メモリーが接続されているときに表示されます。

操作

---

SYSTEM CONFIG > PRESET > COPY USB→INT

---

プリセットは、以下の手順でコピーします。

**1. USB メモリーのコピー元を選択します。**

ALL または NUMBER 0 - NUMBER 9 から選択します。

```

2 . COPY  USB→INT
◀ ALL
  
```

**2. OK を選択します。**

```

3 . COPY  USB→INT  ALL
   ■ OK           □ CANCEL
  
```

● **USB メモリーの構成**

プリセットは、USB メモリーの PSET フォルダの下にあるものをコピーします。

ファイル名の「\_\*\*\*\*」の部分は、プリセットにコメントを追加した場合に付加されます。

ファイル名を PC で編集すると、コピーができなくなりますので注意してください。

■ USB メモリー

└ ■ LT4670\_USER

└ └ ■ PSET

└ └ └ ■ PRESET\_00\_\*\*\*\*.TXT (\*1)

| :

└ └ └ ■ PRESET\_09\_\*\*\*\*.TXT (\*1)

\*1 拡張子「.TXT」の代わりに「.PRE」を使用することもできます。

プリセット番号が同じで「.TXT」と「.PRE」が混在している場合は、「.PRE」をコピーします。

## 15.2.6 本体から USB へのプリセットコピー

以下の操作で、本体から USB メモリーへ、プリセットを TXT 形式でコピーできます。複数の本体を同じ設定で使用したいときに便利です。(本体にはあらかじめ、STORE メニューでプリセットを保存しておきます)

USB メモリーにすでに同じ番号のプリセットが保存されているときは、上書きします。(コメントが異なっても上書きします)

このメニューは、USB メモリーが接続されているときに表示されます。

## 操作

---

SYSTEM CONFIG > PRESET > COPY INT→USB

---

プリセットは、以下の手順でコピーします。

## 1. 本体のコピー元を選択します。

ALL または NUMBER 0 - NUMBER 9 から選択します。

```

2 . COPY INT→USB
↓ ALL

```

## 2. OK を選択します。

```

3 . COPY INT→USB ALL
   ■ OK           □ CANCEL

```

## ● USB メモリーの構成

プリセットは、USB メモリーの PSET フォルダの下にコピーします。

ファイルの日時は、REFERENCE CONFIG メニューの TIME SOURCE で選択した日時となります。

ファイル名の「\_\*\*\*\*」の部分は、プリセットにコメントを追加した場合に付加されます。

```

■ USB メモリー
└─ ■ LT4670_USER
    └─ ■ PSET
        └─ ■ PRESET_00_****.TXT (*1)
            │
            └─ ■ PRESET_09_****.TXT (*1)

```

\*1 本体に保存されているプリセットによっては、拡張子「.PRE」のファイルがコピーされることもあります。「.PRE」も「.TXT」と同等に扱うことができます。

## 15.2.7 プリセットの消去

以下の操作で、本体に保存されているプリセットを消去できます。

操作

---

SYSTEM CONFIG > PRESET > DELETE

---

プリセットは、以下の手順で消去します。

**1. 消去するプリセットを選択します。**

ALL または NUMBER 0 - NUMBER 9 から選択します。

```
2 . P R E S E T   D E L E T E
◀ A L L
```

**2. OK を選択します。**

```
3 . D E L E T E   A L L
    ■ O K           □ C A N C E L
```

## 15.3 ネットワークの設定

SYSTEM CONFIG メニューの NETWORK では、ネットワーク機能について設定できます。

```
0 . SYSTEM CONFIG
◆ NETWORK
```

### 15.3.1 ネットワークの設定

以下の操作で、ネットワーク機能を有効にするかどうか選択できます。

```
2 . NETWORK SETUP
  ■ ENABLE   □ DISABLE
```

操作

---

SYSTEM CONFIG > NETWORK > NETWORK SETUP

---

パラメーター

---

ENABLE / DISABLE

---

初期値

---

ENABLE

---

### 15.3.2 IP アドレスの設定

以下の操作で、IP アドレスを設定できます。

```
3 . IP ADDRESS
  192 . 168 . 000 . 001
```

操作

---

SYSTEM CONFIG > NETWORK > ETHERNET > IP ADDRESS

---

パラメーター

---

000.000.000.000 - 255.255.255.255

---

初期値

---

192.168.000.001

---

## 15.3.3 サブネットマスクの設定

以下の操作で、サブネットマスクを設定できます。

```
3 . S U B N E T   M A S K
   2 5 5 . 2 5 5 . 2 5 5 . 0 0 0
```

操作

SYSTEM CONFIG > NETWORK > ETHERNET > SUBNET MASK

パラメーター

000.000.000.000 - 255.255.255.255

初期値

255.255.255.000

## 15.3.4 デフォルトゲートウェイの設定

以下の操作で、デフォルトゲートウェイを設定できます。

```
3 . D E F A U L T   G A T E W A Y
   0 0 0 . 0 0 0 . 0 0 0 . 0 0 0
```

操作

SYSTEM CONFIG > NETWORK > ETHERNET > DEFAULT GATEWAY

パラメーター

000.000.000.000 - 255.255.255.255

初期値

000.000.000.000

## 15.3.5 SNMP の設定

以下の操作で、SNMP 機能の有効/無効と対応バージョンをを選択できます。

```
3 . S N M P   S E T U P
   ■ D I S A B L E   □ V 2 C   □ V 3
```

操作

SYSTEM CONFIG > NETWORK > SNMP > SNMP SETUP

パラメーター

DISABLE:	SNMP 機能を無効にします。
V2C:	SNMP 機能を有効にし、V2C に対応します。
V3:	SNMP 機能を有効にし、V3 に対応します。

初期値

DISABLE

## 15.3.6 SNMP エンジン ID の表示

SNMP SETUP が V3 のとき、以下の操作で SNMP のエンジン ID を表示できます。

```
3 . S N M P   E N G I N E   I D
0 x 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
```

操作

---

SYSTEM CONFIG > NETWORK > SNMP > SNMP ENGINE ID

---

## 15.3.7 SNMP トラップ送信先の設定

以下の操作で、SNMP のトラップ送信先(4 点)を有効にするかどうか選択できます。  
通信負荷の原因となるため、使用しない送信先は無効にしてください。

```
3 . S N M P   T R A P   1
   □ E N A B L E   ■ D I S A B L E
```

操作

---

SYSTEM CONFIG > NETWORK > SNMP > SNMP TRAP 1 - SNMP TRAP 4

---

パラメーター

---

ENABLE / DISABLE

---

初期値

---

DISABLE

---

## 15.3.8 SNMP トラップ送信先の IP アドレス設定

以下の操作で、SNMP のトラップ送信先(4 点)の IP アドレスを設定できます。

```
3 . S N M P   M A N A G E R   I P   1
0 0 0 . 0 0 0 . 0 0 0 . 0 0 0
```

操作

---

SYSTEM CONFIG > NETWORK > SNMP > SNMP MANAGER IP 1 - SNMP MANAGER IP 4

---

パラメーター

---

000.000.000.000 - 255.255.255.255

---

初期値

---

000.000.000.000

---

## 15.3.9 本体から USB への MIB ファイルコピー

以下の操作で OK にすると、本体から USB メモリーへ、MIB ファイルをコピーできます。  
USB メモリーにすでに MIB ファイルが保存されているときは、上書きします。  
このメニューは、USB メモリーが接続されているときに表示されます。

```

3 . C O P Y   M I B   I N T → U S B
   □ O K           ■ C A N C E L

```

## 操作

---

SYSTEM CONFIG > NETWORK > SNMP > COPY MIB INT→USB

---

## ● USB メモリーの構成

MIB ファイルは、USB メモリーの MIB フォルダの下にコピーします。

ファイルの日時は、REFERENCE CONFIG メニューの TIME SOURCE で選択した日時となります。

## ■ USB メモリー

└ ■ LT4670\_USER

└ └ ■ MIB

└ └ └ ■ lt4670.my

## 15.3.10 SNMP コミュニティ名の設定

SNMP SETUP が V2C のとき、以下の操作で SNMP のコミュニティ名をそれぞれ変更できます。

15 文字まで入力できます。◀を入力すると、以降の文字が消えます。このとき、◀はコミュニティ名には入りません。

SNMP SETUP が V3 のときは、以下の操作で SNMP のコミュニティ名をそれぞれ表示できます。変更はできません。

コミュニティ名の変更は、SNMP RESTART または次回電源投入時に反映されます。

```

4 . R E A D   C O M M U N I T Y
L D R U s e r ◀

```

```

4 . W R I T E   C O M M U N I T Y
L D R A d m ◀

```

```

4 . T R A P   C O M M U N I T Y
L D R U s e r ◀

```

## 操作

---

SYSTEM CONFIG > NETWORK > SNMP > SNMP COMMUNITY

> READ COMMUNITY

> WRITE COMMUNITY

> TRAP COMMUNITY

---

## パラメーター

---

◀ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z  
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z

---

## 初期値

---

LDRUser◀ (V2C、READ COMMUNITY)  
 LDRAdm◀ (V2C、WRITE COMMUNITY)  
 LDRUser◀ (V2C、TRAP COMMUNITY)  
 LDuser (V3、READ COMMUNITY)  
 LDadm (V3、WRITE COMMUNITY)  
 LDuser (V3、TRAP COMMUNITY)

---

## 15.3.11 SNMP の再起動

SNMP SETUP が V2C または V3 のとき、以下の操作で OK にすると、SNMP の再起動を行います。  
 コミュニティ名を変更した後などに行ってください。

```

4 . S N M P   R E S T A R T
       O K            C A N C E L
  
```

## 操作

---

SYSTEM CONFIG > NETWORK > SNMP > SNMP COMMUNITY > SNMP RESTART

---

## 15.3.12 HTTP の設定

以下の操作で、HTTP 機能を有効にするかどうか選択できます。

```

3 . H T T P   S E T U P
       D I S A B L E   E N A B L E
  
```

## 操作

---

SYSTEM CONFIG > NETWORK > HTTP > HTTP SETUP

---

## パラメーター

---

DISABLE / ENABLE

---

## 初期値

---

DISABLE

---

## 15.3.13 Web ブラウザーの設定

以下の操作で、Web ブラウザー機能を有効にするかどうか選択できます。

```

3 . W E B   B R O W S E R
       E N A B L E   D I S A B L E
  
```

## 操作

---

SYSTEM CONFIG > NETWORK > HTTP > WEB BROWSER

---

## パラメーター

---

ENABLE / DISABLE

---

## 初期値

---

DISABLE

---

## 15.3.14 Web 認証の設定

WEB BROWSER が ENABLE のとき、以下の操作で Web 認証を有効にするかどうか選択できます。

3 . W E B   A U T H E N T I C A T I O N <input type="checkbox"/> E N A B L E <input checked="" type="checkbox"/> D I S A B L E
---

操作

SYSTEM CONFIG > NETWORK > HTTP > WEB AUTHENTICATION

パラメーター

ENABLE / DISABLE

初期値

DISABLE

Web 認証を有効にすると、Web ブラウザーから LT4670 に接続する際に、ユーザー名とパスワードが必要となります。出荷時のユーザー名は「lt4670」、パスワードは「admin」です。ユーザー名は固定ですが、パスワードは次項の WEB PASSWORD で変更できます。

## 15.3.15 Web パスワードの設定

WEB AUTHENTICATION が ENABLE のとき、以下の操作で Web パスワードを設定できます。

◀はパスワードには含まれない記号で、入力すると以降の文字が消えます。

3 . W E B   P A S S W O R D a d m i n ◀
--

操作

SYSTEM CONFIG > NETWORK > HTTP > WEB PASSWORD

パラメーター

◀ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z  
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z (15文字まで)

初期値

admin◀

## 15.3.16 NTP の設定

以下の操作で、NTP 機能を有効にするかどうか選択できます。

```
3 . N T P   S E T U P
     E N A B L E    D I S A B L E
```

操作

SYSTEM CONFIG > NETWORK > NTP > NTP SETUP

パラメーター

ENABLE / DISABLE

初期値

DISABLE

## 15.3.17 NTP サーバーの設定

本器が NTP クライアントとなる時、以下の操作で接続先 NTP サーバーのアドレスを設定できます。

```
3 . N T P   S E R V E R   A D D R E S S
    0 0 0 . 0 0 0 . 0 0 0 . 0 0 0
```

操作

SYSTEM CONFIG > NETWORK > NTP > NTP SERVER ADDRESS

パラメーター

000.000.000.000 - 255.255.255.255

初期値

000.000.000.000

## 15.3.18 NTP のネットワーク設定

本器が NTP サーバーとなる時、以下の操作でネットワーク設定を選択できます。

```
3 . N T P   R E S T R I C T I O N S
     L O C A L    F R E E
```

操作

SYSTEM CONFIG > NETWORK > NTP > NTP RESTRICTIONS

パラメーター

LOCAL: 同一のネットワークで NTP を使用します。

FREE: 異なるネットワークで NTP を使用します。

初期値

LOCAL

## 15.3.19 NTP 階層の設定

以下の操作で、NTP の階層を設定できます。

```
3 . N T P   S T R A T U M
      8
```

操作

---

SYSTEM CONFIG > NETWORK > NTP > NTP STRATUM

---

パラメーター

---

2 - 15

---

初期値

---

8

---

## 15.4 時刻の設定

SYSTEM CONFIG メニューの TIME MANAGEMENT では、時刻について設定できます。

```
0 . S Y S T E M   C O N F I G           ◀▶
◀ T I M E   M A N A G E M E N T       ↓
```

## 15.4.1 日時の設定

REFERENCE CONFIG メニューの TIME SOURCE が INTERNAL のとき、以下の操作で本体内部の日時を設定できます。

ここで設定した内容は、CLEAR SETTING や DEFAULT SETTING では初期化されません。

```
2 . I N T E R N A L   C L O C K   A D J U S T
  2 0 2 3 / 0 4 / 0 1   0 0 : 0 0 : 0 0
```

操作

---

SYSTEM CONFIG > TIME MANAGEMENT > INTERNAL CLOCK ADJUST

---

パラメーター

---

2000/01/01 00:00:00 - 2037/12/31 23:59:59

---

## 15.4.2 タイムゾーンの選択

以下の操作で、タイムゾーンを選択できます。使用する地域に合わせて選択してください。

```
2 . T I M E Z O N E   O F F S E T
◆ * U T C + 0 9 : 0 0
```

操作

SYSTEM CONFIG > TIME MANAGEMENT > TIMEZONE OFFSET

パラメーター

-12:00 / -11:00 / -10:00 / -09:00 / -08:00 / -07:00 / -06:00 / -05:00 / -04:30 / -04:00 /  
-03:00 / -02:00 / -01:00 / +00:00 / +01:00 / +02:00 / +03:00 / +04:00 / +04:30 /  
+05:00 / +05:30 / +06:00 / +07:00 / +08:00 / +09:00 / +09:30 / +10:00 / +11:00 /  
+12:00 / -09:30 / -03:30 / +03:30 / +06:30 / +10:30 / +11:30

初期値

+09:00

## 15.4.3 ジャムシンクのオンオフ

以下の操作で、ジャムシンク機能をオンオフできます。

ON にすると、1日1回、ADJUST メニューで設定した時刻にタイムコードをリセットします。

```
3 . J A M   S Y N C
    O N        O F F
```

操作

SYSTEM CONFIG > TIME MANAGEMENT > JAM SYNC > ON/OFF

パラメーター

ON / OFF

初期値

ON

## 15.4.4 ジャムシンク時刻の設定

以下の操作で、ジャムシンク機能でタイムコードをリセットする時刻を設定できます。

この設定は、JAM SYNC が ON のときに有効です。

```
3 . J A M   S Y N C   A D J U S T
   0 0 : 0 0 : 0 0   [ H H : M M : S S ]
```

操作

SYSTEM CONFIG > TIME MANAGEMENT > JAM SYNC > ADJUST

パラメーター

00:00:00 - 23:59:59

初期値

00:00:00

## 15.4.5 夏時間のオンオフ (SER01)

REFERENCE CONFIG メニューの TIME SOURCE が GNSS のとき、以下の操作で夏時間を適用するかどうか選択できます。

```

3 . DAYLIGHT SAVING
   □ ON      ■ OFF
  
```

操作

---

SYSTEM CONFIG > TIME MANAGEMENT > DAYLIGHT SAVING > ON/OFF

---

パラメーター

---

ON / OFF

---

初期値

---

OFF

---

## 15.4.6 夏時間設定フォーマットの選択 (SER01)

REFERENCE CONFIG メニューの TIME SOURCE が GNSS のとき、以下の操作で夏時間の設定をする際のフォーマットを選択できます。

```

3 . SELECT FORMAT
▶ * 1 / 1 00 : 00 : 00
  
```

操作

---

SYSTEM CONFIG > TIME MANAGEMENT > DAYLIGHT SAVING > SELECT FORMAT

---

パラメーター

---

1/1 00:00:00:	夏時間の設定を「月、日、時、分」で行います。
1st Sun,Jan 00:00 AM:	夏時間の設定を「週、曜日、月、時」で行います。

---

初期値

---

1/1 00:00:00

---

## 15.4.7 夏時間開始日時の設定 (SER01)

REFERENCE CONFIG メニューの TIME SOURCE が GNSS のとき、以下の操作で夏時間を開始する日時を設定できます。

SELECT FORMAT = 1/1 00:00:00

```
3 . C H A N G E   D A Y
      0 1 / 0 1   0 0 : 0 0 : 0 0
```

SELECT FORMAT = 1st Sun,Jan|00:00 AM

```
3 . C H A N G E   D A Y
      1 s t   S u n , J a n | 0 0 : 0 0   A M
```

操作

SYSTEM CONFIG > TIME MANAGEMENT > DAYLIGHT SAVING > CHANGE DAY

パラメーター (SELECT FORMAT = 1/1 00:00:00)

01/01 00:00:00 - 12/31 23:59:00 (秒は設定できません)

パラメーター (SELECT FORMAT = 1st Sun,Jan|00:00 AM)

1st - 5th	週の設定
Sun - Sat	曜日の設定
Jan - Dec	月の設定
00:00 AM - 11:00 PM	時刻の設定 (分は設定できません)

初期値

01/01 00:00:00 (SELECT FORMAT = 1/1 00:00:00)

1st Sun,Jan|00:00 AM (SELECT FORMAT = 1st Sun,Jan|00:00 AM)

## 15.4.8 夏時間オフセットの設定 (SER01)

REFERENCE CONFIG メニューの TIME SOURCE が GNSS のとき、以下の操作で夏時間のオフセットを設定できます。

```
3 . T I M E C O D E   O F F S E T
+ 0 0 : 0 0 : 0 0   [ H H : M M : S S ]
```

操作

SYSTEM CONFIG > TIME MANAGEMENT > DAYLIGHT SAVING > TIMECODE OFFSET

パラメーター

±23:59:59

初期値

+00:00:00

## 15.4.9 夏時間終了日時の設定 (SER01)

REFERENCE CONFIG メニューの TIME SOURCE が GNSS のとき、以下の操作で夏時間を終了する日時を設定できます。

SELECT FORMAT = 1/1 00:00:00

```
3 . R E T U R N   D A Y
    0 1 / 0 1   0 0 : 0 0 : 0 0
```

SELECT FORMAT = 1st Sun,Jan|00:00 AM

```
3 . R E T U R N   D A Y
    1 s t   S u n , J a n | 0 0 : 0 0   A M
```

操作

SYSTEM CONFIG > TIME MANAGEMENT > DAYLIGHT SAVING > RETURN DAY

パラメーター (SELECT FORMAT = 1/1 00:00:00)

01/01 00:00:00 - 12/31 23:59:00 (秒は設定できません)

パラメーター (SELECT FORMAT = 1st Sun,Jan|00:00 AM)

1st - 5th	週の設定
Sun - Sat	曜日の設定
Jan - Dec	月の設定
00:00 AM - 11:00 PM	時刻の設定 (分は設定できません)

初期値

01/01 00:00:00	(SELECT FORMAT = 1/1 00:00:00)
1st Sun,Jan 00:00 AM	(SELECT FORMAT = 1st Sun,Jan 00:00 AM)

## 15.4.10 うるう秒の設定 (SER01)

うるう秒は、UTC の 6 月 30 日または 12 月 31 日の最後の時刻に自動で挿入されますが、REFERENCE CONFIG メニューの TIME SOURCE が GNSS のとき、以下の操作でうるう秒を挿入する時刻を設定した時間分、遅らせることができます。(秒は設定できません)

この機能は PTP には適用されません。

```
2 . S C H E D U L E D   T I M E
    0 0 : 0 0 : 0 0   [ H H : M M : S S ]
```

操作

SYSTEM CONFIG > TIME MANAGEMENT > LEAP SECOND

パラメーター

00:00:00 - 23:59:00

初期値

00:00:00

## 15.4.11 L-SYNC の設定

以下の操作で、L-SYNC の設定ができます。

【参照】「6.6 L-SYNC」

```
2 . L - S Y N C   S E T U P
▶ * D I S A B L E
```

---

操作

---

SYSTEM CONFIG > TIME MANAGEMENT > L-SYNC SETUP

---

パラメーター

---

DISABLE:	L-SYNC 機能を無効にします。
PRIMARY:	L-SYNC 機能を有効にし、本体はプライマリーとして動作します。
BACKUP:	L-SYNC 機能を有効にし、本体はバックアップとして動作します。 REFERENCE CONFIG メニューの REFERENCE SOURCE が GENLOCK のとき、TIME SOURCE は INTERNAL に固定されます。

---

初期値

---

DISABLE

---

## 15.5 GNSS の設定 (SER01)

SYSTEM CONFIG メニューの GNSS OPTION では、GNSS について設定できます。

```
0 . S Y S T E M   C O N F I G      ◀▶
◀ G N S S   O P T I O N          ▶
```

### 15.5.1 給電の設定

以下の操作で、GNSS アンテナへの供給電圧を選択できます。OFF にすると電力を供給しません。

```
2 . A N T E N N A   P O W E R
  ■ O F F      □ 3 . 3 V      □ 5 V
```

操作

---

SYSTEM CONFIG > GNSS OPTION > ANTENNA POWER

---

パラメーター

---

OFF / 3.3V / 5V

---

初期値

---

OFF

---

### 15.5.2 ケーブル遅延の設定

以下の操作で、GNSS ケーブルの遅延量を補正できます。

```
2 . C A B L E   D E L A Y
                                0 [ n s e c ]
```

操作

---

SYSTEM CONFIG > GNSS OPTION > CABLE DELAY

---

パラメーター

---

±30000 [nsec]

---

初期値

---

0 [nsec]

---

## 15.6 PTP の設定 (SER03)

SYSTEM CONFIG メニューの PTP OPTION では、PTP について設定できます。

```
0 . S Y S T E M   C O N F I G      ◀▶
◀ P T P   O P T I O N             ↓
```

### 15.6.1 IP アドレスの設定

以下の操作で、選択した PTP の IP アドレスを設定できます。

```
3 . P T P 1   I P   A D D R E S S
1 9 2 . 1 6 8 . 0 0 0 . 0 0 1
```

操作

---

SYSTEM CONFIG > PTP OPTION > PTP1 / PTP2 > IP ADDRESS

---

パラメーター

---

000.000.000.000 - 255.255.255.255

---

初期値

---

192.168.000.001

---

### 15.6.2 サブネットマスクの設定

以下の操作で、選択した PTP のサブネットマスクを設定できます。

```
3 . P T P 1   S U B N E T   M A S K
2 5 5 . 2 5 5 . 2 5 5 . 0 0 0
```

操作

---

SYSTEM CONFIG > PTP OPTION > PTP1 / PTP2 > SUBNET MASK

---

パラメーター

---

000.000.000.000 - 255.255.255.255

---

初期値

---

255.255.255.000

---

## 15.6.3 ゲートウェイの設定

以下の操作で、選択した PTP のゲートウェイを設定できます。

```
3 . P T P 1   G A T E W A Y
    1 9 2 . 1 6 8 . 0 0 0 . 2 5 4
```

操作

SYSTEM CONFIG > PTP OPTION > PTP1 / PTP2 > DEFAULT GATEWAY

パラメーター

000.000.000.000 - 255.255.255.255

初期値

192.168.000.254

## 15.6.4 SFP の設定

以下の操作で、選択した PTP の SFP の種類を選択できます。

モジュールとケーブルを接続した状態で選択してください。

選択後にモジュールを挿したりケーブルを接続したりすると、接続しない場合があります。

```
3 . P T P 1   S F P / S F P +
    * S F P +
```

操作

SYSTEM CONFIG > PTP OPTION > PTP1 / PTP2 > SFP/SFP+

パラメーター

SFP / SFP+

初期値

SFP+

## 15.6.5 リセット動作の設定

SFP/SFP+が SFP+のとき、以下の操作でスイッチとのリンクがダウンしたときの動作を選択します。

通常は OFF にして使用してください。

```
3 . P T P 1   L I N K   A U T O   R E S E T
    * O F F
```

操作

SYSTEM CONFIG > PTP OPTION > PTP1 / PTP2 > LINK AUTO RESET

パラメーター

OFF: 何も行いません。(従来通り)

ON: リンクダウンを検出したときに、イーサネット周辺のリセットを行います。リンクダウンの状態から復帰しないような場合に使用してください。

初期値

OFF

## 15.6.6 ポートミラーリングの設定

以下の設定で、ポートミラーリングの設定を選択できます。

```
2 . P T P   P O R T   M I R R O R I N G
▶ * O F F
```

操作

---

SYSTEM CONFIG > PTP OPTION > PTP PORT MIRRORING

---

パラメーター

OFF:	ポートミラーリングを行いません。
PTP1 to PTP2:	PTP1 のパケットをコピーして、PTP2 に送信します。
PTP2 to PTP1:	PTP2 のパケットをコピーして、PTP1 に送信します。

---

初期値

---

OFF

---

## 15.7 IP の設定 (SER04)

SYSTEM CONFIG メニューの IP OPTION では、IP について設定できます。

```
0 . S Y S T E M   C O N F I G           ◀▶
◀ I P   O P T I O N                   ↓
```

## 15.7.1 IP アドレスの設定

以下の操作で、選択した IP の IP アドレスを設定できます。

```
3 . I P 1   I P   A D D R E S S
  1 9 2 . 1 6 8 . 0 0 0 . 0 0 1
```

操作

---

SYSTEM CONFIG > IP OPTION > IP1 / IP2 > IP ADDRESS

---

パラメーター

---

000.000.000.000 - 255.255.255.255

---

初期値

---

192.168.000.001

---

## 15.7.2 サブネットマスクの設定

以下の操作で、選択した IP のサブネットマスクを設定できます。

```
3 . I P 1   S U B N E T   M A S K
2 5 5 . 2 5 5 . 2 5 5 . 0 0 0
```

操作

SYSTEM CONFIG > IP OPTION > IP1 / IP2 > SUBNET MASK

パラメーター

000.000.000.000 - 255.255.255.255

初期値

255.255.255.000

## 15.7.3 ゲートウェイの設定

以下の操作で、選択した IP のゲートウェイを設定できます。

```
3 . I P 1   D E F A U L T   G A T E W A Y
1 9 2 . 1 6 8 . 0 0 0 . 2 5 4
```

操作

SYSTEM CONFIG > IP OPTION > IP1 / IP2 > DEFAULT GATEWAY

パラメーター

000.000.000.000 - 255.255.255.255

初期値

192.168.000.254

## 15.7.4 SFP の設定

以下の操作で、選択した IP で使用する SFP トランシーバーの種類を選択します。  
SFP+を使用するときは 10G、SFP28 を使用するときは 25G を選択してください。

```
3 . I P 1   1 0 G / 2 5 G
↓ * 2 5 G
```

操作

SYSTEM CONFIG > IP OPTION > IP1 / IP2 > 10G/25G

パラメーター

10G / 25G

初期値

25G

## 15.7.5 RS-FEC のオンオフ

10G/25G が 25G のとき、以下の操作で選択した IP の RS-FEC (Reed-Solomon Forward Error Correction) をオンオフできます。

```
3 . I P 1   R S - F E C
└ * O N
```

操作

---

SYSTEM CONFIG > IP OPTION > IP1 / IP2 > RS-FEC

---

パラメーター

---

OFF / ON

---

初期値

---

ON

---

## 15.7.6 IGMP バージョンの選択

以下の操作で、選択した IP の IGMP (Internet Group Management Protocol) バージョンを選択できます。

```
3 . I P 1   I G M P
└ * A U T O
```

操作

---

SYSTEM CONFIG > IP OPTION > IP1 / IP2 > IGMP

---

パラメーター

---

V2 / V3 / AUTO

---

初期値

---

AUTO

---

## 15.8 アラームの設定

SYSTEM CONFIG メニューの ALARM では、背面パネルの LTC/REMOTE から出力されるアラームについて設定できます。INDICATOR 1 がアラーム出力 1、INDICATOR 2 がアラーム出力 2 にそれぞれ対応しています。

【参照】「6.4 LTC 信号の入出力とリモート制御」

```
0 . S Y S T E M   C O N F I G
└ * A L A R M
```

## 15.8.1 極性の選択

以下の操作で、選択した端子に出力するアラームの極性を選択できます。

3 . A L A R M   P O L A R I T Y <input checked="" type="checkbox"/> P O S I T I V E <input type="checkbox"/> N E G A T I V E
---

操作

---

SYSTEM CONFIG > ALARM > INDICATOR 1 / INDICATOR 2 > ALARM POLARITY

---

パラメーター

---

POSITIVE / NEGATIVE

---

初期値

---

POSITIVE

---

## 15.8.2 アラーム出力のオンオフ

以下の操作で、選択した端子に出力するアラームをそれぞれオンオフできます。

ENABLE に設定したアラームのうち、いずれかが発生するとアラームを出力します。

4 . U N I T   P O W E R 1 <input type="checkbox"/> E N A B L E <input checked="" type="checkbox"/> D I S A B L E
---

操作

---

SYSTEM CONFIG > ALARM > INDICATOR 1 / INDICATOR 2 > ALARM OPTION

---

- |                        |  |
|------------------------|--|
| > UNIT POWER1:         | POWER1 に異常が発生したとき<br>電源が二重化されていて、POWER1 に電源が入っていないとき (SER11)   |
| > UNIT POWER2:         | POWER2 に異常が発生したとき (SER11)<br>電源が二重化されていて、POWER2 に電源が入っていないとき (SER11)   |
| > FAN POWER1:          | POWER1 のファンに異常が発生したとき  |
| > FAN POWER2:          | POWER2 のファンに異常が発生したとき (SER11)  |
| > FAN FRONT:           | 前面ファンユニットに異常が発生したとき  |
| > FAN REAR:            | 背面ファンユニットに異常が発生したとき  |
| > INT PLL:             | 本体内部の水晶が故障したとき   |
| > TIME LAG:            | REFERENCE CONFIG メニューの TIME SOURCE が LTC、LTC ST309、VITC、VITC ST309、NTP で、TIME SOURCE から取得した時刻と内部時刻が 1 秒以上ずれているとき |
| > REFERENCE NO SIGNAL: | 設定した基準信号が入力されていないとき  |
| > REFERENCE STAY:      | 基準信号に異常が発生して、ステイインシンク動作中のとき  |
| > GNSS ANTENNA:        | SYSTEM CONFIG メニューの ANTENNA POWER が 3.3V または 5V で、ショートしたとき (SER01)   |
- 

パラメーター

---

ENABLE / DISABLE

---

初期値

---

DISABLE

---

## 15.9 ログの設定

SYSTEM CONFIG メニューの LOG では、ログの表示や設定ができます。

ログとは、本体の状態や本体で発生したエラーなどを発生順に自動で記録したものです。

```
0 . S Y S T E M   C O N F I G      ◀▶
◀ LOG                               ▶
```

### 15.9.1 ログの表示

以下の操作で、ログを表示できます。

▲キーで新しいログ、▼キーで古いログ、◀▶キーで日時表示とログ表示を切り換えることができます。

表示できる件数は 000 - 999 の 1000 件で、以降に発生したログは古いログを上書きします。

ログの日時は、REFERENCE CONFIG メニューの TIME SOURCE で選択した日時となります。

```
2 . L O G   L I S T                ▶
0 0 0 ' 2 3 / 0 4 / 0 1   1 2 : 3 4 : 5 6
                               ↓  ↑
2 0 2 3 / 0 4 / 0 1   1 2 : 3 4 : 5 6  ◀
0 0 0 : A L M ( F A N   F R O N T   O K )
```

操作

---

SYSTEM CONFIG > LOG > LIST

---

## 15.9.2 本体から USB へのログコピー

以下の操作で OK にすると、本体から USB メモリーへ、ログを txt 形式でコピーできます。  
このメニューは、USB メモリーが接続されているときに表示されます。

```
2 . C O P Y   L O G   I N T → U S B
       O K            C A N C E L
```

操作

---

SYSTEM CONFIG > LOG > COPY INT→USB

---

- **USB メモリーの構成**

ログは、USB メモリーの LOG フォルダの下にコピーします。

ファイルの日時は、REFERENCE CONFIG メニューの TIME SOURCE で選択した日時となります。

- USB メモリー
  - └─ ■ LT4670\_USER
    - └─ ■ LOG
      - └─ ■ YYYYMMDDhhmmss.txt

- **ログの例**

```
000:2023/06/23 05:13:05 ALM(UNIT POWER2)
001:2023/06/23 05:13:05 ALM(FAN POWER2)
002:2023/06/23 05:13:42 REF SRC(NO SIGNAL)
003:2023/06/23 05:14:00 REF SRC(LOCK)
004:2023/06/23 05:14:14 1PPS CAPTCHA
005:2023/06/23 05:14:16 TIME CAPTCHA
006:2023/06/23 05:17:46 REFERENCE:REFERENCE_SOURCE[GL FMT-AUTO]
007:2023/06/23 05:17:46 REF SRC(TRACKING)
008:2023/06/23 05:17:53 REF SRC(LOCK)[NTSC BB]
```

## 15.9.3 ログの消去

以下の操作で OK にすると、ログを消去できます。

```
2 . D E L E T E   L O G
       O K            C A N C E L
```

操作

---

SYSTEM CONFIG > LOG > DELETE

---

## 15.10 初期化

SYSTEM CONFIG メニューの INITIALIZE では、設定の初期化ができます。



初期化には CLEAR SETTING と DEFAULT SETTING の 2 種類があり、初期化される項目に以下のような違いがあります。(○: 初期化される、×: 初期化されない)

表 15-1 | 初期化

設定項目		CLEAR SETTING	DEFAULT SETTING
REFERENCE CONFIG		○	○
BLACK CONFIG		○	○
AUDIO CONFIG		○	○
LTC CONFIG		○	○
CW/1PPS CONFIG		○	○
SDI CONFIG	下記以外	○	○
	本体に保存されているユーザーパターン (INT1 - INT4)	×	○
	本体に保存されている ID キャラクター (INT1 - INT4)	×	○
	本体に保存されているロゴ (INT1 - INT4)	×	○
PTP CONFIG		○	○
IP CONFIG		○	○
SYSTEM CONFIG	下記以外	×	○
	INTERNAL CLOCK ADJUST	×	×
	FORMAT SETTING	×	×

### 15.10.1 設定の初期化

以下の操作で OK にすると、一部を除く設定を初期化できます。



操作

---

SYSTEM CONFIG > INITIALIZE > CLEAR SETTING

---

### 15.10.2 工場出荷時設定

以下の操作で OK にすると、工場出荷時設定に初期化できます。



操作

---

SYSTEM CONFIG > INITIALIZE > DEFAULT SETTING

---

## 15.10.3 フォーマット初期値の選択

以下の操作で、CLEAR SETTING や DEFAULT SETTING で初期化したときのフォーマットを選択できます。

2 . F O R M A T   S E T T I N G
<input checked="" type="checkbox"/> N T S C <input type="checkbox"/> P A L

操作

---

SYSTEM CONFIG > INITIALIZE > FORMAT SETTING

---

パラメーター

---

NTSC / PAL

---

初期値

---

NTSC

---

ここで設定した内容によって、以下のように初期値が変わります。

表 15-2 | 初期値

設定項目	FORMAT SETTING	
	NTSC	PAL
REFERENCE CONFIG > GENLOCK FORMAT	NTSC BB	PAL BB
BLACK CONFIG > BLACK* > FORMAT	NTSC BB	PAL BB
LTC CONFIG > LTC OUTPUT > LTC* > FORMAT	29.97 fps	25 fps
SDI CONFIG > SDI FREQUENCY GROUP (SER02/SER04)	59.94Hz	60/50Hz
SDI CONFIG > SDI* > FORMAT > RATE (SER02/SER04)	59.94I	50I

## 15.11 ソフトウェアオプションの確認と追加

SYSTEM CONFIG メニューの LICENSE INFO.では、ソフトウェアオプションの確認と追加ができます。

```
0 . SYSTEM CONFIG      ◀▶
◆ LICENSE INFO.      ↓
```

### 15.11.1 ソフトウェアオプションの確認

以下の操作で、追加されているソフトウェアオプションを確認できます。  
追加されていないソフトウェアオプションは表示されません。

```
1 . LICENSE INFO.
▼ SER 21 : 4 K
```

操作

---

SYSTEM CONFIG >LICENSE INFO.

---

### 15.11.2 ソフトウェアオプションの追加

以下の操作で、ソフトウェアオプションを追加できます。  
発行されたライセンスキーを入力してから、ENTER キーを押してください。

追加が完了すると、「Accepted.」と表示されます。

「Failed.」と表示されたときは、ライセンスキーの入力からやり直してください。

```
2 . LICENSE KEY INPUT
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
↓
2 . LICENSE KEY INPUT
A c c e p t e d .
```

操作

---

SYSTEM CONFIG >LICENSE INFO. > LICENSE KEY INPUT

---

## 15.12 USB の設定

以下の操作で、前面パネルの USB 機能を有効にするかどうか選択できます。

USB メモリーを正しく接続しても認識されない場合は、一旦 DISABLE にしてから、再度 ENABLE に設定してください。

```
1 . U S B   D E V I C E
      ■ E N A B L E   □ D I S A B L E
```

操作

---

SYSTEM CONFIG > USB DEVICE

---

パラメーター

---

ENABLE / DISABLE

---

初期値

---

ENABLE

---

## 15.13 ファンのオンオフ

以下の操作で、前面、背面ファンユニットのファンをそれぞれオンオフできます。

ファンをオフにするのは、ユニット交換など保守のときのみとし、通常は常にオンにして使用してください。

【参照】「19.2.2 前面ファンユニットの交換」「19.2.3 背面ファンユニットの交換」

```
2 . F A N   M A I N T E N A N C E   F R O N T
      ■ O N   □ O F F
```

操作

---

SYSTEM CONFIG > FAN MAINTENANCE

> FRONT

> REAR

---

パラメーター

---

ON / OFF

---

初期値

---

ON

---

## 15.14 システム設定のコピー

SYSTEM CONFIG メニューの SYSTEM COPY では、システム設定のコピーができます。複数の本体を同じ設定で使用したいときに便利です。

```

0 . SYSTEM CONFIG
^ SYSTEM COPY
  
```

なお、システム設定には、以下の内容が含まれています。

- ・ SYSTEM CONFIG メニューの設定
- ・ プリセット (0 - 9)
- ・ ID キャラクター (INT1 - INT4)
- ・ ロゴ (INT1 - INT4)

### 15.14.1 USB から本体へのシステムコピー

以下の操作で OK にすると、USB メモリーから本体へ、システム設定をコピーできます。(USB メモリーにはあらかじめ、COPY INT→USB メニューでシステム設定をコピーしておきます)

```

2 . SYS COPY USB→INT
  ■ OK          □ CANCEL
  
```

操作

---

SYSTEM CONFIG > SYSTEM COPY > COPY USB→INT

---

#### ● USB メモリーの構成

システム設定は、USB メモリーの ID フォルダー、LOGO フォルダー、PSET フォルダー、SYS フォルダーの下にあるものをコピーします。

- USB メモリー
  - └ ■ LT4670\_USER
    - └ ■ ID
    - └ ■ LOGO
    - └ ■ PSET
    - └ ■ SYS

## 15.14.2 本体から USB へのシステムコピー

以下の操作で OK にすると、本体から USB メモリーへ、システム設定をコピーできます。

```
2 . S Y S   C O P Y   I N T → U S B
    ■ O K           □ C A N C E L
```

操作

---

SYSTEM CONFIG > SYSTEM COPY > COPY INT→USB

---

● **USBメモリーの構成**

システム設定は、USBメモリーのIDフォルダー、LOGOフォルダー、PSETフォルダー、SYSフォルダーの下にコピーします。

ファイルの日時は、REFERENCE CONFIGメニューのTIME SOURCEで選択した日時となります。

- USBメモリー
  - └─ ■ LT4670\_USER
    - └─ ■ ID
    - └─ ■ LOGO
    - └─ ■ PSET
    - └─ ■ SYS

## 16 STATUSメニュー

STATUSメニューでは、本器の状態を表示します。  
STATUSメニューを表示するには、STATUSキーを押します。

```
[ S T A T U S ] ◀▶
A L A R M ↓
```

### 16.1 ALARMメニュー

STATUSメニューのALARMでは、現在発生しているアラームの内容を表示します。  
ALARMメニューを表示するには、以下のメニューが表示されるまで、STATUSキーを数回押します。  
アラームが無い場合は、ALARMメニュー自体を表示しません。

```
[ S T A T U S ] ◀▶
A L A R M ↓
```

複数のアラームが発生している場合は、◀▶キーでアラームの内容を切り換えることができます。

```
[ A L A R M ] ◀▶
F A N F R O N T ↓
```

表示されるアラームは以下のとおりです。

表 16-1 | アラーム表示

アラーム	発生条件
FAN FRONT	前面ファンユニットに異常が発生したとき
FAN REAR	背面ファンユニットに異常が発生したとき
FAN POWER1	POWER1 のファンに異常が発生したとき
FAN POWER2	POWER2 のファンに異常が発生したとき (SER11)
UNIT POWER1	POWER1 に異常が発生したとき 電源が二重化されていて、POWER1 に電源が入っていないとき (SER11)
UNIT POWER2	POWER2 に異常が発生したとき (SER11) 電源が二重化されていて、POWER2 に電源が入っていないとき (SER11)
INT PLL	本体内部の水晶が故障したとき
GNSS ANTENNA	SYSTEM CONFIG メニューの ANTENNA POWER が 3.3V または 5V で、ショートしたとき (SER01)

## 16.2 INFORMATIONメニュー

STATUSメニューのINFORMATIONでは、本器の状態を表示します。

INFORMATIONメニューを表示するには、以下のメニューが表示されるまで、STATUSキーを数回押します。

[ STATUS ]	◀▶
INFORMATION	↓

表 16-2 | INFORMATIONメニュー

項目	内容
[ REF SRC ] GL - FMT - ( A ) LOCK	上段に基準信号の種類、下段にロック状態を表示します。REFERENCE SOURCEがINTERNALのときは、下段に「INTERNAL」を表示します。
[ GENLOCK FORMAT ] NTSC BB	REFERENCE SOURCEがGENLOCK FMT-AUTOのとき、入力信号のフォーマットを表示します。
[ ATTENTION ] GNSS LEAP - SECOND	REFERENCE SOURCEがGNSSで、うるう秒の情報を受信できないときに表示します。(SER01)
[ SATELLITE USED ] GP : 4 GL : 3 GA : 2 GB : 1	REFERENCE SOURCEがGNSSのとき、有効衛星数を表示します。左はGNSS SATELLITEがALLのときの表示例で、以下のとおり表示します。(SER01) GP: GPS + QZSS の衛星数 GL: GLONASS の衛星数 GA: GALILEO の衛星数 GB: BDS の衛星数
[ GPS C/N0 [ dBHz ] ] ▼ G1 : 39 G17 : 39 G20 : 39	REFERENCE SOURCEがGNSSのとき、C/N0を衛星ごとに表示します。有効衛星数が4以上のときは、▲▼キーで衛星を切り換えることができます。また、有効衛星数が0のときは、「Satellite not visible.」を表示します。(SER01)
[ GLONASS C/N0 [ dBHz ] ] R6 : 26 R8 : 35 R12 : 21	
[ GALILEO C/N0 [ dBHz ] ] E6 : 26 E8 : 35	
[ BDS C/N0 [ dBHz ] ] B6 : 26	
[ QZSS C/N0 [ dBHz ] ] Satellite not visible.	
[ PTP1 LEADER ID ] 000000000000000000	REFERENCE SOURCEがPTP1またはPTP1/2のとき、ロックしているリーダーのIDを表示します。(SER03)
[ PTP2 LEADER ID ] 000000000000000000	REFERENCE SOURCEがPTP2またはPTP1/2のとき、ロックしているリーダーのIDを表示します。(SER03)

16 STATUSメニュー

項目	内容
[ P T P 1 P H A S E ] 1 . 2 3 4 n s	REFERENCE SOURCE が PTP1 または PTP1/2 のとき、リーダーとの位相差を表示します。(SER03)
[ P T P 2 P H A S E ] 1 . 2 3 4 n s	REFERENCE SOURCE が PTP2 または PTP1/2 のとき、リーダーとの位相差を表示します。(SER03)
[ U T C T I M E ] 2 0 2 3 / 0 4 / 0 1 1 2 : 3 4 : 5 6	TIME SOURCE が NTP、GNSS (SER01)、PTP (SER03)のとき、TIME SOURCE から取り込んだ協定世界時を表示します。
[ L O C A L T I M E ] 2 0 2 3 / 0 4 / 0 1 1 2 : 3 4 : 5 6	本体の内部時刻を表示します。
[ T I M E S O U R C E ] I N T E R N A L 2 0 2 3 / 0 4 / 0 1 1 2 : 3 4 : 5 6	REFERENCE CONFIG メニューの TIME SOURCE で選択した日時を表示します。
[ T I M E S O U R C E ] L T C 1 2 : 3 4 : 5 6 2 9 . 9 7 f p s D F	TIME SOURCE が LTC のときは、時刻、伝送レート、ドロップフレーム(DF)の有無を表示します。
[ T I M E S O U R C E ] L T C S T 3 0 9 2 0 2 3 / 0 4 / 0 1 1 2 : 3 4 : 5 6	TIME SOURCE が LTC ST309 のときは、日時、伝送レート、ドロップフレーム(DF)の有無、タイムゾーン(TZ)を表示します。
[ T I M E S O U R C E ] L T C S T 3 0 9 2 9 . 9 7 f p s D F T Z : U T C + 0 9 : 0 0	
[ T I M E S O U R C E ] V I T C 1 2 : 3 4 : 5 6 1 4 L 2 9 . 9 7 f p s D F	TIME SOURCE が VITC のときは、時刻、重畳ライン、伝送レート、ドロップフレーム(DF)の有無を表示します。
[ T I M E S O U R C E ] V I T C S T 3 0 9 2 0 2 3 / 0 4 / 0 1 1 2 : 3 4 : 5 6 1 4 L	TIME SOURCE が VITC ST309 のときは、日時、重畳ライン、伝送レート、ドロップフレーム(DF)の有無、タイムゾーン(TZ)を表示します。
[ T I M E S O U R C E ] V I T C S T 3 0 9 2 9 . 9 7 f p s D F T Z : U T C + 0 9 : 0 0	
[ T I M E S O U R C E ] G N S S - - - - -	時刻を取得できないときは「-」を表示します。
[ P T P O U T P U T ] P T P 1 L E A D E R	PTP CONFIG メニューの PTP1 MODE が ENABLE LEADER のとき、出力状態を表示します。(SER03)
[ P T P O U T P U T ] P T P 2 L E A D E R	PTP CONFIG メニューの PTP2 MODE が ENABLE LEADER のとき、出力状態を表示します。(SER03)

## 16.3 CONFIGメニュー

STATUSメニューのCONFIGでは、本器の設定を表示します。

CONFIGメニューを表示するには、以下のメニューが表示されるまで、STATUSキーを数回押します。

```
[ STATUS ]      ◀▶
CONFIG         ↓
```

### 16.3.1 REFERENCEメニュー

CONFIGメニューのREFERENCEでは、REFERENCE CONFIGメニューで設定した、基準信号に関する設定を表示します。

```
[ CONFIG ]      ◀▶
REFERENCE      ↓
```

表 16-3 | REFERENCEメニュー

項目	内容
[ REFERENCE SOURCE ] INTERNAL	REFERENCE SOURCE で選択した基準信号を表示します。
[ GENLOCK FORMAT ] NTSC BB	REFERENCE SOURCE が GENLOCK FMT-MANUAL のとき、GENLOCK FORMAT で選択したゲンロックフォーマットを表示します。
[ GENLOCK TIMING ] OFN	REFERENCE SOURCE が GENLOCK のとき、GENLOCK TIMING FINE で設定したタイミングを表示します。
[ GNSS SATELLITE ] ALL	REFERENCE SOURCE が GNSS のとき、GNSS SATELLITE で選択した衛星を表示します。 (SER01)
[ RECOVERY / TRACKING ] FAST	REFERENCE SOURCE が INTERNAL 以外のとき、AUTO SETTING または MANUAL SETTING で選択した再ロックスピードを表示します。
[ TIME SOURCE ] INTERNAL	TIME SOURCE で選択した時刻源を表示します。

16.3.2 BLACKメニュー

CONFIGメニューのBLACKでは、BLACK CONFIGメニューで設定した、ブラック出力に関する設定を表示します。

```
[ C O N F I G ]      ◀▶
B L A C K           ↓
```

表 16-4 | BLACKメニュー

項目	内容
[ B L A C K 1 F O R M A T ] ◀▶ N T S C B B	FORMATで選択した、ブラック1のフォーマットを表示します。 ブラック2~6も同様です。
[ B L A C K 1 T I M I N G ] ◀▶ O F O L O D	FRAME、VERTICAL、HORIZONTALで設定した、ブラック1のタイミングを表示します。 ブラック2~6も同様です。

16.3.3 GNSSメニュー (SER01)

CONFIGメニューのGNSSでは、GNSSオプションに関する設定を表示します。

```
[ C O N F I G ]      ◀▶
G N S S ( S E R 0 1 ) ↓
```

表 16-5 | GNSSメニュー

項目	内容
[ G N S S A N T E N N A ] ◀▶ O F F	SYSTEM CONFIGメニューのANTENNA POWERで選択した、GNSSアンテナへの給電電圧を表示します。
[ S E R 0 1 : 0 0 / 0 0 0 0 0 0 0 ] ◀▶ G N S S H W : 0 0 0 0 0 0 0 0	上段にボードIDとシリアル番号、下段に社内管理番号を表示します。

16.3.4 SDIメニュー (SER02)

CONFIGメニューのSDIでは、SDI CONFIGメニューで設定した、SDI オプションに関する設定を表示します。

```
[ CONFIG ]
SDI (SER02)
```

表 16-6 | SDIメニュー

項目	内容
[ SDI1 FORMAT ] 1080 HD / 59.94 I	FORMAT で設定した、SDI1 のフォーマットを表示します。 SDI 2~4 も同様です。
[ SDI1 TIMING ] OL OD	VERTICAL と HORIZONTAL で設定した、SDI1 のタイミングを表示します。 SDI 2~4 も同様です。
[ SER02 : 00 / 00000000 ] 1 / 2 C4 : 00000000 C5 : 00000000	上段に SDI 1/2 のボード ID とシリアル番号、下段に FPGA バージョンを表示します。 SDI 3/4 も同様です。

16.3.5 PTPメニュー (SER03)

CONFIGメニューのPTPでは、PTP CONFIGメニューで設定した、PTP オプションに関する設定を表示します。

```
[ CONFIG ]
PTP (SER03)
```

表 16-7 | PTPメニュー

項目	内容
[ PTP1 MODE ] ENABLE LEADER	MODE で選択した、PTP1 のモードを表示します。 PTP2 も同様です。
[ PTP1 BMCA ] ENABLE	BMCA SETUP で選択した、PTP1 の BMCA の設定を表示します。 PTP2 も同様です。
[ PTP1 PROFILE TYPE ] ST2059	PROFILE で選択した、PTP1 のプロファイルを表示します。 PTP2 も同様です。
[ PTP1 MAC ADDRESS ] 00 : 00 : 00 : 00 : 00 : 00	PTP1 の MAC アドレスを表示します。 PTP2 も同様です。
[ PTP1 IDENTITY ] 0x0000000000000000	PTP1 の ID を表示します。 PTP2 も同様です。
[ SER03 : 00 / 00000000 ] R0 . 0 . 0 : R0 . 0 . 0	上段にボード ID とシリアル番号、下段に社内管理番号を表示します。

## 16.3.6 IP/SDI メニュー (SER04)

CONFIG メニューの IP/SDI では、SDI CONFIG メニューで設定した SDI オプションに関する設定、および IP CONFIG メニューで設定した IP オプションに関する設定を表示します。

```
[ CONFIG ]
IP / SDI ( SER04 )
```

表 16-8 | IP/SDI メニュー

項目	内容
[ SDI1 FORMAT ] 1080 HD / 59.94I	FORMAT で設定した、SDI1 のフォーマットを表示します。 SDI 2~4 も同様です。
[ SDI1 TIMING ] 0L 0D	VERTICAL と HORIZONTAL で設定した、SDI1 のタイミングを表示します。 SDI 2~4 も同様です。
[ IP TYPE ] ST2110	TYPE で選択した、IP の規格を表示します。
[ IP1 OUTPUT ] ON	OUTPUT で選択した、IP1 の出力を表示します。 IP2 も同様です。
[ IP1 STREAM1 PAYLOAD ] V: 96 AU: 97 AN: 100	PAYLOAD TYPE で設定した、IP1/ST1 のペイロードタイプを表示します。 IP1/ST2~4、IP2/ST1~4 も同様です。 (V: ビデオ、AU: オーディオ、AN: ANC)
[ IP1 STREAM1 VLAN TAG ] V: OFF AU: OFF AN: OFF	VLAN TAG で設定した、IP1/ST1 の VLAN タグ (設定 OFF のときは OFF) を表示します。 IP1/ST2~4、IP2/ST1~4 も同様です。 (V: ビデオ、AU: オーディオ、AN: ANC)
[ IP1 STREAM1 DSCP TAG ] V: OFF AU: OFF AN: OFF	DSCP TAG で設定した、IP1/ST1 の DSCP タグ (設定 OFF のときは OFF) を表示します。 IP1/ST2~4、IP2/ST1~4 も同様です。 (V: ビデオ、AU: オーディオ、AN: ANC)
[ IP1 STREAM1 VID DSTIP ] 239.000.000.001	DESTINATION IP ADDRESS で設定した、IP1/ST1/ビデオの宛先 IP アドレスを表示します。 IP1/ST2~4、IP2/ST1~4 も同様です。
[ IP1 STREAM1 VID DSTPT ] 5004	DESTINATION PORT で設定した、IP1/ST1/ビデオの宛先ポート番号を表示します。 IP1/ST2~4、IP2/ST1~4 も同様です。
[ IP1 STREAM1 AUD MODE ] ST2110-30	MODE で選択した、IP1/ST1/オーディオの規格を表示します。 IP1/ST2~4、IP2/ST1~4 も同様です。
[ IP1 STREAM1 AUD TIME ] 1ms	PACKET TIME で選択した、IP1/ST1/オーディオの packet time を表示します。 IP1/ST2~4、IP2/ST1~4 も同様です。



項目	内容
[ S E R 0 4 : 0 0 / 0 0 0 0 0 0 0 ] I P : 0 0 0 0 0 0 0 0	上段にボード ID とシリアル番号、下段に FPGA バージョンを表示します。

16.3.7 SYSTEM メニュー

CONFIG メニューの SYSTEM では、本体の設定を表示します。

[ C O N F I G ]	◀▶
S Y S T E M	↓

表 16-9 | SYSTEM メニュー

項目	内容
[ F I R M W A R E V E R S I O N ] 1 . 2	ファームウェアバージョンを表示します。
[ M A I N : 0 0 / 0 0 0 0 0 0 0 ] C 5 : 0 0 0 0 0 0 0 0 C 1 0 : 0 0 0 0 0 0 0 0	上段にボード ID とシリアル番号、下段に FPGA バージョンを表示します。
[ M A C A D D R E S S ] 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0 : 0 0	MAC アドレスを表示します。
[ L I C E N S E ] S E R 2 1 : 4 K	追加されているソフトウェアオプションを表示します。オプションがないときは表示しません。
[ S O N U M B E R ] 0 0 0 0 0 0 0	特注仕様有的时候に特注番号を表示します。標準仕様有的时候は表示しません。
[ P O W E R / F A N ] 0 0 / 0 0 0 / 0	電源ユニット 1、電源ユニット 2 (SER11)、前面ファンユニット、背面ファンユニットのボード ID を表示します。

## 16.4 LOGメニュー

STATUSメニューのLOGでは、ログの表示と消去をします。

LOGメニューを表示するには、以下のメニューが表示されるまで、STATUSキーを数回押します。

```
[ STATUS ]
LOG
```

### 16.4.1 ログの表示

以下の操作で、ログを表示できます。

▲キーで新しいログ、▼キーで古いログ、◀▶キーで日時表示とログ表示を切り換えることができます。

表示できる件数は000 - 999の1000件で、以降に発生したログは古いログを上書きします。

ログの日時は、REFERENCE CONFIGメニューのTIME SOURCEで選択した日時となります。

```
[ LOG LIST ]
000'23/04/01 12:34:56
      ↓ ↑
2023/04/01 12:34:56
000:ALM(FAN FRONT OK)
```

操作

---

STATUS > LOG > LIST

---

### 16.4.2 ログの消去

以下の操作でOKにすると、ログを消去できます。

```
[ LOG DELETE ]
  □ OK      ■ CANCEL
```

操作

---

STATUS > LOG > DELETE

---

# 17 SNMP

SNMP(Simple Network Management Protocol)を使用して、SNMP マネージャーから本器のコントロールができます。また、ファンが停止した場合などに、本体から SNMP マネージャーへトラップで通知できます。

- \* 本器のイーサネット機能は、ローカルネットワーク環境でのみ動作確認しています。いかなるネットワーク環境での動作を保証するものではありません。
- \* DHCP クライアント機能、DNS リゾルバ機能には対応していません。
- \* 本器に SNMP マネージャーは付属していません。お客様自身でご用意ください。また、SNMP マネージャーの使用方法は、お使いの SNMP マネージャーの取扱説明書をご覧ください。

## 17.1 SNMP バージョン

SNMPv2c

SNMPv3

## 17.2 SMI 定義

IMPORTS

MODULE-IDENTITY, OBJECT-TYPE, NOTIFICATION-TYPE, IPAddress, Counter32, enterprises

FROM SNMPv2-SMI

DisplayString, MacAddress

FROM SNMPv2-TC

OBJECT-GROUP, MODULE-COMPLIANCE

FROM SNMPv2-CONF;

## 17.3 使用方法

SNMPv2c のときの使用方法を以下に示します。

### 1. LT4670 で IP アドレスを設定します。

「SYSTEM CONFIG > NETWORK > ETHERNET > IP ADDRESS」で設定できます。

```
3 . I P   A D D R E S S
   1 9 2 . 1 6 8 . 0 0 0 . 0 0 1
```

### 2. LT4670 でネットワーク設定を有効にします。

「NETWORK SETUP」と「SNMP SETUP」をそれぞれ有効にする必要があります。

「NETWORK SETUP」は、「SYSTEM CONFIG > NETWORK > NETWORK SETUP」で「ENABLE」にします。

```
2 . N E T W O R K   S E T U P
   ■ E N A B L E   □ D I S A B L E
```

「SNMP SETUP」は、「SYSTEM CONFIG > NETWORK > SNMP > SNMP SETUP」で「V2C」にします。

```
3 . S N M P   S E T U P
     D I S A B L E    V 2 C    V 3
```

### 3. LT4670 で使用するトラップ送信先を有効にします。

「SYSTEM CONFIG > NETWORK > SNMP > SNMP TRAP 1~4」で「ENABLE」にします。トラップ送信先は4点まで使用できますが、通信負荷の原因となるため、使用しない送信先は無効にしてください。

```
3 . S N M P   T R A P   1
     E N A B L E    D I S A B L E
```

### 4. LT4670 で使用するトラップ送信先の IP アドレスを設定します。

「SYSTEM CONFIG > NETWORK > SNMP > SNMP MANAGER IP 1~4」で設定します。

```
3 . S N M P   M A N A G E R   I P   1
    0 0 0 . 0 0 0 . 0 0 0 . 0 0 0
```

### 5. LT4670 背面パネルの ETHERNET/CONTROL とネットワーク機器を接続します。

SNMP マネージャーが存在するネットワークに接続してください。

### 6. PC で SNMP マネージャーを起動します。

コミュニティ名の初期値は以下のとおりです。

「SYSTEM CONFIG > NETWORK > SNMP > SNMP COMMUNITY」で変更することもできます。

READ COMMUNITY: LDRUser

WRITE COMMUNITY: LDRAdm

TRAP COMMUNITY: LDRUser

### 7. LT4670 を再起動します。

### 8. SNMP マネージャーで、本体再起動時に標準トラップ「ColdStart」が受信できることを確認します。

SNMPv3 のときは、以下のパラメーターを使用してお使いください。

表 17-1 | SNMPv3

ユーザー設定	READ COMMUNITY	LDuser (変更不可)
	WRITE COMMUNITY	LDadm (変更不可)
	TRAP COMMUNITY	LDuser (変更不可)
認証設定	認証パスワード	leader23
	認証方式	SHA
暗号化設定	暗号化パスワード	LT4670xt
	暗号化方式	AES

## 17.4 拡張 MIB

すべてのオプション (SER01、SER02、SER03、SER04、SER11、SER21) が追加されているときの拡張 MIB を一覧で示します。

### MIB ファイルの取得

Web ブラウザーからダウンロード、または LT4670 からコピーします。

Web ブラウザーからダウンロードするには、SYSTEM 画面で GET MIB ボタンを押します。

【参照】 「18.4.9 SYSTEM 画面」

LT4670 からコピーするには、LT4670 に USB メモリーを接続してから、「SYSTEM CONFIG > NETWORK > SNMP > COPY MIB INT→USB」で「OK」にします。「lt4670.my」が「USB メモリー > LT4670\_USER > MIB」にコピーされます。

3 . C O P Y   M I B   I N T → U S B
<input checked="" type="checkbox"/> O K <input type="checkbox"/> C A N C E L

### 企業番号

当社の企業番号は「20111」です。

iso(1).org(3).dod(6).internet(1).private(4).enterprises(1).leader(20111)

### MIB 構造

lt4670	OBJECT IDENTIFIER ::= { leader 44 }
lt4670ST1	OBJECT IDENTIFIER ::= { lt4670 1 }
l44notificationTBL	OBJECT IDENTIFIER ::= { lt4670ST1 0 }
l44systemTBL	OBJECT IDENTIFIER ::= { lt4670ST1 1 }
l44statusTBL	OBJECT IDENTIFIER ::= { lt4670ST1 2 }
l44referenceTBL	OBJECT IDENTIFIER ::= { lt4670ST1 3 }
l44blackTBL	OBJECT IDENTIFIER ::= { lt4670ST1 4 }
l44audioTBL	OBJECT IDENTIFIER ::= { lt4670ST1 5 }
l44lrcTBL	OBJECT IDENTIFIER ::= { lt4670ST1 6 }
l44cw1ppsTBL	OBJECT IDENTIFIER ::= { lt4670ST1 7 }
l44trapTBL	OBJECT IDENTIFIER ::= { lt4670ST1 8 }
lt4670ser02	OBJECT IDENTIFIER ::= { lt4670 2 }
l44sdi1TBL	OBJECT IDENTIFIER ::= { lt4670ser02 1 }
l44sdi2TBL	OBJECT IDENTIFIER ::= { lt4670ser02 2 }
l44sdi3TBL	OBJECT IDENTIFIER ::= { lt4670ser02 3 }
l44sdi4TBL	OBJECT IDENTIFIER ::= { lt4670ser02 4 }
l44sdiFrequencyGroup	OBJECT IDENTIFIER ::= { lt4670ser02 5 }
lt4670ser03	OBJECT IDENTIFIER ::= { lt4670 3 }
l44ptp1TBL	OBJECT IDENTIFIER ::= { lt4670ser03 1 }
l44ptp2TBL	OBJECT IDENTIFIER ::= { lt4670ser03 2 }
lt4670ser04	OBJECT IDENTIFIER ::= { lt4670 4 }

## ACCESS について

R/O: 情報の読み込みが可能  
 R/W: 情報の読み書きが可能  
 W/O: 情報の書き込みが可能

## 17.4.1 I44notificationTBL グループ

表 17-2 | I44notificationTBL グループ

OID	Access	Syntax	説明
I44trapContentTBL {I44notificationTBL.1}	-	Aggregate	-
I44trapErrorTBL {I44trapContentTBL.1}	-	Aggregate	-
I44trapErrorFanFront {I44TrapErrorTBL.1}	-	-	前面ファンユニットのエラー
I44trapErrorFanRear {I44TrapErrorTBL.2}	-	-	背面ファンユニットのエラー
I44trapErrorFanPower1 {I44TrapErrorTBL.3}	-	-	POWER1 のファンエラー
I44trapErrorFanPower2 {I44TrapErrorTBL.4}	-	-	POWER2 のファンエラー
I44trapErrorUnitPower1 {I44TrapErrorTBL.5}	-	-	POWER1 のエラー
I44trapErrorUnitPower2 {I44TrapErrorTBL.6}	-	-	POWER2 のエラー
I44trapErrorGnssAntenna {I44TrapErrorTBL.7}	-	-	GNSS アンテナのエラー
I44trapErrorIntPll {I44TrapErrorTBL.9}	-	-	水晶のエラー
I44trapErrorReferenceStatus {I44TrapErrorTBL.10}	-	-	基準信号のエラー (入力信号なし、ステイインシンク)
I44trapErrorTimeLag {I44TrapErrorTBL.11}	-	-	時刻のエラー
I44trapErrorPtp1BMCAStatus {I44TrapErrorTBL.20}	-	-	PTP1 の BMCA による出力の停止
I44trapErrorPtp2BMCAStatus {I44TrapErrorTBL.21}	-	-	PTP2 の BMCA による出力の停止
I44trapNormalTBL {I44trapContentTBL.2}	-	Aggregate	-
I44trapNormalFanFront {I44TrapNormalTBL.1}	-	-	前面ファンユニットの復帰
I44trapNormalFanRear {I44TrapNormalTBL.2}	-	-	背面ファンユニットの復帰
I44trapNormalFanPower1 {I44TrapNormalTBL.3}	-	-	POWER1 のファン復帰
I44trapNormalFanPower2 {I44TrapNormalTBL.4}	-	-	POWER2 のファン復帰

OID	Access	Syntax	説明
I44trapNormalUnitPower1 {I44TrapNormalTBL.5}	-	-	POWER1 の復帰
I44trapNormalUnitPower2 {I44TrapNormalTBL.6}	-	-	POWER2 の復帰
I44trapNormalGnssAntenna {I44TrapNormalTBL.7}	-	-	GNSS アンテナの復帰
I44trapNormalIntPll {I44TrapNormalTBL.9}	-	-	水晶の復帰
I44trapNormalReferenceStatus {I44TrapNormalTBL.10}	-	-	基準信号のロック
I44trapNormalDly1Sec {I44TrapNormalTBL.11}	-	-	時刻の復帰
I44trapNormalPtp1BMCAStatus {I44TrapNormalTBL.20}	-	-	PTP1 の BMCA による出力の復帰
I44trapNormalPtp2BMCAStatus {I44TrapNormalTBL.21}	-	-	PTP2 の BMCA による出力の復帰
I44trapStrTBL {I44notificationTBL.2}	-	Aggregate	-
I44trapCounter {I44trapStrTBL.1}	-	Counter32	起動してからの Enterprise Trap の送出累計数 1 - 4294967295
I44trapInternalTimestamp {I44trapStrTBL.2}	-	Display String	エラー発生の日時
I44trapContent {I44trapStrTBL.3}	-	Display String	エラー情報の文字列
I44statusAlarm/I44statusReference {I44trapStrTBL.4}	-	Integer	アラーム、基準信号の各ステータス

#### 17.4.2 I44systemTBL グループ

表 17-3 | I44systemTBL グループ

OID	Access	Syntax	説明
I44systemConfigTBL {I44systemTBL.1}	-	Aggregate	-
I44systemSerialNumber {I44systemConfigTBL.1}	R/O	Display String	シリアル番号 xxxxxxx
I44systemVersion {I44systemConfigTBL.2}	R/O	Display String	ファームウェアバージョン x.x
I44presetTBL {I44systemTBL.2}	-	Aggregate	-
I44systemRecall {I44presetTBL.1}	R/W	Integer	プリセット番号 0 - 9
I44systemPowerOnRecall {I44presetTBL.2}	R/W	Integer	起動時のプリセット番号 -1 = OFF 0 - 9 = プリセット番号
I44networkEthernetTBL {I44systemTBL.3}	-	Aggregate	-

OID	Access	Syntax	説明
I44systemMacAddress {I44networkEthernetTBL.1}	R/O	MacAddress	本体の MAC アドレス xx:xx:xx:xx:xx:xx
I44systemIPAddress {I44networkEthernetTBL.2}	R/O	IpAddress	本体の IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44systemSubnet {I44networkEthernetTBL.3}	R/O	IpAddress	本体のサブネットマスク xxx.xxx.xxx.xxx
I44systemGateway {I44networkEthernetTBL.4}	R/O	IpAddress	本体のデフォルトゲートウェイ xxx.xxx.xxx.xxx
I44ptpOptionTBL {I44systemTBL.4}	-	Aggregate	-
I44ptp1MacAddress {I44ptpOptionTBL.1}	R/O	MacAddress	PTP1 の MAC アドレス xx:xx:xx:xx:xx:xx
I44ptp1IPAddress {I44ptpOptionTBL.2}	R/O	IpAddress	PTP1 の IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ptp1Subnet {I44ptpOptionTBL.3}	R/O	IpAddress	PTP1 のサブネットマスク xxx.xxx.xxx.xxx
I44ptp1Gateway {I44ptpOptionTBL.4}	R/O	IpAddress	PTP1 のデフォルトゲートウェイ xxx.xxx.xxx.xxx
I44ptp2MacAddress {I44ptpOptionTBL.5}	R/O	MacAddress	PTP2 の MAC アドレス xx:xx:xx:xx:xx:xx
I44ptp2IPAddress {I44ptpOptionTBL.6}	R/O	IpAddress	PTP2 の IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ptp2Subnet {I44ptpOptionTBL.7}	R/O	IpAddress	PTP2 のサブネットマスク xxx.xxx.xxx.xxx
I44ptp2Gateway {I44ptpOptionTBL.8}	R/O	IpAddress	PTP2 のデフォルトゲートウェイ xxx.xxx.xxx.xxx
I44ipOptionTBL {I44systemTBL.5}	-	Aggregate	-
I44ip1MacAddress {I44ipOptionTBL.1}	R/O	MacAddress	IP1 の MAC アドレス xx:xx:xx:xx:xx:xx
I44ip1IPAddress {I44ipOptionTBL.2}	R/O	IpAddress	IP1 の IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip1Subnet {I44ipOptionTBL.3}	R/O	IpAddress	IP1 のサブネットマスク xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip1Gateway {I44ipOptionTBL.4}	R/O	IpAddress	IP1 のデフォルトゲートウェイ xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip1Speed {I44ipOptionTBL.5}	R/W	INTEGER	IP1 の SFP トランシーバーの種類 1 = speed-10g 2 = speed-25g
I44ip1RsFec {I44ipOptionTBL.6}	R/W	INTEGER	IP1 の RS-FEC 1 = off 2 = on
I44ip1Icmp {I44ipOptionTBL.7}	R/W	INTEGER	IP1 の IGMP バージョン 1 = v2 2 = v3 3 = auto

OID	Access	Syntax	説明
I44ip2MacAddress {I44ipOptionTBL.8}	R/O	MacAddress	IP2 の MAC アドレス xx:xx:xx:xx:xx:xx
I44ip2IPAddress {I44ipOptionTBL.9}	R/O	IpAddress	IP2 の IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip2Subnet {I44ipOptionTBL.10}	R/O	IpAddress	IP2 のサブネットマスク xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip2Geteway {I44ipOptionTBL.11}	R/O	IpAddress	IP2 のデフォルトゲートウェイ xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip2Speed {I44ipOptionTBL.12}	R/W	INTEGER	IP2 の SFP トランシーバーの種類 1 = speed-10g 2 = speed-25g
I44ip2RsFec {I44ipOptionTBL.13}	R/W	INTEGER	IP2 の RS-FEC 1 = off 2 = on
I44ip2Igmp {I44ipOptionTBL.14}	R/W	INTEGER	IP2 の IGMP バージョン 1 = v2 2 = v3 3 = auto

### 17.4.3 I44statusTBL グループ

表 17-4 | I44statusTBL グループ

OID	Access	Syntax	説明
I44statusAlarmTBL {I44statusTBL.1}	-	Aggregate	-
I44statusAlarmFanFront {I44statusAlarmTBL.1}	R/O	Integer	前面ファンユニットのアラーム 1 = normal 2 = stop
I44statusAlarmFanRear {I44statusAlarmTBL.2}	R/O	Integer	背面ファンユニットのアラーム 1 = normal 2 = stop
I44statusAlarmFanPower1 {I44statusAlarmTBL.3}	R/O	Integer	POWER1 のファンアラーム 1 = normal 2 = stop
I44statusAlarmFanPower2 {I44statusAlarmTBL.4}	R/O	Integer	POWER2 のファンアラーム 1 = normal 2 = stop
I44statusAlarmUnitPower1 {I44statusAlarmTBL.5}	R/O	Integer	POWER1 のアラーム 1 = normal 2 = error
I44statusAlarmUnitPower2 {I44statusAlarmTBL.6}	R/O	Integer	POWER2 のアラーム 1 = normal 2 = error
I44statusAlarmGnssAntenna {I44statusAlarmTBL.7}	R/O	Integer	GNSS アンテナのアラーム 1 = normal 2 = error

OID	Access	Syntax	説明
I44statusAlarmIntPll {I44statusAlarmTBL.9}	R/O	Integer	水晶のアラーム 1 = normal 2 = error
I44statusAlarmTimeLag {I44statusAlarmTBL.10}	R/O	Integer	時刻のアラーム 1 = normal 2 = error
I44statusReferenceTBL {I44statusTBL.2}	-	Aggregate	-
I44statusReference {I44statusReferenceTBL.1}	R/O	Integer	基準信号のロック状態 1 = initialize 2 = tracking 3 = lock 4 = stay 5 = recovery 11 = gnss-no-fix (SER01) 12 = adjust-freq-to-gnss (SER01) 13 = adjust-phase-to-gnss (SER01) 14 = tracking (SER01) 15 = lock (SER01) 16 = stay (SER01) 17 = recovery (SER01) 21 = ptp-follower-aging (SER03) 22 = ptp-leader-not-found (SER03) 23 = ptp-adjust-freq (SER03) 24 = ptp-adjust-phase (SER03) 25 = tracking (SER03) 26 = lock (SER03) 27 = stay (SER03) 28 = recovery (SER03) 30 = internel 40 = int-pll-error
I44statusReferencePtp1 {I44statusReferenceTBL.2}	R/O	Integer	PTP1 のロック状態 21 = ptp-follower-aging 22 = ptp-leader-not-found 23 = ptp-adjust-freq 24 = ptp-adjust-phase 25 = tracking 26 = lock 27 = stay 28 = recovery 29 = passive
I44statusReferencePtp2 {I44statusReferenceTBL.3}	R/O	Integer	PTP2 のロック状態 21 = ptp-follower-aging 22 = ptp-leader-not-found 23 = ptp-adjust-freq 24 = ptp-adjust-phase

OID	Access	Syntax	説明
			25 = tracking 26 = lock 27 = stay 28 = recovery 29 = passive
l44statusGenkockFormat {l44statusReferenceTBL.4}	R/O	Integer	ゲンロックフォーマット 1 = f1125-60i 2 = f1125-59p94i 3 = f1125-50i 4 = f1125-30p 5 = f1125-29p97p 6 = f1125-25p 7 = f1125-24p 8 = f1125-23p98p 9 = f1125-24psf 10 = f1125-23p98psf 11 = f750-60p 12 = f750-59p94p 13 = f750-50p 14 = f750-30p 15 = f750-29p97p 16 = f750-25p 17 = f750-24p 18 = f750-23p98p 19 = f525-59p94i 20 = fNTSC-BB 21 = fNTSC-BB-REF 22 = fNTSC-BB-ID 23 = fNTSC-BB-REF-ID 24 = f525-59p94p 25 = f625-50i 26 = fPAL-BB 27 = fPAL-BB-REF 28 = f625-50p 29 = f1125-60p 30 = f1125-59p94p 31 = f1125-50p 100 = unknown
l44statusUtcTime {l44statusReferenceTBL.5}	R/O	Display String	協定世界時 YYYY/MM/DD HH:MM:SS
l44statusLocalTime {l44statusReferenceTBL.6}	R/O	Display String	本体の内部時刻 YYYY/MM/DD HH:MM:SS Ntp Running Ntp Server Error
l44statusTime {l44statusReferenceTBL.7}	R/O	Display String	TIME SOURCE で選択した日時 YYYY/MM/DD HH:MM:SS

OID	Access	Syntax	説明
			HH:MM:SS -----
I44statusPTP1Output {I44statusReferenceTBL.8}	R/O	Integer	PTP1 の出力状態 1 = time-measuring 2 = time-setting 3 = listening 4 = preleader 5 = leader 6 = passive
I44statusPTP2Output {I44statusReferenceTBL.9}	R/O	Integer	PTP2 の出力状態 1 = time-measuring 2 = time-setting 3 = listening 4 = preleader 5 = leader 6 = passive
I44statusGnssTBL {I44statusTBL.3}	-	Aggregate	-
I44statusSatelliteUsed {I44statusGnssTBL.1}	R/O	Display String	有効衛星数
I44statusC/N0 {I44statusGnssTBL.2}	R/O	Display String	C/N0
I44statusPtpTBL {I44statusTBL.4}	-	Aggregate	-
I44statusPtp1TBL {I44statusPtpTBL.1}	-	Aggregate	-
I44statusPtp1ClockClass {I44statusPtp1TBL.1}	R/O	Display String	PTP1 のクロッククラス
I44statusPtp1ClockAccuracy {I44statusPtp1TBL.2}	R/O	Display String	PTP1 のクロック精度
I44statusPtp1ClockSource {I44statusPtp1TBL.3}	R/O	Display String	PTP1 の時刻源
I44statusPtp1LeaderID {I44statusPtp1TBL.4}	R/O	Display String	PTP1 のリーダーID
I44statusPtp1PhaseLag {I44statusPtp1TBL.5}	R/O	Display String	PTP1 とリーダーとの位相差
I44statusPtp1LockValue {I44statusPtp1TBL.6}	R/O	Display String	PTP1 のロック強度
I44statusPtp1PacketNoise {I44statusPtp1TBL.7}	R/O	Display String	PTP1 のノイズ
I44statusPtp1ST2059LocalOffset {I44statusPtp1TBL.8}	R/O	Display String	PTP1 の TAI に対するオフセット時間
I44statusPtp1ST2059JumpSeconds {I44statusPtp1TBL.9}	R/O	Display String	PTP1 のデライトセービング時のオフセット時間
I44statusPtp1ST2059NextJump {I44statusPtp1TBL.10}	R/O	Display String	PTP1 のデライトセービングの開始、または終了する日時

OID	Access	Syntax	説明
I44statusPtp1ST2059NextJamTime {I44statusPtp1TBL.11}	R/O	Display String	PTP1 の次にジャムシンクが発生する日時
I44statusPtp1ST2059PreviosJamTime {I44statusPtp1TBL.12}	R/O	Display String	PTP1 のジャムシンクが発生した日時
I44statusPtp2TBL {I44statusPtpTBL.2}	-	Aggregate	-
I44statusPtp2ClockCLass {I44statusPtp2TBL.1}	R/O	Display String	PTP2 のクロッククラス
I44statusPtp2ClockAccuracy {I44statusPtp2TBL.2}	R/O	Display String	PTP2 のクロック精度
I44statusPtp2ClockSource {I44statusPtp2TBL.3}	R/O	Display String	PTP2 の時刻源
I44statusPtp2LeaderID {I44statusPtp2TBL.4}	R/O	Display String	PTP2 のリーダーID
I44statusPtp2PhaseLag {I44statusPtp2TBL.5}	R/O	Display String	PTP2 とリーダーとの位相差
I44statusPtp2LockValue {I44statusPtp2TBL.6}	R/O	Display String	PTP2 のロック強度
I44statusPtp2PacketNoise {I44statusPtp2TBL.7}	R/O	Display String	PTP2 のノイズ
I44statusPtp2ST2059LocalOffset {I44statusPtp2TBL.8}	R/O	Display String	PTP2 の TAI に対するオフセット時間
I44statusPtp2ST2059JumpSeconds {I44statusPtp2TBL.9}	R/O	Display String	PTP2 のデライトセービング時のオフセット時間
I44statusPtp2ST2059NextJump {I44statusPtp2TBL.10}	R/O	Display String	PTP2 のデライトセービングの開始、または終了する日時
I44statusPtp2ST2059NextJamTime {I44statusPtp2TBL.11}	R/O	Display String	PTP2 の次にジャムシンクが発生する日時
I44statusPtp2ST2059PreviosJamTime {I44statusPtp2TBL.12}	R/O	Display String	PTP2 のジャムシンクが発生した日時
I44statusBlackTBL {I44statusTBL.5}	-	Aggregate	-
I44statusBlackVitcNumber {I44statusBlackTBL.1}	R/O	Display String	ブラック出力のタイムコード重畳ライン

#### 17.4.4 I44referenceTBL グループ

表 17-5 | I44referenceTBL グループ

OID	Access	Syntax	説明
I44referenceSourceTBL {I44referenceTBL.1}	-	Aggregate	-
I44referenceSource {I44referenceSourceTBL.1}	R/W	Integer	基準信号 1 = internal 2 = gl-fmt-auto 3 = gl-fmt-manual 4 = cw

OID	Access	Syntax	説明
			5 = gnss 6 = ptp1 7 = ptp2 8 = ptp1-2
l44referenceGenlockFormat {l44ReferenceTBL.2}	R/W	Integer	ゲンロックフォーマット 1 = f1125-60i 2 = f1125-59p94i 3 = f1125-50i 4 = f1125-30p 5 = f1125-29p97p 6 = f1125-25p 7 = f1125-24p 8 = f1125-23p98p 9 = f1125-24psf 10 = f1125-23p98psf 11 = f750-60p 12 = f750-59p94p 13 = f750-50p 14 = f750-30p 15 = f750-29p97p 16 = f750-25p 17 = f750-24p 18 = f750-23p98p 19 = f525-59p94i 20 = fNTSC-BB 21 = fNTSC-BB-REF 22 = fNTSC-BB-ID 23 = fNTSC-BB-REF-ID 24 = f525-59p94p 25 = f625-50i 26 = fPAL-BB 27 = fPAL-BB-REF 28 = f625-50p 29 = f1125-60p 30 = f1125-59p94p 31 = f1125-50p 100 = unknown
l44referenceGenlockTimingFine {l44ReferenceTBL.3}	R/W	Integer	ゲンロックタイミング ±100
l44referenceGnssSatellite {l44ReferenceTBL.4}	R/W	Integer	衛星 1 = all 2 = gps 3 = glonass 4 = galileo 5 = bds 6 = gps-qzss

OID	Access	Syntax	説明
I44referenceRecoveryMode {I44ReferenceTBL.5}	R/W	Integer	リカバリーモード 1 = auto 2 = manual
I44referenceRecoveryAutoSpeed {I44ReferenceTBL.6}	R/W	Integer	オートモードの再ロックスピード 1 = immediate 2 = fast 3 = slow
I44referenceRecoveryManualSpeed {I44ReferenceTBL.7}	R/W	Integer	マニュアルモードの再ロックスピード 1 = immediate 2 = fast 3 = slow
I44referenceReadjust {I44ReferenceTBL.8}	W/O	Integer	再ロック 1 = 固定
I44referenceTimeSource {I44ReferenceTBL.9}	R/W	Integer	時刻源 1 = internal 2 = ltc 3 = ltc-st309 4 = vitc 5 = vitc-st309 6 = ntp 7 = gnss 8 = ptp1 9 = ptp2 10 = ptp1-2
I44referenceTimeReadjust {I44ReferenceTBL.10}	W/O	Integer	日時の取り込み 1 = 固定
I44syncDetect {I44ReferenceTBL.12}	R/W	Integer	ノイズ耐性 1 = general 2 = specific

#### 17.4.5 I44blackTBL グループ

表 17-6 | I44blackTBL グループ

OID	Access	Syntax	説明
I44black1TBL {I44blackTBL.1}	-	Aggregate	-
I44black1Format {I44black1TBL.2}	R/W	Integer	ブラック出力 1 のフォーマット 2 = f1125-60i 3 = f1125-59p94i 4 = f1125-50i 5 = f1125-30p 6 = f1125-29p97p 7 = f1125-25p 8 = f1125-24p 9 = f1125-23p98p 10 = f1125-24psf

OID	Access	Syntax	説明
			11 = f1125-23p98psf 12 = f750-60p 13 = f750-59p94p 14 = f750-50p 15 = f750-30p 16 = f750-29p97p 17 = f750-25p 18 = f750-24p 19 = f750-23p98p 20 = fNTSC-BB 21 = fNTSC-BB-REF 22 = fNTSC-BB-ID 23 = fNTSC-BB-REF-ID 24 = fNTSC-BB-S 25 = fNTSC-BB-S-R 26 = fNTSC-BB-S-ID 27 = fNTSC-BB-S-R-ID 28 = f525-59p94i 29 = f525-59p94p 30 = fPAL-BB 31 = fPAL-BB-REF 32 = f625-50i 33 = f625-50p 34 = f1125-60p 35 = f1125-59p94p 36 = f1125-50p
I44black1TimingFrame {I44black1TBL.3}	R/W	Integer	基準信号に対するブラック出力 1 のタイミング (フレーム単位) ±5
I44black1TimingVertical {I44black1TBL.4}	R/W	Integer	基準信号に対するブラック出力 1 のタイミング (ライン単位) ±1125
I44black1TimingHorizontal {I44black1TBL.5}	R/W	Integer	基準信号に対するブラック出力 1 のタイミング (ドット単位) ±4124
I44black1Vitc {I44black1TBL.6}	R/W	Integer	ブラック出力 1 のタイムコード挿入 1 = off 2 = on
I44black1VitcDropframe {I44black1TBL.7}	R/W	Integer	ブラック出力 1 のドロップフレーム 1 = off 2 = on
I44black1Output {I44black1TBL.8}	R/W	Integer	ブラック出力 1 1 = enable 2 = disable
I44black1OutputLinktoPtp1Bmca {I44black1TBL.9}	R/W	Integer	ブラック出力 1 の BMCA 連動 (PTP1) 1 = enable

OID	Access	Syntax	説明
			2 = disable
I44black1OutputLinktoPtp2Bmca {I44black1TBL.10}	R/W	Integer	ブラック出力 1 の BMCA 連動 (PTP2) 1 = enable 2 = disable
I44black1VitcNtsc {I44black1TBL.11}	R/W	Integer	ブラック出力 1 のタイムコード重畳ライン (NTSC) 10 = vitc-ntsc-10 11 = vitc-ntsc-11 12 = vitc-ntsc-12 13 = vitc-ntsc-13 14 = vitc-ntsc-14 15 = vitc-ntsc-15 16 = vitc-ntsc-16 17 = vitc-ntsc-17 18 = vitc-ntsc-18 19 = vitc-ntsc-19 20 = vitc-ntsc-20
I44black1VitcPal {I44black1TBL.12}	R/W	Integer	ブラック出力 1 のタイムコード重畳ライン (PAL) 6 = vitc-pal-6 7 = vitc-pal-7 8 = vitc-pal-8 9 = vitc-pal-9 10 = vitc-pal-10 11 = vitc-pal-11 12 = vitc-pal-12 13 = vitc-pal-13 14 = vitc-pal-14 15 = vitc-pal-15 16 = vitc-pal-16 17 = vitc-pal-17 18 = vitc-pal-18 19 = vitc-pal-19 20 = vitc-pal-20 21 = vitc-pal-21 22 = vitc-pal-22
I44black2TBL {I44black2TBL.2}	-	Aggregate	-
I44black2EqualToBlack1 {I44black2TBL.1}	R/W	Integer	ブラック出力 2 とブラック出力 1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44black2Format {I44black2TBL.2}	R/W	Integer	ブラック出力 2 のフォーマット 2 = f1125-60i 3 = f1125-59p94i 4 = f1125-50i 5 = f1125-30p 6 = f1125-29p97p 7 = f1125-25p

OID	Access	Syntax	説明
			8 = f1125-24p 9 = f1125-23p98p 10 = f1125-24psf 11 = f1125-23p98psf 12 = f750-60p 13 = f750-59p94p 14 = f750-50p 15 = f750-30p 16 = f750-29p97p 17 = f750-25p 18 = f750-24p 19 = f750-23p98p 20 = fNTSC-BB 21 = fNTSC-BB-REF 22 = fNTSC-BB-ID 23 = fNTSC-BB-REF-ID 24 = fNTSC-BB-S 25 = fNTSC-BB-S-R 26 = fNTSC-BB-S-ID 27 = fNTSC-BB-S-R-ID 28 = f525-59p94i 29 = f525-59p94p 30 = fPAL-BB 31 = fPAL-BB-REF 32 = f625-50i 33 = f625-50p 34 = f1125-60p 35 = f1125-59p94p 36 = f1125-50p
I44black2TimingFrame {I44black2TBL.3}	R/W	Integer	基準信号に対するブラック出力 2 のタイミング (フレーム単位) ±5
I44black2TimingVertical {I44black2TBL.4}	R/W	Integer	基準信号に対するブラック出力 2 のタイミング (ライン単位) ±1125
I44black2TimingHorizontal {I44black2TBL.5}	R/W	Integer	基準信号に対するブラック出力 2 のタイミング (ドット単位) ±4124
I44black2Vitc {I44black2TBL.6}	R/W	Integer	ブラック出力 2 のタイムコード挿入 1 = off 2 = on
I44black2VitcDropframe {I44black2TBL.7}	R/W	Integer	ブラック出力 2 のドロップフレーム 1 = off 2 = on
I44black2Output {I44black2TBL.8}	R/W	Integer	ブラック出力 2 1 = enable

OID	Access	Syntax	説明
			2 = disable
I44black2OutputLinktoPtp1Bmca {I44black2TBL.9}	R/W	Integer	ブラック出力 2 の BMCA 連動 (PTP1) 1 = enable 2 = disable
I44black2OutputLinktoPtp2Bmca {I44black2TBL.10}	R/W	Integer	ブラック出力 2 の BMCA 連動 (PTP2) 1 = enable 2 = disable
I44black2VitcNtsc {I44black2TBL.11}	R/W	Integer	ブラック出力 2 のタイムコード重畳ライン (NTSC) 10 = vitc-ntsc-10 11 = vitc-ntsc-11 12 = vitc-ntsc-12 13 = vitc-ntsc-13 14 = vitc-ntsc-14 15 = vitc-ntsc-15 16 = vitc-ntsc-16 17 = vitc-ntsc-17 18 = vitc-ntsc-18 19 = vitc-ntsc-19 20 = vitc-ntsc-20
I44black2VitcPal {I44black2TBL.12}	R/W	Integer	ブラック出力 2 のタイムコード重畳ライン (PAL) 6 = vitc-pal-6 7 = vitc-pal-7 8 = vitc-pal-8 9 = vitc-pal-9 10 = vitc-pal-10 11 = vitc-pal-11 12 = vitc-pal-12 13 = vitc-pal-13 14 = vitc-pal-14 15 = vitc-pal-15 16 = vitc-pal-16 17 = vitc-pal-17 18 = vitc-pal-18 19 = vitc-pal-19 20 = vitc-pal-20 21 = vitc-pal-21 22 = vitc-pal-22
I44black3TBL {I44blackTBL.3}	-	Aggregate	-
I44black3EqualToBlack1 {I44black3TBL.1}	R/W	Integer	ブラック出力 3 とブラック出力 1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44black3Format {I44black3TBL.2}	R/W	Integer	ブラック出力 3 のフォーマット 2 = f1125-60i 3 = f1125-59p94i 4 = f1125-50i

OID	Access	Syntax	説明
			5 = f1125-30p 6 = f1125-29p97p 7 = f1125-25p 8 = f1125-24p 9 = f1125-23p98p 10 = f1125-24psf 11 = f1125-23p98psf 12 = f750-60p 13 = f750-59p94p 14 = f750-50p 15 = f750-30p 16 = f750-29p97p 17 = f750-25p 18 = f750-24p 19 = f750-23p98p 20 = fNTSC-BB 21 = fNTSC-BB-REF 22 = fNTSC-BB-ID 23 = fNTSC-BB-REF-ID 24 = fNTSC-BB-S 25 = fNTSC-BB-S-R 26 = fNTSC-BB-S-ID 27 = fNTSC-BB-S-R-ID 28 = f525-59p94i 29 = f525-59p94p 30 = fPAL-BB 31 = fPAL-BB-REF 32 = f625-50i 33 = f625-50p 34 = f1125-60p 35 = f1125-59p94p 36 = f1125-50p
I44black3TimingFrame {I44black3TBL.3}	R/W	Integer	基準信号に対するブラック出力3のタイミング (フレーム単位) ±5
I44black3TimingVertical {I44black3TBL.4}	R/W	Integer	基準信号に対するブラック出力3のタイミング (ライン単位) ±1125
I44black3TimingHorizontal {I44black3TBL.5}	R/W	Integer	基準信号に対するブラック出力3のタイミング (ドット単位) ±4124
I44black3Vitc {I44black3TBL.6}	R/W	Integer	ブラック出力3のタイムコード挿入 1 = off 2 = on
I44black3VitcDropframe {I44black3TBL.7}	R/W	Integer	ブラック出力3のドロップフレーム 1 = off

OID	Access	Syntax	説明
			2 = on
I44black3Output {I44black3TBL.8}	R/W	Integer	ブラック出力 3 1 = enable 2 = disable
I44black3OutputLinktoPtp1Bmca {I44black3TBL.9}	R/W	Integer	ブラック出力 3 の BMCA 連動 (PTP1) 1 = enable 2 = disable
I44black3OutputLinktoPtp2Bmca {I44black3TBL.10}	R/W	Integer	ブラック出力 3 の BMCA 連動 (PTP2) 1 = enable 2 = disable
I44black3VitcNtsc {I44black3TBL.11}	R/W	Integer	ブラック出力 3 のタイムコード重畳ライン (NTSC) 10 = vitc-ntsc-10 11 = vitc-ntsc-11 12 = vitc-ntsc-12 13 = vitc-ntsc-13 14 = vitc-ntsc-14 15 = vitc-ntsc-15 16 = vitc-ntsc-16 17 = vitc-ntsc-17 18 = vitc-ntsc-18 19 = vitc-ntsc-19 20 = vitc-ntsc-20
I44black3VitcPal {I44black3TBL.12}	R/W	Integer	ブラック出力 3 のタイムコード重畳ライン (PAL) 6 = vitc-pal-6 7 = vitc-pal-7 8 = vitc-pal-8 9 = vitc-pal-9 10 = vitc-pal-10 11 = vitc-pal-11 12 = vitc-pal-12 13 = vitc-pal-13 14 = vitc-pal-14 15 = vitc-pal-15 16 = vitc-pal-16 17 = vitc-pal-17 18 = vitc-pal-18 19 = vitc-pal-19 20 = vitc-pal-20 21 = vitc-pal-21 22 = vitc-pal-22
I44black4TBL {I44black4TBL.4}	-	Aggregate	-
I44black4EqualToBlack1 {I44black4TBL.1}	R/W	Integer	ブラック出力 4 とブラック出力 1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44black4Format	R/W	Integer	ブラック出力 4 のフォーマット

OID	Access	Syntax	説明
{I44black4TBL.2}			2 = f1125-60i 3 = f1125-59p94i 4 = f1125-50i 5 = f1125-30p 6 = f1125-29p97p 7 = f1125-25p 8 = f1125-24p 9 = f1125-23p98p 10 = f1125-24psf 11 = f1125-23p98psf 12 = f750-60p 13 = f750-59p94p 14 = f750-50p 15 = f750-30p 16 = f750-29p97p 17 = f750-25p 18 = f750-24p 19 = f750-23p98p 20 = fNTSC-BB 21 = fNTSC-BB-REF 22 = fNTSC-BB-ID 23 = fNTSC-BB-REF-ID 24 = fNTSC-BB-S 25 = fNTSC-BB-S-R 26 = fNTSC-BB-S-ID 27 = fNTSC-BB-S-R-ID 28 = f525-59p94i 29 = f525-59p94p 30 = fPAL-BB 31 = fPAL-BB-REF 32 = f625-50i 33 = f625-50p 34 = f1125-60p 35 = f1125-59p94p 36 = f1125-50p
I44black4TimingFrame {I44black4TBL.3}	R/W	Integer	基準信号に対するブラック出力 4 のタイミング (フレーム単位) ±5
I44black4TimingVertical {I44black4TBL.4}	R/W	Integer	基準信号に対するブラック出力 4 のタイミング (ライン単位) ±1125
I44black4TimingHorizontal {I44black4TBL.5}	R/W	Integer	基準信号に対するブラック出力 4 のタイミング (ドット単位) ±4124
I44black4Vitc {I44black4TBL.6}	R/W	Integer	ブラック出力 4 のタイムコード挿入 1 = off

OID	Access	Syntax	説明
			2 = on
I44black4VtcDropframe {I44black4TBL.7}	R/W	Integer	ブラック出力 4 のドロップフレーム 1 = off 2 = on
I44black4Output {I44black4TBL.8}	R/W	Integer	ブラック出力 4 1 = enable 2 = disable
I44black4OutputLinktoPtp1Bmca {I44black4TBL.9}	R/W	Integer	ブラック出力 4 の BMCA 連動 (PTP1) 1 = enable 2 = disable
I44black4OutputLinktoPtp2Bmca {I44black4TBL.10}	R/W	Integer	ブラック出力 4 の BMCA 連動 (PTP2) 1 = enable 2 = disable
I44black4VtcNtsc {I44black4TBL.11}	R/W	Integer	ブラック出力 4 のタイムコード重畳ライン (NTSC) 10 = vitc-ntsc-10 11 = vitc-ntsc-11 12 = vitc-ntsc-12 13 = vitc-ntsc-13 14 = vitc-ntsc-14 15 = vitc-ntsc-15 16 = vitc-ntsc-16 17 = vitc-ntsc-17 18 = vitc-ntsc-18 19 = vitc-ntsc-19 20 = vitc-ntsc-20
I44black4VtcPal {I44black4TBL.12}	R/W	Integer	ブラック出力 4 のタイムコード重畳ライン (PAL) 6 = vitc-pal-6 7 = vitc-pal-7 8 = vitc-pal-8 9 = vitc-pal-9 10 = vitc-pal-10 11 = vitc-pal-11 12 = vitc-pal-12 13 = vitc-pal-13 14 = vitc-pal-14 15 = vitc-pal-15 16 = vitc-pal-16 17 = vitc-pal-17 18 = vitc-pal-18 19 = vitc-pal-19 20 = vitc-pal-20 21 = vitc-pal-21 22 = vitc-pal-22
I44black5TBL {I44blackTBL.5}	-	Aggregate	-
I44black5EqualToBlack1	R/W	Integer	ブラック出力 5 とブラック出力 1 の共通設定

OID	Access	Syntax	説明
{I44black5TBL.1}			1 = off 2 = on
I44black5Format {I44black5TBL.2}	R/W	Integer	ブラック出力 5 のフォーマット 2 = f1125-60i 3 = f1125-59p94i 4 = f1125-50i 5 = f1125-30p 6 = f1125-29p97p 7 = f1125-25p 8 = f1125-24p 9 = f1125-23p98p 10 = f1125-24psf 11 = f1125-23p98psf 12 = f750-60p 13 = f750-59p94p 14 = f750-50p 15 = f750-30p 16 = f750-29p97p 17 = f750-25p 18 = f750-24p 19 = f750-23p98p 20 = fNTSC-BB 21 = fNTSC-BB-REF 22 = fNTSC-BB-ID 23 = fNTSC-BB-REF-ID 24 = fNTSC-BB-S 25 = fNTSC-BB-S-R 26 = fNTSC-BB-S-ID 27 = fNTSC-BB-S-R-ID 28 = f525-59p94i 29 = f525-59p94p 30 = fPAL-BB 31 = fPAL-BB-REF 32 = f625-50i 33 = f625-50p 34 = f1125-60p 35 = f1125-59p94p 36 = f1125-50p
I44black5TimingFrame {I44black5TBL.3}	R/W	Integer	基準信号に対するブラック出力 5 のタイミング (フレーム単位) ±5
I44black5TimingVertical {I44black5TBL.4}	R/W	Integer	基準信号に対するブラック出力 5 のタイミング (ライン単位) ±1125
I44black5TimingHorizontal {I44black5TBL.5}	R/W	Integer	基準信号に対するブラック出力 5 のタイミング (ドット単位)

OID	Access	Syntax	説明
			±4124
I44black5Vtc {I44black5TBL.6}	R/W	Integer	ブラック出力 5 へのタイムコード挿入 1 = off 2 = on
I44black5VtcDropframe {I44black5TBL.7}	R/W	Integer	ブラック出力 5 のドロップフレーム 1 = off 2 = on
I44black5Output {I44black5TBL.8}	R/W	Integer	ブラック出力 5 1 = enable 2 = disable
I44black5OutputLinktoPtp1Bmca {I44black5TBL.9}	R/W	Integer	ブラック出力 5 の BMCA 連動 (PTP1) 1 = enable 2 = disable
I44black5OutputLinktoPtp2Bmca {I44black5TBL.10}	R/W	Integer	ブラック出力 5 の BMCA 連動 (PTP2) 1 = enable 2 = disable
I44black5VtcNtsc {I44black5TBL.11}	R/W	Integer	ブラック出力 5 のタイムコード重畳ライン (NTSC) 10 = vitc-ntsc-10 11 = vitc-ntsc-11 12 = vitc-ntsc-12 13 = vitc-ntsc-13 14 = vitc-ntsc-14 15 = vitc-ntsc-15 16 = vitc-ntsc-16 17 = vitc-ntsc-17 18 = vitc-ntsc-18 19 = vitc-ntsc-19 20 = vitc-ntsc-20
I44black5VtcPal {I44black5TBL.12}	R/W	Integer	ブラック出力 5 のタイムコード重畳ライン (PAL) 6 = vitc-pal-6 7 = vitc-pal-7 8 = vitc-pal-8 9 = vitc-pal-9 10 = vitc-pal-10 11 = vitc-pal-11 12 = vitc-pal-12 13 = vitc-pal-13 14 = vitc-pal-14 15 = vitc-pal-15 16 = vitc-pal-16 17 = vitc-pal-17 18 = vitc-pal-18 19 = vitc-pal-19 20 = vitc-pal-20 21 = vitc-pal-21 22 = vitc-pal-22

OID	Access	Syntax	説明
I44black6TBL {I44blackTBL.6}	-	Aggregate	-
I44black6EqualToBlack1 {I44black6TBL.1}	R/W	Integer	ブラック出力 6 とブラック出力 1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44black6Format {I44black6TBL.2}	R/W	Integer	ブラック出力 6 のフォーマット 2 = f1125-60i 3 = f1125-59p94i 4 = f1125-50i 5 = f1125-30p 6 = f1125-29p97p 7 = f1125-25p 8 = f1125-24p 9 = f1125-23p98p 10 = f1125-24psf 11 = f1125-23p98psf 12 = f750-60p 13 = f750-59p94p 14 = f750-50p 15 = f750-30p 16 = f750-29p97p 17 = f750-25p 18 = f750-24p 19 = f750-23p98p 20 = fNTSC-BB 21 = fNTSC-BB-REF 22 = fNTSC-BB-ID 23 = fNTSC-BB-REF-ID 24 = fNTSC-BB-S 25 = fNTSC-BB-S-R 26 = fNTSC-BB-S-ID 27 = fNTSC-BB-S-R-ID 28 = f525-59p94i 29 = f525-59p94p 30 = fPAL-BB 31 = fPAL-BB-REF 32 = f625-50i 33 = f625-50p 34 = f1125-60p 35 = f1125-59p94p 36 = f1125-50p
I44black6TimingFrame {I44black6TBL.3}	R/W	Integer	基準信号に対するブラック出力 6 のタイミング (フレーム単位) ±5
I44black6TimingVertical {I44black6TBL.4}	R/W	Integer	基準信号に対するブラック出力 6 のタイミング (ライン単位)

OID	Access	Syntax	説明
			±1125
I44black6TimingHorizontal {I44black6TBL.5}	R/W	Integer	基準信号に対するブラック出力 6 のタイミング (ドット単位) ±4124
I44black6Vitc {I44black6TBL.6}	R/W	Integer	ブラック出力 6 のタイムコード挿入 1 = off 2 = on
I44black6VitcDropframe {I44black6TBL.7}	R/W	Integer	ブラック出力 6 のドロップフレーム 1 = off 2 = on
I44black6Output {I44black6TBL.8}	R/W	Integer	ブラック出力 6 1 = enable 2 = disable
I44black6OutputLinktoPtp1Bmca {I44black6TBL.9}	R/W	Integer	ブラック出力 6 の BMCA 連動 (PTP1) 1 = enable 2 = disable
I44black6OutputLinktoPtp2Bmca {I44black6TBL.10}	R/W	Integer	ブラック出力 6 の BMCA 連動 (PTP2) 1 = enable 2 = disable
I44black6VitcNtsc {I44black6TBL.11}	R/W	Integer	ブラック出力 6 のタイムコード重畳ライン (NTSC) 10 = vitc-ntsc-10 11 = vitc-ntsc-11 12 = vitc-ntsc-12 13 = vitc-ntsc-13 14 = vitc-ntsc-14 15 = vitc-ntsc-15 16 = vitc-ntsc-16 17 = vitc-ntsc-17 18 = vitc-ntsc-18 19 = vitc-ntsc-19 20 = vitc-ntsc-20
I44black6VitcPal {I44black6TBL.12}	R/W	Integer	ブラック出力 6 のタイムコード重畳ライン (PAL) 6 = vitc-pal-6 7 = vitc-pal-7 8 = vitc-pal-8 9 = vitc-pal-9 10 = vitc-pal-10 11 = vitc-pal-11 12 = vitc-pal-12 13 = vitc-pal-13 14 = vitc-pal-14 15 = vitc-pal-15 16 = vitc-pal-16 17 = vitc-pal-17 18 = vitc-pal-18 19 = vitc-pal-19

OID	Access	Syntax	説明
			20 = vitc-pal-20 21 = vitc-pal-21 22 = vitc-pal-22

## 17.4.6 I44audioTBL グループ

表 17-7 | I44audioTBL グループ

OID	Access	Syntax	説明
I44aesEbuTBL {I44audioTBL.1}	-	Aggregate	-
I44aesEbuCh1TBL {I44aesEbuTBL.1}	-	Aggregate	-
I44aesEbuCh1Frequency {I44aesEbuCh1TBL.2}	R/W	Integer	AES/EBU 出力 CH1 の周波数 1 = silence 8 = freq400Hz 12 = freq800Hz 13 = freq1000Hz
I44aesEbuCh1Level {I44aesEbuCh1TBL.3}	R/W	Integer	AES/EBU 出力 CH1 のレベル 0 - -60
I44aesEbuCh1Click {I44aesEbuCh1TBL.4}	R/W	Integer	AES/EBU 出力 CH1 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44aesEbuCh2TBL {I44aesEbuTBL.2}	-	Aggregate	-
I44aesEbuEqualToCh1 {I44aesEbuCh2TBL.1}	R/W	Integer	AES/EBU 出力 CH2 と CH1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44aesEbuCh2Frequency {I44aesEbuCh2TBL.2}	R/W	Integer	AES/EBU 出力 CH2 の周波数 1 = silence 8 = freq400Hz 12 = freq800Hz 13 = freq1000Hz
I44aesEbuCh2Level {I44aesEbuCh2TBL.3}	R/W	Integer	AES/EBU 出力 CH2 のレベル 0 - -60
I44aesEbuCh2Click {I44aesEbuCh2TBL.4}	R/W	Integer	AES/EBU 出力 CH2 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44aesEbuResolution {I44aesEbuTBL.3}	R/W	Integer	AES/EBU 出力の分解能 1 = resolution20bit 2 = resolution24bit
I44aesEbuEmphasis {I44aesEbuTBL.4}	R/W	Integer	AES/EBU 出力のプリエンファシスモード 1 = emphasis50-15

OID	Access	Syntax	説明
			2 = ccittl 3 = off
I44aesEbuTimecode {I44aesEbuTBL.5}	R/W	Integer	AES/EBU 出力へのタイムコード挿入 1 = off 2 = on
I44aesEbuTiming {I44aesEbuTBL.6}	R/W	Integer	基準信号に対する AES/EBU 出力のタイミング ±511
I44aesEbuLipsync {I44aesEbuTBL.7}	R/W	Integer	AES/EBU 出力のリップシンク連動 1 = off 2 = on
I44silenceTBL {I44audioTBL.2}	-	Aggregate	-
I44silenceEqualToAesEbu {I44silenceTBL.1}	R/W	Integer	サイレンス出力と AES/EBU 出力の共通設定 1 = off 2 = on
I44silenceResolution {I44silenceTBL.2}	R/W	Integer	サイレンス出力の分解能 1 = resolution20bit 2 = resolution24bit
I44silenceTiming {I44silenceTBL.3}	R/W	Integer	基準信号に対するサイレンス出力のタイミング ±511
I44wclkTBL {I44audioTBL.3}	-	Aggregate	-
I44wclkTiming {I44wclkTBL.2}	R/W	Integer	基準信号に対するワードクロック出力のタイミング ±511

## 17.4.7 I44ltcTBL グループ

表 17-8 | I44ltcTBL グループ

OID	Access	Syntax	説明
I44ltc1TBL {I44ltcTBL.1}	-	Aggregate	-
I44ltc1 {I44ltc1TBL.2}	R/W	Integer	LTC 出力 1 1 = off 2 = on
I44ltc1Format {I44ltc1TBL.3}	R/W	Integer	LTC 出力 1 のフォーマット 1 = f30 2 = f29p97 3 = f25 4 = f24 5 = f23p98
I44ltc1TimingFrame {I44ltc1TBL.4}	R/W	Integer	基準信号に対する LTC 出力 1 のタイミング (フレーム単位) ±29
I44ltc1TimingBit {I44ltc1TBL.5}	R/W	Integer	基準信号に対する LTC 出力 1 のタイミング (ビット単位) ±39

OID	Access	Syntax	説明
I44ltc1OffsetTBL {I44ltc1TBL.6}	-	Aggregate	-
I44ltc1OffsetSign {I44ltc1OffsetTBL.1}	R/W	Integer	基準信号に対する LTC 出力 1 のオフセット (符号) 1 = minus 2 = plus
I44ltc1OffsetHour {I44ltc1OffsetTBL.2}	R/W	Integer	基準信号に対する LTC 出力 1 のオフセット (時) 0 - 23
I44ltc1OffsetMinute {I44ltc1OffsetTBL.3}	R/W	Integer	基準信号に対する LTC 出力 1 のオフセット (分) 0 - 59
I44ltc1OffSecond {I44ltc1OffsetTBL.4}	R/W	Integer	基準信号に対する LTC 出力 1 のオフセット (秒) 0 - 59
I44ltc1DropFrame {I44ltc1TBL.7}	R/W	Integer	LTC 出力 1 のドロップフレーム 1 = off 2 = on
I44ltc2TBL {I44ltc2TBL.2}	-	Aggregate	-
I44ltc2EqualToLtc1 {I44ltc2TBL.1}	R/W	Integer	LTC 出力 2 と LTC 出力 1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44ltc2 {I44ltc2TBL.2}	R/W	Integer	LTC 出力 2 1 = off 2 = on
I44ltc2Format {I44ltc2TBL.3}	R/W	Integer	LTC 出力 2 のフォーマット 1 = f30 2 = f29p97 3 = f25 4 = f24 5 = f23p98
I44ltc2TimingFrame {I44ltc2TBL.4}	R/W	Integer	基準信号に対する LTC 出力 2 のタイミング (フレーム単位) ±29
I44ltc2TimingBit {I44ltc2TBL.5}	R/W	Integer	基準信号に対する LTC 出力 2 のタイミング (ビット単位) ±39
I44ltc2OffsetTBL {I44ltc2TBL.6}	-	Aggregate	-
I44ltc2OffsetSign {I44ltc2OffsetTBL.1}	R/W	Integer	基準信号に対する LTC 出力 2 のオフセット (符号) 1 = minus 2 = plus
I44ltc2OffsetHour {I44ltc2OffsetTBL.2}	R/W	Integer	基準信号に対する LTC 出力 2 のオフセット (時) 0 - 23
I44ltc2OffsetMinute {I44ltc2OffsetTBL.3}	R/W	Integer	基準信号に対する LTC 出力 2 のオフセット (分) 0 - 59
I44ltc2OffSecond {I44ltc2OffsetTBL.4}	R/W	Integer	基準信号に対する LTC 出力 2 のオフセット (秒) 0 - 59
I44ltc2DropFrame	R/W	Integer	LTC 出力 2 のドロップフレーム

OID	Access	Syntax	説明
{I44ltc2TBL.7}			1 = off 2 = on
I44ltc3TBL {I44ltc3TBL.3}	-	Aggregate	-
I44ltc3EqualToLtc1 {I44ltc3TBL.1}	R/W	Integer	LTC 出力 3 と LTC 出力 1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44ltc3 {I44ltc3TBL.2}	R/W	Integer	LTC 出力 3 1 = off 2 = on
I44ltc3Format {I44ltc3TBL.3}	R/W	Integer	LTC 出力 3 のフォーマット 1 = f30 2 = f29p97 3 = f25 4 = f24 5 = f23p98
I44ltc3TimingFrame {I44ltc3TBL.4}	R/W	Integer	基準信号に対する LTC 出力 3 のタイミング (フレーム単位) ±29
I44ltc3TimingBit {I44ltc3TBL.5}	R/W	Integer	基準信号に対する LTC 出力 3 のタイミング (ビット単位) ±39
I44ltc3OffsetTBL {I44ltc3TBL.6}	-	Aggregate	-
I44ltc3OffsetSign {I44ltc3OffsetTBL.1}	R/W	Integer	基準信号に対する LTC 出力 3 のオフセット (符号) 1 = minus 2 = plus
I44ltc3OffsetHour {I44ltc3OffsetTBL.2}	R/W	Integer	基準信号に対する LTC 出力 3 のオフセット (時) 0 - 23
I44ltc3OffsetMinute {I44ltc3OffsetTBL.3}	R/W	Integer	基準信号に対する LTC 出力 3 のオフセット (分) 0 - 59
I44ltc3OffSecond {I44ltc3OffsetTBL.4}	R/W	Integer	基準信号に対する LTC 出力 3 のオフセット (秒) 0 - 59
I44ltc3DropFrame {I44ltc3TBL.7}	R/W	Integer	LTC 出力 3 のドロップフレーム 1 = off 2 = on

#### 17.4.8 I44cw1ppsTBL グループ

表 17-9 | I44cw1ppsTBL グループ

OID	Access	Syntax	説明
I44output {I44cw1ppsTBL.1}	R/W	Integer	CW/1PPS 端子からの出力信号 1 = out-cw 2 = out-1pps

## 17.4.9 I44trapTBL グループ

表 17-10 | I44trapTBL グループ

OID	Access	Syntax	説明
I44trapIpTBL {I44trapTBL.1}	-	Aggregate	-
I44trapIp1TBL {I44trapIp1TBL.1}	-	Aggregate	-
I44trapManagerIp1 {I44trapIp1TBL.1}	R/W	IpAddress	トラップ送信先 1 の IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44trapManagerIp1Act {I44trapIp1TBL.2}	R/W	Integer	トラップ送信先 1 1 = enable 2 = disable
I44trapManagerIp2 {I44trapIp1TBL.3}	R/W	IpAddress	トラップ送信先 2 の IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44trapManagerIp2Act {I44trapIp1TBL.4}	R/W	Integer	トラップ送信先 2 1 = enable 2 = disable
I44trapManagerIp3 {I44trapIp1TBL.5}	R/W	IpAddress	トラップ送信先 3 の IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44trapManagerIp3Act {I44trapIp1TBL.6}	R/W	Integer	トラップ送信先 3 1 = enable 2 = disable
I44trapManagerIp4 {I44trapIp1TBL.7}	R/W	IpAddress	トラップ送信先 4 の IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44trapManagerIp4Act {I44trapIp1TBL.8}	R/W	Integer	トラップ送信先 4 1 = enable 2 = disable

## 17.4.10 It4670ser02 グループ

表 17-11 | It4670ser02 グループ

OID	Access	Syntax	説明
I44sdi1TBL {It4670ser02.1}	-	Aggregate	-
I44sdi1EqualToSDI1TBL {I44sdi1TBL.1}	-	Aggregate	-
I44sdi1FormatTBL {I44sdi1TBL.2}	-	Aggregate	-
I44sdi1System {I44sdi1FormatTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のフォーマット 1 = f720x487-SD 2 = f720x576-SD 3 = f1280x720-HD 4 = f1920x1080-HD 5 = f1280x720-3G-A 6 = f1920x1080-3G-A 7 = f1920x1080-3G-B-DL 8 = f3840x2160-3G-A-QL

OID	Access	Syntax	説明
			9 = f4096x2160-3G-A-QL 10 = f3840x2160-3G-B-DL-QL 11 = f4096x2160-3G-B-DL-QL 12 = f3840x2160-12G 13 = f4096x2160-12G
l44sdi1Structure {l44sdi1FormatTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のカラーシステムと量子化精度 1 = fYCbCr-422-10bit 2 = fYCbCr-422-12bit 3 = fRGB-444-10bit 4 = fRGB-444-12bit
l44sdi1Framerate {l44sdi1FormatTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のフレーム(フィールド)周波数 1 = f60p 2 = f59p94p 3 = f50p 4 = f48p 5 = f30p 6 = f29p97p 7 = f25p 8 = f47p95p 9 = f24p 10 = f23p98p 11 = f30psf 12 = f29.97psf 13 = f25psf 14 = f24psF 15 = f23p98psf 16 = f60i 17 = f59.94i 18 = f50i
l44sdi1TimingTBL {l44sdi1TBL.3}	-	Aggregate	-
l44sdi10HTiming {l44sdi1TimingTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の基準となるタイミング 1 = serial 2 = legacy
l44sdi1TimingVertical {l44sdi1TimingTBL.2}	R/W	Integer	基準信号に対する SDI 出力 1 のタイミング (ライン 単位) ±1124
l44sdi1TimingHorizontal {l44sdi1TimingTBL.3}	R/W	Integer	基準信号に対する SDI 出力 1 のタイミング (ドット 単位) ±4124
l44sdi1PatternTBL {l44sdi1TBL.4}	-	Aggregate	-
l44sdi1Pattern {l44sdi1PatternTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のパターン 1 = colorbar100 2 = colorbar75 3 = multiCB100

OID	Access	Syntax	説明
			4 = multiCB75 5 = multiCBplusI 6 = smpteCB 7 = ebuColorbar 8 = bbcColorbar 9 = flatField100 10 = flatField50 11 = flatField0 12 = redFiled 13 = greenField 14 = blueField 15 = checkfield 16 = colorBarUHDTV-STD-B66-2 17 = colorBarHLG 18 = colorBarSLOG3
I44sdi1VideoTBL {I44sdi1TBL.5}	-	Aggregate	-
I44sdi1ComponentTBL {I44sdi1VideoTBL.1}	-	Aggregate	-
I44sdi1Component {I44sdi1ComponentTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の成分 (Y/G-Cb/B-Cr/R) 1 = off-off-off 2 = on-off-off 3 = off-on-off 4 = on-on-off 5 = off-off-on 6 = on-off-on 7 = off-on-on 8 = on-on-on
I44sdi1SafetyAreaTBL {I44sdi1VideoTBL.2}	-	Aggregate	-
I44sdi1SafetyArea90 {I44sdi1SafetyAreaTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の 90%セーフティエリアマーカー 1 = off 2 = on
I44sdi1SafetyArea80 {I44sdi1SafetyAreaTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の 80%セーフティエリアマーカー 1 = off 2 = on
I44sdi1SafetyArea43 {I44sdi1SafetyAreaTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の 4:3 セーフティエリアマーカー 1 = off 2 = on
I44sdi1ScrollTBL {I44sdi1VideoTBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi1Scroll {I44sdi1ScrollTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のスクロール 1 = off 2 = on
I44sdi1ScrollVspeed {I44sdi1ScrollTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の縦方向のスクロール速度と向き ±256

OID	Access	Syntax	説明
I44sdi1ScrollHspeed {I44sdi1ScrollTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の横方向のスクロール速度と向き ±256
I44sdi1PatternChangeTBL {I44sdi1VideoTBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi1PatternChange {I44sdi1PatternChangeTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のパターンチェンジ 1 = off 2 = on
I44sdi1PatrnChangespeed {I44sdi1PatternChangeTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のパターン切り換え間隔 1 - 255
I44sdi1IdCharacterTBL {I44sdi1VideoTBL.5}	-	Aggregate	-
I44sdi1IdCharacter {I44sdi1IdCharacterTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の ID キャラクター 1 = off 2 = on
I44sdi1IdCharacterVposition {I44sdi1IdCharacterTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の縦方向の ID キャラクター位置 0 - 100
I44sdi1IdCharacterHposition {I44sdi1IdCharacterTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の横方向の ID キャラクター位置 0 - 100
I44sdi1IdCharacterSize {I44sdi1IdCharacterTBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の ID キャラクターのサイズ 1 = x1 2 = x2 3 = x4 4 = x8
I44sdi1IdCharacterLevel {I44sdi1IdCharacterTBL.5}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の ID キャラクターの輝度レベル 1 = per-100 2 = per-75
I44sdi1IdCharacterBlinkTBL {I44sdi1IdCharacterTBL.6}	-	Aggregate	-
I44sdi1IdCharacterBlink {I44sdi1IdCharacterBlinkTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の ID キャラクターの点滅 1 = off 2 = on
I44sdi1IdCharacterBlinkOffTime {I44sdi1IdCharacterBlinkTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の ID キャラクター点滅の消灯時間 1 - 9
I44sdi1IdCharacterBlinkOnTime {I44sdi1IdCharacterBlinkTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の ID キャラクター点滅の点灯時間 1 - 9
I44sdi1IdCharacterScrollTBL {I44sdi1IdCharacterTBL.7}	-	Aggregate	-
I44sdi1IdCharacterScroll {I44sdi1IdCharacterScrollTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の ID キャラクターのスクロール 1 = off 2 = on
I44sdi1IdCharacterScrollSpeed {I44sdi1IdCharacterScrollTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の ID キャラクターのスクロール速度と向き ±256
I44sdi1IdCharacterBackground {I44sdi1IdCharacterTBL.8}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の ID キャラクター背景の透過 1 = off 2 = on

OID	Access	Syntax	説明
I44sdi1LogoTBL {I44sdi1VideoTBL.6}	-	Aggregate	-
I44sdi1Logo {I44sdi1LogoTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のロゴ 1 = off 2 = on
I44sdi1LogoSelect {I44sdi1LogoTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のロゴ番号 1 - 4
I44sdi1LogoVposition {I44sdi1LogoTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の縦方向のロゴ位置 0 - 100
I44sdi1LogoHposition {I44sdi1LogoTBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の横方向のロゴ位置 0 - 100
I44sdi1LogoTransParency {I44sdi1LogoTBL.5}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のロゴ透過 1 = off 2 = on
I44sdi1LogoTransParencyLevel {I44sdi1LogoTBL.6}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のロゴ透過レベル 0 - 255
I44sdi1MovingBoxTBL {I44sdi1VideoTBL.7}	-	Aggregate	-
I44sdi1MovingBox {I44sdi1MovingBoxTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のムービングボックス 1 = off 2 = on
I44sdi1MovingBoxColor {I44sdi1MovingBoxTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のムービングボックスの色 1 = white 2 = yellow 3 = cyan 4 = green 5 = blue 6 = red 7 = magenta 8 = black
I44sdi1MovingBoxVspeed {I44sdi1MovingBoxTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の縦方向のムービングボックス速度 1 = low 2 = middle 3 = high
I44sdi1MovingBoxHspeed {I44sdi1MovingBoxTBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の横方向のムービングボックス速度 1 = low 2 = middle 3 = high
I44sdi1MovingBoxVsize {I44sdi1MovingBoxTBL.5}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のムービングボックスの高さ 1 = size1 2 = size2 3 = size3 4 = size4 5 = size5
I44sdi1MovingBoxHsize {I44sdi1MovingBoxTBL.6}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のムービングボックスの幅 1 = size1

OID	Access	Syntax	説明
			2 = size2 3 = size3 4 = size4 5 = size5
I44sdi1CircleTBL {I44sdi1VideoTBL.8}	-	Aggregate	-
I44sdi1Circle {I44sdi1CircleTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のサークル 1 = off 2 = on
I44sdi1CircleSize {I44sdi1CircleTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のサークルのサイズ 1 = per-90 2 = per-80 3 = per-70
I44sdi1CircleLevel {I44sdi1CircleTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のサークルの輝度レベル 1 = per-100 2 = per-75
I44sdi1CircleBlinkTBL {I44sdi1CircleTBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi1CircleBlink {I44sdi1CircleBlinkTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のサークルの点滅 1 = off 2 = on
I44sdi1CircleBlinkOffTime {I44sdi1CircleBlinkTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のサークル点滅の消灯時間 1 - 9
I44sdi1CircleBlinkOnTime {I44sdi1CircleBlinkTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のサークル点滅の点灯時間 1 - 9
I44sdi1TimecodeTBL {I44sdi1VideoTBL.9}	-	Aggregate	-
I44sdi1Timecode {I44sdi1TimecodeTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のタイムコード 1 = off 2 = on
I44sdi1TimecodeVposition {I44sdi1TimecodeTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の縦方向のタイムコード位置 0 - 100
I44sdi1TimecodeHposition {I44sdi1TimecodeTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の横方向のタイムコード位置 0 - 100
I44sdi1TimecodeSize {I44sdi1TimecodeTBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のタイムコードのサイズ 1 = x1 2 = x2 3 = x4 4 = x8
I44sdi1TimecodeLevel {I44sdi1TimecodeTBL.5}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のタイムコードの輝度レベル 1 = per-100 2 = per-75
I44sdi1TimecodeBackground {I44sdi1TimecodeTBL.6}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のタイムコード背景の透過 1 = off 2 = on
I44sdi1LipsyncTBL	-	Aggregate	-

OID	Access	Syntax	説明
{I44sdi1VideoTBL.10}			
I44sdi1Lipsync {I44sdi1LipsyncTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のリップシンクパターン 1 = off 2 = on
I44sdi1AudioTBL {I44sdi1TBL.6}	-	Aggregate	-
I44sdi1AudioGroup1TBL {I44sdi1AudioTBL.1}	-	Aggregate	-
I44sdi1AudioGroup1 {I44sdi1AudioGroup1TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のオーディオグループ 1 1 = off 2 = on
I44sdi1AudioGroup1Ch1TBL {I44sdi1AudioGroup1TBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi1AudioGroup1Ch1Frequency {I44sdi1AudioGroup1Ch1TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH1 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi1AudioGroup1Ch1Level {I44sdi1AudioGroup1Ch1TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH1 のレベル 0 - -60
I44sdi1AudioGroup1Ch1Click {I44sdi1AudioGroup1Ch1TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH1 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi1AudioGroup1Ch2TBL {I44sdi1AudioGroup1TBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi1AudioGroup1Ch2EqualToCh1 {I44sdi1AudioGroup1Ch2TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH2 と CH1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi1AudioGroup1Ch2Frequency {I44sdi1AudioGroup1Ch2TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH2 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi1AudioGroup1Ch2Level {I44sdi1AudioGroup1Ch2TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH2 のレベル 0 - -60
I44sdi1AudioGroup1Ch2Click {I44sdi1AudioGroup1Ch2TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH2 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi1AudioGroup1Ch3TBL {I44sdi1AudioGroup1TBL.5}	-	Aggregate	-
I44sdi1AudioGroup1Ch3EqualToCh1 {I44sdi1AudioGroup1Ch3TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH3 と CH1 の共通設定 1 = off

OID	Access	Syntax	説明
			2 = on
I44sdi1AudioGroup1Ch3Frequency {I44sdi1AudioGroup1Ch3TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH3 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi1AudioGroup1Ch3Level {I44sdi1AudioGroup1Ch3TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH3 のレベル 0 - -60
I44sdi1AudioGroup1Ch3Click {I44sdi1AudioGroup1Ch3TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH3 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi1AudioGroup1Ch4TBL {I44sdi1AudioGroup1TBL.6}	-	Aggregate	-
I44sdi1AudioGroup1Ch4EqualToCh1 {I44sdi1AudioGroup1Ch4TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH4 と CH1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi1AudioGroup1Ch4Frequency {I44sdi1AudioGroup1Ch4TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH4 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi1AudioGroup1Ch4Level {I44sdi1AudioGroup1Ch4TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH4 のレベル 0 - -60
I44sdi1AudioGroup1Ch4Click {I44sdi1AudioGroup1Ch4TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH4 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi1AudioGroup1Resolution {I44sdi1AudioGroup1TBL.7}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のオーディオグループ 1 の分解能 1 = resolution20bit 2 = resolution24bit
I44sdi1AudioGroup1Emphasis {I44sdi1AudioGroup1TBL.8}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のオーディオグループ 1 のプリエンファシスモード 1 = emphasis50-15 2 = ccittl 3 = off
I44sdi1AudioGroup2TBL {I44sdi1AudioTBL.2}	-	Aggregate	-
I44sdi1AudioGroup2 {I44sdi1AudioGroup2TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のオーディオグループ 2 1 = off 2 = on
I44sdi1AudioGroup2EqualToG1 {I44sdi1AudioGroup2TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のオーディオグループ 2 とオーディオグループ 1 の共通設定 1 = off

OID	Access	Syntax	説明
			2 = on
I44sdi1AudioGroup2Ch5TBL {I44sdi1AudioGroup2TBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi1AudioGroup2Ch5Frequency {I44sdi1AudioGroup2Ch5TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH5 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi1AudioGroup2Ch5Level {I44sdi1AudioGroup2Ch5TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH5 のレベル 0 - -60
I44sdi1AudioGroup2Ch5Click {I44sdi1AudioGroup2Ch5TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH5 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi1AudioGroup2Ch6TBL {I44sdi1AudioGroup2TBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi1AudioGroup2Ch6EqualToCh5 {I44sdi1AudioGroup2Ch6TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH6 と CH5 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi1AudioGroup2Ch6Frequency {I44sdi1AudioGroup2Ch6TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH6 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi1AudioGroup2Ch6Level {I44sdi1AudioGroup2Ch6TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH6 のレベル 0 - -60
I44sdi1AudioGroup2Ch6Click {I44sdi1AudioGroup2Ch6TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH6 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi1AudioGroup2Ch7TBL {I44sdi1AudioGroup2TBL.5}	-	Aggregate	-
I44sdi1AudioGroup2Ch7EqualToCh5 {I44sdi1AudioGroup2Ch7TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH7 と CH5 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi1AudioGroup2Ch7Frequency {I44sdi1AudioGroup2Ch7TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH7 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi1AudioGroup2Ch7Level {I44sdi1AudioGroup2Ch7TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH7 のレベル 0 - -60
I44sdi1AudioGroup2Ch7Click {I44sdi1AudioGroup2Ch7TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH7 のクリック挿入間隔 1 = off

OID	Access	Syntax	説明
			2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi1AudioGroup2Ch8TBL {I44sdi1AudioGroup2TBL.6}	-	Aggregate	-
I44sdi1AudioGroup2Ch8EqualToCh5 {I44sdi1AudioGroup2Ch8TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH8 と CH5 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi1AudioGroup2Ch8Frequency {I44sdi1AudioGroup2Ch8TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH8 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi1AudioGroup2Ch8Level {I44sdi1AudioGroup2Ch8TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH8 のレベル 0 - -60
I44sdi1AudioGroup2Ch8Click {I44sdi1AudioGroup2Ch8TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH8 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi1AudioGroup2Resolution {I44sdi1AudioGroup2TBL.7}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のオーディオグループ 2 の分解能 1 = resolution20bit 2 = resolution24bit
I44sdi1AudioGroup2Emphasis {I44sdi1AudioGroup2TBL.8}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のオーディオグループ 2 のプリエンファシスモード 1 = emphasis50-15 2 = ccittl 3 = off
I44sdi1AudioGroup3TBL {I44sdi1AudioTBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi1AudioGroup3 {I44sdi1AudioGroup3TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のオーディオグループ 3 1 = off 2 = on
I44sdi1AudioGroup3EqualToG1 {I44sdi1AudioGroup3TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のオーディオグループ 3 とオーディオグループ 1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi1AudioGroup3Ch9TBL {I44sdi1AudioGroup3TBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi1AudioGroup3Ch9Frequency {I44sdi1AudioGroup3Ch9TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH9 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi1AudioGroup3Ch9Level {I44sdi1AudioGroup3Ch9TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH9 のレベル 0 - -60

OID	Access	Syntax	説明
I44sdi1AudioGroup3Ch9Click {I44sdi1AudioGroup3Ch9TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH9 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi1AudioGroup3Ch10TBL {I44sdi1AudioGroup3TBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi1AudioGroup3Ch10EqualToCh9 {I44sdi1AudioGroup3Ch10TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH10 と CH9 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi1AudioGroup3Ch10Frequency {I44sdi1AudioGroup3Ch10TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH10 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi1AudioGroup3Ch10Level {I44sdi1AudioGroup3Ch10TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH10 のレベル 0 - -60
I44sdi1AudioGroup3Ch10Click {I44sdi1AudioGroup3Ch10TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH10 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi1AudioGroup3Ch11TBL {I44sdi1AudioGroup3TBL.5}	-	Aggregate	-
I44sdi1AudioGroup3Ch11EqualToCh9 {I44sdi1AudioGroup3Ch11TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH11 と CH9 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi1AudioGroup3Ch11Frequency {I44sdi1AudioGroup3Ch11TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH11 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi1AudioGroup3Ch11Level {I44sdi1AudioGroup3Ch11TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH11 のレベル 0 - -60
I44sdi1AudioGroup3Ch11Click {I44sdi1AudioGroup3Ch11TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH11 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi1AudioGroup3Ch12TBL {I44sdi1AudioGroup3TBL.6}	-	Aggregate	-
I44sdi1AudioGroup3Ch12EqualToCh9 {I44sdi1AudioGroup3Ch12TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH12 と CH9 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi1AudioGroup3Ch12Frequency {I44sdi1AudioGroup3Ch12TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH12 の周波数 1 = silence

OID	Access	Syntax	説明
			2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi1AudioGroup3Ch12Level {I44sdi1AudioGroup3Ch12TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH12 のレベル 0 - -60
I44sdi1AudioGroup3Ch12Click {I44sdi1AudioGroup3Ch12TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH12 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi1AudioGroup3Resolution {I44sdi1AudioGroup3TBL.7}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のオーディオグループ 3 の分解能 1 = resolution20bit 2 = resolution24bit
I44sdi1AudioGroup3Emphasis {I44sdi1AudioGroup3TBL.8}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のオーディオグループ 3 のプリエンファシスモード 1 = emphasis50-15 2 = ccittl 3 = off
I44sdi1AudioGroup4TBL {I44sdi1AudioTBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi1AudioGroup4 {I44sdi1AudioGroup4TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のオーディオグループ 4 1 = off 2 = on
I44sdi1AudioGroup4EqualToG3 {I44sdi1AudioGroup4TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のオーディオグループ 4 とオーディオグループ 3 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi1AudioGroup4Ch13TBL {I44sdi1AudioGroup4TBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi1AudioGroup4Ch13Frequency {I44sdi1AudioGroup4Ch13TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH13 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi1AudioGroup4Ch13Level {I44sdi1AudioGroup4Ch13TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH13 のレベル 0 - -60
I44sdi1AudioGroup4Ch13Click {I44sdi1AudioGroup4Ch13TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH13 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi1AudioGroup4Ch14TBL {I44sdi1AudioGroup4TBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi1AudioGroup4Ch14EqualToCh13 {I44sdi1AudioGroup4Ch14TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH14 と CH13 の共通設定 1 = off 2 = on

OID	Access	Syntax	説明
I44sdi1AudioGroup4Ch14Frequency {I44sdi1AudioGroup4Ch14TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の C14 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi1AudioGroup4Ch14Level {I44sdi1AudioGroup4Ch14TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH14 のレベル 0 - -60
I44sdi1AudioGroup4Ch14Click {I44sdi1AudioGroup4Ch14TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH14 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi1AudioGroup4Ch15TBL {I44sdi1AudioGroup4TBL.5}	-	Aggregate	-
I44sdi1AudioGroup4Ch15EqualToCh13 {I44sdi1AudioGroup4Ch15TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH15 と CH13 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi1AudioGroup4Ch15Frequency {I44sdi1AudioGroup4Ch15TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH15 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi1AudioGroup4Ch15Level {I44sdi1AudioGroup4Ch15TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH15 のレベル 0 - -60
I44sdi1AudioGroup4Ch15Click {I44sdi1AudioGroup4Ch15TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH15 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi1AudioGroup4Ch16TBL {I44sdi1AudioGroup4TBL.6}	-	Aggregate	-
I44sdi1AudioGroup4Ch16EqualToCh13 {I44sdi1AudioGroup4Ch16TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH16 と CH13 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi1AudioGroup4Ch16Frequency {I44sdi1AudioGroup4Ch16TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH16 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi1AudioGroup4Ch16Level {I44sdi1AudioGroup4Ch16TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH16 のレベル 0 - -60
I44sdi1AudioGroup4Ch16Click {I44sdi1AudioGroup4Ch16TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の CH16 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec

OID	Access	Syntax	説明
I44sdi1AudioGroup4Resolution {I44sdi1AudioGroup4TBL.7}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のオーディオグループ 4 の分解能 1 = resolution20bit 2 = resolution24bit
I44sdi1AudioGroup4Emphasis {I44sdi1AudioGroup4TBL.8}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のオーディオグループ 4 のプリエンファシスモード 1 = emphasis50-15 2 = ccittl 3 = off
I44sdi1AncTBL {I44sdi1TBL.7}	-	Aggregate	-
I44sdi1AtcLtc {I44sdi1AncTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 への LTC 挿入 1 = off 2 = on
I44sdi1AtcVtc {I44sdi1AncTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 への VITC 挿入 1 = off 2 = on
I44sdi1AtcDropFrame {I44sdi1AncTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 のドロップフレーム 1 = off 2 = on
I44sdi1OutputTBL {I44sdi1TBL.8}	-	Aggregate	-
I44sdi1Output {I44sdi1OutputTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 1 1 = enable 2 = disable
I44sdi1OutputLinktoPtp1Bmca {I44sdi1OutputTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の BMCA 連動 (PTP1) 1 = enable 2 = disable
I44sdi1OutputLinktoPtp2Bmca {I44sdi1OutputTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 1 の BMCA 連動 (PTP2) 1 = enable 2 = disable
I44sdi2TBL {I44sdi2TBL.1}	-	Aggregate	-
I44sdi2EqualToSDI1TBL {I44sdi2TBL.1}	-	Aggregate	-
I44sdi2EqualToSDI1 {I44sdi2EqualToSDI1TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 と SDI 出力 1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi2FormatTBL {I44sdi2TBL.2}	-	Aggregate	-
I44sdi2System {I44sdi2FormatTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のフォーマット 1 = f720x487-SD 2 = f720x576-SD 3 = f1280x720-HD 4 = f1920x1080-HD 5 = f1280x720-3G-A 6 = f1920x1080-3G-A

OID	Access	Syntax	説明
			7 = f1920x1080-3G-B-DL 12 = f3840x2160-12G 13 = f4096x2160-12G
I44sdi2Structure {I44sdi2FormatTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のカラーシステムと量子化精度 1 = fYCbCr-422-10bit 2 = fYCbCr-422-12bit 3 = fRGB-444-10bit 4 = fRGB-444-12bit
I44sdi2Framerate {I44sdi2FormatTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のフレーム(フィールド)周波数 1 = f60p 2 = f59p94p 3 = f50p 4 = f48p 5 = f30p 6 = f29p97p 7 = f25p 8 = f47p95p 9 = f24p 10 = f23p98p 11 = f30psf 12 = f29.97psf 13 = f25psf 14 = f24psF 15 = f23p98psf 16 = f60i 17 = f59.94i 18 = f50i
I44sdi2TimingTBL {I44sdi2TBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi20HTiming {I44sdi2TimingTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の基準となるタイミング 1 = serial 2 = legacy
I44sdi2TimingVertical {I44sdi2TimingTBL.2}	R/W	Integer	基準信号に対する SDI 出力 2 のタイミング (ライン 単位) ±1124
I44sdi2TimingHorizontal {I44sdi2TimingTBL.3}	R/W	Integer	基準信号に対する SDI 出力 2 のタイミング (ドット 単位) ±4124
I44sdi2PatternTBL {I44sdi2TBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi2Pattern {I44sdi2PatternTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のパターン 1 = colorbar100 2 = colorbar75 3 = multiCB100 4 = multiCB75 5 = multiCBplusI

OID	Access	Syntax	説明
			6 = smpteCB 7 = ebuColorbar 8 = bbcColorbar 9 = flatField100 10 = flatField50 11 = flatField0 12 = redFiled 13 = greenField 14 = blueField 15 = checkfield 16 = colorBarUHDTV-STD-B66-2 17 = colorBarHLG 18 = colorBarSLOG3
I44sdi2VideoTBL {I44sdi2TBL.5}	-	Aggregate	-
I44sdi2ComponentTBL {I44sdi2VideoTBL.1}	-	Aggregate	-
I44sdi2Component {I44sdi2ComponentTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の成分 (Y/G-Cb/B-Cr/R) 1 = off-off-off 2 = on-off-off 3 = off-on-off 4 = on-on-off 5 = off-off-on 6 = on-off-on 7 = off-on-on 8 = on-on-on
I44sdi2SafetyAreaTBL {I44sdi2VideoTBL.2}	-	Aggregate	-
I44sdi2SafetyArea90 {I44sdi2SafetyAreaTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の 90%セーフティエリアマーカー 1 = off 2 = on
I44sdi2SafetyArea80 {I44sdi2SafetyAreaTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の 80%セーフティエリアマーカー 1 = off 2 = on
I44sdi2SafetyArea43 {I44sdi2SafetyAreaTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の 4:3 セーフティエリアマーカー 1 = off 2 = on
I44sdi2ScrollTBL {I44sdi2VideoTBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi2Scroll {I44sdi2ScrollTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のスクロール 1 = off 2 = on
I44sdi2ScrollVspeed {I44sdi2ScrollTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の縦方向のスクロール速度と向き ±256
I44sdi2ScrollHspeed {I44sdi2ScrollTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の横方向のスクロール速度と向き ±256

OID	Access	Syntax	説明
I44sdi2PatternChangeTBL {I44sdi2VideoTBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi2PatternChange {I44sdi2PatternChangeTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のパターンチェンジ 1 = off 2 = on
I44sdi2PatrnChangespeed {I44sdi2PatternChangeTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のパターン切り換え間隔 1 - 255
I44sdi2IdCharacterTBL {I44sdi2VideoTBL.5}	-	Aggregate	-
I44sdi2IdCharacter {I44sdi2IdCharacterTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の ID キャラクター 1 = off 2 = on
I44sdi2IdCharacterVposition {I44sdi2IdCharacterTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の縦方向の ID キャラクター位置 0 - 100
I44sdi2IdCharacterHposition {I44sdi2IdCharacterTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の横方向の ID キャラクター位置 0 - 100
I44sdi2IdCharacterSize {I44sdi2IdCharacterTBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の ID キャラクターのサイズ 1 = x1 2 = x2 3 = x4 4 = x8
I44sdi2IdCharacterLevel {I44sdi2IdCharacterTBL.5}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の ID キャラクターの輝度レベル 1 = per-100 2 = per-75
I44sdi2IdCharacterBlinkTBL {I44sdi2IdCharacterTBL.6}	-	Aggregate	-
I44sdi2IdCharacterBlink {I44sdi2IdCharacterBlinkTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の ID キャラクターの点滅 1 = off 2 = on
I44sdi2IdCharacterBlinkOffTime {I44sdi2IdCharacterBlinkTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の ID キャラクター点滅の消灯時間 1 - 9
I44sdi2IdCharacterBlinkOnTime {I44sdi2IdCharacterBlinkTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の ID キャラクター点滅の点灯時間 1 - 9
I44sdi2IdCharacterScrollTBL {I44sdi2IdCharacterTBL.7}	-	Aggregate	-
I44sdi2IdCharacterScroll {I44sdi2IdCharacterScrollTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の ID キャラクターのスクロール 1 = off 2 = on
I44sdi2IdCharacterScrollSpeed {I44sdi2IdCharacterScrollTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の ID キャラクターのスクロール速度と向き ±256
I44sdi2IdCharacterBackground {I44sdi2IdCharacterTBL.8}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の ID キャラクター背景の透過 1 = off 2 = on
I44sdi2LogoTBL {I44sdi2VideoTBL.6}	-	Aggregate	-

OID	Access	Syntax	説明
I44sdi2Logo {I44sdi2LogoTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のロゴ 1 = off 2 = on
I44sdi2LogoSelect {I44sdi2LogoTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のロゴ番号 1 - 4
I44sdi2LogoVposition {I44sdi2LogoTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の縦方向のロゴ位置 0 - 100
I44sdi2LogoHposition {I44sdi2LogoTBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の横方向のロゴ位置 0 - 100
I44sdi2LogoTransParency {I44sdi2LogoTBL.5}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のロゴ透過 1 = off 2 = on
I44sdi2LogoTransParencyLevel {I44sdi2LogoTBL.6}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のロゴ透過レベル 0 - 255
I44sdi2MovingBoxTBL {I44sdi2VideoTBL.7}	-	Aggregate	-
I44sdi2MovingBox {I44sdi2MovingBoxTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のムービングボックス 1 = off 2 = on
I44sdi2MovingBoxColor {I44sdi2MovingBoxTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のムービングボックスの色 1 = white 2 = yellow 3 = cyan 4 = green 5 = blue 6 = red 7 = magenta 8 = black
I44sdi2MovingBoxVspeed {I44sdi2MovingBoxTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の縦方向のムービングボックス速度 1 = low 2 = middle 3 = high
I44sdi2MovingBoxHspeed {I44sdi2MovingBoxTBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の横方向のムービングボックス速度 1 = low 2 = middle 3 = high
I44sdi2MovingBoxVsize {I44sdi2MovingBoxTBL.5}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のムービングボックスの高さ 1 = size1 2 = size2 3 = size3 4 = size4 5 = size5
I44sdi2MovingBoxHsize {I44sdi2MovingBoxTBL.6}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のムービングボックスの幅 1 = size1 2 = size2 3 = size3

OID	Access	Syntax	説明
			4 = size4 5 = size5
I44sdi2CircleTBL {I44sdi2VideoTBL.8}	-	Aggregate	-
I44sdi2Circle {I44sdi2CircleTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のサークル 1 = off 2 = on
I44sdi2CircleSize {I44sdi2CircleTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のサークルのサイズ 1 = per-90 2 = per-80 3 = per-70
I44sdi2CircleLevel {I44sdi2CircleTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のサークルの輝度レベル 1 = per-100 2 = per-75
I44sdi2CircleBlinkTBL {I44sdi2CircleTBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi2CircleBlink {I44sdi2CircleBlinkTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のサークルの点滅 1 = off 2 = on
I44sdi2CircleBlinkOffTime {I44sdi2CircleBlinkTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のサークル点滅の消灯時間 1 - 9
I44sdi2CircleBlinkOnTime {I44sdi2CircleBlinkTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のサークル点滅の点灯時間 1 - 9
I44sdi2TimecodeTBL {I44sdi2VideoTBL.9}	-	Aggregate	-
I44sdi2Timecode {I44sdi2TimecodeTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のタイムコード 1 = off 2 = on
I44sdi2TimecodeVposition {I44sdi2TimecodeTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の縦方向のタイムコード位置 0 - 100
I44sdi2TimecodeHposition {I44sdi2TimecodeTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の横方向のタイムコード位置 0 - 100
I44sdi2TimecodeSize {I44sdi2TimecodeTBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のタイムコードのサイズ 1 = x1 2 = x2 3 = x4 4 = x8
I44sdi2TimecodeLevel {I44sdi2TimecodeTBL.5}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のタイムコードの輝度レベル 1 = per-100 2 = per-75
I44sdi2TimecodeBackground {I44sdi2TimecodeTBL.6}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のタイムコード背景の透過 1 = off 2 = on
I44sdi2LipsyncTBL {I44sdi2VideoTBL.10}	-	Aggregate	-
I44sdi2Lipsync	R/W	Integer	SDI 出力 2 のリップシンクパターン

OID	Access	Syntax	説明
{I44sdi2LipsyncTBL.1}			1 = off 2 = on
I44sdi2AudioTBL {I44sdi2TBL.6}	-	Aggregate	-
I44sdi2AudioGroup1TBL {I44sdi2AudioTBL.1}	-	Aggregate	-
I44sdi2AudioGroup1 {I44sdi2AudioGroup1TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のオーディオグループ 1 1 = off 2 = on
I44sdi2AudioGroup1Ch1TBL {I44sdi2AudioGroup1TBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi2AudioGroup1Ch1Frequency {I44sdi2AudioGroup1Ch1TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH1 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi2AudioGroup1Ch1Level {I44sdi2AudioGroup1Ch1TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH1 のレベル 0 - -60
I44sdi2AudioGroup1Ch1Click {I44sdi2AudioGroup1Ch1TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH1 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi2AudioGroup1Ch2TBL {I44sdi2AudioGroup1TBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi2AudioGroup1Ch2EqualToCh1 {I44sdi2AudioGroup1Ch2TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH2 と CH1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi2AudioGroup1Ch2Frequency {I44sdi2AudioGroup1Ch2TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH2 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi2AudioGroup1Ch2Level {I44sdi2AudioGroup1Ch2TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH2 のレベル 0 - -60
I44sdi2AudioGroup1Ch2Click {I44sdi2AudioGroup1Ch2TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH2 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi2AudioGroup1Ch3TBL {I44sdi2AudioGroup1TBL.5}	-	Aggregate	-
I44sdi2AudioGroup1Ch3EqualToCh1 {I44sdi2AudioGroup1Ch3TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH3 と CH1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi2AudioGroup1Ch3Frequency	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH3 の周波数

OID	Access	Syntax	説明
{I44sdi2AudioGroup1Ch3TBL.2}			1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi2AudioGroup1Ch3Level {I44sdi2AudioGroup1Ch3TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH3 のレベル 0 - -60
I44sdi2AudioGroup1Ch3Click {I44sdi2AudioGroup1Ch3TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH3 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi2AudioGroup1Ch4TBL {I44sdi2AudioGroup1TBL.6}	-	Aggregate	-
I44sdi2AudioGroup1Ch4EqualToCh1 {I44sdi2AudioGroup1Ch4TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH4 と CH1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi2AudioGroup1Ch4Frequency {I44sdi2AudioGroup1Ch4TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH4 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi2AudioGroup1Ch4Level {I44sdi2AudioGroup1Ch4TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH4 のレベル 0 - -60
I44sdi2AudioGroup1Ch4Click {I44sdi2AudioGroup1Ch4TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH4 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi2AudioGroup1Resolution {I44sdi2AudioGroup1TBL.7}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のオーディオグループ 1 の分解能 1 = resolution20bit 2 = resolution24bit
I44sdi2AudioGroup1Emphasis {I44sdi2AudioGroup1TBL.8}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のオーディオグループ 1 のプリエンファシスモード 1 = emphasis50-15 2 = ccittl 3 = off
I44sdi2AudioGroup2TBL {I44sdi2AudioTBL.2}	-	Aggregate	-
I44sdi2AudioGroup2 {I44sdi2AudioGroup2TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のオーディオグループ 2 1 = off 2 = on
I44sdi2AudioGroup2EtqlToG1 {I44sdi2AudioGroup2TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のオーディオグループ 2 とオーディオグループ 1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi2AudioGroup2Ch5TBL	-	Aggregate	-

OID	Access	Syntax	説明
{I44sdi2AudioGroup2TBL.3}			
I44sdi2AudioGroup2Ch5Frequency {I44sdi2AudioGroup2Ch5TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH5 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi2AudioGroup2Ch5Level {I44sdi2AudioGroup2Ch5TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH5 のレベル 0 - -60
I44sdi2AudioGroup2Ch5Click {I44sdi2AudioGroup2Ch5TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH5 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi2AudioGroup2Ch6TBL {I44sdi2AudioGroup2TBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi2AudioGroup2Ch6EqualToCh5 {I44sdi2AudioGroup2Ch6TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH6 と CH5 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi2AudioGroup2Ch6Frequency {I44sdi2AudioGroup2Ch6TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH6 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi2AudioGroup2Ch6Level {I44sdi2AudioGroup2Ch6TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH6 のレベル 0 - -60
I44sdi2AudioGroup2Ch6Click {I44sdi2AudioGroup2Ch6TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH6 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi2AudioGroup2Ch7TBL {I44sdi2AudioGroup2TBL.5}	-	Aggregate	-
I44sdi2AudioGroup2Ch7EqualToCh5 {I44sdi2AudioGroup2Ch7TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH7 と CH5 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi2AudioGroup2Ch7Frequency {I44sdi2AudioGroup2Ch7TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH7 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi2AudioGroup2Ch7Level {I44sdi2AudioGroup2Ch7TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH7 のレベル 0 - -60
I44sdi2AudioGroup2Ch7Click {I44sdi2AudioGroup2Ch7TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH7 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec

OID	Access	Syntax	説明
			4 = click4sec
I44sdi2AudioGroup2Ch8TBL {I44sdi2AudioGroup2TBL.6}	-	Aggregate	-
I44sdi2AudioGroup2Ch8EqualToCh5 {I44sdi2AudioGroup2Ch8TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH8 と CH5 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi2AudioGroup2Ch8Frequency {I44sdi2AudioGroup2Ch8TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH8 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi2AudioGroup2Ch8Level {I44sdi2AudioGroup2Ch8TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH8 のレベル 0 - -60
I44sdi2AudioGroup2Ch8Click {I44sdi2AudioGroup2Ch8TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH8 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi2AudioGroup2Resolution {I44sdi2AudioGroup2TBL.7}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のオーディオグループ 2 の分解能 1 = resolution20bit 2 = resolution24bit
I44sdi2AudioGroup2Emphasis {I44sdi2AudioGroup2TBL.8}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のオーディオグループ 2 のプリエンファシスモード 1 = emphasis50-15 2 = ccittl 3 = off
I44sdi2AudioGroup3TBL {I44sdi2AudioTBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi2AudioGroup3 {I44sdi2AudioGroup3TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のオーディオグループ 3 1 = off 2 = on
I44sdi2AudioGroup3EqualToG1 {I44sdi2AudioGroup3TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のオーディオグループ 3 とオーディオグループ 1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi2AudioGroup3Ch9TBL {I44sdi2AudioGroup3TBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi2AudioGroup3Ch9Frequency {I44sdi2AudioGroup3Ch9TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH9 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi2AudioGroup3Ch9Level {I44sdi2AudioGroup3Ch9TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH9 のレベル 0 - -60
I44sdi2AudioGroup3Ch9Click {I44sdi2AudioGroup3Ch9TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH9 のクリック挿入間隔 1 = off

OID	Access	Syntax	説明
			2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi2AudioGroup3Ch10TBL {I44sdi2AudioGroup3TBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi2AudioGroup3Ch10EqualToCh9 {I44sdi2AudioGroup3Ch10TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH10 と CH9 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi2AudioGroup3Ch10Frequency {I44sdi2AudioGroup3Ch10TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH10 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi2AudioGroup3Ch10Level {I44sdi2AudioGroup3Ch10TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH10 のレベル 0 - -60
I44sdi2AudioGroup3Ch10Click {I44sdi2AudioGroup3Ch10TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH10 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi2AudioGroup3Ch11TBL {I44sdi2AudioGroup3TBL.5}	-	Aggregate	-
I44sdi2AudioGroup3Ch11EqualToCh9 {I44sdi2AudioGroup3Ch11TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH11 と CH9 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi2AudioGroup3Ch11Frequency {I44sdi2AudioGroup3Ch11TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH11 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi2AudioGroup3Ch11Level {I44sdi2AudioGroup3Ch11TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH11 のレベル 0 - -60
I44sdi2AudioGroup3Ch11Click {I44sdi2AudioGroup3Ch11TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH11 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi2AudioGroup3Ch12TBL {I44sdi2AudioGroup3TBL.6}	-	Aggregate	-
I44sdi2AudioGroup3Ch12EqualToCh9 {I44sdi2AudioGroup3Ch12TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH12 と CH9 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi2AudioGroup3Ch12Frequency {I44sdi2AudioGroup3Ch12TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH12 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz

OID	Access	Syntax	説明
			4 = freq1000Hz
I44sdi2AudioGroup3Ch12Level {I44sdi2AudioGroup3Ch12TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH12 のレベル 0 - -60
I44sdi2AudioGroup3Ch12Click {I44sdi2AudioGroup3Ch12TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH12 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi2AudioGroup3Resolution {I44sdi2AudioGroup3TBL.7}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のオーディオグループ 3 の分解能 1 = resolution20bit 2 = resolution24bit
I44sdi2AudioGroup3Emphasis {I44sdi2AudioGroup3TBL.8}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のオーディオグループ 3 のプリエンファシスモード 1 = emphasis50-15 2 = ccittl 3 = off
I44sdi2AudioGroup4TBL {I44sdi2AudioTBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi2AudioGroup4 {I44sdi2AudioGroup4TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のオーディオグループ 4 1 = off 2 = on
I44sdi2AudioGroup4EqualToG3 {I44sdi2AudioGroup4TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のオーディオグループ 4 とオーディオグループ 3 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi2AudioGroup4Ch13TBL {I44sdi2AudioGroup4TBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi2AudioGroup4Ch13Frequency {I44sdi2AudioGroup4Ch13TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH13 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi2AudioGroup4Ch13Level {I44sdi2AudioGroup4Ch13TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH13 のレベル 0 - -60
I44sdi2AudioGroup4Ch13Click {I44sdi2AudioGroup4Ch13TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH13 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi2AudioGroup4Ch14TBL {I44sdi2AudioGroup4TBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi2AudioGroup4Ch14EqualToCh13 {I44sdi2AudioGroup4Ch14TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH14 と CH13 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi2AudioGroup4Ch14Frequency {I44sdi2AudioGroup4Ch14TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の C14 の周波数 1 = silence

OID	Access	Syntax	説明
			2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi2AudioGroup4Ch14Level {I44sdi2AudioGroup4Ch14TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH14 のレベル 0 - -60
I44sdi2AudioGroup4Ch14Click {I44sdi2AudioGroup4Ch14TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH14 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi2AudioGroup4Ch15TBL {I44sdi2AudioGroup4TBL.5}	-	Aggregate	-
I44sdi2AudioGroup4Ch15EqualToCh13 {I44sdi2AudioGroup4Ch15TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH15 と CH13 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi2AudioGroup4Ch15Frequency {I44sdi2AudioGroup4Ch15TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH15 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi2AudioGroup4Ch15Level {I44sdi2AudioGroup4Ch15TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH15 のレベル 0 - -60
I44sdi2AudioGroup4Ch15Click {I44sdi2AudioGroup4Ch15TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH15 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi2AudioGroup4Ch16TBL {I44sdi2AudioGroup4TBL.6}	-	Aggregate	-
I44sdi2AudioGroup4Ch16EqualToCh13 {I44sdi2AudioGroup4Ch16TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH16 と CH13 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi2AudioGroup4Ch16Frequency {I44sdi2AudioGroup4Ch16TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH16 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi2AudioGroup4Ch16Level {I44sdi2AudioGroup4Ch16TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH16 のレベル 0 - -60
I44sdi2AudioGroup4Ch16Click {I44sdi2AudioGroup4Ch16TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の CH16 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi2AudioGroup4Resolution {I44sdi2AudioGroup4TBL.7}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のオーディオグループ 4 の分解能 1 = resolution20bit

OID	Access	Syntax	説明
			2 = resolution24bit
I44sdi2AudioGroup4Emphasis {I44sdi2AudioGroup4TBL.8}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のオーディオグループ 4 のプリエンファシスモード 1 = emphasis50-15 2 = ccittl 3 = off
I44sdi2AncTBL {I44sdi2TBL.7}	-	Aggregate	-
I44sdi2AtcLtc {I44sdi2AncTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 への LTC 挿入 1 = off 2 = on
I44sdi2AtcVtc {I44sdi2AncTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 への VITC 挿入 1 = off 2 = on
I44sdi2AtcDropFrame {I44sdi2AncTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 のドロップフレーム 1 = off 2 = on
I44sdi2OutputTBL {I44sdi2TBL.8}	-	Aggregate	-
I44sdi2Output {I44sdi2OutputTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 2 1 = enable 2 = disable
I44sdi2OutputLinktoPtp1Bmca {I44sdi2OutputTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の BMCA 連動 (PTP1) 1 = enable 2 = disable
I44sdi2OutputLinktoPtp2Bmca {I44sdi2OutputTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 2 の BMCA 連動 (PTP2) 1 = enable 2 = disable
I44sdi3TBL {I44sdi3TBL.1}	-	Aggregate	-
I44sdi3EqualToSDI1TBL {I44sdi3TBL.1}	-	Aggregate	-
I44sdi3EqualToSDI1 {I44sdi3EqualToSDI1TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 と SDI 出力 1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi3FormatTBL {I44sdi3TBL.2}	-	Aggregate	-
I44sdi3System {I44sdi3FormatTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のフォーマット 1 = f720x487-SD 2 = f720x576-SD 3 = f1280x720-HD 4 = f1920x1080-HD 5 = f1280x720-3G-A 6 = f1920x1080-3G-A 7 = f1920x1080-3G-B-DL 12 = f3840x2160-12G

OID	Access	Syntax	説明
			13 = f4096x2160-12G
I44sdi3Structure {I44sdi3FormatTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のカラーシステムと量子化精度 1 = fYCbCr-422-10bit 2 = fYCbCr-422-12bit 3 = fRGB-444-10bit 4 = fRGB-444-12bit
I44sdi3Framerate {I44sdi3FormatTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のフレーム(フィールド)周波数 1 = f60p 2 = f59p94p 3 = f50p 4 = f48p 5 = f30p 6 = f29p97p 7 = f25p 8 = f47p95p 9 = f24p 10 = f23p98p 11 = f30psf 12 = f29.97psf 13 = f25psf 14 = f24psF 15 = f23p98psf 16 = f60i 17 = f59.94i 18 = f50i
I44sdi3TimingTBL {I44sdi3TBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi30HTiming {I44sdi3TimingTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の基準となるタイミング 1 = serial 2 = legacy
I44sdi3TimingVertical {I44sdi3TimingTBL.2}	R/W	Integer	基準信号に対する SDI 出力 3 のタイミング (ライン単位) ±1124
I44sdi3TimingHorizontal {I44sdi3TimingTBL.3}	R/W	Integer	基準信号に対する SDI 出力 3 のタイミング (ドット単位) ±4124
I44sdi3PatternTBL {I44sdi3TBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi3Pattern {I44sdi3PatternTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のパターン 1 = colorbar100 2 = colorbar75 3 = multiCB100 4 = multiCB75 5 = multiCBplusI 6 = smpteCB 7 = ebuColorbar

OID	Access	Syntax	説明
			8 = bbcColorbar 9 = flatField100 10 = flatField50 11 = flatField0 12 = redFiled 13 = greenField 14 = blueField 15 = checkfield 16 = colorBarUHDTV-STD-B66-2 17 = colorBarHLG 18 = colorBarSLOG3
I44sdi3VideoTBL {I44sdi3TBL.5}	-	Aggregate	-
I44sdi3ComponentTBL {I44sdi3VideoTBL.1}	-	Aggregate	-
I44sdi3Component {I44sdi3ComponentTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の成分 (Y/G-Cb/B-Cr/R) 1 = off-off-off 2 = on-off-off 3 = off-on-off 4 = on-on-off 5 = off-off-on 6 = on-off-on 7 = off-on-on 8 = on-on-on
I44sdi3SafetyAreaTBL {I44sdi3VideoTBL.2}	-	Aggregate	-
I44sdi3SafetyArea90 {I44sdi3SafetyAreaTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の 90%セーフティエリアマーカー 1 = off 2 = on
I44sdi3SafetyArea80 {I44sdi3SafetyAreaTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の 80%セーフティエリアマーカー 1 = off 2 = on
I44sdi3SafetyArea43 {I44sdi3SafetyAreaTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の 4:3 セーフティエリアマーカー 1 = off 2 = on
I44sdi3ScrollTBL {I44sdi3VideoTBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi3Scroll {I44sdi3ScrollTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のスクロール 1 = off 2 = on
I44sdi3ScrollVspeed {I44sdi3ScrollTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の縦方向のスクロール速度と向き ±256
I44sdi3ScrollHspeed {I44sdi3ScrollTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の横方向のスクロール速度と向き ±256
I44sdi3PatternChangeTBL {I44sdi3VideoTBL.4}	-	Aggregate	-

OID	Access	Syntax	説明
I44sdi3PatternChange {I44sdi3PatternChangeTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のパターンチェンジ 1 = off 2 = on
I44sdi3PatrnChangespeed {I44sdi3PatternChangeTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のパターン切り換え間隔 1 - 255
I44sdi3IdCharacterTBL {I44sdi3VideoTBL.5}	-	Aggregate	-
I44sdi3IdCharacter {I44sdi3IdCharacterTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の ID キャラクター 1 = off 2 = on
I44sdi3IdCharacterVposition {I44sdi3IdCharacterTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の縦方向の ID キャラクター位置 0 - 100
I44sdi3IdCharacterHposition {I44sdi3IdCharacterTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の横方向の ID キャラクター位置 0 - 100
I44sdi3IdCharacterSize {I44sdi3IdCharacterTBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の ID キャラクターのサイズ 1 = x1 2 = x2 3 = x4 4 = x8
I44sdi3IdCharacterLevel {I44sdi3IdCharacterTBL.5}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の ID キャラクターの輝度レベル 1 = per-100 2 = per-75
I44sdi3IdCharacterBlinkTBL {I44sdi3IdCharacterTBL.6}	-	Aggregate	-
I44sdi3IdCharacterBlink {I44sdi3IdCharacterBlinkTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の ID キャラクターの点滅 1 = off 2 = on
I44sdi3IdCharacterBlinkOffTime {I44sdi3IdCharacterBlinkTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の ID キャラクター点滅の消灯時間 1 - 9
I44sdi3IdCharacterBlinkOnTime {I44sdi3IdCharacterBlinkTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の ID キャラクター点滅の点灯時間 1 - 9
I44sdi3IdCharacterScrollTBL {I44sdi3IdCharacterTBL.7}	-	Aggregate	-
I44sdi3IdCharacterScroll {I44sdi3IdCharacterScrollTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の ID キャラクターのスクロール 1 = off 2 = on
I44sdi3IdCharacterScrollSpeed {I44sdi3IdCharacterScrollTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の ID キャラクターのスクロール速度と向き ±256
I44sdi3IdCharacterBackground {I44sdi3IdCharacterTBL.8}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の ID キャラクター背景の透過 1 = off 2 = on
I44sdi3LogoTBL {I44sdi3VideoTBL.6}	-	Aggregate	-
I44sdi3Logo {I44sdi3LogoTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のロゴ 1 = off

OID	Access	Syntax	説明
			2 = on
I44sdi3LogoSelect {I44sdi3LogoTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のロゴ番号 1 - 4
I44sdi3LogoVposition {I44sdi3LogoTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の縦方向のロゴ位置 0 - 100
I44sdi3LogoHposition {I44sdi3LogoTBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の横方向のロゴ位置 0 - 100
I44sdi3LogoTransParency {I44sdi3LogoTBL.5}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のロゴ透過 1 = off 2 = on
I44sdi3LogoTransParencyLevel {I44sdi3LogoTBL.6}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のロゴ透過レベル 0 - 255
I44sdi3MovingBoxTBL {I44sdi3VideoTBL.7}	-	Aggregate	-
I44sdi3MovingBox {I44sdi3MovingBoxTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のムービングボックス 1 = off 2 = on
I44sdi3MovingBoxColor {I44sdi3MovingBoxTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のムービングボックスの色 1 = white 2 = yellow 3 = cyan 4 = green 5 = blue 6 = red 7 = magenta 8 = black
I44sdi3MovingBoxVspeed {I44sdi3MovingBoxTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の縦方向のムービングボックス速度 1 = low 2 = middle 3 = high
I44sdi3MovingBoxHspeed {I44sdi3MovingBoxTBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の横方向のムービングボックス速度 1 = low 2 = middle 3 = high
I44sdi3MovingBoxVsize {I44sdi3MovingBoxTBL.5}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のムービングボックスの高さ 1 = size1 2 = size2 3 = size3 4 = size4 5 = size5
I44sdi3MovingBoxHsize {I44sdi3MovingBoxTBL.6}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のムービングボックスの幅 1 = size1 2 = size2 3 = size3 4 = size4 5 = size5

OID	Access	Syntax	説明
I44sdi3CircleTBL {I44sdi3VideoTBL.8}	-	Aggregate	-
I44sdi3Circle {I44sdi3CircleTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のサークル 1 = off 2 = on
I44sdi3CircleSize {I44sdi3CircleTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のサークルのサイズ 1 = per-90 2 = per-80 3 = per-70
I44sdi3CircleLevel {I44sdi3CircleTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のサークルの輝度レベル 1 = per-100 2 = per-75
I44sdi3CircleBlinkTBL {I44sdi3CircleTBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi3CircleBlink {I44sdi3CircleBlinkTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のサークルの点滅 1 = off 2 = on
I44sdi3CircleBlinkOffTime {I44sdi3CircleBlinkTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のサークル点滅の消灯時間 1 - 9
I44sdi3CircleBlinkOnTime {I44sdi3CircleBlinkTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のサークル点滅の点灯時間 1 - 9
I44sdi3TimecodeTBL {I44sdi3VideoTBL.9}	-	Aggregate	-
I44sdi3Timecode {I44sdi3TimecodeTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のタイムコード 1 = off 2 = on
I44sdi3TimecodeVposition {I44sdi3TimecodeTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の縦方向のタイムコード位置 0 - 100
I44sdi3TimecodeHposition {I44sdi3TimecodeTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の横方向のタイムコード位置 0 - 100
I44sdi3TimecodeSize {I44sdi3TimecodeTBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のタイムコードのサイズ 1 = x1 2 = x2 3 = x4 4 = x8
I44sdi3TimecodeLevel {I44sdi3TimecodeTBL.5}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のタイムコードの輝度レベル 1 = per-100 2 = per-75
I44sdi3TimecodeBackground {I44sdi3TimecodeTBL.6}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のタイムコード背景の透過 1 = off 2 = on
I44sdi3LipsyncTBL {I44sdi3VideoTBL.10}	-	Aggregate	-
I44sdi3Lipsync {I44sdi3LipsyncTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のリップシンクパターン 1 = off 2 = on

OID	Access	Syntax	説明
I44sdi3AudioTBL {I44sdi3TBL.6}	-	Aggregate	-
I44sdi3AudioGroup1TBL {I44sdi3AudioTBL.1}	-	Aggregate	-
I44sdi3AudioGroup1 {I44sdi3AudioGroup1TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のオーディオグループ 1 1 = off 2 = on
I44sdi3AudioGroup1Ch1TBL {I44sdi3AudioGroup1TBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi3AudioGroup1Ch1Frequency {I44sdi3AudioGroup1Ch1TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH1 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi3AudioGroup1Ch1Level {I44sdi3AudioGroup1Ch1TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH1 のレベル 0 - -60
I44sdi3AudioGroup1Ch1Click {I44sdi3AudioGroup1Ch1TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH1 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi3AudioGroup1Ch2TBL {I44sdi3AudioGroup1TBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi3AudioGroup1Ch2EqualToCh1 {I44sdi3AudioGroup1Ch2TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH2 と CH1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi3AudioGroup1Ch2Frequency {I44sdi3AudioGroup1Ch2TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH2 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi3AudioGroup1Ch2Level {I44sdi3AudioGroup1Ch2TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH2 のレベル 0 - -60
I44sdi3AudioGroup1Ch2Click {I44sdi3AudioGroup1Ch2TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH2 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi3AudioGroup1Ch3TBL {I44sdi3AudioGroup1TBL.5}	-	Aggregate	-
I44sdi3AudioGroup1Ch3EqualToCh1 {I44sdi3AudioGroup1Ch3TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH3 と CH1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi3AudioGroup1Ch3Frequency {I44sdi3AudioGroup1Ch3TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH3 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz

OID	Access	Syntax	説明
			3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi3AudioGroup1Ch3Level {I44sdi3AudioGroup1Ch3TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH3 のレベル 0 - -60
I44sdi3AudioGroup1Ch3Click {I44sdi3AudioGroup1Ch3TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH3 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi3AudioGroup1Ch4TBL {I44sdi3AudioGroup1TBL.6}	-	Aggregate	-
I44sdi3AudioGroup1Ch4EqualToCh1 {I44sdi3AudioGroup1Ch4TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH4 と CH1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi3AudioGroup1Ch4Frequency {I44sdi3AudioGroup1Ch4TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH4 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi3AudioGroup1Ch4Level {I44sdi3AudioGroup1Ch4TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH4 のレベル 0 - -60
I44sdi3AudioGroup1Ch4Click {I44sdi3AudioGroup1Ch4TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH4 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi3AudioGroup1Resolution {I44sdi3AudioGroup1TBL.7}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のオーディオグループ 1 の分解能 1 = resolution20bit 2 = resolution24bit
I44sdi3AudioGroup1Emphasis {I44sdi3AudioGroup1TBL.8}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のオーディオグループ 1 のプリエンファシスモード 1 = emphasis50-15 2 = ccittl 3 = off
I44sdi3AudioGroup2TBL {I44sdi3AudioTBL.2}	-	Aggregate	-
I44sdi3AudioGroup2 {I44sdi3AudioGroup2TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のオーディオグループ 2 1 = off 2 = on
I44sdi3AudioGroup2EqualToG1 {I44sdi3AudioGroup2TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のオーディオグループ 2 とオーディオグループ 1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi3AudioGroup2Ch5TBL {I44sdi3AudioGroup2TBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi3AudioGroup2Ch5Frequency	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH5 の周波数

OID	Access	Syntax	説明
{I44sdi3AudioGroup2Ch5TBL.2}			1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi3AudioGroup2Ch5Level {I44sdi3AudioGroup2Ch5TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH5 のレベル 0 - -60
I44sdi3AudioGroup2Ch5Click {I44sdi3AudioGroup2Ch5TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH5 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi3AudioGroup2Ch6TBL {I44sdi3AudioGroup2TBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi3AudioGroup2Ch6EqualToCh5 {I44sdi3AudioGroup2Ch6TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH6 と CH5 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi3AudioGroup2Ch6Frequency {I44sdi3AudioGroup2Ch6TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH6 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi3AudioGroup2Ch6Level {I44sdi3AudioGroup2Ch6TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH6 のレベル 0 - -60
I44sdi3AudioGroup2Ch6Click {I44sdi3AudioGroup2Ch6TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH6 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi3AudioGroup2Ch7TBL {I44sdi3AudioGroup2TBL.5}	-	Aggregate	-
I44sdi3AudioGroup2Ch7EqualToCh5 {I44sdi3AudioGroup2Ch7TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH7 と CH5 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi3AudioGroup2Ch7Frequency {I44sdi3AudioGroup2Ch7TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH7 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi3AudioGroup2Ch7Level {I44sdi3AudioGroup2Ch7TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH7 のレベル 0 - -60
I44sdi3AudioGroup2Ch7Click {I44sdi3AudioGroup2Ch7TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH7 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi3AudioGroup2Ch8TBL	-	Aggregate	-

OID	Access	Syntax	説明
{I44sdi3AudioGroup2TBL.6}			
I44sdi3AudioGroup2Ch8EqualToCh5 {I44sdi3AudioGroup2Ch8TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH8 と CH5 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi3AudioGroup2Ch8Frequency {I44sdi3AudioGroup2Ch8TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH8 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi3AudioGroup2Ch8Level {I44sdi3AudioGroup2Ch8TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH8 のレベル 0 - -60
I44sdi3AudioGroup2Ch8Click {I44sdi3AudioGroup2Ch8TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH8 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi3AudioGroup2Resolution {I44sdi3AudioGroup2TBL.7}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のオーディオグループ 2 の分解能 1 = resolution20bit 2 = resolution24bit
I44sdi3AudioGroup2Emphasis {I44sdi3AudioGroup2TBL.8}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のオーディオグループ 2 のプリエンファシスモード 1 = emphasis50-15 2 = ccittl 3 = off
I44sdi3AudioGroup3TBL {I44sdi3AudioTBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi3AudioGroup3 {I44sdi3AudioGroup3TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のオーディオグループ 3 1 = off 2 = on
I44sdi3AudioGroup3EqualToG1 {I44sdi3AudioGroup3TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のオーディオグループ 3 とオーディオグループ 1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi3AudioGroup3Ch9TBL {I44sdi3AudioGroup3TBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi3AudioGroup3Ch9Frequency {I44sdi3AudioGroup3Ch9TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH9 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi3AudioGroup3Ch9Level {I44sdi3AudioGroup3Ch9TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH9 のレベル 0 - -60
I44sdi3AudioGroup3Ch9Click {I44sdi3AudioGroup3Ch9TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH9 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec

OID	Access	Syntax	説明
			4 = click4sec
I44sdi3AudioGroup3Ch10TBL {I44sdi3AudioGroup3TBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi3AudioGroup3Ch10EqualToCh9 {I44sdi3AudioGroup3Ch10TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH10 と CH9 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi3AudioGroup3Ch10Frequency {I44sdi3AudioGroup3Ch10TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH10 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi3AudioGroup3Ch10Level {I44sdi3AudioGroup3Ch10TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH10 のレベル 0 - -60
I44sdi3AudioGroup3Ch10Click {I44sdi3AudioGroup3Ch10TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH10 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi3AudioGroup3Ch11TBL {I44sdi3AudioGroup3TBL.5}	-	Aggregate	-
I44sdi3AudioGroup3Ch11EqualToCh9 {I44sdi3AudioGroup3Ch11TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH11 と CH9 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi3AudioGroup3Ch11Frequency {I44sdi3AudioGroup3Ch11TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH11 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi3AudioGroup3Ch11Level {I44sdi3AudioGroup3Ch11TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH11 のレベル 0 - -60
I44sdi3AudioGroup3Ch11Click {I44sdi3AudioGroup3Ch11TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH11 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi3AudioGroup3Ch12TBL {I44sdi3AudioGroup3TBL.6}	-	Aggregate	-
I44sdi3AudioGroup3Ch12EqualToCh9 {I44sdi3AudioGroup3Ch12TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH12 と CH9 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi3AudioGroup3Ch12Frequency {I44sdi3AudioGroup3Ch12TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH12 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi3AudioGroup3Ch12Level	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH12 のレベル

OID	Access	Syntax	説明
{I44sdi3AudioGroup3Ch12TBL.3}			0 - -60
I44sdi3AudioGroup3Ch12Click {I44sdi3AudioGroup3Ch12TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH12 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi3AudioGroup3Resolution {I44sdi3AudioGroup3TBL.7}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のオーディオグループ 3 の分解能 1 = resolution20bit 2 = resolution24bit
I44sdi3AudioGroup3Emphasis {I44sdi3AudioGroup3TBL.8}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のオーディオグループ 3 のプリエンファシスモード 1 = emphasis50-15 2 = ccittl 3 = off
I44sdi3AudioGroup4TBL {I44sdi3AudioTBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi3AudioGroup4 {I44sdi3AudioGroup4TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のオーディオグループ 4 1 = off 2 = on
I44sdi3AudioGroup4EqualToG3 {I44sdi3AudioGroup4TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のオーディオグループ 4 とオーディオグループ 3 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi3AudioGroup4Ch13TBL {I44sdi3AudioGroup4TBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi3AudioGroup4Ch13Frequency {I44sdi3AudioGroup4Ch13TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH13 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi3AudioGroup4Ch13Level {I44sdi3AudioGroup4Ch13TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH13 のレベル 0 - -60
I44sdi3AudioGroup4Ch13Click {I44sdi3AudioGroup4Ch13TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH13 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi3AudioGroup4Ch14TBL {I44sdi3AudioGroup4TBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi3AudioGroup4Ch14EqualToCh13 {I44sdi3AudioGroup4Ch14TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH14 と CH13 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi3AudioGroup4Ch14Frequency {I44sdi3AudioGroup4Ch14TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の C14 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz

OID	Access	Syntax	説明
			4 = freq1000Hz
I44sdi3AudioGroup4Ch14Level {I44sdi3AudioGroup4Ch14TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH14 のレベル 0 - -60
I44sdi3AudioGroup4Ch14Click {I44sdi3AudioGroup4Ch14TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH14 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi3AudioGroup4Ch15TBL {I44sdi3AudioGroup4TBL.5}	-	Aggregate	-
I44sdi3AudioGroup4Ch15EqualToCh13 {I44sdi3AudioGroup4Ch15TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH15 と CH13 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi3AudioGroup4Ch15Frequency {I44sdi3AudioGroup4Ch15TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH15 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi3AudioGroup4Ch15Level {I44sdi3AudioGroup4Ch15TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH15 のレベル 0 - -60
I44sdi3AudioGroup4Ch15Click {I44sdi3AudioGroup4Ch15TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH15 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi3AudioGroup4Ch16TBL {I44sdi3AudioGroup4TBL.6}	-	Aggregate	-
I44sdi3AudioGroup4Ch16EqualToCh13 {I44sdi3AudioGroup4Ch16TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH16 と CH13 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi3AudioGroup4Ch16Frequency {I44sdi3AudioGroup4Ch16TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH16 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi3AudioGroup4Ch16Level {I44sdi3AudioGroup4Ch16TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH16 のレベル 0 - -60
I44sdi3AudioGroup4Ch16Click {I44sdi3AudioGroup4Ch16TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の CH16 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi3AudioGroup4Resolution {I44sdi3AudioGroup4TBL.7}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のオーディオグループ 4 の分解能 1 = resolution20bit 2 = resolution24bit
I44sdi3AudioGroup4Emphasis	R/W	Integer	SDI 出力 3 のオーディオグループ 4 のプリエンファ

OID	Access	Syntax	説明
{I44sdi3AudioGroup4TBL.8}			シスモード 1 = emphasis50-15 2 = ccittl 3 = off
I44sdi3AncTBL {I44sdi3TBL.7}	-	Aggregate	-
I44sdi3AtcLtc {I44sdi3AncTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 への LTC 挿入 1 = off 2 = on
I44sdi3AtcVtc {I44sdi3AncTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 への VITC 挿入 1 = off 2 = on
I44sdi3AtcDropFrame {I44sdi3AncTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 のドロップフレーム 1 = off 2 = on
I44sdi3OutputTBL {I44sdi3TBL.8}	-	Aggregate	-
I44sdi3Output {I44sdi3OutputTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 3 1 = enable 2 = disable
I44sdi3OutputLinktoPtp1Bmca {I44sdi3OutputTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の BMCA 連動 (PTP1) 1 = enable 2 = disable
I44sdi3OutputLinktoPtp2Bmca {I44sdi3OutputTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 3 の BMCA 連動 (PTP2) 1 = enable 2 = disable
I44sdi4TBL {I44sdi4TBL.1}	-	Aggregate	-
I44sdi4EqualToSDI3TBL {I44sdi4TBL.1}	-	Aggregate	-
I44sdi4EqualToSDI3 {I44sdi4EqualToSDI3TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 と SDI 出力 3 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi4FormatTBL {I44sdi4TBL.2}	-	Aggregate	-
I44sdi4System {I44sdi4FormatTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のフォーマット 1 = f720x487-SD 2 = f720x576-SD 3 = f1280x720-HD 4 = f1920x1080-HD 5 = f1280x720-3G-A 6 = f1920x1080-3G-A 7 = f1920x1080-3G-B-DL 12 = f3840x2160-12G 13 = f4096x2160-12G
I44sdi4Structure	R/W	Integer	SDI 出力 4 のカラーシステムと量子化精度

OID	Access	Syntax	説明
{I44sdi4FormatTBL.2}			1 = fYCbCr-422-10bit 2 = fYCbCr-422-12bit 3 = fRGB-444-10bit 4 = fRGB-444-12bit
I44sdi4Framerate {I44sdi4FormatTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のフレーム(フィールド)周波数 1 = f60p 2 = f59p94p 3 = f50p 4 = f48p 5 = f30p 6 = f29p97p 7 = f25p 8 = f47p95p 9 = f24p 10 = f23p98p 11 = f30psf 12 = f29.97psf 13 = f25psf 14 = f24psF 15 = f23p98psf 16 = f60i 17 = f59.94i 18 = f50i
I44sdi4TimingTBL {I44sdi4TBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi40HTiming {I44sdi4TimingTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の基準となるタイミング 1 = serial 2 = legacy
I44sdi4TimingVertical {I44sdi4TimingTBL.2}	R/W	Integer	基準信号に対する SDI 出力 4 のタイミング (ライン単位) ±1124
I44sdi4TimingHorizontal {I44sdi4TimingTBL.3}	R/W	Integer	基準信号に対する SDI 出力 4 のタイミング (ドット単位) ±4124
I44sdi4PatternTBL {I44sdi4TBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi4Pattern {I44sdi4PatternTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のパターン 1 = colorbar100 2 = colorbar75 3 = multiCB100 4 = multiCB75 5 = multiCBplusI 6 = smpteCB 7 = ebuColorbar 8 = bbcColorbar 9 = flatField100

OID	Access	Syntax	説明
			10 = flatField50 11 = flatField0 12 = redFiled 13 = greenField 14 = blueField 15 = checkfield 16 = colorBarUHDTV-STD-B66-2 17 = colorBarHLG 18 = colorBarSLOG3
I44sdi4VideoTBL {I44sdi4TBL.5}	-	Aggregate	-
I44sdi4ComponentTBL {I44sdi4VideoTBL.1}	-	Aggregate	-
I44sdi4Component {I44sdi4ComponentTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の成分 (Y/G-Cb/B-Cr/R) 1 = off-off-off 2 = on-off-off 3 = off-on-off 4 = on-on-off 5 = off-off-on 6 = on-off-on 7 = off-on-on 8 = on-on-on
I44sdi4SafetyAreaTBL {I44sdi4VideoTBL.2}	-	Aggregate	-
I44sdi4SafetyArea90 {I44sdi4SafetyAreaTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の 90%セーフティエリアマーカー 1 = off 2 = on
I44sdi4SafetyArea80 {I44sdi4SafetyAreaTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の 80%セーフティエリアマーカー 1 = off 2 = on
I44sdi4SafetyArea43 {I44sdi4SafetyAreaTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の 4:3 セーフティエリアマーカー 1 = off 2 = on
I44sdi4ScrollTBL {I44sdi4VideoTBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi4Scroll {I44sdi4ScrollTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のスクロール 1 = off 2 = on
I44sdi4ScrollVspeed {I44sdi4ScrollTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の縦方向のスクロール速度と向き ±256
I44sdi4ScrollHspeed {I44sdi4ScrollTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の横方向のスクロール速度と向き ±256
I44sdi4PatternChangeTBL {I44sdi4VideoTBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi4PatternChange {I44sdi4PatternChangeTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のパターンチェンジ 1 = off

OID	Access	Syntax	説明
			2 = on
I44sdi4PatrnChangespeed {I44sdi4PatternChangeTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のパターン切り換え間隔 1 - 255
I44sdi4IdCharacterTBL {I44sdi4VideoTBL.5}	-	Aggregate	-
I44sdi4IdCharacter {I44sdi4IdCharacterTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の ID キャラクター 1 = off 2 = on
I44sdi4IdCharacterVposition {I44sdi4IdCharacterTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の縦方向の ID キャラクター位置 0 - 100
I44sdi4IdCharacterHposition {I44sdi4IdCharacterTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の横方向の ID キャラクター位置 0 - 100
I44sdi4IdCharacterSize {I44sdi4IdCharacterTBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の ID キャラクターのサイズ 1 = x1 2 = x2 3 = x4 4 = x8
I44sdi4IdCharacterLevel {I44sdi4IdCharacterTBL.5}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の ID キャラクターの輝度レベル 1 = per-100 2 = per-75
I44sdi4IdCharacterBlinkTBL {I44sdi4IdCharacterTBL.6}	-	Aggregate	-
I44sdi4IdCharacterBlink {I44sdi4IdCharacterBlinkTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の ID キャラクターの点滅 1 = off 2 = on
I44sdi4IdCharacterBlinkOffTime {I44sdi4IdCharacterBlinkTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の ID キャラクター点滅の消灯時間 1 - 9
I44sdi4IdCharacterBlinkOnTime {I44sdi4IdCharacterBlinkTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の ID キャラクター点滅の点灯時間 1 - 9
I44sdi4IdCharacterScrollTBL {I44sdi4IdCharacterTBL.7}	-	Aggregate	-
I44sdi4IdCharacterScroll {I44sdi4IdCharacterScrollTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の ID キャラクターのスクロール 1 = off 2 = on
I44sdi4IdCharacterScrollSpeed {I44sdi4IdCharacterScrollTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の ID キャラクターのスクロール速度と向き ±256
I44sdi4IdCharacterBackground {I44sdi4IdCharacterTBL.8}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の ID キャラクター背景の透過 1 = off 2 = on
I44sdi4LogoTBL {I44sdi4VideoTBL.6}	-	Aggregate	-
I44sdi4Logo {I44sdi4LogoTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のロゴ 1 = off 2 = on
I44sdi4LogoSelect	R/W	Integer	SDI 出力 4 のロゴ番号

OID	Access	Syntax	説明
{I44sdi4LogoTBL.2}			1 - 4
I44sdi4LogoVposition {I44sdi4LogoTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の縦方向のロゴ位置 0 - 100
I44sdi4LogoHposition {I44sdi4LogoTBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の横方向のロゴ位置 0 - 100
I44sdi4LogoTransParency {I44sdi4LogoTBL.5}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のロゴ透過 1 = off 2 = on
I44sdi4LogoTransParencyLevel {I44sdi4LogoTBL.6}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のロゴ透過レベル 0 - 255
I44sdi4MovingBoxTBL {I44sdi4VideoTBL.7}	-	Aggregate	-
I44sdi4MovingBox {I44sdi4MovingBoxTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のムービングボックス 1 = off 2 = on
I44sdi4MovingBoxColor {I44sdi4MovingBoxTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のムービングボックスの色 1 = white 2 = yellow 3 = cyan 4 = green 5 = blue 6 = red 7 = magenta 8 = black
I44sdi4MovingBoxVspeed {I44sdi4MovingBoxTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の縦方向のムービングボックス速度 1 = low 2 = middle 3 = high
I44sdi4MovingBoxHspeed {I44sdi4MovingBoxTBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の横方向のムービングボックス速度 1 = low 2 = middle 3 = high
I44sdi4MovingBoxVsize {I44sdi4MovingBoxTBL.5}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のムービングボックスの高さ 1 = size1 2 = size2 3 = size3 4 = size4 5 = size5
I44sdi4MovingBoxHsize {I44sdi4MovingBoxTBL.6}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のムービングボックスの幅 1 = size1 2 = size2 3 = size3 4 = size4 5 = size5
I44sdi4CircleTBL {I44sdi4VideoTBL.8}	-	Aggregate	-

OID	Access	Syntax	説明
I44sdi4Circle {I44sdi4CircleTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のサークル 1 = off 2 = on
I44sdi4CircleSize {I44sdi4CircleTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のサークルのサイズ 1 = per-90 2 = per-80 3 = per-70
I44sdi4CircleLevel {I44sdi4CircleTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のサークルの輝度レベル 1 = per-100 2 = per-75
I44sdi4CircleBlinkTBL {I44sdi4CircleTBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi4CircleBlink {I44sdi4CircleBlinkTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のサークルの点滅 1 = off 2 = on
I44sdi4CircleBlinkOffTime {I44sdi4CircleBlinkTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のサークル点滅の消灯時間 1 - 9
I44sdi4CircleBlinkOnTime {I44sdi4CircleBlinkTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のサークル点滅の点灯時間 1 - 9
I44sdi4TimecodeTBL {I44sdi4VideoTBL.9}	-	Aggregate	-
I44sdi4Timecode {I44sdi4TimecodeTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のタイムコード 1 = off 2 = on
I44sdi4TimecodeVposition {I44sdi4TimecodeTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の縦方向のタイムコード位置 0 - 100
I44sdi4TimecodeHposition {I44sdi4TimecodeTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の横方向のタイムコード位置 0 - 100
I44sdi4TimecodeSize {I44sdi4TimecodeTBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のタイムコードのサイズ 1 = x1 2 = x2 3 = x4 4 = x8
I44sdi4TimecodeLevel {I44sdi4TimecodeTBL.5}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のタイムコードの輝度レベル 1 = per-100 2 = per-75
I44sdi4TimecodeBackground {I44sdi4TimecodeTBL.6}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のタイムコード背景の透過 1 = off 2 = on
I44sdi4LipsyncTBL {I44sdi4VideoTBL.10}	-	Aggregate	-
I44sdi4Lipsync {I44sdi4LipsyncTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のリップシンクパターン 1 = off 2 = on
I44sdi4AudioTBL {I44sdi4TBL.6}	-	Aggregate	-

OID	Access	Syntax	説明
I44sdi4AudioGroup1TBL {I44sdi4AudioTBL.1}	-	Aggregate	-
I44sdi4AudioGroup1 {I44sdi4AudioGroup1TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のオーディオグループ 1 1 = off 2 = on
I44sdi4AudioGroup1Ch1TBL {I44sdi4AudioGroup1TBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi4AudioGroup1Ch1Frequency {I44sdi4AudioGroup1Ch1TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH1 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi4AudioGroup1Ch1Level {I44sdi4AudioGroup1Ch1TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH1 のレベル 0 - -60
I44sdi4AudioGroup1Ch1Click {I44sdi4AudioGroup1Ch1TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH1 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi4AudioGroup1Ch2TBL {I44sdi4AudioGroup1TBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi4AudioGroup1Ch2EqualToCh1 {I44sdi4AudioGroup1Ch2TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH2 と CH1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi4AudioGroup1Ch2Frequency {I44sdi4AudioGroup1Ch2TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH2 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi4AudioGroup1Ch2Level {I44sdi4AudioGroup1Ch2TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH2 のレベル 0 - -60
I44sdi4AudioGroup1Ch2Click {I44sdi4AudioGroup1Ch2TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH2 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi4AudioGroup1Ch3TBL {I44sdi4AudioGroup1TBL.5}	-	Aggregate	-
I44sdi4AudioGroup1Ch3EqualToCh1 {I44sdi4AudioGroup1Ch3TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH3 と CH1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi4AudioGroup1Ch3Frequency {I44sdi4AudioGroup1Ch3TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH3 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz

OID	Access	Syntax	説明
I44sdi4AudioGroup1Ch3Level {I44sdi4AudioGroup1Ch3TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH3 のレベル 0 - -60
I44sdi4AudioGroup1Ch3Click {I44sdi4AudioGroup1Ch3TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH3 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi4AudioGroup1Ch4TBL {I44sdi4AudioGroup1TBL.6}	-	Aggregate	-
I44sdi4AudioGroup1Ch4EqualToCh1 {I44sdi4AudioGroup1Ch4TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH4 と CH1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi4AudioGroup1Ch4Frequency {I44sdi4AudioGroup1Ch4TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH4 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi4AudioGroup1Ch4Level {I44sdi4AudioGroup1Ch4TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH4 のレベル 0 - -60
I44sdi4AudioGroup1Ch4Click {I44sdi4AudioGroup1Ch4TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH4 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi4AudioGroup1Resolution {I44sdi4AudioGroup1TBL.7}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のオーディオグループ 1 の分解能 1 = resolution20bit 2 = resolution24bit
I44sdi4AudioGroup1Emphasis {I44sdi4AudioGroup1TBL.8}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のオーディオグループ 1 のプリエンファシスモード 1 = emphasis50-15 2 = ccittl 3 = off
I44sdi4AudioGroup2TBL {I44sdi4AudioTBL.2}	-	Aggregate	-
I44sdi4AudioGroup2 {I44sdi4AudioGroup2TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のオーディオグループ 2 1 = off 2 = on
I44sdi4AudioGroup2EqualToG1 {I44sdi4AudioGroup2TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のオーディオグループ 2 とオーディオグループ 1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi4AudioGroup2Ch5TBL {I44sdi4AudioGroup2TBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi4AudioGroup2Ch5Frequency {I44sdi4AudioGroup2Ch5TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH5 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz

OID	Access	Syntax	説明
			3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi4AudioGroup2Ch5Level {I44sdi4AudioGroup2Ch5TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH5 のレベル 0 - -60
I44sdi4AudioGroup2Ch5Click {I44sdi4AudioGroup2Ch5TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH5 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi4AudioGroup2Ch6TBL {I44sdi4AudioGroup2TBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi4AudioGroup2Ch6EqualToCh5 {I44sdi4AudioGroup2Ch6TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH6 と CH5 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi4AudioGroup2Ch6Frequency {I44sdi4AudioGroup2Ch6TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH6 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi4AudioGroup2Ch6Level {I44sdi4AudioGroup2Ch6TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH6 のレベル 0 - -60
I44sdi4AudioGroup2Ch6Click {I44sdi4AudioGroup2Ch6TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH6 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi4AudioGroup2Ch7TBL {I44sdi4AudioGroup2TBL.5}	-	Aggregate	-
I44sdi4AudioGroup2Ch7EqualToCh5 {I44sdi4AudioGroup2Ch7TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH7 と CH5 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi4AudioGroup2Ch7Frequency {I44sdi4AudioGroup2Ch7TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH7 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi4AudioGroup2Ch7Level {I44sdi4AudioGroup2Ch7TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH7 のレベル 0 - -60
I44sdi4AudioGroup2Ch7Click {I44sdi4AudioGroup2Ch7TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH7 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi4AudioGroup2Ch8TBL {I44sdi4AudioGroup2TBL.6}	-	Aggregate	-
I44sdi4AudioGroup2Ch8EqualToCh5	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH8 と CH5 の共通設定

OID	Access	Syntax	説明
{I44sdi4AudioGroup2Ch8TBL.1}			1 = off 2 = on
I44sdi4AudioGroup2Ch8Frequency {I44sdi4AudioGroup2Ch8TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH8 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi4AudioGroup2Ch8Level {I44sdi4AudioGroup2Ch8TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH8 のレベル 0 - -60
I44sdi4AudioGroup2Ch8Click {I44sdi4AudioGroup2Ch8TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH8 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi4AudioGroup2Resolution {I44sdi4AudioGroup2TBL.7}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のオーディオグループ 2 の分解能 1 = resolution20bit 2 = resolution24bit
I44sdi4AudioGroup2Emphasis {I44sdi4AudioGroup2TBL.8}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のオーディオグループ 2 のプリエンファシスモード 1 = emphasis50-15 2 = ccittl 3 = off
I44sdi4AudioGroup3TBL {I44sdi4AudioTBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi4AudioGroup3 {I44sdi4AudioGroup3TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のオーディオグループ 3 1 = off 2 = on
I44sdi4AudioGroup3EqualToG1 {I44sdi4AudioGroup3TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のオーディオグループ 3 とオーディオグループ 1 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi4AudioGroup3Ch9TBL {I44sdi4AudioGroup3TBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi4AudioGroup3Ch9Frequency {I44sdi4AudioGroup3Ch9TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH9 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi4AudioGroup3Ch9Level {I44sdi4AudioGroup3Ch9TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH9 のレベル 0 - -60
I44sdi4AudioGroup3Ch9Click {I44sdi4AudioGroup3Ch9TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH9 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi4AudioGroup3Ch10TBL	-	Aggregate	-

OID	Access	Syntax	説明
{I44sdi4AudioGroup3TBL.4}			
I44sdi4AudioGroup3Ch10EqualToCh9 {I44sdi4AudioGroup3Ch10TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH10 と CH9 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi4AudioGroup3Ch10Frequency {I44sdi4AudioGroup3Ch10TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH10 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi4AudioGroup3Ch10Level {I44sdi4AudioGroup3Ch10TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH10 のレベル 0 - -60
I44sdi4AudioGroup3Ch10Click {I44sdi4AudioGroup3Ch10TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH10 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi4AudioGroup3Ch11TBL {I44sdi4AudioGroup3TBL.5}	-	Aggregate	-
I44sdi4AudioGroup3Ch11EqualToCh9 {I44sdi4AudioGroup3Ch11TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH11 と CH9 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi4AudioGroup3Ch11Frequency {I44sdi4AudioGroup3Ch11TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH11 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi4AudioGroup3Ch11Level {I44sdi4AudioGroup3Ch11TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH11 のレベル 0 - -60
I44sdi4AudioGroup3Ch11Click {I44sdi4AudioGroup3Ch11TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH11 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi4AudioGroup3Ch12TBL {I44sdi4AudioGroup3TBL.6}	-	Aggregate	-
I44sdi4AudioGroup3Ch12EqualToCh9 {I44sdi4AudioGroup3Ch12TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH12 と CH9 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi4AudioGroup3Ch12Frequency {I44sdi4AudioGroup3Ch12TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH12 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi4AudioGroup3Ch12Level {I44sdi4AudioGroup3Ch12TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH12 のレベル 0 - -60
I44sdi4AudioGroup3Ch12Click	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH12 のクリック挿入間隔

OID	Access	Syntax	説明
{I44sdi4AudioGroup3Ch12TBL.4}			1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi4AudioGroup3Resolution {I44sdi4AudioGroup3TBL.7}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のオーディオグループ 3 の分解能 1 = resolution20bit 2 = resolution24bit
I44sdi4AudioGroup3Emphasis {I44sdi4AudioGroup3TBL.8}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のオーディオグループ 3 のプリエンファシスモード 1 = emphasis50-15 2 = ccittl 3 = off
I44sdi4AudioGroup4TBL {I44sdi4AudioTBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi4AudioGroup4 {I44sdi4AudioGroup4TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のオーディオグループ 4 1 = off 2 = on
I44sdi4AudioGroup4EqualToG3 {I44sdi4AudioGroup4TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のオーディオグループ 4 とオーディオグループ 3 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi4AudioGroup4Ch13TBL {I44sdi4AudioGroup4TBL.3}	-	Aggregate	-
I44sdi4AudioGroup4Ch13Frequency {I44sdi4AudioGroup4Ch13TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH13 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi4AudioGroup4Ch13Level {I44sdi4AudioGroup4Ch13TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH13 のレベル 0 - -60
I44sdi4AudioGroup4Ch13Click {I44sdi4AudioGroup4Ch13TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH13 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi4AudioGroup4Ch14TBL {I44sdi4AudioGroup4TBL.4}	-	Aggregate	-
I44sdi4AudioGroup4Ch14EqualToCh13 {I44sdi4AudioGroup4Ch14TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH14 と CH13 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi4AudioGroup4Ch14Frequency {I44sdi4AudioGroup4Ch14TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の C14 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi4AudioGroup4Ch14Level	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH14 のレベル

OID	Access	Syntax	説明
{I44sdi4AudioGroup4Ch14TBL.3}			0 - -60
I44sdi4AudioGroup4Ch14Click {I44sdi4AudioGroup4Ch14TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH14 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi4AudioGroup4Ch15TBL {I44sdi4AudioGroup4TBL.5}	-	Aggregate	-
I44sdi4AudioGroup4Ch15EqualToCh13 {I44sdi4AudioGroup4Ch15TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH15 と CH13 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi4AudioGroup4Ch15Frequency {I44sdi4AudioGroup4Ch15TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH15 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi4AudioGroup4Ch15Level {I44sdi4AudioGroup4Ch15TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH15 のレベル 0 - -60
I44sdi4AudioGroup4Ch15Click {I44sdi4AudioGroup4Ch15TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH15 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi4AudioGroup4Ch16TBL {I44sdi4AudioGroup4TBL.6}	-	Aggregate	-
I44sdi4AudioGroup4Ch16EqualToCh13 {I44sdi4AudioGroup4Ch16TBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH16 と CH13 の共通設定 1 = off 2 = on
I44sdi4AudioGroup4Ch16Frequency {I44sdi4AudioGroup4Ch16TBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH16 の周波数 1 = silence 2 = freq400Hz 3 = freq800Hz 4 = freq1000Hz
I44sdi4AudioGroup4Ch16Level {I44sdi4AudioGroup4Ch16TBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH16 のレベル 0 - -60
I44sdi4AudioGroup4Ch16Click {I44sdi4AudioGroup4Ch16TBL.4}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の CH16 のクリック挿入間隔 1 = off 2 = click1sec 3 = click2sec 4 = click4sec
I44sdi4AudioGroup4Resolution {I44sdi4AudioGroup4TBL.7}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のオーディオグループ 4 の分解能 1 = resolution20bit 2 = resolution24bit
I44sdi4AudioGroup4Emphasis {I44sdi4AudioGroup4TBL.8}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のオーディオグループ 4 のプリエンファシスモード 1 = emphasis50-15

OID	Access	Syntax	説明
			2 = ccittl 3 = off
I44sdi4AncTBL {I44sdi4TBL.7}	-	Aggregate	-
I44sdi4AtcLtc {I44sdi4AncTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 への LTC 挿入 1 = off 2 = on
I44sdi4AtcVitc {I44sdi4AncTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 への VITC 挿入 1 = off 2 = on
I44sdi4AtcDropFrame {I44sdi4AncTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 のドロップフレーム 1 = off 2 = on
I44sdi4OutputTBL {I44sdi4TBL.8}	-	Aggregate	-
I44sdi4Output {I44sdi4OutputTBL.1}	R/W	Integer	SDI 出力 4 1 = enable 2 = disable
I44sdi4OutputLinktoPtp1Bmca {I44sdi4OutputTBL.2}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の BMCA 連動 (PTP1) 1 = enable 2 = disable
I44sdi4OutputLinktoPtp2Bmca {I44sdi4OutputTBL.3}	R/W	Integer	SDI 出力 4 の BMCA 連動 (PTP2) 1 = enable 2 = disable
I44sdiFrequencyGroup {I44670ser02.5}	R/W	Integer	周波数グループ 1 = freq60-50Hz 2 = freq59p94Hz

## 17.4.11 I44670ser03 グループ

表 17-12 | I44670ser03 グループ

OID	Access	Syntax	説明
I44ptp1TBL {I44670ser03.1}	-	Aggregate	-
I44ptp1Mode {I44ptp1TBL.1}	R/W	Integer	PTP1 のモード 1 = enable-leader 2 = disable-leader 3 = follower
I44ptp1Bmca {I44ptp1TBL.2}	R/W	Integer	PTP1 の BMCA 1 = enable 2 = enable-only-once 3 = disable
I44ptp1PriorityRecovery {I44ptp1TBL.3}	W/O	Integer	PTP1 の優先順位 1 復旧 1 = 固定
I44ptp1ProfileType {I44ptp1TBL.4}	R/W	Integer	PTP1 のプロファイル 1 = st2059

OID	Access	Syntax	説明
			2 = aes67 3 = general
I44ptp1DetailSettingTBL {I44ptp1TBL.5}	-	Aggregate	-
I44ptp1ProfileSetDefault {I44ptp1DetailSettingTBL.1}	W/O	Integer	PTP1 のプロファイル初期化 1 = 固定
I44ptp1Domain {I44ptp1DetailSettingTBL.2}	R/W	Integer	PTP1 のドメイン番号 0 - 255
I44ptp1CommunicationMode {I44ptp1DetailSettingTBL.3}	R/W	Integer	PTP1 のコミュニケーションモード 1 = mixed-smpte 2 = mixed-smpte-wo-ne 3 = unicast 4 = multicast
I44ptp1AnnounceInterval {I44ptp1DetailSettingTBL.4}	R/W	Integer	PTP1 のアナウンスメッセージの送信間隔 1 = f0p125s-8Hz 2 = f0p25s-4Hz 3 = f0p5s-2Hz 4 = f1s-1Hz 5 = f2s-0p5Hz 6 = f4s-0p25Hz 7 = f8s-0p125Hz 8 = f16s-0p0625Hz
I44ptp1SyncInterval {I44ptp1DetailSettingTBL.5}	R/W	Integer	PTP1 のシンクメッセージの送信間隔 1 = f0p0078s-128Hz 2 = f0p015s-64Hz 3 = f0p0312s-32Hz 4 = f0p0625s-16Hz 5 = f0p125s-8Hz 6 = f0p25s-4Hz 7 = f0p5s-2Hz 8 = f1s-1Hz 9 = f2s-0p5Hz 10 = f4s-0p25Hz 11 = f8s-0p125Hz 12 = f16s-0p0625Hz
I44ptp1Priority1 {I44ptp1DetailSettingTBL.6}	R/W	Integer	PTP1 の優先順位 1 0 - 255
I44ptp1Priority2 {I44ptp1DetailSettingTBL.7}	R/W	Integer	PTP1 の優先順位 2 0 - 255
I44ptp1Step {I44ptp1DetailSettingTBL.8}	R/W	Integer	PTP1 のステップ 1 = one-step 2 = two-step
I44ptp1DefaultFrame {I44ptp1DetailSettingTBL.9}	R/W	Integer	PTP1 のデフォルトフレーム 2 = f23p98 3 = f24 4 = f25

OID	Access	Syntax	説明
			5 = f29p97 6 = f30 7 = f47p95 8 = f48 9 = f50 10 = f59p94 11 = f60 12 = f71p92 13 = f72 14 = f100 15 = f119p9 16 = f120
I44ptp1DropFrame {I44ptp1DetailSettingTBL.10}	R/W	Integer	PTP1 のドロップフレーム 1 = enable 2 = disable
I44ptp1ColorFrame {I44ptp1DetailSettingTBL.11}	R/W	Integer	PTP1 のカラーフレーム ID 1 = enable 2 = disable
I44ptp1AnnounceTimeout {I44ptp1DetailSettingTBL.12}	R/W	Integer	PTP1 のタイムアウトと判定するアナウンスメッセージ数 2 - 10
I44ptp1DelayMechanism {I44ptp1DetailSettingTBL.13}	R/W	Integer	PTP1 の伝播時間の測定方法 1 = end-to-end 2 = peer-to-peer
I44ptp1AmtrationTBL {I44ptp1DetailSettingTBL.14}	-	Aggregate	-
I44ptp1AmtrationIP1 {I44ptp1AmtrationTBL.1}	R/W	IpAddress	PTP1 が接続するリーダー1 の IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ptp1AmtrationIP2 {I44ptp1AmtrationTBL.2}	R/W	IpAddress	PTP1 が接続するリーダー2 の IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ptp1AmtrationIP3 {I44ptp1AmtrationTBL.3}	R/W	IpAddress	PTP1 が接続するリーダー3 の IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ptp1AmtrationIP4 {I44ptp1AmtrationTBL.4}	R/W	IpAddress	PTP1 が接続するリーダー4 の IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ptp1AmtrationIP5 {I44ptp1AmtrationTBL.5}	R/W	IpAddress	PTP1 が接続するリーダー5 の IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ptp1AmtrationIP6 {I44ptp1AmtrationTBL.6}	R/W	IpAddress	PTP1 が接続するリーダー6 の IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ptp1AmtrationIP7 {I44ptp1AmtrationTBL.7}	R/W	IpAddress	PTP1 が接続するリーダー7 の IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ptp1AmtrationIP8 {I44ptp1AmtrationTBL.8}	R/W	IpAddress	PTP1 が接続するリーダー8 の IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ptp1AsymmetricDelay {I44ptp1DetailSettingTBL.15}	R/W	Integer	PTP1 の位相補正量 ±20.000(±20000)
I44ptp1DelayMsgInterval {I44ptp1DetailSettingTBL.16}	R/W	Integer	PTP1 のディレイメッセージの送信間隔 1 = f0p0078s-128Hz

OID	Access	Syntax	説明
			2 = f0p015s-64Hz 3 = f0p0312s-32Hz 4 = f0p0625s-16Hz 5 = f0p125s-8Hz 6 = f0p25s-4Hz 7 = f0p5s-2Hz 8 = f1s-1Hz 9 = f2s-0p5Hz 10 = f4s-0p25Hz 11 = f8s-0p125Hz 12 = f16s-0p0625Hz
l44ptp1AnnounceDesirInt {l44ptp1DetailSettingTBL.17}	R/W	Integer	PTP1 の希望するアナウンスメッセージの送信間隔 1 = f0p125s-8Hz 2 = f0p25s-4Hz 3 = f0p5s-2Hz 4 = f1s-1Hz 5 = f2s-0p5Hz 6 = f4s-0p25Hz 7 = f8s-0p125Hz 8 = f16s-0p0625Hz
l44ptp1AnnounceReqdInt {l44ptp1DetailSettingTBL.18}	R/W	Integer	PTP1 のアナウンスメッセージの受信間隔 1 = f0p125s-8Hz 2 = f0p25s-4Hz 3 = f0p5s-2Hz 4 = f1s-1Hz 5 = f2s-0p5Hz 6 = f4s-0p25Hz 7 = f8s-0p125Hz 8 = f16s-0p0625Hz
l44ptp1SyncDesirInt {l44ptp1DetailSettingTBL.19}	R/W	Integer	PTP1 の希望するシンクメッセージの送信間隔 1 = f0p0078s-128Hz 2 = f0p015s-64Hz 3 = f0p0312s-32Hz 4 = f0p0625s-16Hz 5 = f0p125s-8Hz 6 = f0p25s-4Hz 7 = f0p5s-2Hz 8 = f1s-1Hz 9 = f2s-0p5Hz 10 = f4s-0p25Hz 11 = f8s-0p125Hz
l44ptp1SyncReqdInt {l44ptp1DetailSettingTBL.20}	R/W	Integer	PTP1 のシンクメッセージの受信間隔 1 = f0p0078s-128Hz 2 = f0p015s-64Hz 3 = f0p0312s-32Hz 4 = f0p0625s-16Hz

OID	Access	Syntax	説明
			5 = f0p125s-8Hz 6 = f0p25s-4Hz 7 = f0p5s-2Hz 8 = f1s-1Hz 9 = f2s-0p5Hz 10 = f4s-0p25Hz 11 = f8s-0p125Hz
I44ptp1DlyMsgDesirInt {I44ptp1DetailSettingTBL.21}	R/W	Integer	PTP1 の希望するディレイメッセージの送信間隔 1 = f0p0078s-128Hz 2 = f0p015s-64Hz 3 = f0p0312s-32Hz 4 = f0p0625s-16Hz 5 = f0p125s-8Hz 6 = f0p25s-4Hz 7 = f0p5s-2Hz 8 = f1s-1Hz 9 = f2s-0p5Hz 10 = f4s-0p25Hz 11 = f8s-0p125Hz 12 = f16s-0p0625Hz
I44ptp1DlyMsgReqdInt {I44ptp1DetailSettingTBL.22}	R/W	Integer	PTP1 のディレイメッセージの受信間隔 1 = f0p0078s-128Hz 2 = f0p015s-64Hz 3 = f0p0312s-32Hz 4 = f0p0625s-16Hz 5 = f0p125s-8Hz 6 = f0p25s-4Hz 7 = f0p5s-2Hz 8 = f1s-1Hz 9 = f2s-0p5Hz 10 = f4s-0p25Hz 11 = f8s-0p125Hz 12 = f16s-0p0625Hz
I44ptp2TBL {I4670ser03.2}	-	Aggregate	-
I44ptp2Mode {I44ptp2TBL.1}	R/W	Integer	PTP2 のモード 1 = enable-leader 2 = disable-leader 3 = follower
I44ptp2Bmca {I44ptp2TBL.2}	R/W	Integer	PTP2 の BMCA 1 = enable 2 = enable-only-once 3 = disable
I44ptp2PriorityRecovery {I44ptp2TBL.3}	W/O	Integer	PTP2 の優先順位 1 復旧 1 = 固定
I44ptp2ProfileType	R/W	Integer	PTP2 のプロファイル

OID	Access	Syntax	説明
{I44ptp2TBL.4}			1 = st2059 2 = aes67 3 = general
I44ptp2DetailSettingTBL {I44ptp2TBL.5}	-	Aggregate	-
I44ptp2ProfileSetDefault {I44ptp2DetailSettingTBL.1}	W/O	Integer	PTP2のプロファイル初期化 1 = 固定
I44ptp2Domain {I44ptp2DetailSettingTBL.2}	R/W	Integer	PTP2のドメイン番号 0 - 255
I44ptp2CommunicationMode {I44ptp2DetailSettingTBL.3}	R/W	Integer	PTP2のコミュニケーションモード 1 = mixed-smpte 2 = mixed-smpte-wo-ne 3 = unicast 4 = multicast
I44ptp2AnnounceInterval {I44ptp2DetailSettingTBL.4}	R/W	Integer	PTP2のアナウンスメッセージの送信間隔 1 = f0p125s-8Hz 2 = f0p25s-4Hz 3 = f0p5s-2Hz 4 = f1s-1Hz 5 = f2s-0p5Hz 6 = f4s-0p25Hz 7 = f8s-0p125Hz 8 = f16s-0p0625Hz
I44ptp2SyncInterval {I44ptp2DetailSettingTBL.5}	R/W	Integer	PTP2のシンクメッセージの送信間隔 1 = f0p0078s-128Hz 2 = f0p015s-64Hz 3 = f0p0312s-32Hz 4 = f0p0625s-16Hz 5 = f0p125s-8Hz 6 = f0p25s-4Hz 7 = f0p5s-2Hz 8 = f1s-1Hz 9 = f2s-0p5Hz 10 = f4s-0p25Hz 11 = f8s-0p125Hz 12 = f16s-0p0625Hz
I44ptp2Priority1 {I44ptp2DetailSettingTBL.6}	R/W	Integer	PTP2の優先順位 1 0 - 255
I44ptp2Priority2 {I44ptp2DetailSettingTBL.7}	R/W	Integer	PTP2の優先順位 2 0 - 255
I44ptp2Step {I44ptp2DetailSettingTBL.8}	R/W	Integer	PTP2のステップ 1 = one-step 2 = two-step
I44ptp2DefaultFrame {I44ptp2DetailSettingTBL.9}	R/W	Integer	PTP2のデフォルトフレーム 2 = f23p98 3 = f24

OID	Access	Syntax	説明
			4 = f25 5 = f29p97 6 = f30 7 = f47p95 8 = f48 9 = f50 10 = f59p94 11 = f60 12 = f71p92 13 = f72 14 = f100 15 = f119p9 16 = f120
l44ptp2DropFrame {l44ptp2DetailSettingTBL.10}	R/W	Integer	PTP2 のドロップフレーム 1 = enable 2 = disable
l44ptp2ColorFrame {l44ptp2DetailSettingTBL.11}	R/W	Integer	PTP2 のカラーフレーム ID 1 = enable 2 = disable
l44ptp2AnnounceTimeout {l44ptp2DetailSettingTBL.12}	R/W	Integer	PTP2 のタイムアウトと判定するアナウンスメッセージ数 2 - 10
l44ptp2DelayMechanism {l44ptp2DetailSettingTBL.13}	R/W	Integer	PTP2 の伝播時間の測定方法 1 = end-to-end 2 = peer-to-peer
l44ptp2AmtrationTBL {l44ptp2DetailSettingTBL.14}	-	Aggregate	-
l44ptp2AmtrationIP1 {l44ptp2AmtrationTBL.1}	R/W	IpAddress	PTP2 が接続するリーダー1 の IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
l44ptp2AmtrationIP2 {l44ptp2AmtrationTBL.2}	R/W	IpAddress	PTP2 が接続するリーダー2 の IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
l44ptp2AmtrationIP3 {l44ptp2AmtrationTBL.3}	R/W	IpAddress	PTP2 が接続するリーダー3 の IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
l44ptp2AmtrationIP4 {l44ptp2AmtrationTBL.4}	R/W	IpAddress	PTP2 が接続するリーダー4 の IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
l44ptp2AmtrationIP5 {l44ptp2AmtrationTBL.5}	R/W	IpAddress	PTP2 が接続するリーダー5 の IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
l44ptp2AmtrationIP6 {l44ptp2AmtrationTBL.6}	R/W	IpAddress	PTP2 が接続するリーダー6 の IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
l44ptp2AmtrationIP7 {l44ptp2AmtrationTBL.7}	R/W	IpAddress	PTP2 が接続するリーダー7 の IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
l44ptp2AmtrationIP8 {l44ptp2AmtrationTBL.8}	R/W	IpAddress	PTP2 が接続するリーダー8 の IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
l44ptp2AsymmetricDelay {l44ptp2DetailSettingTBL.15}	R/W	Integer	PTP2 の位相補正量 ±20.000(±20000)
l44ptp2DelayMsgInterval	R/W	Integer	PTP2 のディレイメッセージの送信間隔

OID	Access	Syntax	説明
{I44ptp2DetailSettingTBL.16}			1 = f0p0078s-128Hz 2 = f0p015s-64Hz 3 = f0p0312s-32Hz 4 = f0p0625s-16Hz 5 = f0p125s-8Hz 6 = f0p25s-4Hz 7 = f0p5s-2Hz 8 = f1s-1Hz 9 = f2s-0p5Hz 10 = f4s-0p25Hz 11 = f8s-0p125Hz 12 = f16s-0p0625Hz
I44ptp2AnnounceDesirInt {I44ptp2DetailSettingTBL.17}	R/W	Integer	PTP2 の希望するアナウンスメッセージの送信間隔 1 = f0p125s-8Hz 2 = f0p25s-4Hz 3 = f0p5s-2Hz 4 = f1s-1Hz 5 = f2s-0p5Hz 6 = f4s-0p25Hz 7 = f8s-0p125Hz 8 = f16s-0p0625Hz
I44ptp2AnnounceReqdInt {I44ptp2DetailSettingTBL.18}	R/W	Integer	PTP2 のアナウンスメッセージの受信間隔 1 = f0p125s-8Hz 2 = f0p25s-4Hz 3 = f0p5s-2Hz 4 = f1s-1Hz 5 = f2s-0p5Hz 6 = f4s-0p25Hz 7 = f8s-0p125Hz 8 = f16s-0p0625Hz
I44ptp2SyncDesirInt {I44ptp2DetailSettingTBL.19}	R/W	Integer	PTP2 の希望するシンクメッセージの送信間隔 1 = f0p0078s-128Hz 2 = f0p015s-64Hz 3 = f0p0312s-32Hz 4 = f0p0625s-16Hz 5 = f0p125s-8Hz 6 = f0p25s-4Hz 7 = f0p5s-2Hz 8 = f1s-1Hz 9 = f2s-0p5Hz 10 = f4s-0p25Hz 11 = f8s-0p125Hz
I44ptp2SyncReqdInt {I44ptp2DetailSettingTBL.20}	R/W	Integer	PTP2 のシンクメッセージの受信間隔 1 = f0p0078s-128Hz 2 = f0p015s-64Hz 3 = f0p0312s-32Hz

OID	Access	Syntax	説明
			4 = f0p0625s-16Hz 5 = f0p125s-8Hz 6 = f0p25s-4Hz 7 = f0p5s-2Hz 8 = f1s-1Hz 9 = f2s-0p5Hz 10 = f4s-0p25Hz 11 = f8s-0p125Hz
l44ptp2DlyMsgDesirInt {l44ptp2DetailSettingTBL.21}	R/W	Integer	PTP2 の希望するディレイメッセージの送信間隔 1 = f0p0078s-128Hz 2 = f0p015s-64Hz 3 = f0p0312s-32Hz 4 = f0p0625s-16Hz 5 = f0p125s-8Hz 6 = f0p25s-4Hz 7 = f0p5s-2Hz 8 = f1s-1Hz 9 = f2s-0p5Hz 10 = f4s-0p25Hz 11 = f8s-0p125Hz 12 = f16s-0p0625Hz
l44ptp2DlyMsgReqdInt {l44ptp2DetailSettingTBL.22}	R/W	Integer	PTP2 のディレイメッセージの受信間隔 1 = f0p0078s-128Hz 2 = f0p015s-64Hz 3 = f0p0312s-32Hz 4 = f0p0625s-16Hz 5 = f0p125s-8Hz 6 = f0p25s-4Hz 7 = f0p5s-2Hz 8 = f1s-1Hz 9 = f2s-0p5Hz 10 = f4s-0p25Hz 11 = f8s-0p125Hz 12 = f16s-0p0625Hz

## 17.4.12 lt4670ser04 グループ

表 17-13 | lt4670ser04 グループ

OID	Access	Syntax	説明
l44ipTBL {lt4670ser04.1}	-	Aggregate	-
l44ipType {l44ipTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力の規格 1 = st2022-6 2 = st2110
l44ip1ConfigTBL {l44ipTBL.3}	-	Aggregate	-

OID	Access	Syntax	説明
I44ip1Output {I44ip1ConfigTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 1 1 = off 2 = on
I44ip1StreamTBL {I44ip1ConfigTBL.3}	-	Aggregate	-
I44ip1Stream1TBL {I44ip1StreamTBL.1}	-	Aggregate	-
I44ip1Stream1VideoTBL {I44ip1Stream1TBL.1}	-	Aggregate	-
I44ip1Stream1VideoPayload {I44ip1Stream1VideoTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 1/ビデオのペイロードタイプ 96 - 127
I44ip1Stream1VideoVlanEnable {I44ip1Stream1VideoTBL.2}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 1/ビデオの VLAN 設定 1 = off 2 = on
I44ip1Stream1VideoVlanTag {I44ip1Stream1VideoTBL.3}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 1/ビデオの VLAN タグ 1 - 4096
I44ip1Stream1VideoDscpEnable {I44ip1Stream1VideoTBL.4}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 1/ビデオの DSCP 設定 1 = off 2 = on
I44ip1Stream1VideoDscpTag {I44ip1Stream1VideoTBL.5}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 1/ビデオの DSCP タグ 0 - 63
I44ip1Stream1VideoDestAddress {I44ip1Stream1VideoTBL.6}	R/O	IpAddress	IP 出力 1/ストリーム 1/ビデオの宛先 IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip1Stream1VideoDestPort {I44ip1Stream1VideoTBL.7}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 1/ビデオの宛先ポート番号 0 - 65535
I44ip1Stream1VideoSdi {I44ip1Stream1VideoTBL.8}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 1/ビデオ 1 = off 2 = on
I44ip1Stream1AudioTBL {I44ip1Stream1TBL.2}	-	Aggregate	-
I44ip1Stream1AudioPayload {I44ip1Stream1AudioTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 1/オーディオのペイロードタイプ 96 - 127
I44ip1Stream1AudioVlanEnable {I44ip1Stream1AudioTBL.2}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 1/オーディオの VLAN 設定 1 = off 2 = on
I44ip1Stream1AudioVlanTag {I44ip1Stream1AudioTBL.3}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 1/オーディオの VLAN タグ 1 - 4096
I44ip1Stream1AudioDscpEnable {I44ip1Stream1AudioTBL.4}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 1/オーディオの DSCP 設定 1 = off 2 = on
I44ip1Stream1AudioDscpTag {I44ip1Stream1AudioTBL.5}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 1/オーディオの DSCP タグ 0 - 63
I44ip1Stream1AudioMode {I44ip1Stream1AudioTBL.6}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 1/オーディオの規格 1 = st2110-30 2 = st2110-31

OID	Access	Syntax	説明
I44ip1Stream1AudioPacketTime {I44ip1Stream1AudioTBL.7}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 1/オーディオの packets タイム 1 = time-1ms 2 = time-125us
I44ip1Stream1AudioDestAddress {I44ip1Stream1AudioTBL.24}	R/O	IpAddress	IP 出力 1/ストリーム 1/オーディオの宛先 IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip1Stream1AudioDestPort {I44ip1Stream1AudioTBL.25}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 1/オーディオの宛先ポート番号 0 - 65535
I44ip1Stream1AudioSdi {I44ip1Stream1AudioTBL.26}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 1/オーディオ 1 = off 2 = on
I44ip1Stream1AncTBL {I44ip1Stream1TBL.3}	-	Aggregate	-
I44ip1Stream1AncPayload {I44ip1Stream1AncTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 1/ANC のペイロードタイプ 96 - 127
I44ip1Stream1AncVlanEnable {I44ip1Stream1AncTBL.2}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 1/ANC の VLAN 設定 1 = off 2 = on
I44ip1Stream1AncVlanTag {I44ip1Stream1AncTBL.3}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 1/ANC の VLAN タグ 1 - 4096
I44ip1Stream1AncDscpEnable {I44ip1Stream1AncTBL.4}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 1/ANC の DSCP 設定 1 = off 2 = on
I44ip1Stream1AncDscpTag {I44ip1Stream1AncTBL.5}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 1/ANC の DSCP タグ 0 - 63
I44ip1Stream1AncDestAddress {I44ip1Stream1AncTBL.6}	R/O	IpAddress	IP 出力 1/ストリーム 1/ANC の宛先 IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip1Stream1AncDestPort {I44ip1Stream1AncTBL.7}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 1/ANC の宛先ポート番号 0 - 65535
I44ip1Stream1AncSdi {I44ip1Stream1AncTBL.8}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 1/ANC 1 = off 2 = on
I44ip1Stream2TBL {I44ip1StreamTBL.2}	-	Aggregate	-
I44ip1Stream2VideoTBL {I44ip1Stream2TBL.1}	-	Aggregate	-
I44ip1Stream2VideoPayload {I44ip1Stream2VideoTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 2/ビデオのペイロードタイプ 96 - 127
I44ip1Stream2VideoVlanEnable {I44ip1Stream2VideoTBL.2}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 2/ビデオの VLAN 設定 1 = off 2 = on
I44ip1Stream2VideoVlanTag {I44ip1Stream2VideoTBL.3}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 2/ビデオの VLAN タグ 1 - 4096
I44ip1Stream2VideoDscpEnable	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 2/ビデオの DSCP 設定

OID	Access	Syntax	説明
{I44ip1Stream2VideoTBL.4}			1 = off 2 = on
I44ip1Stream2VideoDscpTag {I44ip1Stream2VideoTBL.5}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 2/ビデオの DSCP タグ 0 - 63
I44ip1Stream2VideoDestAddress {I44ip1Stream2VideoTBL.6}	R/O	IpAddress	IP 出力 1/ストリーム 2/ビデオの宛先 IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip1Stream2VideoDestPort {I44ip1Stream2VideoTBL.7}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 2/ビデオの宛先ポート番号 0 - 65535
I44ip1Stream2VideoSdi {I44ip1Stream2VideoTBL.8}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 2/ビデオ 1 = off 2 = on
I44ip1Stream2AudioTBL {I44ip1Stream2TBL.2}	-	Aggregate	-
I44ip1Stream2AudioPayload {I44ip1Stream2AudioTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 2/オーディオのペイロードタイプ 96 - 127
I44ip1Stream2AudioVlanEnable {I44ip1Stream2AudioTBL.2}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 2/オーディオの VLAN 設定 1 = off 2 = on
I44ip1Stream2AudioVlanTag {I44ip1Stream2AudioTBL.3}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 2/オーディオの VLAN タグ 1 - 4096
I44ip1Stream2AudioDscpEnable {I44ip1Stream2AudioTBL.4}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 2/オーディオの DSCP 設定 1 = off 2 = on
I44ip1Stream2AudioDscpTag {I44ip1Stream2AudioTBL.5}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 2/オーディオの DSCP タグ 0 - 63
I44ip1Stream2AudioMode {I44ip1Stream2AudioTBL.6}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 2/オーディオの規格 1 = st2110-30 2 = st2110-31
I44ip1Stream2AudioPacketTime {I44ip1Stream2AudioTBL.7}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 2/オーディオのパケットタイム 1 = time-1ms 2 = time-125us
I44ip1Stream2AudioDestAddress {I44ip1Stream2AudioTBL.24}	R/O	IpAddress	IP 出力 1/ストリーム 2/オーディオの宛先 IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip1Stream2AudioDestPort {I44ip1Stream2AudioTBL.25}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 2/オーディオの宛先ポート番号 0 - 65535
I44ip1Stream2AudioSdi {I44ip1Stream2AudioTBL.26}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 2/オーディオ 1 = off 2 = on
I44ip1Stream2AncTBL {I44ip1Stream2TBL.3}	-	Aggregate	-
I44ip1Stream2AncPayload {I44ip1Stream2AncTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 2/ANC のペイロードタイプ 96 - 127

OID	Access	Syntax	説明
I44ip1Stream2AncVlanEnable {I44ip1Stream2AncTBL.2}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 2/ANC の VLAN 設定 1 = off 2 = on
I44ip1Stream2AncVlanTag {I44ip1Stream2AncTBL.3}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 2/ANC の VLAN タグ 1 - 4096
I44ip1Stream2AncDscpEnable {I44ip1Stream2AncTBL.4}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 2/ANC の DSCP 設定 1 = off 2 = on
I44ip1Stream2AncDscpTag {I44ip1Stream2AncTBL.5}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 2/ANC の DSCP タグ 0 - 63
I44ip1Stream2AncDestAddress {I44ip1Stream2AncTBL.6}	R/O	IpAddress	IP 出力 1/ストリーム 2/ANC の宛先 IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip1Stream2AncDestPort {I44ip1Stream2AncTBL.7}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 2/ANC の宛先ポート番号 0 - 65535
I44ip1Stream2AncSdi {I44ip1Stream2AncTBL.8}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 2/ANC 1 = off 2 = on
I44ip1Stream3TBL {I44ip1StreamTBL.1}	-	Aggregate	-
I44ip1Stream3VideoTBL {I44ip1Stream3TBL.1}	-	Aggregate	-
I44ip1Stream3VideoPayload {I44ip1Stream3VideoTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 3/ビデオのペイロードタイプ 96 - 127
I44ip1Stream3VideoVlanEnable {I44ip1Stream3VideoTBL.2}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 3/ビデオの VLAN 設定 1 = off 2 = on
I44ip1Stream3VideoVlanTag {I44ip1Stream3VideoTBL.3}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 3/ビデオの VLAN タグ 1 - 4096
I44ip1Stream3VideoDscpEnable {I44ip1Stream3VideoTBL.4}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 3/ビデオの DSCP 設定 1 = off 2 = on
I44ip1Stream3VideoDscpTag {I44ip1Stream3VideoTBL.5}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 3/ビデオの DSCP タグ 0 - 63
I44ip1Stream3VideoDestAddress {I44ip1Stream3VideoTBL.6}	R/O	IpAddress	IP 出力 1/ストリーム 3/ビデオの宛先 IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip1Stream3VideoDestPort {I44ip1Stream3VideoTBL.7}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 3/ビデオの宛先ポート番号 0 - 65535
I44ip1Stream3VideoSdi {I44ip1Stream3VideoTBL.8}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 3/ビデオ 1 = off 2 = on
I44ip1Stream3AudioTBL {I44ip1Stream3TBL.2}	-	Aggregate	-
I44ip1Stream3AudioPayload {I44ip1Stream3AudioTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 3/オーディオのペイロードタイプ 96 - 127
I44ip1Stream3AudioVlanEnable	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 3/オーディオの VLAN 設定

OID	Access	Syntax	説明
{I44ip1Stream3AudioTBL.2}			1 = off 2 = on
I44ip1Stream3AudioVlanTag {I44ip1Stream3AudioTBL.3}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 3/オーディオの VLAN タグ 1 - 4096
I44ip1Stream3AudioDscpEnable {I44ip1Stream3AudioTBL.4}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 3/オーディオの DSCP 設定 1 = off 2 = on
I44ip1Stream3AudioDscpTag {I44ip1Stream3AudioTBL.5}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 3/オーディオの DSCP タグ 0 - 63
I44ip1Stream3AudioMode {I44ip1Stream3AudioTBL.6}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 3/オーディオの規格 1 = st2110-30 2 = st2110-31
I44ip1Stream3AudioPacketTime {I44ip1Stream3AudioTBL.7}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 3/オーディオのパケットタイム 1 = time-1ms 2 = time-125us
I44ip1Stream3AudioDestAddress {I44ip1Stream3AudioTBL.24}	R/O	IpAddress	IP 出力 1/ストリーム 3/オーディオの宛先 IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip1Stream3AudioDestPort {I44ip1Stream3AudioTBL.25}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 3/オーディオの宛先ポート番号 0 - 65535
I44ip1Stream3AudioSdi {I44ip1Stream3AudioTBL.26}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 3/オーディオ 1 = off 2 = on
I44ip1Stream3AncTBL {I44ip1Stream3TBL.3}	-	Aggregate	-
I44ip1Stream3AncPayload {I44ip1Stream3AncTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 3/ANC のペイロードタイプ 96 - 127
I44ip1Stream3AncVlanEnable {I44ip1Stream3AncTBL.2}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 3/ANC の VLAN 設定 1 = off 2 = on
I44ip1Stream3AncVlanTag {I44ip1Stream3AncTBL.3}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 3/ANC の VLAN タグ 1 - 4096
I44ip1Stream3AncDscpEnable {I44ip1Stream3AncTBL.4}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 3/ANC の DSCP 設定 1 = off 2 = on
I44ip1Stream3AncDscpTag {I44ip1Stream3AncTBL.5}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 3/ANC の DSCP タグ 0 - 63
I44ip1Stream3AncDestAddress {I44ip1Stream3AncTBL.6}	R/O	IpAddress	IP 出力 1/ストリーム 3/ANC の宛先 IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip1Stream3AncDestPort {I44ip1Stream3AncTBL.7}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 3/ANC の宛先ポート番号 0 - 65535
I44ip1Stream3AncSdi {I44ip1Stream3AncTBL.8}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 3/ANC 1 = off 2 = on

OID	Access	Syntax	説明
I44ip1Stream4TBL {I44ip1StreamTBL.2}	-	Aggregate	-
I44ip1Stream4VideoTBL {I44ip1Stream4TBL.1}	-	Aggregate	-
I44ip1Stream4VideoPayload {I44ip1Stream4VideoTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 4/ビデオのペイロードタイプ 96 - 127
I44ip1Stream4VideoVlanEnable {I44ip1Stream4VideoTBL.2}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 4/ビデオの VLAN 設定 1 = off 2 = on
I44ip1Stream4VideoVlanTag {I44ip1Stream4VideoTBL.3}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 4/ビデオの VLAN タグ 1 - 4096
I44ip1Stream4VideoDscpEnable {I44ip1Stream4VideoTBL.4}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 4/ビデオの DSCP 設定 1 = off 2 = on
I44ip1Stream4VideoDscpTag {I44ip1Stream4VideoTBL.5}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 4/ビデオの DSCP タグ 0 - 63
I44ip1Stream4VideoDestAddress {I44ip1Stream4VideoTBL.6}	R/O	IpAddress	IP 出力 1/ストリーム 4/ビデオの宛先 IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip1Stream4VideoDestPort {I44ip1Stream4VideoTBL.7}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 4/ビデオの宛先ポート番号 0 - 65535
I44ip1Stream4VideoSdi {I44ip1Stream4VideoTBL.8}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 4/ビデオ 1 = off 2 = on
I44ip1Stream4AudioTBL {I44ip1Stream4TBL.2}	-	Aggregate	-
I44ip1Stream4AudioPayload {I44ip1Stream4AudioTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 4/オーディオのペイロードタイプ 96 - 127
I44ip1Stream4AudioVlanEnable {I44ip1Stream4AudioTBL.2}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 4/オーディオの VLAN 設定 1 = off 2 = on
I44ip1Stream4AudioVlanTag {I44ip1Stream4AudioTBL.3}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 4/オーディオの VLAN タグ 1 - 4096
I44ip1Stream4AudioDscpEnable {I44ip1Stream4AudioTBL.4}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 4/オーディオの DSCP 設定 1 = off 2 = on
I44ip1Stream4AudioDscpTag {I44ip1Stream4AudioTBL.5}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 4/オーディオの DSCP タグ 0 - 63
I44ip1Stream4AudioMode {I44ip1Stream4AudioTBL.6}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 4/オーディオの規格 1 = st2110-30 2 = st2110-31
I44ip1Stream4AudioPacketTime {I44ip1Stream4AudioTBL.7}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 4/オーディオのパケットタイム 1 = time-1ms 2 = time-125us
I44ip1Stream4AudioDestAddress	R/O	IpAddress	IP 出力 1/ストリーム 4/オーディオの宛先 IP アドレス

OID	Access	Syntax	説明
{I44ip1Stream4AudioTBL.24}			ス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip1Stream4AudioDestPort {I44ip1Stream4AudioTBL.25}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 4/オーディオの宛先ポート番号 0 - 65535
I44ip1Stream4AudioSdi {I44ip1Stream4AudioTBL.26}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 4/オーディオ 1 = off 2 = on
I44ip1Stream4AncTBL {I44ip1Stream4TBL.3}	-	Aggregate	-
I44ip1Stream4AncPayload {I44ip1Stream4AncTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 4/ANC のペイロードタイプ 96 - 127
I44ip1Stream4AncVlanEnable {I44ip1Stream4AncTBL.2}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 4/ANC の VLAN 設定 1 = off 2 = on
I44ip1Stream4AncVlanTag {I44ip1Stream4AncTBL.3}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 4/ANC の VLAN タグ 1 - 4096
I44ip1Stream4AncDscpEnable {I44ip1Stream4AncTBL.4}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 4/ANC の DSCP 設定 1 = off 2 = on
I44ip1Stream4AncDscpTag {I44ip1Stream4AncTBL.5}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 4/ANC の DSCP タグ 0 - 63
I44ip1Stream4AncDestAddress {I44ip1Stream4AncTBL.6}	R/O	IpAddress	IP 出力 1/ストリーム 4/ANC の宛先 IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip1Stream4AncDestPort {I44ip1Stream4AncTBL.7}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 4/ANC の宛先ポート番号 0 - 65535
I44ip1Stream4AncSdi {I44ip1Stream4AncTBL.8}	R/W	Integer	IP 出力 1/ストリーム 4/ANC 1 = off 2 = on
I44ip2ConfigTBL {I44ip2TBL.4}	-	Aggregate	-
I44ip2Output {I44ip2ConfigTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 2 1 = off 2 = on
I44ip2StreamTBL {I44ip2ConfigTBL.3}	-	Aggregate	-
I44ip2Stream1TBL {I44ip2StreamTBL.1}	-	Aggregate	-
I44ip2Stream1VideoTBL {I44ip2Stream1TBL.1}	-	Aggregate	-
I44ip2Stream1VideoPayload {I44ip2Stream1VideoTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 1/ビデオのペイロードタイプ 96 - 127
I44ip2Stream1VideoVlanEnable {I44ip2Stream1VideoTBL.2}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 1/ビデオの VLAN 設定 1 = off 2 = on
I44ip2Stream1VideoVlanTag	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 1/ビデオの VLAN タグ

OID	Access	Syntax	説明
{I44ip2Stream1VideoTBL.3}			1 - 4096
I44ip2Stream1VideoDscpEnable {I44ip2Stream1VideoTBL.4}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 1/ビデオの DSCP 設定 1 = off 2 = on
I44ip2Stream1VideoDscpTag {I44ip2Stream1VideoTBL.5}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 1/ビデオの DSCP タグ 0 - 63
I44ip2Stream1VideoDestAddress {I44ip2Stream1VideoTBL.6}	R/O	IpAddress	IP 出力 2/ストリーム 1/ビデオの宛先 IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip2Stream1VideoDestPort {I44ip2Stream1VideoTBL.7}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 1/ビデオの宛先ポート番号 0 - 65535
I44ip2Stream1VideoSdi {I44ip2Stream1VideoTBL.8}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 1/ビデオ 1 = off 2 = on
I44ip2Stream1AudioTBL {I44ip2Stream1TBL.2}	-	Aggregate	-
I44ip2Stream1AudioPayload {I44ip2Stream1AudioTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 1/オーディオのペイロードタイプ 96 - 127
I44ip2Stream1AudioVlanEnable {I44ip2Stream1AudioTBL.2}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 1/オーディオの VLAN 設定 1 = off 2 = on
I44ip2Stream1AudioVlanTag {I44ip2Stream1AudioTBL.3}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 1/オーディオの VLAN タグ 1 - 4096
I44ip2Stream1AudioDscpEnable {I44ip2Stream1AudioTBL.4}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 1/オーディオの DSCP 設定 1 = off 2 = on
I44ip2Stream1AudioDscpTag {I44ip2Stream1AudioTBL.5}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 1/オーディオの DSCP タグ 0 - 63
I44ip2Stream1AudioMode {I44ip2Stream1AudioTBL.6}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 1/オーディオの規格 1 = st2110-30 2 = st2110-31
I44ip2Stream1AudioPacketTime {I44ip2Stream1AudioTBL.7}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 1/オーディオのパケットタイム 1 = time-1ms 2 = time-125us
I44ip2Stream1AudioDestAddress {I44ip2Stream1AudioTBL.24}	R/O	IpAddress	IP 出力 2/ストリーム 1/オーディオの宛先 IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip2Stream1AudioDestPort {I44ip2Stream1AudioTBL.25}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 1/オーディオの宛先ポート番号 0 - 65535
I44ip2Stream1AudioSdi {I44ip2Stream1AudioTBL.26}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 1/オーディオ 1 = off 2 = on
I44ip2Stream1AncTBL {I44ip2Stream1TBL.3}	-	Aggregate	-

OID	Access	Syntax	説明
I44ip2Stream1AncPayload {I44ip2Stream1AncTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 1/ANC のペイロードタイプ 96 - 127
I44ip2Stream1AncVlanEnable {I44ip2Stream1AncTBL.2}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 1/ANC の VLAN 設定 1 = off 2 = on
I44ip2Stream1AncVlanTag {I44ip2Stream1AncTBL.3}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 1/ANC の VLAN タグ 1 - 4096
I44ip2Stream1AncDscpEnable {I44ip2Stream1AncTBL.4}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 1/ANC の DSCP 設定 1 = off 2 = on
I44ip2Stream1AncDscpTag {I44ip2Stream1AncTBL.5}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 1/ANC の DSCP タグ 0 - 63
I44ip2Stream1AncDestAddress {I44ip2Stream1AncTBL.6}	R/O	IpAddress	IP 出力 2/ストリーム 1/ANC の宛先 IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip2Stream1AncDestPort {I44ip2Stream1AncTBL.7}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 1/ANC の宛先ポート番号 0 - 65535
I44ip2Stream1AncSdi {I44ip2Stream1AncTBL.8}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 1/ANC 1 = off 2 = on
I44ip2Stream2TBL {I44ip2StreamTBL.2}	-	Aggregate	-
I44ip2Stream2VideoTBL {I44ip2Stream2TBL.1}	-	Aggregate	-
I44ip2Stream2VideoPayload {I44ip2Stream2VideoTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 2/ビデオのペイロードタイプ 96 - 127
I44ip2Stream2VideoVlanEnable {I44ip2Stream2VideoTBL.2}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 2/ビデオの VLAN 設定 1 = off 2 = on
I44ip2Stream2VideoVlanTag {I44ip2Stream2VideoTBL.3}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 2/ビデオの VLAN タグ 1 - 4096
I44ip2Stream2VideoDscpEnable {I44ip2Stream2VideoTBL.4}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 2/ビデオの DSCP 設定 1 = off 2 = on
I44ip2Stream2VideoDscpTag {I44ip2Stream2VideoTBL.5}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 2/ビデオの DSCP タグ 0 - 63
I44ip2Stream2VideoDestAddress {I44ip2Stream2VideoTBL.6}	R/O	IpAddress	IP 出力 2/ストリーム 2/ビデオの宛先 IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip2Stream2VideoDestPort {I44ip2Stream2VideoTBL.7}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 2/ビデオの宛先ポート番号 0 - 65535
I44ip2Stream2VideoSdi {I44ip2Stream2VideoTBL.8}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 2/ビデオ 1 = off 2 = on
I44ip2Stream2AudioTBL {I44ip2Stream2TBL.2}	-	Aggregate	-
I44ip2Stream2AudioPayload {I44ip2Stream2AudioTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 2/オーディオのペイロードタイプ

OID	Access	Syntax	説明
			96 - 127
I44ip2Stream2AudioVlanEnable {I44ip2Stream2AudioTBL.2}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 2/オーディオの VLAN 設定 1 = off 2 = on
I44ip2Stream2AudioVlanTag {I44ip2Stream2AudioTBL.3}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 2/オーディオの VLAN タグ 1 - 4096
I44ip2Stream2AudioDscpEnable {I44ip2Stream2AudioTBL.4}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 2/オーディオの DSCP 設定 1 = off 2 = on
I44ip2Stream2AudioDscpTag {I44ip2Stream2AudioTBL.5}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 2/オーディオの DSCP タグ 0 - 63
I44ip2Stream2AudioMode {I44ip2Stream2AudioTBL.6}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 2/オーディオの規格 1 = st2110-30 2 = st2110-31
I44ip2Stream2AudioPacketTime {I44ip2Stream2AudioTBL.7}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 2/オーディオのパケットタイム 1 = time-1ms 2 = time-125us
I44ip2Stream2AudioDestAddress {I44ip2Stream2AudioTBL.24}	R/O	IpAddress	IP 出力 2/ストリーム 2/オーディオの宛先 IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip2Stream2AudioDestPort {I44ip2Stream2AudioTBL.25}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 2/オーディオの宛先ポート番号 0 - 65535
I44ip2Stream2AudioSdi {I44ip2Stream2AudioTBL.26}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 2/オーディオ 1 = off 2 = on
I44ip2Stream2AncTBL {I44ip2Stream2TBL.3}	-	Aggregate	-
I44ip2Stream2AncPayload {I44ip2Stream2AncTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 2/ANC のペイロードタイプ 96 - 127
I44ip2Stream2AncVlanEnable {I44ip2Stream2AncTBL.2}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 2/ANC の VLAN 設定 1 = off 2 = on
I44ip2Stream2AncVlanTag {I44ip2Stream2AncTBL.3}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 2/ANC の VLAN タグ 1 - 4096
I44ip2Stream2AncDscpEnable {I44ip2Stream2AncTBL.4}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 2/ANC の DSCP 設定 1 = off 2 = on
I44ip2Stream2AncDscpTag {I44ip2Stream2AncTBL.5}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 2/ANC の DSCP タグ 0 - 63
I44ip2Stream2AncDestAddress {I44ip2Stream2AncTBL.6}	R/O	IpAddress	IP 出力 2/ストリーム 2/ANC の宛先 IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip2Stream2AncDestPort {I44ip2Stream2AncTBL.7}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 2/ANC の宛先ポート番号 0 - 65535
I44ip2Stream2AncSdi	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 2/ANC

OID	Access	Syntax	説明
{I44ip2Stream2AncTBL.8}			1 = off 2 = on
I44ip2Stream3TBL {I44ip2StreamTBL.1}	-	Aggregate	-
I44ip2Stream3VideoTBL {I44ip2Stream3TBL.1}	-	Aggregate	-
I44ip2Stream3VideoPayload {I44ip2Stream3VideoTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 3/ビデオのペイロードタイプ 96 - 127
I44ip2Stream3VideoVlanEnable {I44ip2Stream3VideoTBL.2}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 3/ビデオの VLAN 設定 1 = off 2 = on
I44ip2Stream3VideoVlanTag {I44ip2Stream3VideoTBL.3}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 3/ビデオの VLAN タグ 1 - 4096
I44ip2Stream3VideoDscpEnable {I44ip2Stream3VideoTBL.4}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 3/ビデオの DSCP 設定 1 = off 2 = on
I44ip2Stream3VideoDscpTag {I44ip2Stream3VideoTBL.5}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 3/ビデオの DSCP タグ 0 - 63
I44ip2Stream3VideoDestAddress {I44ip2Stream3VideoTBL.6}	R/O	IpAddress	IP 出力 2/ストリーム 3/ビデオの宛先 IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip2Stream3VideoDestPort {I44ip2Stream3VideoTBL.7}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 3/ビデオの宛先ポート番号 0 - 65535
I44ip2Stream3VideoSdi {I44ip2Stream3VideoTBL.8}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 3/ビデオ 1 = off 2 = on
I44ip2Stream3AudioTBL {I44ip2Stream3TBL.2}	-	Aggregate	-
I44ip2Stream3AudioPayload {I44ip2Stream3AudioTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 3/オーディオのペイロードタイプ 96 - 127
I44ip2Stream3AudioVlanEnable {I44ip2Stream3AudioTBL.2}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 3/オーディオの VLAN 設定 1 = off 2 = on
I44ip2Stream3AudioVlanTag {I44ip2Stream3AudioTBL.3}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 3/オーディオの VLAN タグ 1 - 4096
I44ip2Stream3AudioDscpEnable {I44ip2Stream3AudioTBL.4}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 3/オーディオの DSCP 設定 1 = off 2 = on
I44ip2Stream3AudioDscpTag {I44ip2Stream3AudioTBL.5}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 3/オーディオの DSCP タグ 0 - 63
I44ip2Stream3AudioMode {I44ip2Stream3AudioTBL.6}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 3/オーディオの規格 1 = st2110-30 2 = st2110-31
I44ip2Stream3AudioPacketTime {I44ip2Stream3AudioTBL.7}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 3/オーディオのパケットタイム 1 = time-1ms

OID	Access	Syntax	説明
			2 = time-125us
I44ip2Stream3AudioDestAddress {I44ip2Stream3AudioTBL.24}	R/O	IpAddress	IP 出力 2/ストリーム 3/オーディオの宛先 IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip2Stream3AudioDestPort {I44ip2Stream3AudioTBL.25}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 3/オーディオの宛先ポート番号 0 - 65535
I44ip2Stream3AudioSdi {I44ip2Stream3AudioTBL.26}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 3/オーディオ 1 = off 2 = on
I44ip2Stream3AncTBL {I44ip2Stream3TBL.3}	-	Aggregate	-
I44ip2Stream3AncPayload {I44ip2Stream3AncTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 3/ANC のペイロードタイプ 96 - 127
I44ip2Stream3AncVlanEnable {I44ip2Stream3AncTBL.2}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 3/ANC の VLAN 設定 1 = off 2 = on
I44ip2Stream3AncVlanTag {I44ip2Stream3AncTBL.3}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 3/ANC の VLAN タグ 1 - 4096
I44ip2Stream3AncDscpEnable {I44ip2Stream3AncTBL.4}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 3/ANC の DSCP 設定 1 = off 2 = on
I44ip2Stream3AncDscpTag {I44ip2Stream3AncTBL.5}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 3/ANC の DSCP タグ 0 - 63
I44ip2Stream3AncDestAddress {I44ip2Stream3AncTBL.6}	R/O	IpAddress	IP 出力 2/ストリーム 3/ANC の宛先 IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip2Stream3AncDestPort {I44ip2Stream3AncTBL.7}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 3/ANC の宛先ポート番号 0 - 65535
I44ip2Stream3AncSdi {I44ip2Stream3AncTBL.8}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 3/ANC 1 = off 2 = on
I44ip2Stream4TBL {I44ip2StreamTBL.2}	-	Aggregate	-
I44ip2Stream4VideoTBL {I44ip2Stream4TBL.1}	-	Aggregate	-
I44ip2Stream4VideoPayload {I44ip2Stream4VideoTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 4/ビデオのペイロードタイプ 96 - 127
I44ip2Stream4VideoVlanEnable {I44ip2Stream4VideoTBL.2}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 4/ビデオの VLAN 設定 1 = off 2 = on
I44ip2Stream4VideoVlanTag {I44ip2Stream4VideoTBL.3}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 4/ビデオの VLAN タグ 1 - 4096
I44ip2Stream4VideoDscpEnable {I44ip2Stream4VideoTBL.4}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 4/ビデオの DSCP 設定 1 = off 2 = on
I44ip2Stream4VideoDscpTag	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 4/ビデオの DSCP タグ

OID	Access	Syntax	説明
{I44ip2Stream4VideoTBL.5}			0 - 63
I44ip2Stream4VideoDestAddress {I44ip2Stream4VideoTBL.6}	R/O	IpAddress	IP 出力 2/ストリーム 4/ビデオの宛先 IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip2Stream4VideoDestPort {I44ip2Stream4VideoTBL.7}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 4/ビデオの宛先ポート番号 0 - 65535
I44ip2Stream4VideoSdi {I44ip2Stream4VideoTBL.8}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 4/ビデオ 1 = off 2 = on
I44ip2Stream4AudioTBL {I44ip2Stream4TBL.2}	-	Aggregate	-
I44ip2Stream4AudioPayload {I44ip2Stream4AudioTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 4/オーディオのペイロードタイプ 96 - 127
I44ip2Stream4AudioVlanEnable {I44ip2Stream4AudioTBL.2}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 4/オーディオの VLAN 設定 1 = off 2 = on
I44ip2Stream4AudioVlanTag {I44ip2Stream4AudioTBL.3}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 4/オーディオの VLAN タグ 1 - 4096
I44ip2Stream4AudioDscpEnable {I44ip2Stream4AudioTBL.4}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 4/オーディオの DSCP 設定 1 = off 2 = on
I44ip2Stream4AudioDscpTag {I44ip2Stream4AudioTBL.5}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 4/オーディオの DSCP タグ 0 - 63
I44ip2Stream4AudioMode {I44ip2Stream4AudioTBL.6}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 4/オーディオの規格 1 = st2110-30 2 = st2110-31
I44ip2Stream4AudioPacketTime {I44ip2Stream4AudioTBL.7}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 4/オーディオのパケットタイム 1 = time-1ms 2 = time-125us
I44ip2Stream4AudioDestAddress {I44ip2Stream4AudioTBL.24}	R/O	IpAddress	IP 出力 2/ストリーム 4/オーディオの宛先 IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip2Stream4AudioDestPort {I44ip2Stream4AudioTBL.25}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 4/オーディオの宛先ポート番号 0 - 65535
I44ip2Stream4AudioSdi {I44ip2Stream4AudioTBL.26}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 4/オーディオ 1 = off 2 = on
I44ip2Stream4AncTBL {I44ip2Stream4TBL.3}	-	Aggregate	-
I44ip2Stream4AncPayload {I44ip2Stream4AncTBL.1}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 4/ANC のペイロードタイプ 96 - 127
I44ip2Stream4AncVlanEnable {I44ip2Stream4AncTBL.2}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 4/ANC の VLAN 設定 1 = off 2 = on

OID	Access	Syntax	説明
I44ip2Stream4AncVlanTag {I44ip2Stream4AncTBL.3}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 4/ANC の VLAN タグ 1 - 4096
I44ip2Stream4AncDscpEnable {I44ip2Stream4AncTBL.4}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 4/ANC の DSCP 設定 1 = off 2 = on
I44ip2Stream4AncDscpTag {I44ip2Stream4AncTBL.5}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 4/ANC の DSCP タグ 0 - 63
I44ip2Stream4AncDestAddress {I44ip2Stream4AncTBL.6}	R/O	IpAddress	IP 出力 2/ストリーム 4/ANC の宛先 IP アドレス xxx.xxx.xxx.xxx
I44ip2Stream4AncDestPort {I44ip2Stream4AncTBL.7}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 4/ANC の宛先ポート番号 0 - 65535
I44ip2Stream4AncSdi {I44ip2Stream4AncTBL.8}	R/W	Integer	IP 出力 2/ストリーム 4/ANC 1 = off 2 = on

## 17.5 拡張トラップ

**index 1**


---

OID: iso(1).org(3).dod(6).internet(1).mib-2(1).system(1).sysUpTime(1).0  
 Syntax: TimeTicks  
 範囲: 1 - 4294967295 (範囲を超えた場合はオーバーフローする)  
 内容: エージェント起動後経過時間

**index 2**


---

OID: iso(1).org(3).dod(6).internet(1).snmpV2(6).snmpModules(3).snmpMIB(1).snmpMIBObjects(1).snmpTrap(4).snmpTrapOID(1).0  
 Syntax: Object Identifier  
 内容: トラップ OID

**index 3**


---

OID: leader(20111).lt4670(44).lt4670ST1(1).l44notificationTBL(0).l44trapStrTBL(2).l44trapCounter(1).0  
 Syntax: Counter32  
 範囲: 1 - 4294967295  
 内容: 起動してからの Enterprise Trap の送出累計数

**index 4**


---

OID: leader(20111).lt4670(44).lt4670ST1(1).l44notificationTBL(0).l44trapStrTBL(2).l44trapInternalTimestamp(2).0  
 Syntax: DisplayString  
 範囲: 最大 20 文字  
 内容: エラー発生の日時

**index 5**


---

OID: leader(20111).lt4670(44).lt4670ST1(1).l44notificationTBL(0).l44trapContentTBL(1).l44trapErrorTBL(1).X  
 leader(20111).lt4670(44).lt4670ST1(1).l44notificationTBL(0).l44trapContentTBL(1).l44trapNormalTBL(2).X  
 Syntax: DisplayString  
 範囲: 最大 16 文字  
 内容: エラー情報の文字列  
 エラー発生時は l44trapContentTBL(1).l44trapErrorTBL(1).X、  
 エラー復旧時は l44trapContentTBL(1).l44trapNormalTBL(2).X  
 の OID とエラー情報の文字列が送られる。

**index 6**


---

OID: leader(20111).lt4670(44).lt4670ST1(1).l44statusTBL(2).l44statusAlarmTBL(1).X  
 leader(20111).lt4670(44).lt4670ST1(1).l44statusTBL(2).l44statusReferenceTBL(2).X  
 Syntax: Integer  
 内容: アラーム、基準信号の各ステータス

# 18 Web ブラウザー

PC 上の汎用 Web ブラウザーから、本器をコントロールできます。

- \* 本器のイーサネット機能は、ローカルネットワーク環境でのみ動作確認しています。いかなるネットワーク環境での動作を保証するものではありません。

## 18.1 動作環境

本機能は、以下の Web ブラウザーで動作することを確認しています。

- Google Chrome Ver. 118
- Microsoft Edge Ver. 118

## 18.2 使用方法

### 1. LT4670 で IP アドレスを設定します。

「SYSTEM CONFIG > NETWORK > ETHERNET > IP ADDRESS」で設定できます。

```
3 . I P   A D D R E S S
   1 9 2 . 1 6 8 . 0 0 0 . 0 0 1
```

### 2. LT4670 でネットワーク設定を有効にします。

「NETWORK SETUP」、「HTTP SETUP」、「WEB BROWSER」をそれぞれ有効にする必要があります。

「NETWORK SETUP」は、「SYSTEM CONFIG > NETWORK > NETWORK SETUP」で「ENABLE」にします。

```
2 . N E T W O R K   S E T U P
    E N A B L E    D I S A B L E
```

「HTTP SETUP」は、「SYSTEM CONFIG > NETWORK > HTTP > HTTP SETUP」で「ENABLE」にします。

```
3 . H T T P   S E T U P
    D I S A B L E    E N A B L E
```

「WEB BROWSER」は、「SYSTEM CONFIG > NETWORK > HTTP > WEB BROWSER」で「ENABLE」にします。

```
3 . W E B   B R O W S E R
    E N A B L E    D I S A B L E
```

### 3. LT4670 背面パネルの ETHERNET/CONTROL とネットワーク機器を接続します。

### 4. PC で Web ブラウザーを起動します。

## 5. Web ブラウザーのアドレス欄に URL を入力します。

「http://(手順 1 で設定した IP アドレス)」を入力します。

Web 認証が有効のときは、URL を入力した後にユーザー名とパスワードを入力してください。

【参照】 「15.3.14 Web 認証の設定」

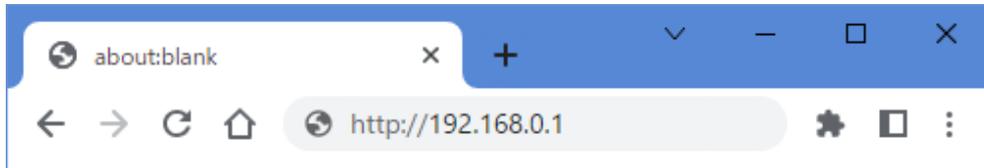


図 18-1 | URL

URL を正しく入力すると、LT4670 の STATUS 画面が表示されます。

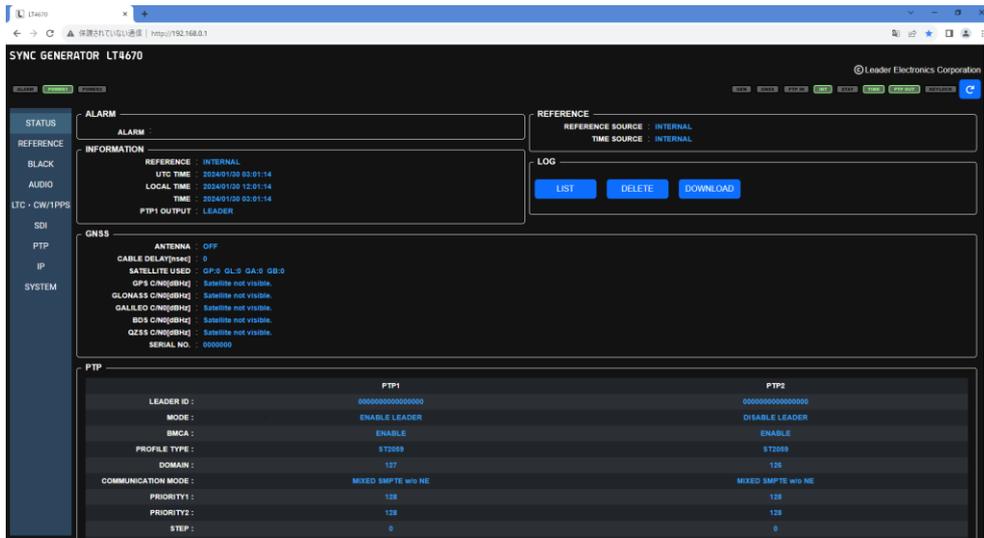


図 18-2 | STATUS 画面

## 6. Web ブラウザーから本器をコントロールします。

左のメニューから項目を選択し、値を設定します。Web ブラウザーから本器をコントロールしている間、本体のキー操作はしないでください。

## 18.3 操作方法

### インジケータとリロード

画面上部のインジケータは、LT4670 前面パネルの LED を表しています。LED と同様に点灯、および点滅します。

画面右上のリロードボタンを押すと、画面を更新し、STATUS 画面に戻ります。



図 18-3 | インジケータとリロード

### メニューの選択

画面左のメニューを選択することで、設定項目を切り換えることができます。

STATUS は LT4670 の STATUS メニュー、REFERENCE~SYSTEM は LT4670 の CONFIG メニューの内容を中心に表示します。STATUS は値の確認のみで、設定はできません。

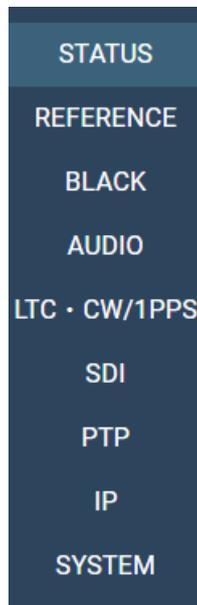


図 18-4 | メニューの選択

## 設定項目の展開

設定画面の一部は階層構造になっています。

メニューを選択した直後はすべての階層が閉じていますが、「V」マークの付いたタイトルを押すことで展開できます。

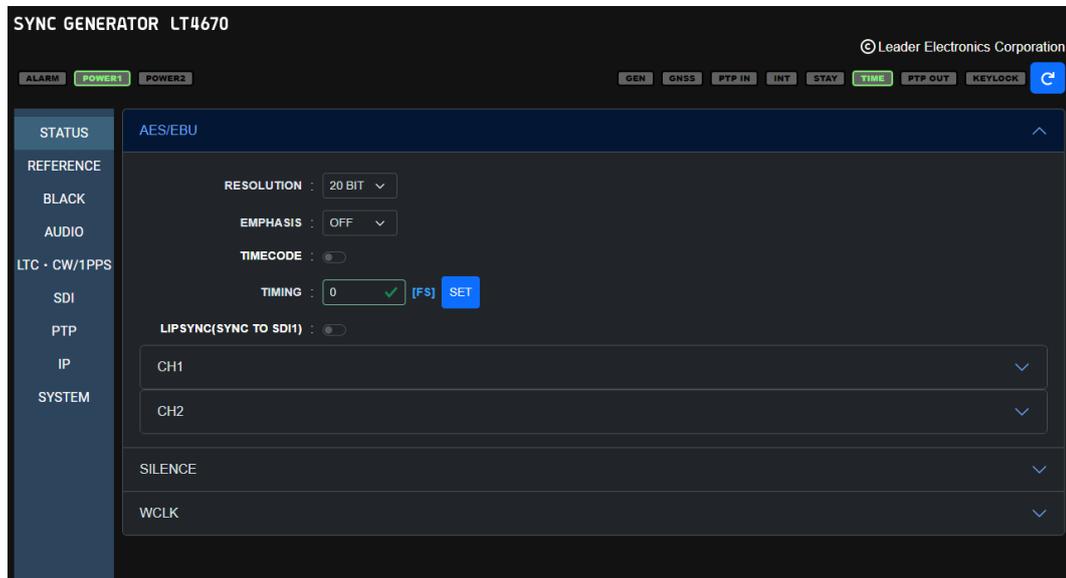


図 18-5 | 設定項目の展開

## 項目の選択

項目を選択するときは、セレクトボックスを押して選択します。

選択項目には、SET ボタンがあるものとないものがあります。

SET ボタンがあるものは、値を変更した後、SET ボタンを押すことで値が適用されます。

SET ボタンがないものは、変更した値が即座に適用されます。

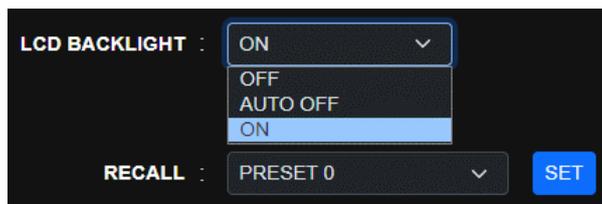


図 18-6 | 項目の選択

## 数値の入力

数値を入力するときは、▲▼ボタン、または直接入力します。

値を変更した後、SET ボタンを押すことで値が適用されます。

値が既定の範囲内のときは緑色のチェックマーク、範囲外の場合は赤色の警告マークが表示されます。警告マークが表示された場合、値は適用されません。正しい値を入力してください。



図 18-7 | 数値の入力

## 18.4 画面の説明

すべてのオプション (SER01、SER02、SER03、SER04、SER11、SER21) が追加されているときの画面の説明を以下に示します。

### 18.4.1 STATUS 画面

STATUS 画面では、LT4670 の状態を表示します。

SYNC GENERATOR LT4670 © Leader Electronics Corporation

ALARM POWER1 POWER2 GEN GNSS PTP IN INT STAY TIME PTP OUT KEYLOCK

STATUS

REFERENCE

BLACK

AUDIO

LTC - CW/1PPS

SDI

PTP

IP

SYSTEM

**ALARM**

ALARM :

**REFERENCE**

REFERENCE SOURCE : PTP2  
 RECOVERY MODE : AUTO  
 AUTO SETTING : FAST  
 TIME SOURCE : PTP2

**INFORMATION**

REFERENCE : LOCK  
 UTC TIME : 2025/03/23 23:52:12  
 LOCAL TIME : 2025/03/24 08:52:12  
 TIME : 2025/03/23 23:52:12  
 PTP1 OUTPUT : LEADER

**LOG**

LIST
DELETE
DOWNLOAD

**GNSS**

ANTENNA : OFF  
 CABLE DELAY[nsec] : 0  
 SATELLITE USED : GP:0 GL:0 CA:0 CB:0  
 GPS C/N0[dBHz] : Satellite not visible.  
 GLONASS C/N0[dBHz] : Satellite not visible.  
 GALILEO C/N0[dBHz] : Satellite not visible.  
 BDS C/N0[dBHz] : Satellite not visible.  
 QZSS C/N0[dBHz] : Satellite not visible.  
 SERIAL NO. : 0000000

**PTP**

	PTP1	PTP2
LINK :	UP	UP
LEADER ID :	0x00090DFFFEF0036C	0x0000000000000000
MODE :	ENABLE LEADER	FOLLOWER
BMCA :	ENABLE	
PROFILE TYPE :	ST2059	ST2059
DOMAIN :	127	127
COMMUNICATION MODE :	MIXED SMPTE w/o NE	MULTICAST
PRIORITY1 :	128	
PRIORITY2 :	128	
STEP :	ONE STEP	
CLOCK CLASS :	248	255
CLOCK ACCURACY :	>10 s	UNKNOWN
CLOCK SOURCE :	HAND SET	INTERNAL OSCILLATOR
PHASE LAG :		0.000 ps
LOCK VALUE :		0.000
PACKET NOISE :		0.000 ps
ST2059 LOCAL OFFSET :	08:59:23	08:59:23
ST2059 JUMP SECONDS :	00:00:00	00:00:00
ST2059 NEXT JUMP :	01/01 00:00:00	01/01 00:00:00
ST2059 NEXT JAM TIME :	2025/03/12 08:00:37	2025/03/12 08:00:37
ST2059 PREVIOUS JAM TIME :	1970/01/01 00:00:00	1970/01/01 00:00:00
SERIAL NO. :	0000000	

**BLACK**

	BLACK1	BLACK2	BLACK3	BLACK4	BLACK5	BLACK6
FORMAT :	NTSC BB					
TIMING :	F : 0, L : 0, D : 0	F : 0, L : 0, D : 0	F : 0, L : 0, D : 0	F : 0, L : 0, D : 0	F : 0, L : 0, D : 0	F : 0, L : 0, D : 0
OUTPUT :	ENABLE	ENABLE	ENABLE	ENABLE	ENABLE	ENABLE
LINK TO PTP1 BMCA :	DISABLE	DISABLE	DISABLE	DISABLE	DISABLE	DISABLE
LINK TO PTP2 BMCA :	DISABLE	DISABLE	DISABLE	DISABLE	DISABLE	DISABLE



図 18-8 | STATUS 画面

表 18-1 | STATUS 画面の説明

項目	説明
ALARM	ALARM 現在発生しているアラームの内容を赤色で表示します。
INFORMATION	REFERENCE ロック状態を表示します。ロックしていないときは橙色で表示します。
	GENLOCK FORMAT 入力信号のフォーマットを表示します。
	UTC TIME TIME SOURCE から取り込んだ協定世界時を表示します。
	LOCAL TIME 本体の内部時刻を表示します。
TIME	REFERENCE CONFIG メニューの TIME SOURCE で選択した日時を表示します。

	項目	説明
	GNSS	GNSS 信号の入力状態とアテンション情報を表示します。
	PTP* OUTPUT	PTP の出力状態を表示します。
REFERENCE	REFERENCE SOURCE	基準信号を表示します。
	GENLOCK FORMAT	ゲンロックフォーマットを表示します。
	TIMING FINE	基準信号に対する出力信号のタイミングを表示します。
	GNSS SATELLITE	衛星の種類を表示します。
	RECOVERY MODE	リカバリーモードを表示します。
	AUTO SETTING	リカバリーモードがオートのときの再ロックスピードを表示します。
	MANUAL SETTING	リカバリーモードがマニュアルのときの再ロックスピードを表示します。
	TIME SOURCE	時刻源を表示します。
LOG	LIST	ログをポップアップで表示します。
	DELETE	ログを消去します。
	DOWNLOAD	ログを txt 形式でダウンロードします。
GNSS	ANTENNA	GNSS アンテナへの給電電圧を表示します。
	CABLE DELAY	GNSS ケーブルの遅延補正量を表示します。
	SATELLITE USED	有効衛星数を表示します。
	GPS C/N0	GPS の C/N0 を表示します。
	GLONASS C/N0	GLONASS の C/N0 を表示します。
	GALILEO C/N0	GALILEO の C/N0 を表示します。
	BDS C/N0	BDS の C/N0 を表示します。
	QZSS C/N0	QZSS の C/N0 を表示します。
	SERIAL NO.	GNSS オプションのシリアル番号を表示します。
PTP	LINK	リンク状態を表示します。
	LEADER ID	フォロワー時にロックしているリーダーの ID を表示します。
	MODE	モードを表示します。
	BMCA	リーダー時に BMCA の設定を表示します。
	PROFILE TYPE	プロファイルを表示します。
	DOMAIN	ドメイン番号を表示します。
	COMMUNICATION MODE	コミュニケーションモードを表示します。
	PRIORITY*	リーダー時に優先順位を表示します。
	STEP	ステップを表示します。
	CLOCK CLASS	IEEE1588 で定義されたクロッククラスの値を表示します。
	CLOCK ACCURACY	クロックの精度を表示します。
	CLOCK SOURCE	使用している時刻源を表示します。
	PHASE LAG	フォロワー時にリーダーとフォロワーの位相差を表示します。
	LOCK VALUE	フォロワー時にリーダーとフォロワーのロック強度を表示します。
	PACKET NOISE	フォロワー時に PTP ノイズの平均値を表示します。
	ST2059 LOCAL OFFSET	TAI に対するオフセット時間を表示します。
	ST2059 JUMP SECONDS	デライトセービング時のオフセット時間を表示します。
	ST2059 NEXT JUMP	デライトセービングの開始、または終了する日時を表示します。
	ST2059 NEXT JAM TIME	次にジャムシンクが発生する日時を表示します。
	ST2059 PREVIOUS JAM TIME	ジャムシンクが発生した日時を表示します。
SERIAL NO.	PTP オプションのシリアル番号を表示します。	
BLACK	FORMAT	ブラックフォーマットや、EQUAL TO BLACK1 の情報を表示します。
	TIMING	基準信号に対するブラック出力のタイミングを表示します。

	項目	説明
	OUTPUT	ブラック出力の有効/無効を表示します。
	LINK TO PTP* BMCA	BMCA に連動してブラック出力を停止するかどうか表示します。
LTC	ON/OFF	LTC 出力のオンオフや、EQUAL TO LTC1 の情報を表示します。
	FORMAT	LTC フォーマットを表示します。
	OFFSET	基準信号に対する LTC 出力のオフセットを表示します。
	DROP FRAME	ドロップフレームのオンオフを表示します。
SYSTEM	SERIAL NO.	LT4670 のシリアル番号を表示します。
	FIRMWARE VERSION	ファームウェアバージョンを表示します。
	OPTION	追加されているソフトウェアオプションを表示します。
CW/1PPS	OUTPUT	背面パネルの CW/1PPS 端子から出力する信号を表示します。
SDI	FORMAT	SDI フォーマットや、EQUAL TO SDI* の情報を表示します。
	TIMING	基準信号に対する SDI 出力のタイミングを表示します。
	PATTERN	パターンを表示します。
	OUTPUT	SDI 出力の有効/無効を表示します。
	LINK TO PTP* BMCA	BMCA に連動して SDI 出力を停止するかどうか表示します。
	SERIAL NO.	SDI オプションのシリアル番号を表示します。
	FW	FPGA のバージョンを表示します。
IP	TYPE	IP の規格を表示します。
	OUTPUT	IP 出力のオンオフを表示します。
	VIDEO	ビデオのオンオフを表示します。
	VIDEO PAYLOAD	ビデオのペイロードタイプを表示します。
	VIDEO VLAN	ビデオの VLAN 設定を表示します。
	VIDEO VLAN TAG	ビデオの VLAN タグを表示します。
	VIDEO DSCP	ビデオの DSCP 設定を表示します。
	VIDEO DSCP TAG	ビデオの DSCP タグを表示します。
	VIDEO DESTINATION IP	ビデオの宛先 IP アドレスを表示します。
	VIDEO DESTINATION PORT	ビデオの宛先ポート番号を表示します。
	AUDIO	オーディオのオンオフを表示します。
	AUDIO PAYLOAD	オーディオのペイロードタイプを表示します。
	AUDIO VLAN	オーディオの VLAN 設定を表示します。
	AUDIO VLAN TAG	オーディオの VLAN タグを表示します。
	AUDIO DSCP	オーディオの DSCP 設定を表示します。
	AUDIO DSCP TAG	オーディオの DSCP タグを表示します。
	AUDIO MODE	オーディオの規格を表示します。
	AUDIO PACKET TIME	オーディオの packets 時間を表示します。
	AUDIO DESTINATION IP	オーディオの宛先 IP アドレスを表示します。
	AUDIO DESTINATION PORT	オーディオの宛先ポート番号を表示します。
	ANC	ANC のオンオフを表示します。
	ANC PAYLOAD	ANC のペイロードタイプを表示します。
	ANC VLAN	ANC の VLAN 設定を表示します。
	ANC VLAN TAG	ANC の VLAN タグを表示します。
	ANC DSCP	ANC の DSCP 設定を表示します。
	ANC DSCP TAG	ANC の DSCP タグを表示します。
	ANC DESTINATION IP	ANC の宛先 IP アドレスを表示します。
	ANC DESTINATION PORT	ANC の宛先ポート番号を表示します。

項目	説明
MAC ADDRESS	IP オプションの MAC アドレスを表示します。
SERIAL NO.	IP オプションのシリアル番号を表示します。
FW	FPGA のバージョンを表示します。
NMOS SETUP	NMOS での制御を行うかどうかを表示します。
NODE LABEL	NMOS のノードラベルを表示します。
DEVICE LABEL	NMOS のデバイスラベルを表示します。
NODE PORT	IS-04 のポート番号を表示します。
IS04 NODE API	IS-04 の Node API のバージョンを表示します。
IS04 DNS-SD	IS-04 の DNS-SD の通信方式を表示します。
IS04 DNS-SD IP	IS-04 の DNS-SD の IP アドレスを表示します。
IS04 DNS-SD PORT	IS-04 の DNS-SD のポート番号を表示します。
IS04 DOMAIN	IS-04 のドメイン名を表示します。

## 18.4.2 REFERENCE 画面

REFERENCE 画面では、LT4670 の REFERENCE CONFIG メニューの内容を設定できます。

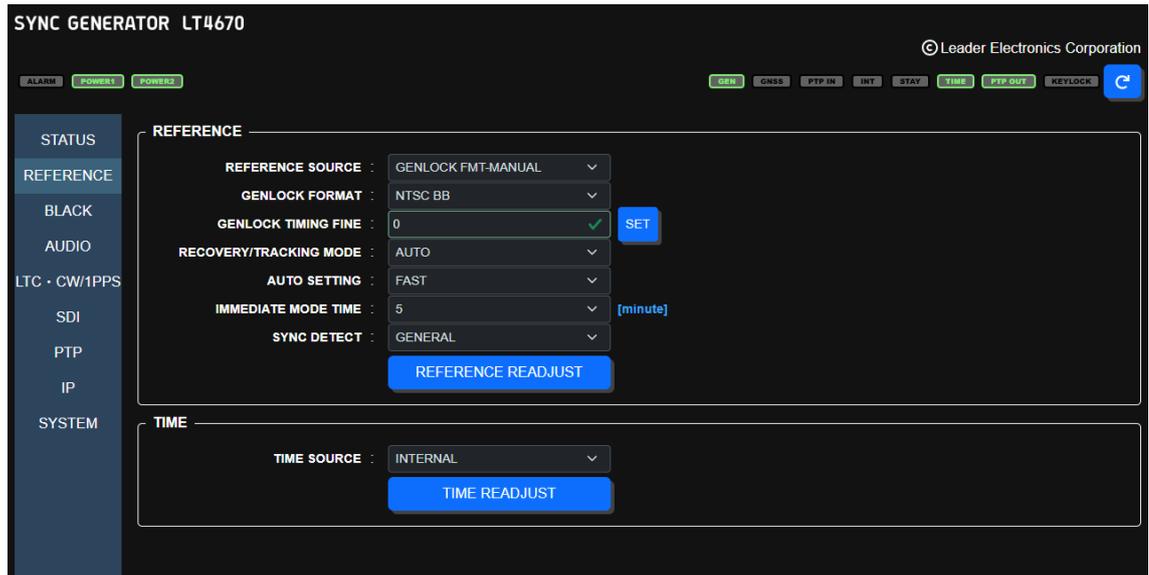


図 18-9 | REFERENCE 画面

表 18-2 | REFERENCE 画面の説明

項目	説明	初期値
REFERENCE SOURCE	基準信号を選択します。	INTERNAL
GENLOCK FORMAT	ゲンロックフォーマットを選択します。	NTSC BB (NTSC) PAL (PAL)
GENLOCK TIMING FINE	基準信号に対する出力信号のタイミングを設定します。	0
GNSS SATELLITE	衛星の種類を選択します。	ALL
RECOVERY/TRACKING MODE	リカバリーモードを選択します。	AUTO
AUTO SETTING	リカバリーモードがオートのときの再ロックスピードを選択します。	FAST
MANUAL SETTING	リカバリーモードがマニュアルのときの再ロックスピードを選択します。	IMMEDIATE
IMMEDIATE MODE TIME	起動時に IMMEDIATE で動作する時間を設定します。	OFF
SYNC DETECT	ノイズ耐性を選択します。	GENERAL
REFERENCE READJUST	手動で基準信号に再ロックします。	-
TIME SOURCE	時刻源を選択します。	INTERNAL
TIME READJUST	手動で時刻を取り込みます。	-

## 18.4.3 BLACK 画面

BLACK 画面では、LT4670 の BLACK CONFIG メニューの内容を設定できます。

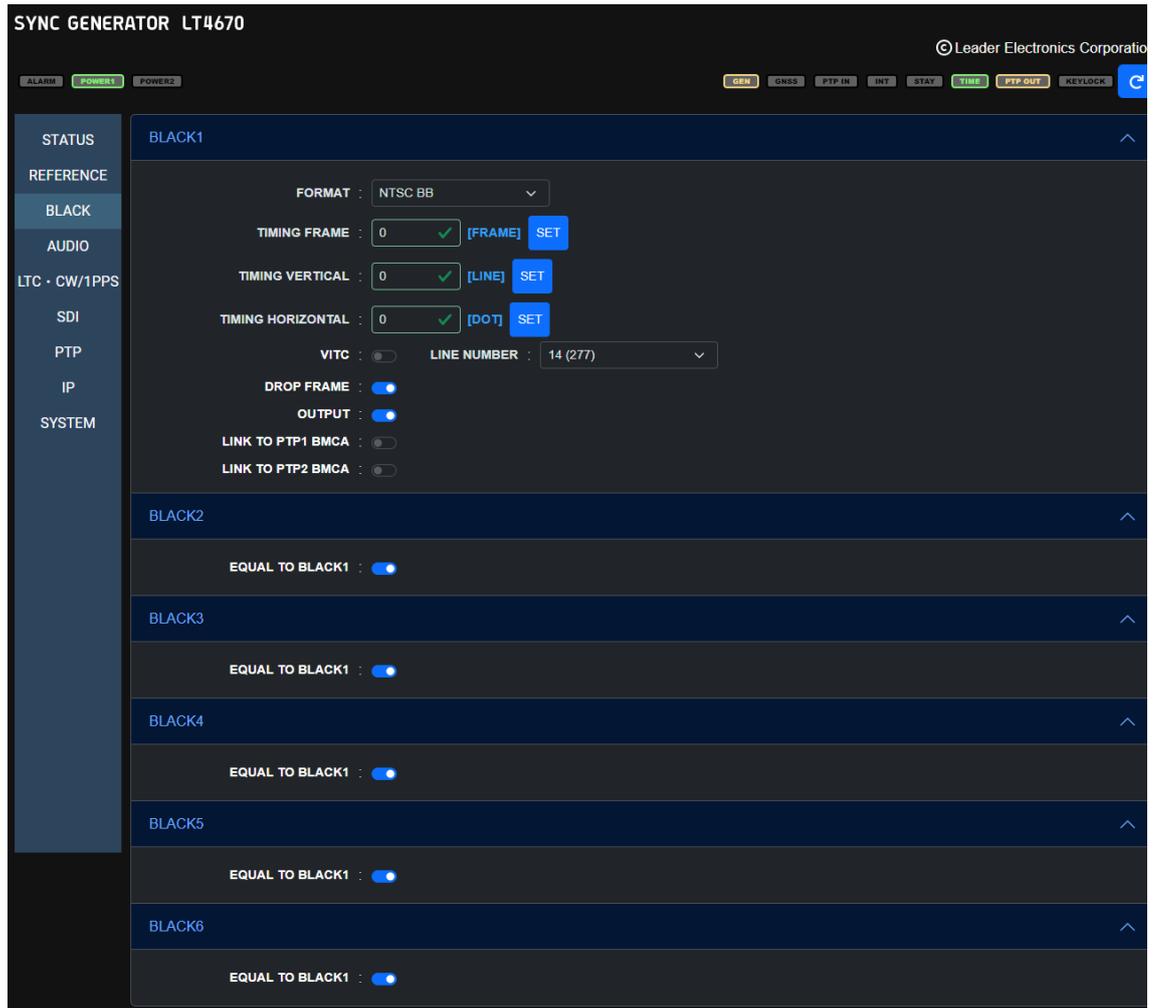


図 18-10 | BLACK 画面

表 18-3 | BLACK 画面の説明

項目	説明	初期値
FORMAT	ブラックフォーマットを選択します。	NTSC BB (NTSC) PAL BB (PAL)
TIMING FRAME	基準信号に対するブラック出力のタイミングをフレーム単位で設定します。	0
TIMING VERTICAL	基準信号に対するブラック出力のタイミングをライン単位で設定します。	0
TIMING HORIZONTAL	基準信号に対するブラック出力のタイミングをドット単位で設定します。	0
VITC	タイムコードの挿入をオンオフします。	OFF
LINE NUMBER	タイムコードの重畳ラインを設定します。	14 (NTSC) 19 (PAL)
DROP FRAME	ドロップフレームをオンオフします。	ON
OUTPUT	ブラック出力をオンオフします。	ON
LINKED TO PTP* BMCA	BMCA に連動してブラック出力を停止するかどうか選択します。	OFF
EQUAL TO BLACK1	ブラック 1 と同じ設定にするかどうか選択します。	OFF

## 18.4.4 AUDIO 画面

AUDIO 画面では、LT4670 の AUDIO CONFIG メニューの内容を設定できます。

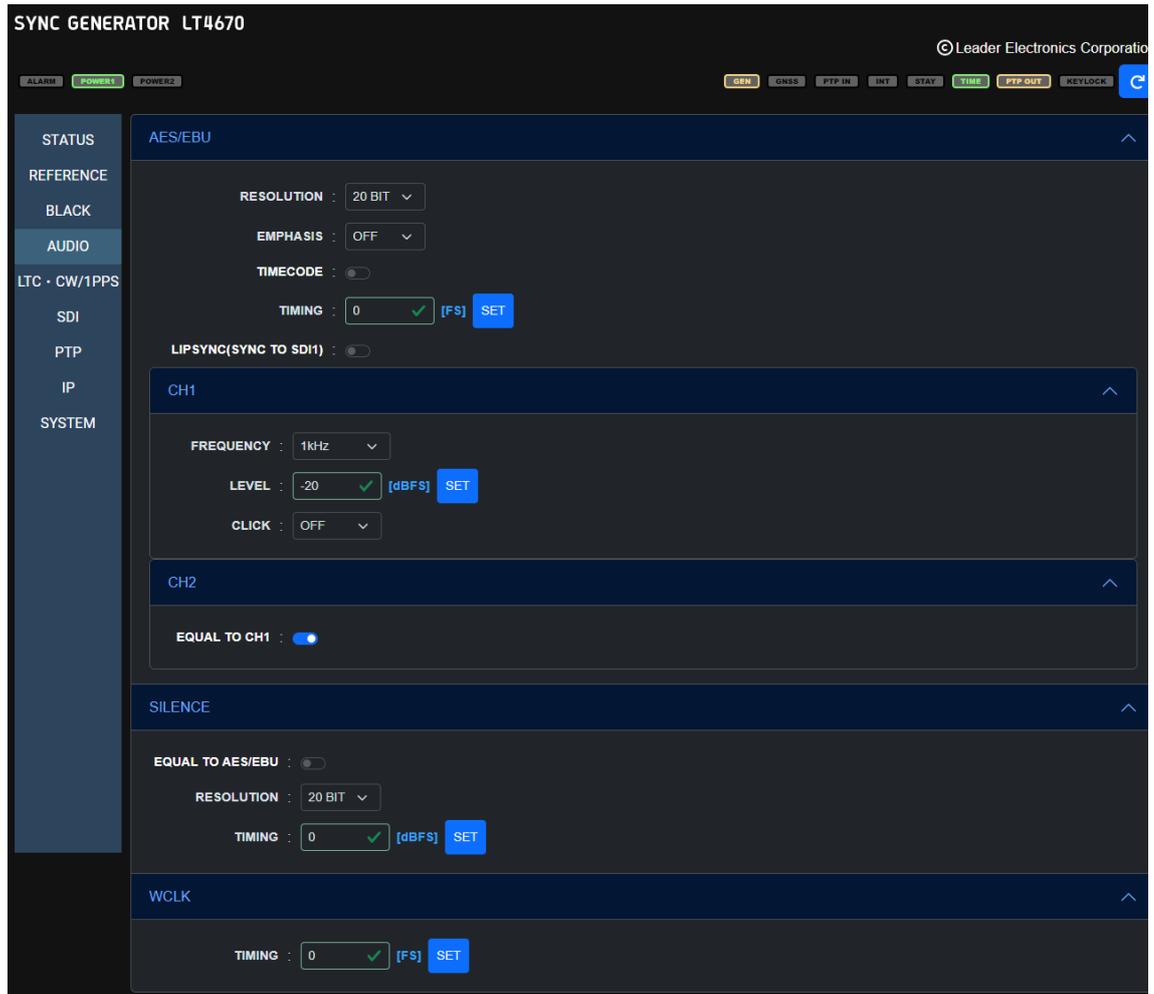


図 18-11 | AUDIO 画面

表 18-4 | AUDIO 画面の説明

項目	説明	初期値	
AES/EBU	RESOLUTION	分解能を選択します。	20 BIT
	EMPHASIS	プリエンファシスモードを選択します。	OFF
	TIMECODE	タイムコードの挿入をオンオフします。	OFF
	TIMING	基準信号に対する AES/EBU 出力のタイミングを設定します。	0
	LIPSYNC(SYNC TO SDI1)	リップシンクに連動するかどうか選択します。	OFF
	FREQUENCY	周波数を選択します。	1kHz
	LEVEL	レベルを設定します。	-20
	CLICK	クリックの挿入間隔を選択します。	OFF
	EQUAL TO CH1	CH1 と同じ設定にするかどうか選択します。	OFF
SILENCE	EQUAL TO AES/EBU	AES/EBU と同じ設定にするかどうか選択します。	OFF
	RESOLUTION	分解能を選択します。	20 BIT
	TIMING	基準信号に対するサイレンス出力のタイミングを設定します。	0
WCLK	TIMING	基準信号に対するワードクロック出力のタイミングを設定します。	0

## 18.4.5 LTC・CW/1PPS 画面

LTC・CW/1PPS 画面では、LT4670 の LTC CONFIG メニューと CW/1PPS CONFIG メニューの内容を設定できます。

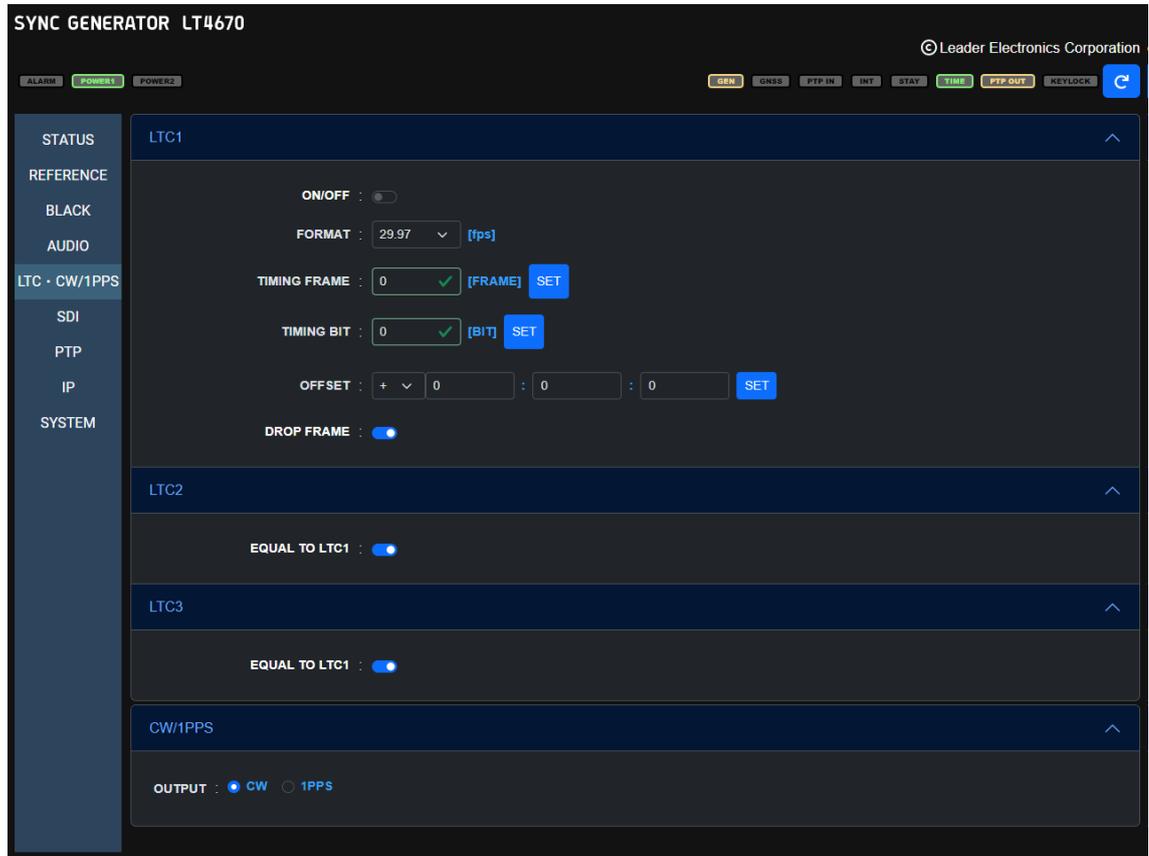


図 18-12 | LTC・CW/1PPS 画面

表 18-5 | LTC・CW/1PPS 画面の説明

項目	説明	初期値
ON/OFF	LTC 出力をオンオフします。	OFF
FORMAT	LTC フォーマットを選択します。	29.97 (NTSC) 25 (PAL)
TIMING FRAME	基準信号に対する LTC 出力のタイミングをフレーム単位で設定します。	0
TIMING BIT	基準信号に対する LTC 出力のタイミングをビット単位で設定します。	0
OFFSET	基準信号に対する LTC 出力のオフセットを設定します。	+00:00:00
DROP FRAME	ドロップフレームをオンオフします。	ON
EQUAL TO LTC1	LTC1 と同じ設定にするかどうか選択します。	OFF
OUTPUT	背面パネルの CW/1PPS 端子から出力する信号を選択します。	CW

## 18.4.6 SDI 画面 (SER02/SER04)

SDI 画面では、LT4670 の SDI CONFIG メニューの内容を設定できます。

**SYNC GENERATOR LT4670** © Leader Electronics Corporation

ALARM POWER1 POWER2 GEN CNSS PTP IN INT STAY TIME PTP OUT KEYLOCK

**SDI1**

**FORMAT**

SYSTEM : 1920x1080 HD  
 STRUCTURE : YCbCr(422)10bit  
 FRAME RATE : 59.94I

**TIMING**

OH TIMING : SERIAL  
 TIMING VERTICAL : 0 [LINE] SET  
 TIMING HORIZONTAL : 0 [DOT] SET

**PATTERN**

PATTERN SELECT :  FIX  USER  
 PATTERN : INT\_1 : leader.bmp TRANSFER  
 COLORIMETRY : BT.709 RANGE : NARROW HDR/SDR : SDR  
 PATTERN POWER ON LOAD :

**VIDEO**

COMPONENT : Y/G  Cb/B  Cr/R

**SAFETY AREA**

SAFETY AREA : 90%  80%  4:3

**PATTERN SCROLL**

ON/OFF :   
 V-SPEED : 0 [LINE] SET  
 H-SPEED : 0 [DOT] SET

**ID CHARACTER**

ON/OFF :   
 ID SET : LT4670 SET  
 V-POSITION : 0 [%] SET  
 H-POSITION : 0 [%] SET  
 SIZE : X1  
 LEVEL :  100%  75%  
 BLINK ON/OFF :   
 BLINK ON TIME : 1 [SEC] SET  
 BLINK OFF TIME : 1 [SEC] SET  
 SCROLL :   
 SCROLL SPEED : 0 [DOT] SET  
 TRANSPARENCY :

LOGO

ON/OFF :

SELECT : INT\_1 : NO DATA

V-POSITION : 0 [✓] [%] SET

H-POSITION : 0 [✓] [%] SET

TRANSPARENCY :

TRANSPARENCY LEVEL : 16 [✓] SET

---

MOVING BOX

ON/OFF :

BOX COLOR : WHITE

V-SPEED : MIDDLE

H-SPEED : MIDDLE

V-SIZE : SIZE2

H-SIZE : SIZE2

---

CIRCLE

ON/OFF :

SIZE : 90%

LEVEL :  100%  75%

BLINK ON/OFF :

BLINK ON TIME : 1 [✓] [SEC] SET

BLINK OFF TIME : 1 [✓] [SEC] SET

---

TIME CODE

ON/OFF :

V-POSITION : 0 [✓] [%] SET

H-POSITION : 0 [✓] [%] SET

SIZE : X 1

LEVEL :  100%  75%

TRANSPARENCY :

---

LIPSYNC

ON/OFF :

---

EMB AUDIO

AUDIO ON/OFF : G1 :  G2 :  G3 :  G4 :

GROUP 1

RESOLUTION : 20 BIT

EMPHASIS : OFF

CH 1	FERQ :	1kHz	LEVEL :	-20 [✓] [dBFS]	SET	CLICK :	OFF	EQUAL TO CH1 :	<input type="checkbox"/>
CH 2	FERQ :	1kHz	LEVEL :	-20 [✓] [dBFS]	SET	CLICK :	OFF	EQUAL TO CH1 :	<input type="checkbox"/>
CH 3	FERQ :	1kHz	LEVEL :	-20 [✓] [dBFS]	SET	CLICK :	OFF	EQUAL TO CH1 :	<input type="checkbox"/>
CH 4	FERQ :	1kHz	LEVEL :	-20 [✓] [dBFS]	SET	CLICK :	OFF	EQUAL TO CH1 :	<input type="checkbox"/>

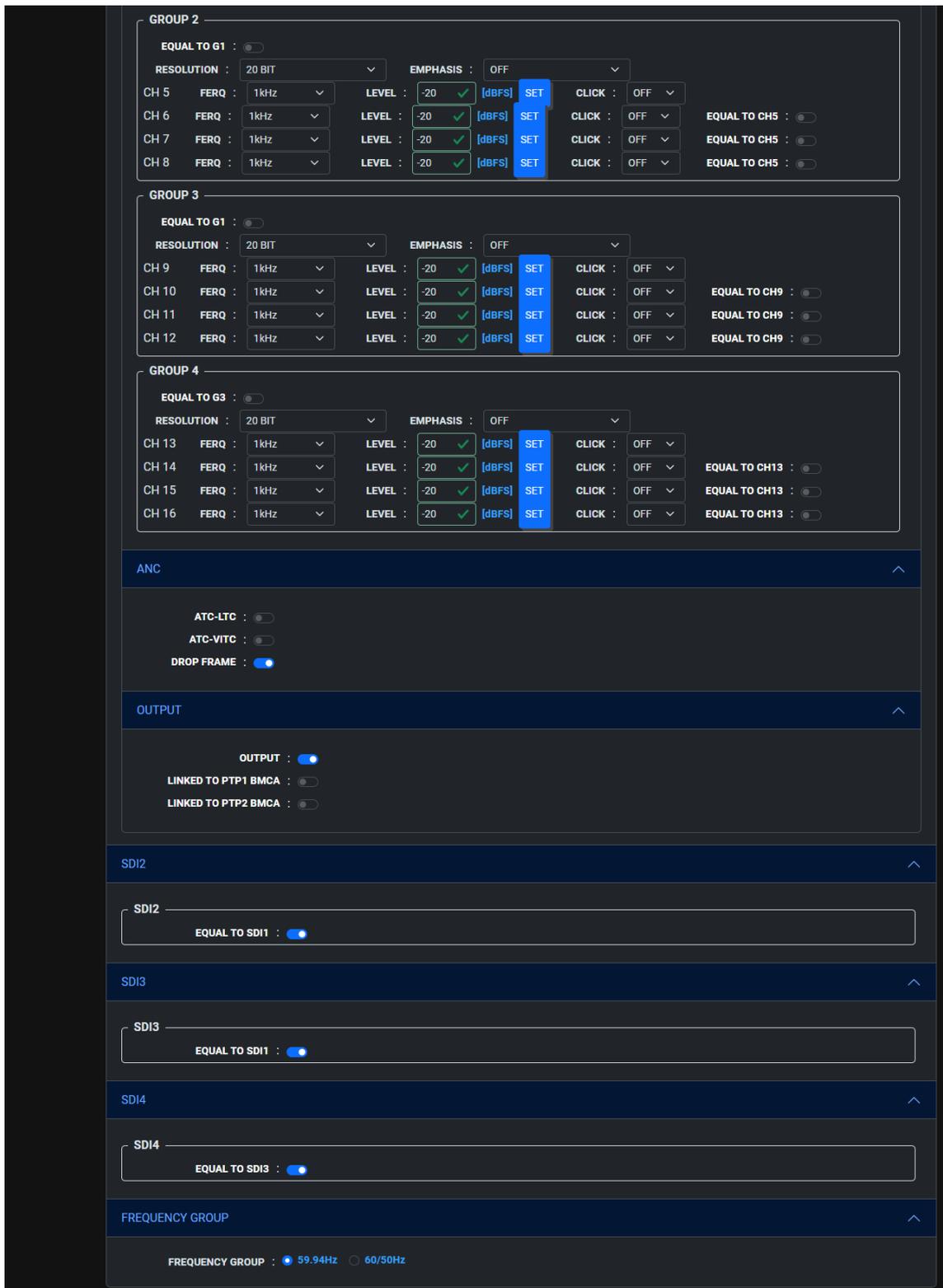


図 18-13 | SDI 画面

表 18-6 | SDI 画面の説明

項目		説明	初期値
FORMAT	SYSTEM	SDI フォーマットを選択します。	1920x1080 HD
	STRUCTURE	カラーシステムと量子化精度を選択します。	YCbCr(422)10bit
	FRAME RATE	フレーム(フィールド)周波数を選択します。	59.94I (NTSC) 50I (PAL)
TIMING	OH TIMING	SDI 出力とブラック出力の、基準となるタイミングを選択します。	SERIAL
	TIMING VERTICAL	基準信号に対する SDI 出力のタイミングをライン単位で設定します。	0
	TIMING HORIZONTAL	基準信号に対する SDI 出力のタイミングをドット単位で設定します。	0
PATTERN	PATTERN SELECT	パターンの種類を選択します。	FIX
	PATTERN	パターンを選択します。	COLOR BAR 100%
	TRANSFER	ユーザーパターンを転送します。	-
	COLORIMETRY	ユーザーパターンのカラリメトリを表示します。	-
	RANGE	ユーザーパターンのレンジを表示します。	-
	HDR/SDR	ユーザーパターンの HDR 規格を表示します。	-
	PATTERN POWER ON LOAD	起動時にユーザーパターンを転送するかどうか選択します。	OFF
VIDEO	COMPONENT	出力信号を成分ごとにオンオフします。	すべて ON
SAFETY AREA	SAFETY AREA	セーフティエリアマーカをオンオフします。	すべて OFF
PATTERN SCROLL	ON/OFF	スクロールをオンオフします。	OFF
	V-SPEED	縦方向のスクロール速度と向きを設定します。	0
	H-SPEED	横方向のスクロール速度と向きを設定します。	0
PATTERN CHANGE	ON/OFF	パターンチェンジをオンオフします。	OFF
	SPEED	パターンを切り換える間隔を設定します。	1
ID CHARACTER	ON/OFF	ID キャラクターをオンオフします。	OFF
	ID SET	ID キャラクターを作成します。	LT4670
	V-POSITION	縦方向の ID キャラクター位置を設定します。	0
	H-POSITION	横方向の ID キャラクター位置を設定します。	0
	SIZE	ID キャラクターのサイズを選択します。	×1
	LEVEL	ID キャラクターの輝度レベルを選択します。	100%
	BLINK ON/OFF	ID キャラクターの点滅をオンオフします。	OFF
	BLINK ON TIME	ID キャラクター点滅の点灯時間を設定します。	1
	BLINK OFF TIME	ID キャラクター点滅の消灯時間を設定します。	1
	SCROLL	ID キャラクターのスクロールをオンオフします。	OFF
	SCROLL SPEED	ID キャラクターのスクロール速度と向きを設定します。	0
	TRANSPARENCY	ID キャラクター背景の透過をオンオフします。	OFF
LOGO	ON/OFF	ロゴをオンオフします。	OFF
	SELECT	ロゴを選択します。	INT_1
	V-POSITION	縦方向のロゴ位置を設定します。	0
	H-POSITION	横方向のロゴ位置を設定します。	0
	TRANSPARENCY	ロゴの透過をオンオフします。	OFF
	TRANSPARENCY LEVEL	ロゴの透過レベルを設定します。	16

項目	説明	初期値	
MOVING BOX	ON/OFF	ムービングボックスをオンオフします。	OFF
	BOX COLOR	ムービングボックスの色を選択します。	WHITE
	V-SPEED	縦方向のムービングボックス速度を設定します。	MIDDLE
	H-SPEED	横方向のムービングボックス速度を設定します。	MIDDLE
	V-SIZE	ムービングボックスの高さを選択します。	SIZE2
	H-SIZE	ムービングボックスの幅を選択します。	SIZE2
CIRCLE	ON/OFF	サークルをオンオフします。	OFF
	SIZE	サークルのサイズを選択します。	90%
	LEVEL	サークルの輝度レベルを選択します。	100%
	BLINK ON/OFF	サークルの点滅をオンオフします。	OFF
	BLINK ON TIME	サークル点滅の点灯時間を設定します。	1
	BLINK OFF TIME	サークル点滅の消灯時間を設定します。	1
TIME CODE	ON/OFF	タイムコードをオンオフします。	OFF
	V-POSITION	縦方向のタイムコード位置を設定します。	0
	H-POSITION	横方向のタイムコード位置を設定します。	0
	SIZE	タイムコードのサイズを選択します。	×1
	LEVEL	タイムコードの輝度レベルを選択します。	100%
	TRANSPARENCY	タイムコード背景の透過をオンオフします。	OFF
LIPSYNC	ON/OFF	リップシンクパターンをオンオフします。	OFF
EMB AUDIO	AUDIO ON/OFF	オーディオをグループごとにオンオフします。	すべて ON
	RESOLUTION	分解能を選択します。	20 BIT
	EMPHASIS	プリエンファシスモードを選択します。	OFF
	FREQ	周波数を選択します。	1kHz
	LEVEL	レベルを設定します。	-20
	CLICK	クリックの挿入間隔を選択します。	OFF
	EQUAL TO CH1	CH1 と同じ設定にするかどうか選択します。	OFF
	EQUAL TO CH5	CH5 と同じ設定にするかどうか選択します。	OFF
	EQUAL TO CH9	CH9 と同じ設定にするかどうか選択します。	OFF
	EQUAL TO CH13	CH13 と同じ設定にするかどうか選択します。	OFF
	EQUAL TO G1	グループ 1 と同じ設定にするかどうか選択します。	OFF
	EQUAL TO G3	グループ 3 と同じ設定にするかどうか選択します。	OFF
ANC	ATC-LTC	LTC の挿入をオンオフします。	OFF
	ATC-VITC	VITC の挿入をオンオフします。	OFF
	DROP FRAME	ドロップフレームをオンオフします。	ON
OUTPUT	OUTPUT	SDI 出力をオンオフします。	ENABLE
	LINKED TO PTP* BMCA	BMCA に連動して SDI 出力を停止するかどうか選択します。	DISABLE
SDI2、SDI3	EQUAL TO SDI1	SDI1 と同じ設定にするかどうか選択します。	OFF
SDI4	EQUAL TO SDI3	SDI3 と同じ設定にするかどうか選択します。	OFF
FREQUENCY GROUP	FREQUENCY GROUP	SDI 出力のフレーム周波数で選択できる周波数グループを選択します。	59.94Hz (NTSC) 60/50Hz (PAL)

## 18.4.7 PTP 画面 (SER03)

PTP 画面では、LT4670 の PTP CONFIG メニューの内容を設定できます。

The screenshot displays the PTP configuration interface for the SYNC GENERATOR LT4670. The interface is divided into two main sections: PTP1 and PTP2. A sidebar on the left contains navigation options: STATUS, REFERENCE, BLACK, AUDIO, LTC · CW/1PPS, SDI, PTP (selected), IP, and SYSTEM. At the top, there are status indicators for ALARM, POWER1, and POWER2, and a navigation bar with tabs for GEN, GNSS, LPTP (selected), INT, STAT, TIME, PTP OUT, and KEYLOCK. The PTP1 section is configured as an ENABLE LEADER with BMCA enabled and profile type ST2059. Its detail settings include a domain of 127, mixed SMPTE w/o NE communication mode, 0.25s 4Hz announce interval, 0.125s 8Hz sync interval, and priority 128. The step is set to ONE STEP. The ST2059 profile settings show a default frame of 29.97, drop frame enabled, and color frame ID enabled. The announce timeout is 3 seconds and the delay mechanism is END TO END. The Ethernet settings are IP: 192.168.0.001, Subnetmask: 255.255.255.000, Default Gateway: 192.168.0.024, and MAC: 00:09:0d:f0:03:61. The PTP2 section is configured as a FOLLOWER with profile type ST2059. Its detail settings include a domain of 127, unicast communication mode, 0.25s 4Hz announce interval, 2s 0.5Hz announce request interval, 0.125s 8Hz sync interval, 0.5s 2Hz sync request interval, 0.125s 8Hz delay message interval, and 0.5s 2Hz delay message request interval. The AMT configuration table lists eight addresses, all set to 000.000.000.000. The announce timeout is 3 seconds, the delay mechanism is END TO END, and the asymmetric delay is 0 microseconds. The Ethernet settings are identical to PTP1.

図 18-14 | PTP 画面

表 18-7 | PTP 画面の説明 (PTP リーダーのとき)

項目	説明	初期値
MODE	PTP リーダーを有効にするかどうか選択します。	ENABLE LEADER
BMCA	BMCA を有効にするかどうか選択します。	ENABLE
PROFILE TYPE	プロファイルを選択します。	ST2059
PRIORITY1 RECOVERY	優先順位 1 の値を復旧します。	-
PROFILE SET DEFAULT	選択しているプロファイルのデフォルト値に戻します。	-
DOMAIN	ドメイン番号を設定します。	127 (PTP1、ST2059) 126 (PTP2、ST2059) 0 (AES67/GENERAL)
COMMUNICATION MODE	コミュニケーションモードを選択します。	MIXED SMPTE w/o NE
ANNOUNCE INTERVAL	アナウンスメッセージの送信間隔を選択します。	0.25s (ST2059) 2s (AES67/GENERAL)
SYNC INTERVAL	シンクメッセージの送信間隔を選択します。	0.125s (ST2059/AES67) 1s (GENERAL)
PRIORITY*	優先順位を設定します。	128
STEP	ステップを選択します。	ONE STEP
DEFAULT FRAME	デフォルトフレームを選択します。	29.97
DROP FRAME	ドロップフレームフラグを有効にするかどうか選択します。	ENABLE
COLOR FRAME ID	カラーフレーム ID を有効にするかどうか選択します。	ENABLE
ANNOUNCE TIMEOUT	タイムアウトと判定するアナウンスメッセージ数を設定します。	3
DELAY MECHANISM	伝播時間の測定方法を選択します。	END TO END
IP ADDRESS	PTP オプションの IP アドレスを表示します。	-
SUBNET MASK	PTP オプションのサブネットマスクを表示します。	-
DEFAULT GATEWAY	PTP オプションのデフォルトゲートウェイを表示します。	-
MAC ADDRESS	PTP オプションの MAC アドレスを表示します。	-

表 18-8 | PTP 画面の説明 (PTP フォロワーのとき)

項目	説明	初期値
MODE	FOLLOWER 固定です。	FOLLOWER
PROFILE TYPE	プロファイルを選択します。	ST2059
PROFILE SET DEFAULT	選択しているプロファイルのデフォルト値に戻します。	-
DOMAIN	ドメイン番号を設定します。	127 (PTP1、ST2059) 126 (PTP2、ST2059) 0 (AES67/GENERAL)
COMMUNICATION MODE	コミュニケーションモードを選択します。	MULTICAST
ANNOUNCE DESIR INT	希望するアナウンスメッセージの送信間隔を選択します。	0.25s (ST2059) 2s (AES67/GENERAL)
ANNOUNCE REQD INT	アナウンスメッセージの受信間隔を選択します。	2s (ST2059) 16s (AES67/GENERAL)
SYNC DESIR INT	希望するシンクメッセージの送信間隔を選択します。	0.125s (ST2059) 1s (AES67) 2s (GENERAL)
SYNC REQD INT	シンクメッセージの受信間隔を選択します。	0.5s (ST2059) 2s (AES67) 8s (GENERAL)
DLY MSG INT	ディレイメッセージの送信間隔を選択します。	0.125s (ST2059) 1s (AES67/GENERAL)
DLY MSG DESIR INT	希望するディレイメッセージの送信間隔を選択します。	0.125s (ST2059/AES67) 2s (GENERAL)
DLY MSG REQD INT	ディレイメッセージの受信間隔を選択します。	0.5s (ST2059) 2s (AES67) 0.125Hz (GENERAL)
AMT ADDRESS *	接続するリーダーの IP アドレスを設定します。	000.000.000.000
ANNOUNCE TIMEOUT	タイムアウトと判定するアナウンスメッセージ数を設定します。	3
DELAY MECHANISM	伝播時間の測定方法を選択します。	END TO END
ASYMMETRIC DELAY	位相補正量を設定します。	0
IP ADDRESS	PTP オプションの IP アドレスを表示します。	-
SUBNET MASK	PTP オプションのサブネットマスクを表示します。	-
DEFAULT GATEWAY	PTP オプションのデフォルトゲートウェイを表示します。	-
MAC ADDRESS	PTP オプションの MAC アドレスを表示します。	-

## 18.4.8 IP 画面 (SER04)

IP 画面では、LT4670 の IP CONFIG メニューの内容を設定できます。

The screenshot displays the IP configuration page for the SYNC GENERATOR LT4670. The interface is dark-themed and includes a sidebar menu on the left with options: STATUS, REFERENCE, BLACK, AUDIO, LTC · CW/1PPS, SDI, PTP, IP (selected), and SYSTEM. The main content area is titled 'IP' and shows the following configuration details:

- TYPE:** ST2110
- OUTPUT:** ON
- STREAM1:**
  - VIDEO:** ON
    - VIDEO PAYLOAD: 96 ✓ SET
    - VIDEO VLAN: OFF
    - VIDEO VLAN TAG: 1 ✓ SET
    - VIDEO DSCP: OFF
    - VIDEO DSCP TAG: 0 ✓ SET
    - VIDEO DESTINATION IP ADDRESS: 239.000.000.001 ✓ SET
    - VIDEO DESTINATION PORT: 5004 ✓ SET
  - AUDIO:** ON
    - AUDIO PAYLOAD: 97 ✓ SET
    - AUDIO VLAN: OFF
    - AUDIO VLAN TAG: 1 ✓ SET
    - AUDIO DSCP: OFF
    - AUDIO DSCP TAG: 0 ✓ SET
    - AUDIO MODE: ST2110-30
    - AUDIO PACKET TIME: 1ms
    - AUDIO DESTINATION IP ADDRESS: 239.000.002.001 ✓ SET
    - AUDIO DESTINATION PORT: 5004 ✓ SET
  - ANC:** ON
    - ANC PAYLOAD: 100 ✓ SET
    - ANC VLAN: OFF
    - ANC VLAN TAG: 1 ✓ SET
    - ANC DSCP: OFF
    - ANC DSCP TAG: 0 ✓ SET
    - ANC DESTINATION IP ADDRESS: 239.000.003.001 ✓ SET
    - ANC DESTINATION PORT: 5004 ✓ SET

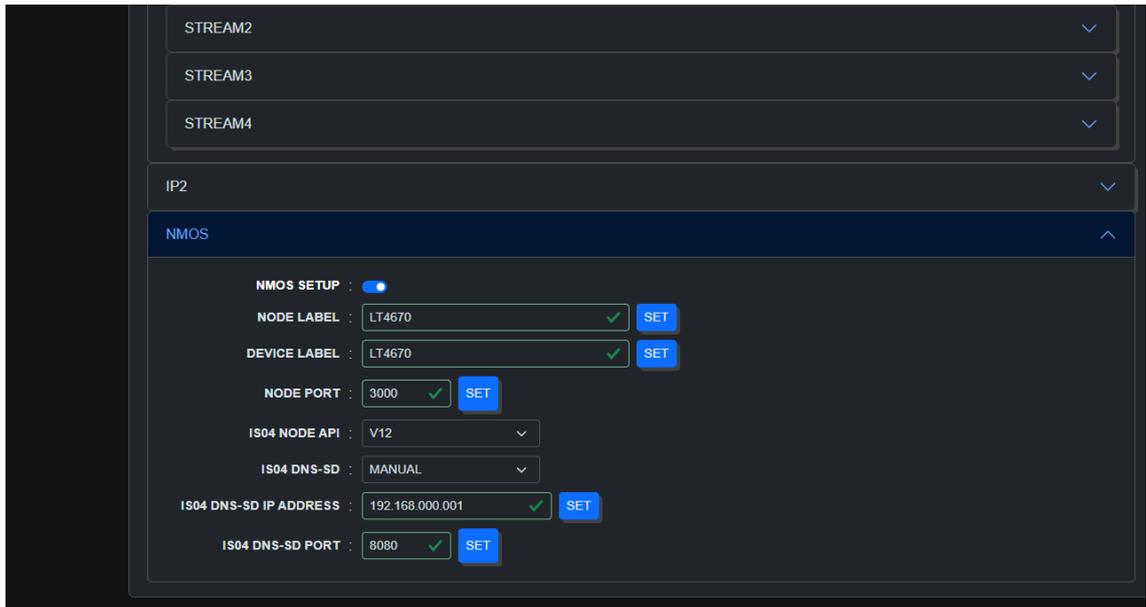


図 18-15 | IP 画面

表 18-9 | IP 画面の説明

項目	説明	初期値
TYPE	IP の規格を選択します。	ST2110
OUTPUT	IP 出力をオンオフします。	ON
VIDEO	ビデオをオンオフします。	ON
VIDEO PAYLOAD	ビデオのペイロードタイプを設定します。	96
VIDEO VLAN	ビデオの VLAN 設定をオンオフします。	OFF
VIDEO VLAN TAG	ビデオの VLAN タグを設定します。	1
VIDEO DSCP	ビデオの DSCP 設定をオンオフします。	OFF
VIDEO DSCP TAG	ビデオの DSCP タグを設定します。	0
VIDEO DESTINATION IP ADDRESS	ビデオの宛先 IP アドレスを設定します。	239.000.000.001 (IP1、ST1) 239.000.000.002 (IP1、ST2) 239.000.000.003 (IP1、ST3) 239.000.000.004 (IP1、ST4) 239.000.000.005 (IP2、ST1) 239.000.000.006 (IP2、ST2) 239.000.000.007 (IP2、ST3) 239.000.000.008 (IP2、ST4)
VIDEO DESTINATION PORT	ビデオの宛先ポート番号を設定します。	5004
AUDIO	オーディオをオンオフします。	ON
AUDIO PAYLOAD	オーディオのペイロードタイプを設定します。	97
AUDIO VLAN	オーディオの VLAN 設定をオンオフします。	OFF
AUDIO VLAN TAG	オーディオの VLAN タグを設定します。	1
AUDIO DSCP	オーディオの DSCP 設定をオンオフします。	OFF
AUDIO DSCP TAG	オーディオの DSCP タグを設定します。	0
AUDIO MODE	オーディオの規格を選択します。	ST2110-30
AUDIO PACKET TIME	オーディオのパケットタイムを選択します。	1ms
AUDIO DESTINATION IP ADDRESS	オーディオの宛先 IP アドレスを設定します。	239.000.002.001 (IP1、ST1) 239.000.002.002 (IP1、ST2)

項目	説明	初期値
		239.000.002.003 (IP1、ST3) 239.000.002.004 (IP1、ST4) 239.000.002.005 (IP2、ST1) 239.000.002.006 (IP2、ST2) 239.000.002.007 (IP2、ST3) 239.000.002.008 (IP2、ST4)
AUDIO DESTINATION PORT	オーディオの宛先ポート番号を設定します。	5004
ANC	ANC をオンオフします。	ON
ANC PAYLOAD	ANC のペイロードタイプを設定します。	100
ANC VLAN	ANC の VLAN 設定をオンオフします。	OFF
ANC VLAN TAG	ANC の VLAN タグを設定します。	1
ANC DSCP	ANC の DSCP 設定をオンオフします。	OFF
ANC DSCP TAG	ANC の DSCP タグを設定します。	0
ANC DESTINATION IP ADDRESS	ANC の宛先 IP アドレスを設定します。	239.000.003.001 (IP1、ST1) 239.000.003.002 (IP1、ST2) 239.000.003.003 (IP1、ST3) 239.000.003.004 (IP1、ST4) 239.000.003.005 (IP2、ST1) 239.000.003.006 (IP2、ST2) 239.000.003.007 (IP2、ST3) 239.000.003.008 (IP2、ST4)
ANC DESTINATION PORT	ANC の宛先ポート番号を設定します。	5004
NMOS SETUP	NMOS での制御をオンオフします。	ON
NODE LABEL	NMOS のノードラベルを設定します。(Web ブラウザーのみ)	LT4670
DEVICE LABEL	NMOS のデバイスラベルを設定します。(Web ブラウザーのみ)	LT4670
NODE PORT	IS-04 のポート番号を設定します。	3000
IS04 NODE API	IS-04 の Node API のバージョンを選択します。	V12
IS04 DNS-SD	IS-04 の DNS-SD の通信方式を選択します。	MULTICAST
IS04 DNS-SD IP ADDRESS	IS-04 の DNS-SD の IP アドレスを設定します。	192.168.000.001
IS04 DNS-SD PORT	IS-04 の DNS-SD のポート番号を設定します。	8080
IS04 DOMAIN	IS-04 のドメイン名を設定します。(Web ブラウザーのみ)	LT4670

18.4.9 SYSTEM 画面

SYSTEM 画面では、LT4670 の SYSTEM CONFIG メニューの内容を設定できます。

**SYNC GENERATOR LT4670** © Leader Electronics Corporation

ALARM POWER1 POWER2 GEN GENSS PTP IN INT STAY TIME PTP OUT KEYLOCK

**SYSTEM**

**UTILITY**  
 LCD BACKLIGHT : ON  
 KEY LOCK ON/OFF :

**PRESET**  
 RECALL : PRESET 0 SET  
 POWER ON RECALL : OFF SET  
 STORE : PRESET 0 SET  
 COMMENT : PRESET 0 : [ ] SET  
 COPY : PRESET 0 DOWNLOAD  
 UPLOAD

**NETWORK**  
 IP ADDRESS : 192.168.000.001  
 SUBNET MASK : 255.255.255.000  
 DEFAULT GATEWAY : 000.000.000.000  
 MAC ADDRESS : 00:00:00:00:00:00

**SNMP**  
 SETUP : V3  
 ENGINEID : 0x000000000000000000000000  
 TRAP1 :   
 MANAGER IP1 : 000.000.000.000 SET  
 TRAP2 :   
 MANAGER IP2 : 000.000.000.000 SET  
 TRAP3 :   
 MANAGER IP3 : 000.000.000.000 SET  
 TRAP4 :   
 MANAGER IP4 : 000.000.000.000 SET  
 GET MIB

**HTTP**  
 : ENABLE

**NTP**  
 ON/OFF :   
 SERVER ADDRESS : 000.000.000.000 SET  
 NTP RESTRICTIONS : LOCAL FREE  
 NTP STRATUM : 8 SET

**TIME MANAGEMENT**  
 INTERNAL CLOCK ADJUST : 2000/01/01 00:00:00 SET  
 TIMEZONE OFFSET : UTC+9:00  
 JAM SYNC :   
 JAM SYNC ADJUST : 00:00:00 SET

**DAYLIGHT SAVING**  
 ON/OFF :   
 SELECT FORMAT : 01/01 00:00:00  
 CHANGE DAY : 1 / 1 0 : 0 SET  
 TIMECODE OFFSET : + 0 : 0 : 0 SET  
 RETURN DAY : 1 / 1 0 : 0 SET  
 LEAP SECOND : 0 : 0 SET  
 L-SYNC SETUP : DISABLE

**GNSS OPTION**

ANTENNA POWER :  OFF  3.3V  5V

CABLE DELAY :  [nsec]

**PTP OPTION**

**PTP1**

IP ADDRESS :  ✓

SUBNET MASK :  ✓

GATEWAY :  ✓

SFP/SFP+ :  ▼

LINK AUTO RESET :  ▼

**PTP2**

IP ADDRESS :  ✓

SUBNET MASK :  ✓

GATEWAY :  ✓

SFP/SFP+ :  ▼

LINK AUTO RESET :  ▼

PORT MIRRORING :  ▼

**IP OPTION**

**IP1**

IP ADDRESS :  ✓

SUBNET MASK :  ✓

GATEWAY :  ✓

10G/25G :  ▼

RS-FEC :

IGMP :  ▼

**IP2**

IP ADDRESS :  ✓

SUBNET MASK :  ✓

GATEWAY :  ✓

10G/25G :  ▼

RS-FEC :

IGMP :  ▼

**ALARM**

< INDICATOR 1 >

ALARM POLARITY :  POSITIVE  NEGATIVE

UNIT POWER1 :  UNIT POWER2 :  FAN POWER1 :  FAN POWER2 :  FAN FRONT :  FAN REAR :  REFERENCE N

INT PLL :  TIME LAG :

< INDICATOR 2 >

ALARM POLARITY :  POSITIVE  NEGATIVE

UNIT POWER1 :  UNIT POWER2 :  FAN POWER1 :  FAN POWER2 :  FAN FRONT :  FAN REAR :  REFERENCE N

INT PLL :  TIME LAG :

**LOG**

図 18-16 | SYSTEM 画面

表 18-10 | SYSTEM 画面の説明

	項目	説明	初期値
UTILITY	LCD BACKLIGHT	バックライトの設定を選択します。	ON
	KEY LOCK ON/OFF	LT4670 のキーロックをオンオフします。	OFF
PRESET	RECALL	選択したプリセットを呼び出します。	-
	POWER ON RECALL	起動時に呼び出すプリセット番号を選択します。	OFF
	STORE	現在の設定を選択したプリセット番号に保存します。	PRESET 0
	COMMENT	選択したプリセットにコメントを追加します。	-
	COPY	選択したプリセットを TXT 形式でダウンロードします。	-
	UPLOAD	TXT または PRE 形式のプリセットを LT4670 にアップロードします。	-
NETWORK	IP ADDRESS	LT4670 の IP アドレスを表示します。	-
	SUBNET MASK	LT4670 のサブネットマスクを表示します。	-
	DEFAULT GATEWAY	LT4670 のデフォルトゲートウェイを表示します。	-
	MAC ADDRESS	LT4670 の MAC アドレスを表示します。	-
	SETUP	SNMP 機能の有効/無効と対応バージョンを選択します。	DISABLE
	ENGINEID	SNMP V3 のエンジン ID を表示します。	-
	TRAP*	トラップ送信先をオンオフします。	OFF
	MANAGER IP*	トラップ送信先の IP アドレスを設定します。	000.000.000.000
	GET MIB	MIB ファイルをダウンロードします。	-
	HTTP	HTTP 機能の設定を表示します。 ENABLE 固定です。	-
	NTP	NTP 機能をオンオフします。	OFF
	SERVER ADDRESS	NTP サーバーのアドレスを設定します。	000.000.000.000
	NTP RESTRICTIONS	ネットワークの設定を選択します。	LOCAL
	NTP STRATUM	NTP 階層を設定します。	8
TIME MANAGEMENT	INTERNAL CLOCK ADJUST	本体内部の日時を設定します。	2000/01/01 00:00:00
	TIMEZONE OFFSET	タイムゾーンを選択します。	UTC+9:00
	JAM SYNC	ジャムシンク機能をオンオフします。	ON
	JAM SYNC ADJUST	ジャムシンク機能でタイムコードをリセットする時刻を設定します。	00:00:00
	LEAP SECOND	うるう秒を挿入する補正時刻を設定します。	0:0:0
	L-SYNC SETUP	L-SYNC の設定を選択します。	DISABLE
DAYLIGHT SAVING	ON/OFF	夏時間をオンオフします。	OFF
	SELECT FORMAT	夏時間の設定方法を選択します。	01/01 00:00:00
	CHANGE DAY	夏時間を開始する日時を設定します。	1/1 0:0
	TIMECODE OFFSET	夏時間のオフセットを設定します。	+0:0:0
	RETURN DAY	夏時間を終了する日時を設定します。	1/1 0:0
GNSS OPTION	ANTENNA POWER	GNSS アンテナへの供給電圧を選択します。	OFF

	項目	説明	初期値
	CABLE DELAY	GNSS ケーブルの遅延補正量を設定します。	0
PTP OPTION	IP ADDRESS	PTP オプションの IP アドレスを設定します。	192.168.000.001
	SUBNET MASK	PTP オプションのサブネットマスクを設定します。	255.255.255.000
	GATEWAY	PTP オプションのデフォルトゲートウェイを設定します。	192.168.000.254
	SFP/SFP+	SFP の種類を選択します。	SFP+
	LINK AUTO RESET	リセット動作を選択します。	OFF
	PORT MIRRORING	ポートミラーリングの設定を選択します。	OFF
IP OPTION	IP ADDRESS	IP オプションの IP アドレスを設定します。	192.168.000.001
	SUBNET MASK	IP オプションのサブネットマスクを設定します。	255.255.255.000
	GATEWAY	IP オプションのデフォルトゲートウェイを設定します。	192.168.000.254
	10G/25G	SFP の種類を選択します。	25G
	RS-FEC	RS-FEC をオンオフします。	ON
	IGMP	IGMP バージョンを選択します。	AUTO
ALARM	ALARM POLARITY	アラームの極性を選択します。	POSITIVE
	UNIT POWER*	電源ユニットのアラームをオンオフします。	OFF
	FAN POWER*	電源ユニットのファンアラームをオンオフします。	OFF
	FAN FRONT	前面ファンユニットのアラームをオンオフします。	OFF
	FAN REAR	背面ファンユニットのアラームをオンオフします。	OFF
	REFERENCE NO SIGNAL	基準信号がないときのアラームをオンオフします。	OFF
	REFERENCE STAY	ステイインシンのアラームをオンオフします。	OFF
	GNSS ANTENNA	GNSS アンテナのアラームをオンオフします。	OFF
	INT PLL	水晶のアラームをオンオフします。	OFF
	TIME LAG	時刻のアラームをオンオフします。	OFF
LOG	LIST	ログをポップアップで表示します。	-
	DELETE	ログを消去します。	-
	DOWNLOAD	ログを txt 形式でダウンロードします。	-

# 19 保守

## 19.1 校正および修理

製品は工場出荷時、厳正な品質管理の下で仕様に基づいた性能の確認を実施していますが、部品の経年変化等により、性能に多少の変化が生じることがあります。製品の性能を安定した状態でお使いいただくため、定期的な校正をおすすめします。また、動作に不具合等があれば、修理が必要となります。製品校正および修理についてのご相談は、お買い上げになりました取扱代理店、本社または各営業所へご連絡ください。

## 19.2 部品の交換

本器を長くお使いいただくために、定期的な部品の交換が必要です。

前回の交換から「交換周期」で決められた期間が経過したときや異常が発生したときは、部品を交換してください。

部品の交換は、弊社または弊社より委託されたサービスマンが行います。本社またはお近くの営業所までお問い合わせください。

表 19-1 | 部品の交換

No.	名称	型番	品名	交換周期	使用個数
1	電源ユニット	LT4670-SER11	POWER UNIT	5年	1または2
2	ファンユニット(*1)	LP2184	FAN UNIT	5年	1
3	バックアップ電池(*2)	CR2450	コイン型リチウム電池	5年	1

\*1 前面パネル用、背面パネル用の2点がセットになっています。

\*2 バックアップ電池を交換するには、製品を当社工場にお戻しいただく必要があります。

### 19.2.1 電源ユニットの交換

電源ユニットの交換手順を以下に示します。

電源ユニットが2つ実装されている場合は、電源を入れたまま交換できます。

ここでは例として、電源ユニットが2つ実装されていて、POWER2の電源を入れたままPOWER1の電源ユニットを交換する手順を示します。

#### 1 POWER1の電源ユニットから電源ケーブルを抜きます。

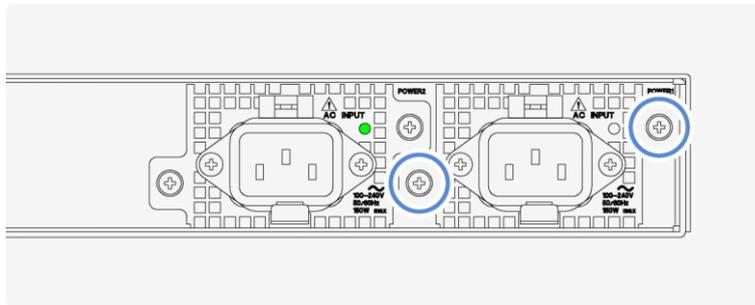


警告

電源ケーブルを抜いてから電源ユニットを取り外してください。  
誤った手順で取り外すと、感電のおそれがあります。

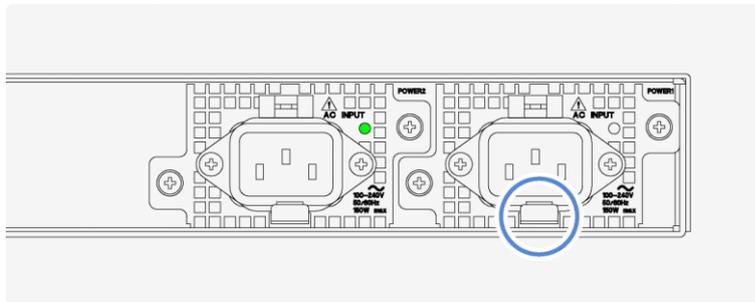
#### 2 ネジ2本をゆるめます。

ネジをゆるめても、電源ユニットからネジは取り外せません。

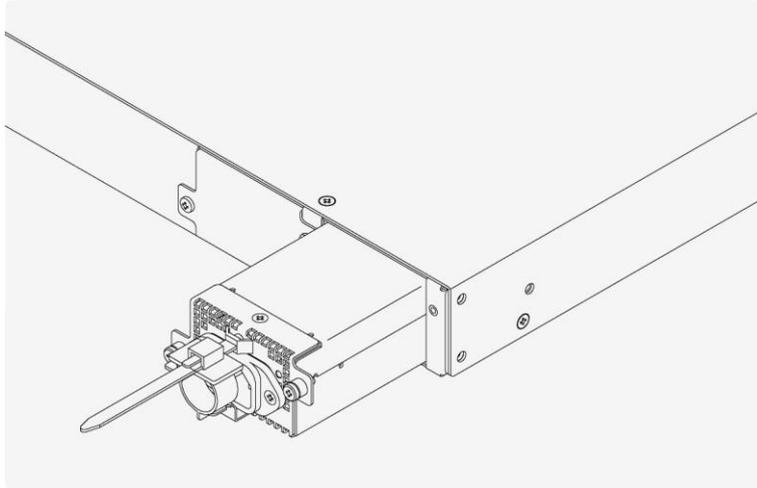


#### 3 レバーを上から上げてから、電源ユニットを引き抜きます。

はじめに、電源ユニット下部のレバーを上げます。

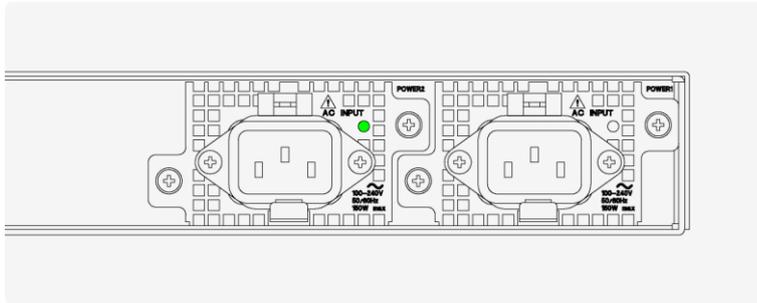


次にレバーを上げたまま、電源ユニットを引き抜きます。



#### 4 新しい電源ユニットを差し込みます。

「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

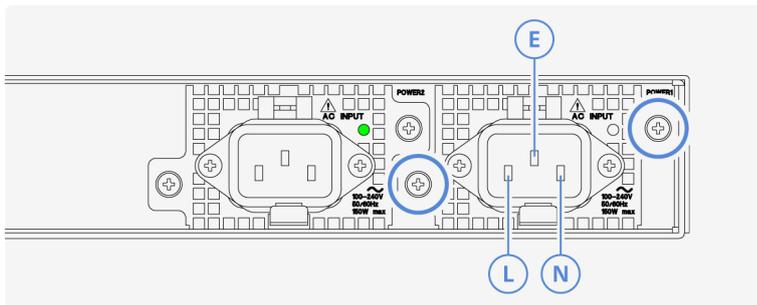


#### 5 ネジ 2 本を締めます。



警告

安全性を確認するために、テスターでアース (E) とネジが導通していること、電源ライン (L、N) とネジが短絡していないことを確認します。

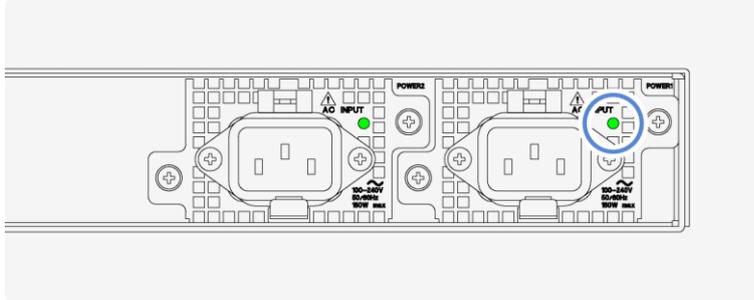


**6 電源ケーブルを接続します。****警告**

電源ユニットを装着してから電源ケーブルを接続してください。

誤った手順で装着すると、感電のおそれがあります。

また、主電源コードを不適切な定格のコードに交換しないでください。

**7 電源ユニットのLEDが緑色で点灯することを確認します。**

## 19.2.2 前面ファンユニットの交換

ファンユニットは前面パネルと背面パネルに1つずつ実装されており、電源を入れたまま交換できます。ここでは例として、電源を入れたまま前面パネルのファンユニットを交換する手順を示します。

なお、ファンユニットは前面パネル用、背面パネル用の2点がセットになっていますが、形状が異なりますので注意してください。



**警告**

本体の電源を入れたままファンユニットを取り外す場合は、以下の手順でファンを停止してから取り外してください。

誤った手順で取り外すと、怪我のおそれがあります。



**注意**

電源を入れたままファンユニットを交換する場合は、ファンを停止したあと、素早くファンユニットを取り付けてファンを起動してください。ファン停止時間が長いと内部が高温になり、機器を損傷させる可能性があります。

### 1 前面パネルのファンを停止します。

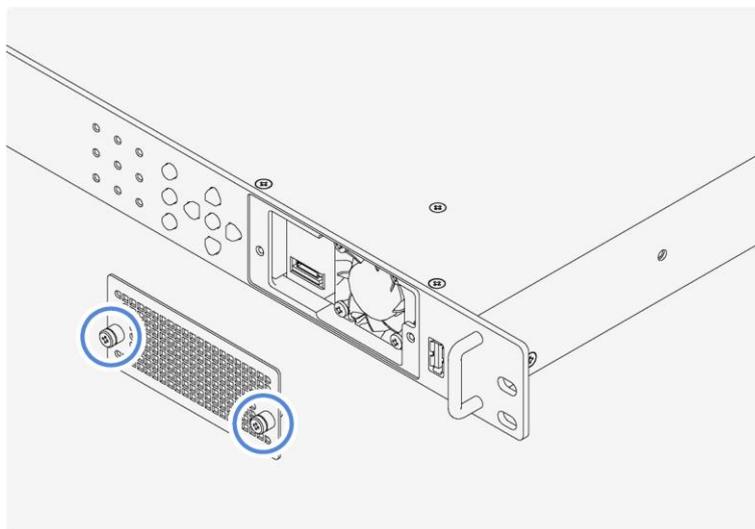
CONFIG キーを数回押して SYSTEM CONFIG を表示させ、以下の操作で設定します。

SYSTEM CONFIG > FAN MAINTENANCE > FRONT > OFF



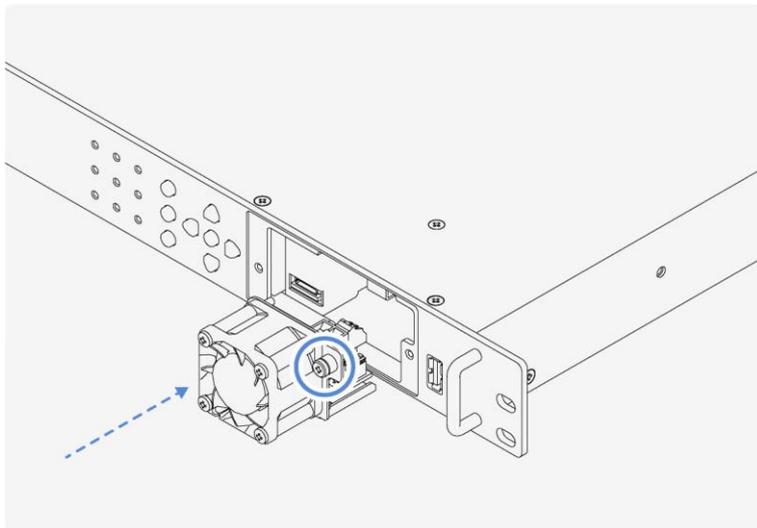
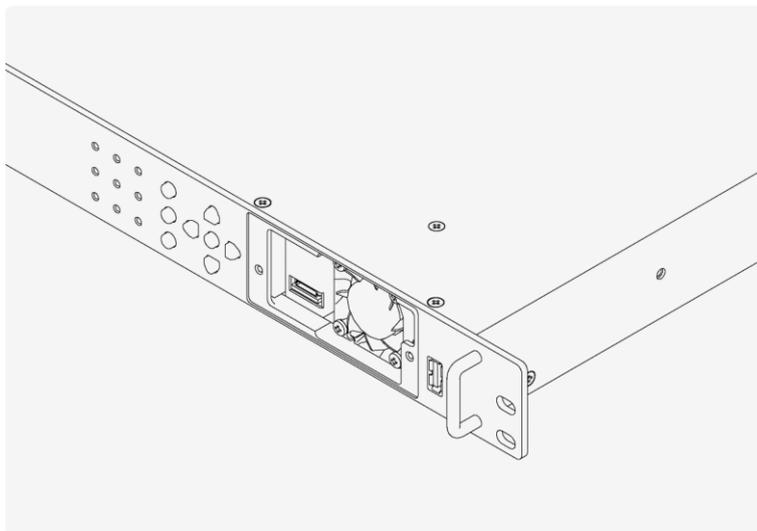
### 2 前面パネルのファンが止まったことを確認します。

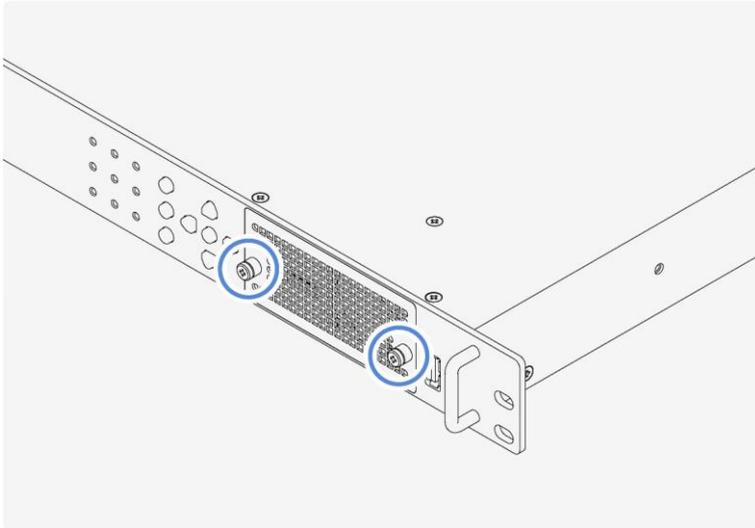
### 3 前面パネルのネジ2本を取り外して、ファンカバーを取り外します。



**4 前面パネルのネジ 2 本をゆるめて、ファンユニットを引き抜きます。**

ネジをゆるめても、ファンユニットからネジは取り外せません。

**5 新しいファンユニットを差し込んで、ネジ 2 本を締めます。**

**6 ファンカバーを取り付けて、ネジ 2 本を締めます。****7 前面パネルのファンを動作させます。**

CONFIG キーを数回押して SYSTEM CONFIG を表示させ、以下の操作で設定します。  
SYSTEM CONFIG > FAN MAINTENANCE > FRONT > ON

```
2 . F A N   M A I N T E N A N C E   F R O N T
   ■ O N           □ O F F
```

**8 前面パネルのファンが動作していることを確認します。**

### 19.2.3 背面ファンユニットの交換

ファンユニットは前面パネルと背面パネルに1つずつ実装されており、電源を入れたまま交換できます。ここでは例として、電源を入れたまま背面パネルのファンユニットを交換する手順を示します。

なお、ファンユニットは前面パネル用、背面パネル用の2点がセットになっていますが、形状が異なりますので注意してください。



#### 警告

本体の電源を入れたままファンユニットを取り外す場合は、以下の手順でファンを停止してから取り外してください。

誤った手順で取り外すと、怪我のおそれがあります。



#### 注意

電源を入れたままファンユニットを交換する場合は、ファンを停止したあと、素早くファンユニットを取り付けてファンを起動してください。ファン停止時間が長いと内部が高温になり、機器を損傷させる可能性があります。

#### 1 背面パネルのファンを停止します。

CONFIG キーを数回押して SYSTEM CONFIG を表示させ、以下の操作で設定します。

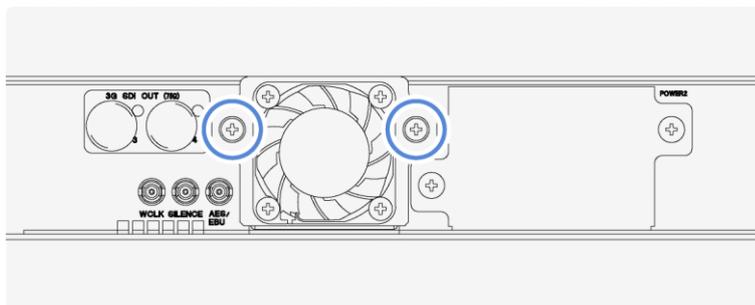
SYSTEM CONFIG > FAN MAINTENANCE > REAR > OFF



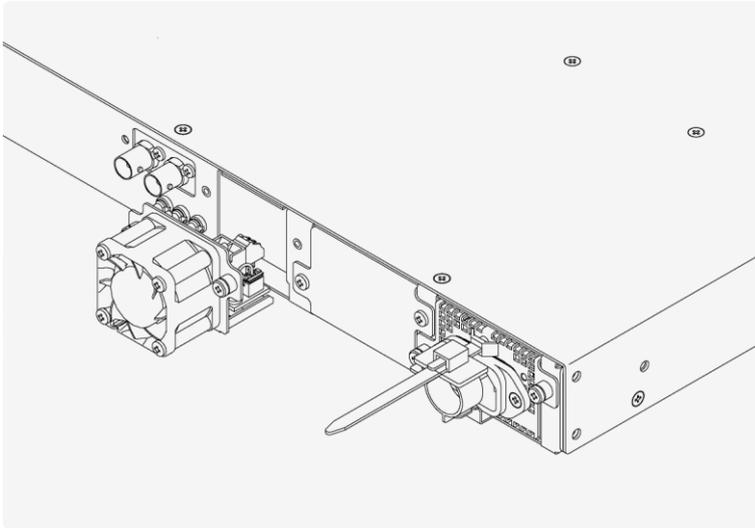
#### 2 背面パネルのファンが止まったことを確認します。

#### 3 背面パネルのネジ2本をゆるめます。

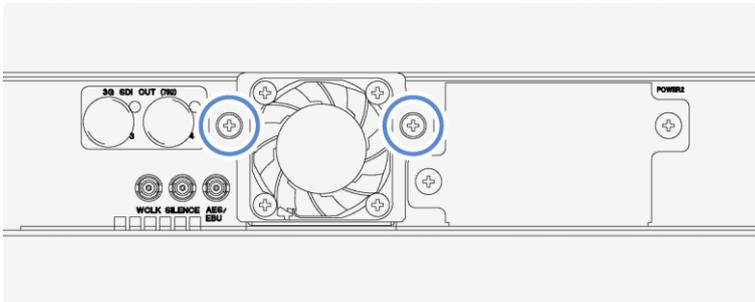
ネジをゆるめても、ファンユニットからネジは取り外せません。



4 ファンユニットを引き抜きます。



5 新しいファンユニットを差し込んで、ネジ 2 本を締めます。



6 背面パネルのファンを動作させます。

CONFIG キーを数回押して SYSTEM CONFIG を表示させ、以下の操作で設定します。  
SYSTEM CONFIG > FAN MAINTENANCE > REAR > ON

2 . F A N M A I N T E N A N C E R E A R
■ O N                      □ O F F

7 背面パネルのファンが動作していることを確認します。

## 20 資料

### 20.1 設定項目一覧

すべてのオプション(SER01、SER02、SER03、SER04、SER11、SER21)が追加されているときの設定項目を一覧で示します。

#### 20.1.1 REFERENCE CONFIG メニュー

表 20-1 | REFERENCE CONFIG メニュー

設定項目	設定値	初期値
REFERENCE SOURCE	INTERNAL / GENLOCK FMT-AUTO / GENLOCK FMT-MANUAL / 10MHz CW / GNSS / PTP1 / PTP2 / PTP1/2	INTERNAL
GENLOCK FORMAT	NTSC BB / NTSC BB+REF / NTSC BB+ID / NTSC BB+REF+ID / PAL BB / PAL BB+REF / 525/59.94I / 525/59.94P / 625/50I / 625/50P / 1125/60I / 1125/59.94I / 1125/50I / 1125/30P / 1125/29.97P / 1125/25P / 1125/24P / 1125/23.98P / 1125/24PsF / 1125/23.98PsF / 1125/60P / 1125/59.94P / 1125/50P / 750/60P / 750/59.94P / 750/50P / 750/30P / 750/29.97P / 750/25P / 750/24P / 750/23.98P	NTSC BB (NTSC) PAL (PAL)
GENLOCK TIMING FINE	±100	0
GNSS SATELLITE	ALL / GPS / GLONASS / GALILEO / BDS / GPS+QZSS	ALL
RECOVERY MODE	AUTO / MANUAL	AUTO
AUTO SETTING	IMMEDIATE / FAST / SLOW	FAST
MANUAL SETTING	IMMEDIATE / FAST / SLOW	IMMEDIATE
IMMEDIATE MODE TIME	OFF / 5 - 30	OFF
TIME SOURCE	INTERNAL / LTC / LTC ST309 / VITC / VITC ST309 / NTP / GNSS / PTP1 / PTP2 / PTP1/2	INTERNAL
SYNC DETECT	GENERAL / SPECIFIC	GENERAL

#### 20.1.2 BLACK CONFIG メニュー

表 20-2 | BLACK CONFIG メニュー

設定項目	設定値	初期値
BLACK* FORMAT	NTSC BB / NTSC BB+REF / NTSC BB+ID / NTSC BB+REF+ID / NTSC BB+SETUP / NTSC BB+S+REF / NTSC BB+S+ID / NTSC BB+S+R+ID / PAL BB / PAL BB+REF / 525/59.94I / 525/59.94P / 625/50I / 625/50P / 1125/60I / 1125/59.94I / 1125/50I / 1125/30P / 1125/29.97P / 1125/25P / 1125/24P / 1125/23.98P / 1125/24PsF / 1125/23.98PsF / 1125/60P / 1125/59.94P / 1125/50P / 750/60P / 750/59.94P / 750/50P / 750/30P / 750/29.97P / 750/25P / 750/24P / 750/23.98P	NTSC BB (NTSC) PAL BB (PAL)
BLACK* TIMING F	±5	0
BLACK* TIMING V	±1124	0
BLACK* TIMING H	±4124	0

設定項目	設定値	初期値
BLACK* VITC	ON / OFF	OFF
BLACK* DROP FRAME	ON / OFF	ON
BLACK* LINE NUMBER	10 - 20 (NTSC) 6 - 22 (PAL)	14 (NTSC) 19 (PAL)
BLACK* OUTPUT	ENABLE / DISABLE	ENABLE
BLACK* LINKED TO PTP*	ENABLE / DISABLE	DISABLE
BLACK2 EQUAL TO BLACK1	ON / OFF	OFF
BLACK3 EQUAL TO BLACK1	ON / OFF	OFF
BLACK4 EQUAL TO BLACK1	ON / OFF	OFF
BLACK5 EQUAL TO BLACK1	ON / OFF	OFF
BLACK6 EQUAL TO BLACK1	ON / OFF	OFF

### 20.1.3 AUDIO CONFIG メニュー

表 20-3 | AUDIO CONFIG メニュー

設定項目	設定値	初期値
AES/EBU CH* FREQ	SILENCE / 400Hz / 800Hz / 1kHz	1kHz
AES/EBU CH* LEVEL	-60 - 0	-20
AES/EBU CH* CLICK	OFF / 1sec / 2sec / 4sec	OFF
CH2 EQUAL TO CH1	ON / OFF	OFF
AES/EBU RESOLUTION	20BIT / 24BIT	20BIT
AES/EBU EMPHASIS	50/15 / CCITT / OFF	OFF
AES/EBU TIMECODE	ON / OFF	OFF
AES/EBU TIMING	±511	0
LIPSYNC(SYNC TO SDI1)	ON / OFF	OFF
EQUAL TO AES/EBU	ON / OFF	OFF
SILENCE RESOLUTION	20BIT / 24BIT	20BIT
SILENCE TIMING	±511	0
WCLK TIMING	±511	0

### 20.1.4 LTC CONFIG メニュー

表 20-4 | LTC CONFIG メニュー

設定項目	設定値	初期値
LTC*	ON / OFF	OFF
LTC* FORMAT	30 / 29.97 / 25 / 24 / 23.98	29.97 (NTSC) 25 (PAL)
LTC* TIMING FRAME	±29	0
LTC* TIMING BIT	±39	0
LTC* OFFSET	±23:59:59	+00:00:00
LTC* DROP FRAME	ON / OFF	ON
LTC2 EQUAL TO LTC1	ON / OFF	OFF
LTC3 EQUAL TO LTC1	ON / OFF	OFF

## 20.1.5 CW/1PPS CONFIG メニュー

表 20-5 | CW/1PPS CONFIG メニュー

設定項目	設定値	初期値
CW/1PPS OUTPUT	CW / 1PPS	CW

## 20.1.6 SDI CONFIG メニュー (SER02/SER04)

表 20-6 | SDI CONFIG メニュー

設定項目	設定値	初期値
SDI FREQUENCY GROUP	59.94Hz / 60/50Hz	59.94Hz (NTSC) 60/50Hz (PAL)
SDI* SYSTEM	3840x2160 12G / 4096x2160 12G / 3840x2160 3G-A / 4096x2160 3G-A / 3840x2160 3G-B-DL / 4096x2160 3G-B-DL / 1280x 720 3G-A / 1920x1080 3G-A / 1920x1080 3G-B-DL / 1280x 720 HD / 1920x1080 HD / 720x 487 SD / 720x 576 SD	1920x1080 HD
SDI* STRUCTURE	422(YCbCr)10-bit / 422(YCbCr)12-bit / 444(RGB)10-bit / 444(RGB)12-bit	422(YCbCr) 10-bit
SDI* RATE	59.94P / 29.97P / 23.98P / 29.97PsF / 23.98PsF / 59.94I / 60P / 50P / 30P / 25P / 24P / 30PsF / 25PsF / 24PsF / 60I / 50I / 48P / 47.95P	59.94I (NTSC) 50I (PAL)
SDI* 0H TIMING	SERIAL / LEGACY	SERIAL
SDI* TIMING V	±1124	0
SDI* TIMING H	±4124	0
SDI* PATTERN (FIX PATTERN)	100% / 75% / MULTI 100% / MULTI 75% / MULTI (+I) / ARIB STD-B66-2 / HLGCB / S-LOG3 / SMPTE / EBU / BBC / FLAT FIELD 100% / FLAT FIELD 50% / FLAT FIELD 0% / RED FIELD 100% / GREEN FIELD 100% / BLUE FIELD 100% / CHECK FIELD	100%
SDI* PATTERN (USER PATTERN)	INT1 - INT4	INT 1
SDI* COMPONENT	ON / OFF	すべて ON
SDI* SAFETY AREA	ON / OFF	すべて OFF
SDI* SCROLL	ON / OFF	OFF
SDI* SCROLL V-SPEED	±256	0
SDI* SCROLL H-SPEED	±256	0
SDI* PATTERN CHANGE	ON / OFF	OFF
SDI* PATTERN CHG SPEED	+1 - +255	+1
SDI* ID CHARACTER	ON / OFF	OFF
SDI* ID SET	◀ !"# \$%&' ( ) * +, -. / 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 : ; < = > ? @ A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z [ ¥ ] ^ _ → ← (20 文字まで)	LT4670◀
SDI* ID V-POSI	0 - 100	0
SDI* ID H-POSI	0 - 100	0
SDI* ID SIZE	x1 / x2 / x4 / x8	x1

設定項目	設定値	初期値
SDI* ID LEVEL	100% / 75%	100%
SDI* ID BLINK	ON / OFF	OFF
SDI* ID BLINK ON TIME	1 - 9	1
SDI* ID BLINK OFF TIME	1 - 9	1
SDI* ID SCROLL	ON / OFF	OFF
SDI* ID SCROLL SPEED	±256	0
SDI* ID TRANSPARENCY	ON / OFF	OFF
SDI* LOGO	ON / OFF	OFF
SDI* LOGO SELECT	INT1 - INT4	INT 1
SDI* LOGO V-POSI	0 - 100	0
SDI* LOGO H-POSI	0 - 100	0
SDI* LOGO TRANSPARENCY	ON / OFF	OFF
SDI* LOGO TRANSPARENCY	0 - 255	16
SDI* MOVING BOX	ON / OFF	OFF
SDI* BOX COLOR	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / BLUE / RED / MAGENTA / BLACK	WHITE
SDI* BOX V-SPEED	LOW / MIDDLE / HIGH	MIDDLE
SDI* BOX H-SPEED	LOW / MIDDLE / HIGH	MIDDLE
SDI* BOX V-SIZE	SIZE1 / SIZE2 / SIZE3 / SIZE4 / SIZE5	SIZE2
SDI* BOX H-SIZE	SIZE1 / SIZE2 / SIZE3 / SIZE4 / SIZE5	SIZE2
SDI* CIRCLE	ON / OFF	OFF
SDI* CIRCLE LEVEL	100% / 75%	100%
SDI* CIRCLE SIZE	90% / 80% / 70%	90%
SDI* BLINK	ON / OFF	OFF
SDI* BLINK ON TIME	1 - 9	1
SDI* BLINK OFF TIME	1 - 9	1
SDI* TIMECODE	ON / OFF	OFF
SDI* TIMECODE V-POSI	0 - 100	0
SDI* TIMECODE H-POSI	0 - 100	0
SDI* TIMECODE SIZE	x1 / x2 / x4 / x8	x1
SDI* TIMECODE LEVEL	100% / 75%	100%
SDI* TIMECODE TRANS	ON / OFF	OFF
SDI* LIPSYNC	ON / OFF	OFF
SDI* EMB AUDIO ON/OFF	ON / OFF	すべて ON
SDI* G*/CH* FREQ	SILENCE / 400Hz / 800Hz / 1kHz	1kHz
SDI* G*/CH* LEVEL	-60 - 0	-20
SDI* G*/CH* CLICK	OFF / 1sec / 2sec / 4sec	OFF
SDI* G1/CH* EQUAL CH1	ON / OFF	OFF
SDI* G2/CH* EQUAL CH5	ON / OFF	OFF
SDI* G3/CH* EQUAL CH9	ON / OFF	OFF
SDI* G4/CH* EQUAL CH13	ON / OFF	OFF
SDI* G* RESOLUTION	20BIT / 24BIT	20BIT
SDI* G* EMPHASIS	50/15 / CCITT / OFF	OFF

設定項目	設定値	初期値
SDI* G2 EQUAL TO G1	ON / OFF	OFF
SDI* G3 EQUAL TO G1	ON / OFF	OFF
SDI* G4 EQUAL TO G3	ON / OFF	OFF
SDI* ANC ATC-LTC	ON / OFF	OFF
SDI* ANC ATC-VITC	ON / OFF	OFF
SDI* DROP FRAME	ON / OFF	ON
SDI* OUTPUT	ENABLE / DISABLE	ENABLE
SDI* LINKED TO PTP*	ENABLE / DISABLE	DISABLE
SDI2 EQUAL TO SDI1	ON / OFF	OFF
SDI3 EQUAL TO SDI1	ON / OFF	OFF
SDI4 EQUAL TO SDI3	ON / OFF	OFF

### 20.1.7 PTP CONFIG メニュー (SER03)

表 20-7 | PTP CONFIG メニュー (PTP リーダーのとき)

設定項目	設定値	初期値
PTP1 MODE	ENABLE LEADER / DISABLE LEADER	ENABLE LEADER
PTP2 MODE	ENABLE LEADER / DISABLE LEADER	DISABLE LEADER
PTP* BMCA SETUP	ENABLE / ENABLE ONLY ONCE / DISABLE	ENABLE
PTP* PROFILE TYPE	ST2059 / AES67 / GENERAL	ST2059
PTP1 DOMAIN	0 - 255	127 (ST2059) 0 (AES67/ GENERAL)
PTP2 DOMAIN	0 - 255	126 (ST2059) 0 (AES67/ GENERAL)
PTP* COMMUNICATION	MIXED SMPTE / MIXED SMPTE w/o NE / UNICAST / MULTICAST	MIXED SMPTE w/o NE
PTP* ANNOUNCE INT	0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s / 4s / 8s / 16s	0.25s (ST2059) 2s (AES67/ GENERAL)
PTP* SYNC INTERVAL	0.0078s / 0.015s / 0.0312s / 0.0625s / 0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s / 4s / 8s / 16s	0.125s (ST2059/ AES67) 1s (GENERAL)
PTP* ANNOUNCE	2 - 10	3
PTP* PRIORITY*	0 - 255	128
PTP* STEP	ONE STEP / TWO STEP	ONE STEP
PTP* ST2059 FRAME	23.98 / 24 / 25 / 29.97 / 30 / 47.95 / 48 / 50 / 59.94 / 60 / 71.92 / 72 / 100 / 119.9 / 120	29.97
PTP* ST2059 DROP FRAME	ENABLE / DISABLE	ENABLE
PTP* ST2059 CFID	ENABLE / DISABLE	ENABLE
PTP* DELAY MECH	END TO END / PEER TO PEER	END TO END

表 20-8 | PTP CONFIG メニュー (PTP フォロワーのとき)

設定項目	設定値	初期値
PTP* MODE	FOLLOWER	FOLLOWER
PTP* PROFILE TYPE	ST2059 / AES67 / GENERAL	ST2059
PTP1 DOMAIN	0 - 255	127 (ST2059) 0 (AES67/ GENERAL)
PTP2 DOMAIN	0 - 255	126 (ST2059) 0 (AES67/ GENERAL)
PTP* COMMUNICATION	MIXED SMPTE / MIXED SMPTE w/o NE / UNICAST / MULTICAST	MULTICAST
PTP* ANC DESIR INT	0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s / 4s / 8s / 16s	0.25s (ST2059) 2s (AES67/ GENERAL)
PTP* ANC REQD INT	0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s / 4s / 8s / 16s	2s (ST2059) 16s (AES67/ GENERAL)
PTP* SYN DESIR INT	0.0078s / 0.015s / 0.0312s / 0.0625s / 0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s / 4s / 8s	0.125s (ST2059) 1s (AES67) 2s (GENERAL)
PTP* SYN REQD INT	0.0078s / 0.015s / 0.0312s / 0.0625s / 0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s / 4s / 8s	0.5s (ST2059) 2s (AES67) 8s (GENERAL)
PTP* DELAY MSG INT	0.0078s / 0.015s / 0.0312s / 0.0625s / 0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s / 4s / 8s / 16s	0.125s (ST2059) 1s (AES67/ GENERAL)
PTP* DLY DESIR INT	0.0078s / 0.015s / 0.0312s / 0.0625s / 0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s / 4s / 8s / 16s	0.125s (ST2059/ AES67) 2s (GENERAL)
PTP* DLY REQD INT	0.0078s / 0.015s / 0.0312s / 0.0625s / 0.125s / 0.25s / 0.5s / 1s / 2s / 4s / 8s / 16s	0.5s (ST2059) 2s (AES67) 0.125Hz (GENERAL)
PTP* ANNOUNCE	2 - 10	3
PTP* DELAY MECH	END TO END / PEER TO PEER	END TO END
PTP* AMT ADDRESS*	000.000.000.000 - 255.255.255.255	000.000.000.000
PTP* ASYM DELAY	±20.000	0.000

## 20.1.8 IP CONFIG メニュー (SER04)

表 20-9 | IP CONFIG メニュー

設定項目	設定値	初期値
IP TYPE	ST2022-6 / ST2110	ST2110
IP* OUTPUT	ON / OFF	ON
IP* STREAM* VID	ON / OFF	ON
IP* STREAM* VID PAYLD	96 - 127	96
IP* STREAM* VID VLAN	ON / OFF	OFF

設定項目	設定値	初期値
IP* STREAM* VID VLAN	1 - 4094	1
IP* STREAM* VID DSCP	ON / OFF	OFF
IP* STREAM* VID DSCP	0 - 63	0
IP1 STREAM1 VID DSTIP	000.000.000.000 - 255.255.255.255	239.000.000.001
IP1 STREAM2 VID DSTIP	000.000.000.000 - 255.255.255.255	239.000.000.002
IP1 STREAM3 VID DSTIP	000.000.000.000 - 255.255.255.255	239.000.000.003
IP1 STREAM4 VID DSTIP	000.000.000.000 - 255.255.255.255	239.000.000.004
IP2 STREAM1 VID DSTIP	000.000.000.000 - 255.255.255.255	239.000.000.005
IP2 STREAM2 VID DSTIP	000.000.000.000 - 255.255.255.255	239.000.000.006
IP2 STREAM3 VID DSTIP	000.000.000.000 - 255.255.255.255	239.000.000.007
IP2 STREAM4 VID DSTIP	000.000.000.000 - 255.255.255.255	239.000.000.008
IP* STREAM* VID DSTPT	0 - 65535	5004
IP* STREAM* AUD	ON / OFF	ON
IP* STREAM* AUD PAYLD	96 - 127	97
IP* STREAM* AUD VLAN	ON / OFF	OFF
IP* STREAM* AUD VLAN	1 - 4094	1
IP* STREAM* AUD DSCP	ON / OFF	OFF
IP* STREAM* AUD DSCP	0 - 63	0
IP* STREAM* AUD MODE	ST2110-30 / ST2110-31	ST2110-30
IP* STREAM* AUD TIME	1ms / 125us	1ms
IP1 STREAM1 AUD DSTIP	000.000.000.000 - 255.255.255.255	239.000.002.001
IP1 STREAM2 AUD DSTIP	000.000.000.000 - 255.255.255.255	239.000.002.002
IP1 STREAM3 AUD DSTIP	000.000.000.000 - 255.255.255.255	239.000.002.003
IP1 STREAM4 AUD DSTIP	000.000.000.000 - 255.255.255.255	239.000.002.004
IP2 STREAM1 AUD DSTIP	000.000.000.000 - 255.255.255.255	239.000.002.005
IP2 STREAM2 AUD DSTIP	000.000.000.000 - 255.255.255.255	239.000.002.006
IP2 STREAM3 AUD DSTIP	000.000.000.000 - 255.255.255.255	239.000.002.007
IP2 STREAM4 AUD DSTIP	000.000.000.000 - 255.255.255.255	239.000.002.008
IP* STREAM* AUD DSTPT	0 - 65535	5004
IP* STREAM* ANC	ON / OFF	ON
IP* STREAM* ANC PAYLD	96 - 127	100
IP* STREAM* ANC VLAN	ON / OFF	OFF
IP* STREAM* ANC VLAN	1 - 4094	1
IP* STREAM* ANC DSCP	ON / OFF	OFF
IP* STREAM* ANC DSCP	0 - 63	0
IP1 STREAM1 ANC DSTIP	000.000.000.000 - 255.255.255.255	239.000.003.001
IP1 STREAM2 ANC DSTIP	000.000.000.000 - 255.255.255.255	239.000.003.002
IP1 STREAM3 ANC DSTIP	000.000.000.000 - 255.255.255.255	239.000.003.003
IP1 STREAM4 ANC DSTIP	000.000.000.000 - 255.255.255.255	239.000.003.004
IP2 STREAM1 ANC DSTIP	000.000.000.000 - 255.255.255.255	239.000.003.005
IP2 STREAM2 ANC DSTIP	000.000.000.000 - 255.255.255.255	239.000.003.006
IP2 STREAM3 ANC DSTIP	000.000.000.000 - 255.255.255.255	239.000.003.007
IP2 STREAM4 ANC DSTIP	000.000.000.000 - 255.255.255.255	239.000.003.008
IP* STREAM* ANC DSTPT	0 - 65535	5004
SETUP NMOS	ON / OFF	ON

設定項目	設定値	初期値
NODE API	V12 / V13	V12
PORT NUMBER	0 - 65535	3000
DNS-SD	MULTICAST / UNICAST / MANUAL	MULTICAST
DNS-SD IP ADDRESS	000.000.000.000 - 255.255.255.255	192.168.000.001
DNS-SD PORT NUMBER	0 - 65535	8080

## 20.1.9 SYSTEM CONFIG メニュー

表 20-10 | SYSTEM CONFIG メニュー

設定項目	設定値	初期値
LCD BACKLIGHT	ON / AUTO OFF / OFF	ON
COMMENT INPUT	◀ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z ! # \$ % & ' ( ) + , - . ; = @ [ ] ^ _ { } (17 文字まで)	◀
POWER ON RECALL	OFF / 0 - 9	OFF
NETWORK SETUP	ENABLE / DISABLE	ENABLE
IP ADDRESS	000.000.000.000 - 255.255.255.255	192.168.000.001
SUBNET MASK	000.000.000.000 - 255.255.255.255	255.255.255.000
DEFAULT GATEWAY	000.000.000.000 - 255.255.255.255	000.000.000.000
SNMP SETUP	DISABLE / V2C / V3	DISABLE
SNMP TRAP *	ENABLE / DISABLE	DISABLE
SNMP MANAGER IP *	000.000.000.000 - 255.255.255.255	000.000.000.000
READ COMMUNITY	◀ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z (15 字まで)	LDRUser◀ (V2C) LDuser (V3)
WRITE COMMUNITY	◀ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z (15 字まで)	LDRAdm◀ (V2C) LDadm (V3)
TRAP COMMUNITY	◀ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z (15 字まで)	LDRUser◀ (V2C) LDuser (V3)
HTTP SETUP	DISABLE / ENABLE	DISABLE
WEB BROWSER	ENABLE / DISABLE	DISABLE
WEB AUTHENTICATION	ENABLE / DISABLE	DISABLE
WEB PASSWORD	◀ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z (15 字まで)	admin◀
NTP SETUP	ENABLE / DISABLE	DISABLE
NTP SERVER ADDRESS	000.000.000.000 - 255.255.255.255	000.000.000.000
NTP RESTRICTIONS	LOCAL / FREE	LOCAL
NTP STRATUM	2 - 15	8
INTERNAL CLOCK ADJUST	2000/01/01 00:00:00 - 2037/12/31 23:59:59	現在の時刻
TIMEZONE OFFSET	-12:00 / -11:00 / -10:00 / -09:00 / -08:00 / -07:00 / -06:00 / - 05:00 / -04:30 / -04:00 / -03:00 / -02:00 / -01:00 / +00:00 / +01:00 / +02:00 / +03:00 / +04:00 / +04:30 / +05:00 / +05:30	+09:00

設定項目	設定値	初期値
	/ +06:00 / +07:00 / +08:00 / +09:00 / +09:30 / +10:00 / +11:00 / +12:00 / -09:30 / -03:30 / +03:30 / +06:30 / +10:30 / +11:30	
JAM SYNC	ON / OFF	ON
JAM SYNC ADJUST	00:00:00 - 23:59:59	00:00:00
DAYLIGHT SAVING	ON / OFF	OFF
SELECT FORMAT	1/1 00:00:00 / 1st Sun,Jan 00:00 AM	1/1 00:00:00
CHANGE DAY	01/01 00:00:00 - 12/31 23:59:00 (1/1 00:00:00) 1st - 5th, Sun - Sat, Jan - Dec, 00:00 AM - 11:00 PM (1st Sun,Ja n 00:00 AM)	01/01 00:00:00 (1/1 00:00:00) 1st Sun,Jan 00:0 0 AM (1st Sun,Jan  00:00 AM)
TIMECODE OFFSET	±23:59:59	+00:00:00
RETURN DAY	01/01 00:00:00 - 12/31 23:59:00 (1/1 00:00:00) 1st - 5th, Sun - Sat, Jan - Dec, 00:00 AM - 11:00 PM (1st Sun,Ja n 00:00 AM)	01/01 00:00:00 (1/1 00:00:00) 1st Sun,Jan 00:0 0 AM (1st Sun,Jan  00:00 AM)
SCHEDULED TIME	00:00:00 - 23:59:00	00:00:00
L-SYNC SETUP	DISABLE / PRIMARY / BACKUP	DISABLE
ANTENNA POWER	OFF / 3.3V / 5V	OFF
CABLE DELAY	±30000	0
PTP* IP ADDRESS	000.000.000.000 - 255.255.255.255	192.168.000.001
PTP* SUBNET MASK	000.000.000.000 - 255.255.255.255	255.255.255.000
PTP* GATEWAY	000.000.000.000 - 255.255.255.255	192.168.000.254
PTP* SFP/SFP+	SFP / SFP+	SFP+
PTP* LINK AUTO RESET	OFF / ON	OFF
PTP PORT MIRRORING	OFF / PTP1 to PTP2 / PTP2 to PTP1	OFF
IP* IP ADDRESS	000.000.000.000 - 255.255.255.255	192.168.000.001
IP* SUBNET MASK	000.000.000.000 - 255.255.255.255	255.255.255.000
IP* DEFAULT GATEWAY	000.000.000.000 - 255.255.255.255	192.168.000.254
IP* 10G/25G	10G / 25G	25G
IP* RS-FEC	OFF / ON	ON
IP* IGMP	V2 / V3 / AUTO	AUTO
ALARM POLARITY	POSITIVE / NEGATIVE	POSITIVE
UNIT POWER*	ENABLE / DISABLE	DISABLE
FAN POWER*	ENABLE / DISABLE	DISABLE
FAN FRONT	ENABLE / DISABLE	DISABLE
FAN REAR	ENABLE / DISABLE	DISABLE
INT PLL	ENABLE / DISABLE	DISABLE
TIME LAG	ENABLE / DISABLE	DISABLE
REFERENCE NO SIGNAL	ENABLE / DISABLE	DISABLE
REFERENCE STAY	ENABLE / DISABLE	DISABLE
GNSS ANTENNA	ENABLE / DISABLE	DISABLE
FORMAT SETTING	NTSC / PAL	NTSC

設定項目	設定値	初期値
USB DEVICE	ENABLE / DISABLE	ENABLE
FAN MAINTENANCE FRONT	ON / OFF	ON
FAN MAINTENANCE REAR	ON / OFF	ON

## 20.2 リリースノート

本書は、ファームウェアバージョン 2.8 に基づいて作成されています。

ファームウェアバージョンは「STATUS > CONFIG > SYSTEM > FIRMWARE VERSION」で確認できます。

### Ver. 2.8

---

- [LT4670] IMMEDIATE MODE TIME の初期値を OFF に変更。
- [SER04] ARIB パターンの名称を UHDTV MFCB から COLOR BAR に変更。

### Ver. 2.7

---

軽微な変更。

### Ver. 2.6

---

- [LT4670] NTP サーバーの STRATUM を設定できる機能を追加。
- [LT4670] REFERENCE SOURCE が BB のとき、ノイズ耐性を向上した SPECIFIC モードを追加。(NTSC-BB のみ)
- [LT4670] 夏時間の設定について、月と週、および曜日単位で設定できるモードを追加。
- [LT4670] ゲンロックの異常/復帰時の TRAP が入れ替わっていたのを修正。

### Ver. 2.5

---

- [LT4670] 異なるネットワークを経由して NTP サーバーが動作するモードを追加。
- [LT4670] ブラウザーでプリセットストアを行う際に、コメントを引き継げるように改善。
- [SER03] SFP+を選択したときに、ブラウザーの STATUS 画面上にリンク状態の表示を追加。
- [SER03] UTC OFFSET が変化したときに、ログに残すように改善。
- [SER04/SER21] 4K PATTERN を追加。

### Ver. 2.4

---

- [SER03] REFERENCE SOURCE が PTP のとき、Web ブラウザーの PTP LOCK VALUE に値を表示するように改善。
- [SER03] REFERENCE SOURCE が PTP のとき、Web ブラウザーの PACKET NOIZE に値を表示するように改善。
- [SER04] NMOS に対応。
- [SER04] 12G のタイミング設定に LEGACY/SERIAL モードを追加。

### Ver. 2.3

---

- [LT4670] Web ブラウザーの認証機能を追加。
- [LT4670] Web ブラウザーにプリセットのアップロード機能を追加。
- [LT4670] プリセットファイルの拡張子に.TXT も使用できるように改善。
- [LT4670] Web ブラウザーからプリセットをリコールする際にメッセージを表示するように改善。
- [SER01] GNSS の CABLE DELAY 設定範囲を±100[ns]から±30000[ns]に拡張。

**Ver. 2.2**

---

- [SER04] IP の 4 ストリーム出力に対応。  
 [SER04] Web ブラウザーでフル機能に対応。

**Ver. 2.1**

---

軽微な変更。

**Ver. 2.0**

---

- [SER03] REFERENCE SOURCE が PTP1 または PTP2 のとき、SNMP でリファレンスのステータスが正しく取得できないのを修正。  
 [SER04] SDI のみ Web ブラウザーに対応。

**Ver. 1.9**

---

- [LT4670] タイムソースとローカルタイムの時刻がずれた時のアラームを SNMP で取得できるように変更。  
 [SER02] ID キャラクターとタイムコードの背景を透過する機能を追加。  
 [SER02] 0H TIMING の初期値を LEGACY から SERIAL に変更。  
 [SER04] 25G-IP/12G-SDI TSG オプションに対応。

**Ver. 1.8**

---

- [LT4670] REFERENCE SOURCE が BB ゲンロック時、VITC の重畳ラインを自動で検出し、ライン番号を表示する機能を追加。  
 [LT4670] BLACK 出力に VITC の重畳ラインを任意で設定できる機能を追加。  
 [LT4670] ブラウザーの SET ボタンを立体的にして操作したことが分かるように改善。  
 [LT4670] ブラウザーに LOG 機能を追加。  
 [LT4670] ブラウザーの SYSTEM CONFIG 画面に、ETHERNET の MAC アドレス表示を追加。  
 [LT4670] ブラウザーで SNMP V3 に対応。  
 [LT4670] TIME SOURCE から取得した時刻と内部時刻が 1 秒以上ずれると、TIME の LED を橙点滅するように変更。  
 [LT4670] TIME SOURCE が INTERNAL のときに INTERNAL CLOCK ADJUST のメニューを表示するように変更。  
 [SER01] ブラウザーで STATUS 画面に LEAP-SECOND 表示を追加。  
 [SER02] ブラウザーでユーザーパターンとカラーロゴに対応。  
 [SER03] ブラウザーの STATUS 画面に LEADER ID、PHASE LAG、STEP 設定の表示を追加。  
 [SER03] ブラウザーの PTP CONFIG 画面に PTP の MAC アドレス表示を追加。

**Ver. 1.7**

---

軽微な変更。

**Ver. 1.6**

---

軽微な変更。

**Ver. 1.5**

---

- [LT4670] SNMP(v3)に対応。
- [SER02] ユーザーパターンに対応。
- [SER02] カラーロゴに対応。

**Ver. 1.4**

---

- [LT4670] SNMP(v2c)に対応。

**Ver. 1.3**

---

- [LT4670] Web ブラウザーに対応。
- [SER02/SER03] BMCA の自動切り換え時に連動して、BLACK と SDI 出力を停止するモードを追加。
- [SER03] デュアルフォロワーのモードを追加
- [SER03] BMCA の自動切り換え後、手動で復帰するモードを追加。
- [SER03] PTP モードが ENABLE MASTER 時、PTP パケットを出力するまでの時間を短縮するよう改善。
- [SER03] BMCA の切り換え動作をログに保存する機能を追加。

**Ver. 1.2**

---

- [LT4670] 新規リリース

お問い合わせ



リーダー電子 サポートサイト  
<https://www.leader.co.jp/support/>

Email | [sales@leader.co.jp](mailto:sales@leader.co.jp) Tel | 045-541-2122

**リーダー電子株式会社**

〒223-8505 神奈川県横浜市港北区綱島東 2-6-33  
[www.leader.co.jp](http://www.leader.co.jp)